

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- スプレー式シリコン系潤滑剤および土間仕様の場合のフィッシャープラグS6は、現場で手配してください。
- 屋根材に接触する部分へ使用するシーリング材は、弊社指定のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。指定のシーリング材は下記になります。
 - ・信越化学工業（株）「シーラント72」
 - ・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）「トスシール380」
 - ・東レ・ダウコーニング（株）「SE960」

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<本製品の施工について>

- 施工時には下記の重要事項を厳守してください。

1-1 シーリング処理

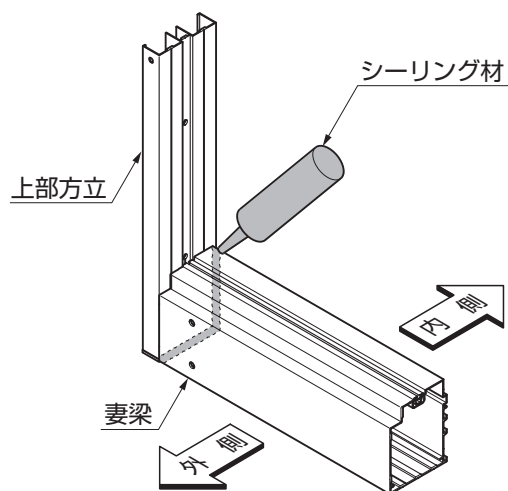


図1-1 上部方立・妻梁部シーリング箇所

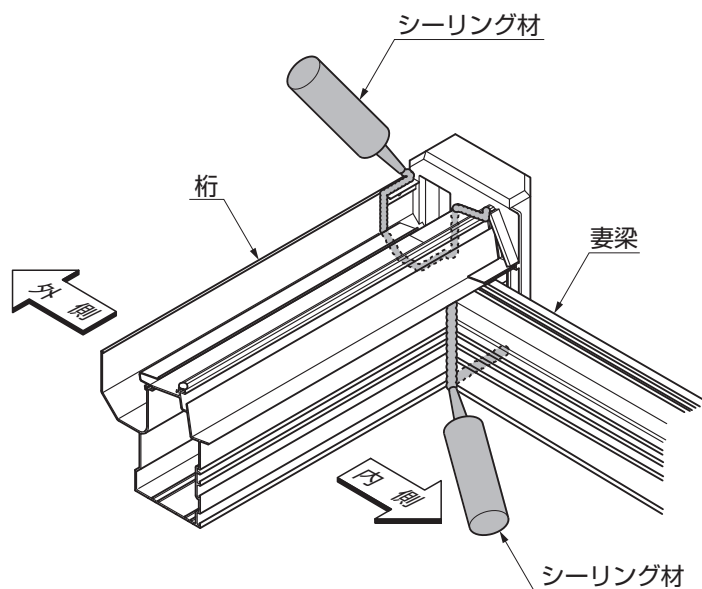


図1-2 桁・妻梁部シーリング箇所

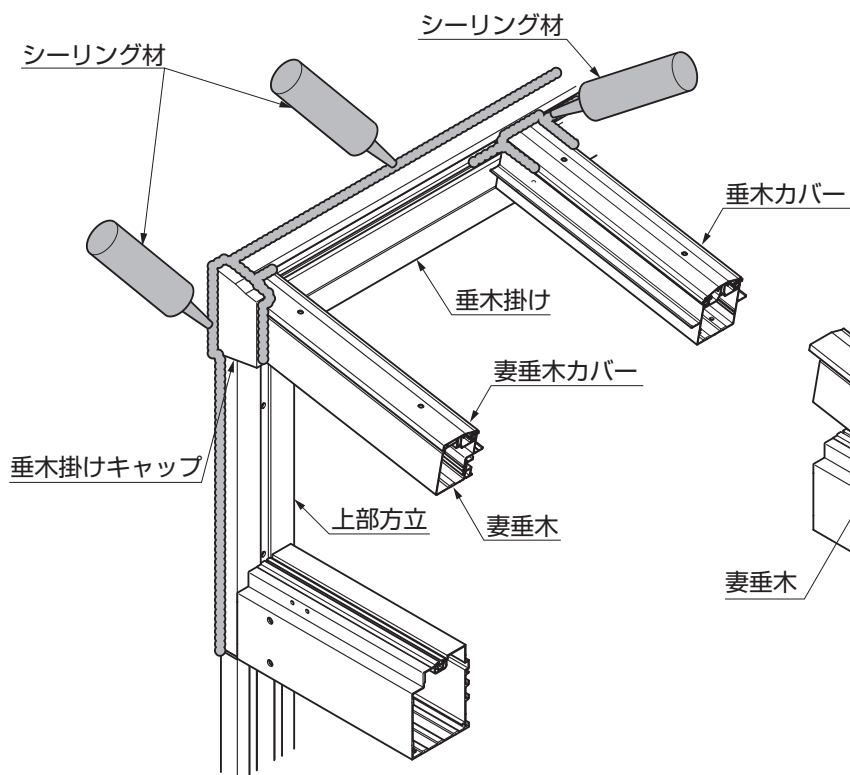


図1-3 垂木掛け・上部方立部シーリング箇所

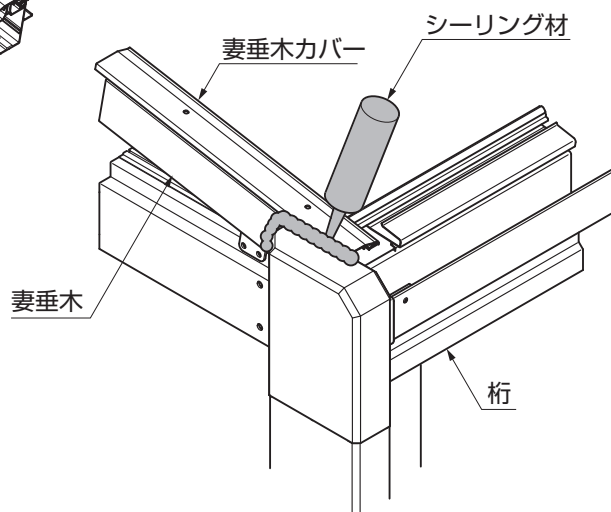


図1-4 桁・妻垂木部シーリング箇所

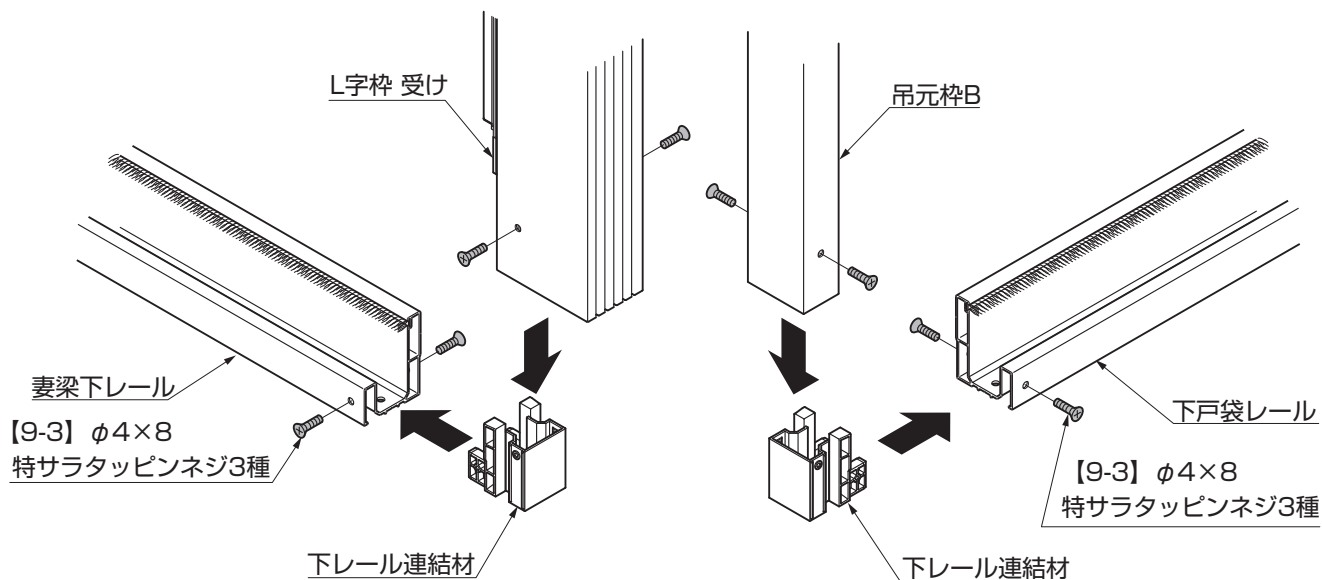
ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングし、ヘラで押さえてください。雨漏りの原因になります。
- シーリング処理を施す前に、表面の水分・ゴミ・油分が除去されているか確認をしてください。

<つづき>

1-2 各部材の取付け

(1) $\phi 4 \times 8$ 特サラタッピンネジ3種使用箇所



ポイント

- 本体、レール、パネル等の各部材の取付けにあたって、上記の部所には必ず指定のネジを使用してください。

(2) $\phi 4 \times 8$ トラスタッピンネジ3種D=8使用箇所

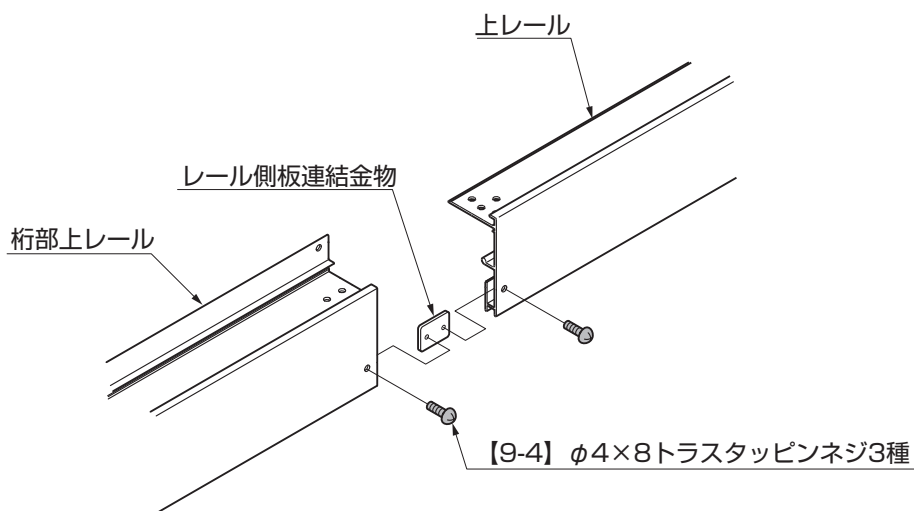
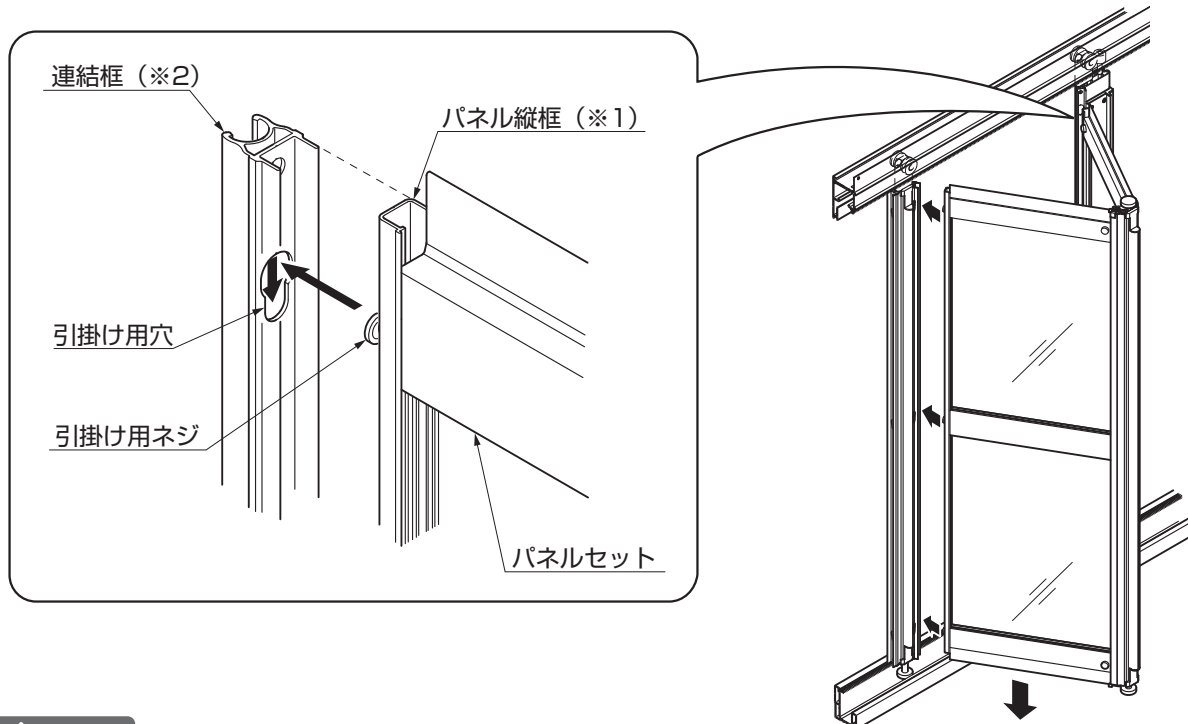


図 1-5 上レール連結部

ポイント

- 本体、レール、パネル等の各部材の取付けにあたって、上記の部所には必ず指定のネジを使用してください。

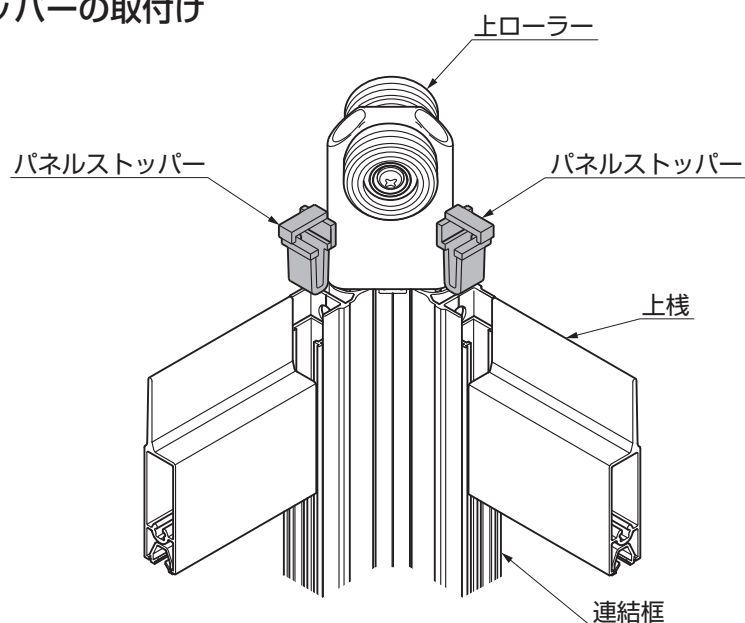
1-3 パネルの吊込み



⚠ 注意

- パネルセットの吊込み時は、パネル縦框上端 (※1) と連結框上端 (※2) を揃えてからパネルセットを引掛け穴に挿入し、下へスライドしてください。このとき、パネルの3ヶ所の引掛け用ネジの頭が引掛け穴に完全に引掛かっていることを確認してください。引掛かりが不完全な場合、パネルが脱落したり、破損し、事故につながるおそれがあります。

1-4 パネルストッパーの取付け

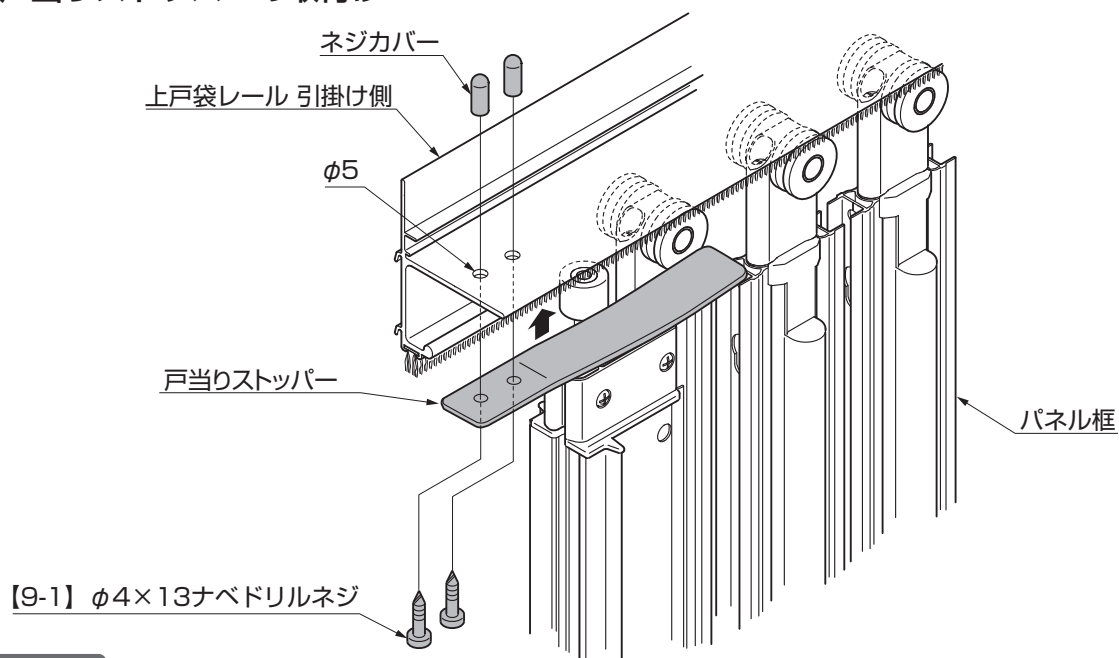


⚠ 注意

- すべてのパネルの吊込み完了後、連結框上部にパネルストッパーを取付けてください。取付けないと、開閉時や強風時にパネルが脱落し、事故につながるおそれがあります。

<つづき>

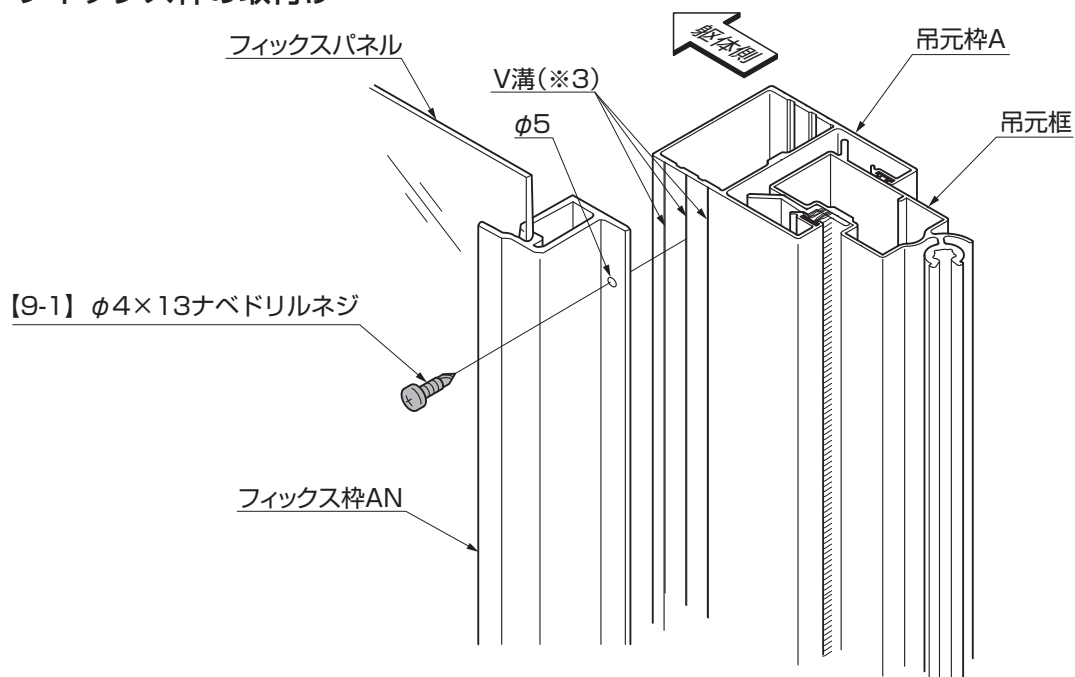
1-5 戸当りストッパーの取付け



ポイント

- すべてのパネル吊込み後、戸当りストッパーを必ず所定の位置に取付けてください。所定の位置に取付けないと、パネルを閉めるときに戸袋からパネルがスムーズに出なくなり、破損の原因になります。

1-6 フィックス枠の取付け



ポイント

- 吊元枠へのフィックス枠ANの固定は、吊元枠側面の3本のV溝（※3）内に納まる位置に固定してください。V溝より外れると、折戸パネルの開閉に不具合を生じるおそれがあります。
- 網戸を取付ける際は一番躯体側のV溝にフィックス枠ANを固定してください。

1-7 潤滑材の塗布

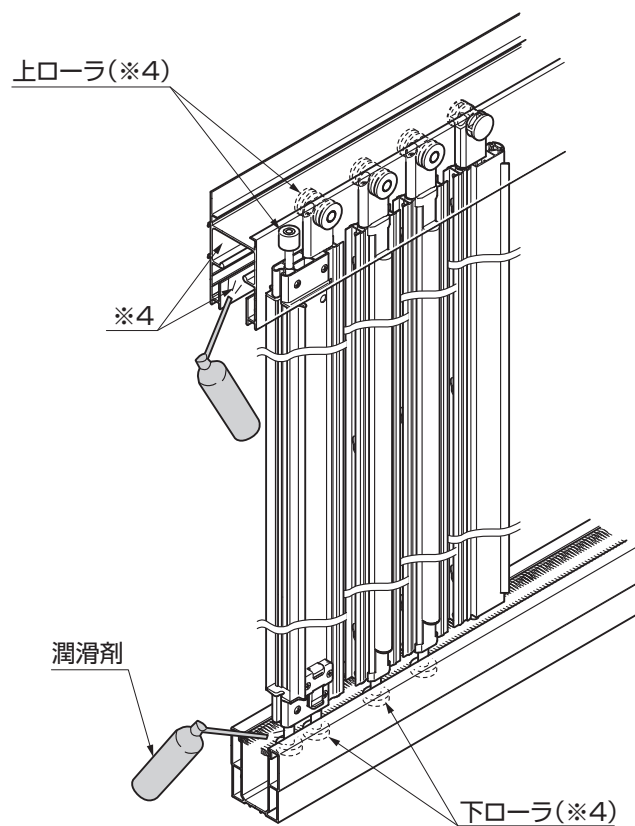


図1-6 ローラー部

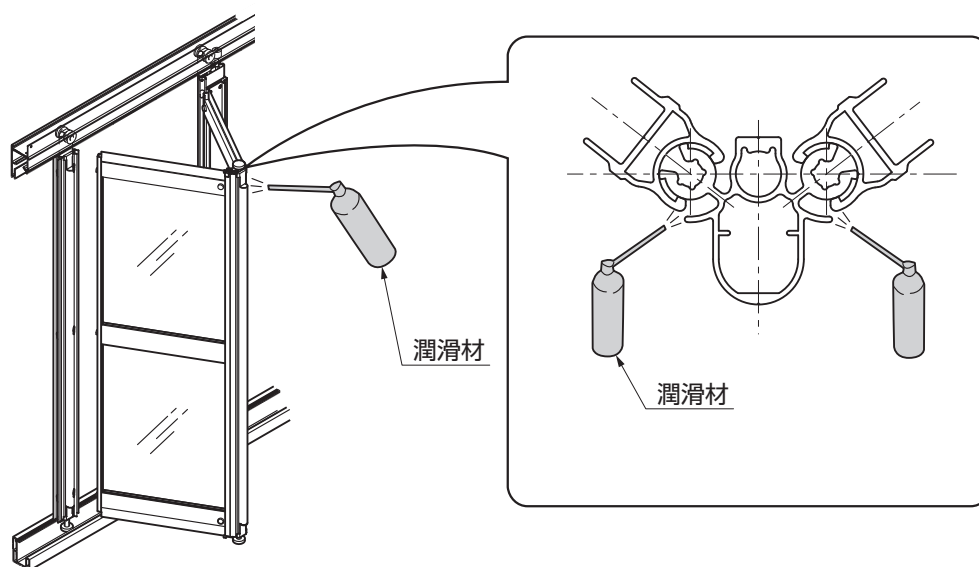


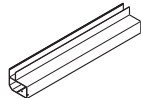
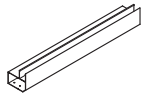
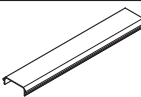
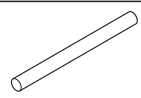
図1-7 パネル連結部

ポイント

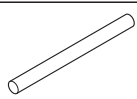
- 施工完了後、上下レール内と上下ローラー等(※4)やパネル連結部に、市販のスプレー式シリコン系潤滑剤を吹き付け、パネルがスムーズに開閉できることを確認してください。

■ 梱包明細表

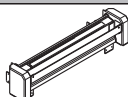
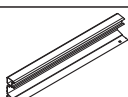
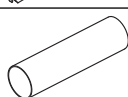
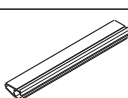
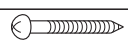
【1】 主柱セット

名 称	略 図	員 数
主柱 右		1
主柱 左		1
柱力バー		2
アンカー棒		2

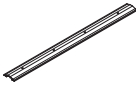
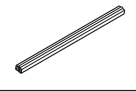
【2】 中間柱セット

名 称	略 図	員 数
中間柱		1
柱桁金具		1
アンカー棒		1
【2-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		9

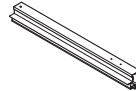
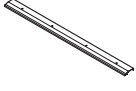
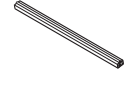
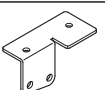
【3】 桁垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1
桁妻梁連結金具 右		1	1	1	1
桁妻梁連結金具 左		1	1	1	1
垂木掛け		1	1	1	1
丸樋		1	1	1	1
グレチャン		3	4	5	6
【3-1】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ		16	16	16	16
【3-2】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		32	32	32	32
【3-3】 $\phi 4 \times 14$ トラスタッピンネジ3種 D=8		13	13	13	13
【3-4】 $\phi 6 \times 70$ 六角コーチスクリュー		10	10	10	10
【3-5】 M6用平座金		10	10	10	10

【4】垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4 尺		6 尺	
		2本入	3本入	2本入	3本入
垂木		2	3	2	3
垂木カバー		2	3	2	3
中骨		2	3	4	6
【4-1】φ4×12トラスタッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)		20	29	28	41
【4-2】M4×12 (+) 六角ボルト		5	7	5	7
【4-3】M4用平座金		5	7	5	7
【4-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		10	14	14	20

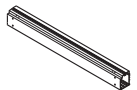
【5】妻垂木セット

名 称	略 図	員 数	
		4尺	6尺
妻垂木 右		1	1
妻垂木 左		1	1
妻垂木カバー		2	2
中骨		1	2
妻梁・妻垂木取付金具 右		1	1

【5】妻垂木セット(つづき)

名 称	略 図	員 数	
		4尺	6尺
妻梁・妻垂木取付金具 左		1	1
【5-1】φ4×13ナベドリルネジ		20	24
【5-2】φ4×12トラス タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)		20	28
【5-3】M4×12 (+) 六角ボルト		2	2
【5-4】M4用平座金		2	2
【5-5】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		2	4
【5-6】φ4×30ナベドリルネジ		4	4

【6】妻梁セット

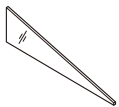
名 称	略 図	員 数
妻梁		2
上部方立 右		1
上部方立 左		1
妻垂木押え縁		2

【6】妻梁セット(つづき)

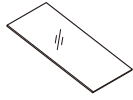
名 称	略 図	員 数
妻パネル方立枠		2
上部方立用グレチャン		2
妻梁上部フィックスパッキン		2

■梱包明細表(つづき)

【7】妻梁上部フィックスパネルセット

名 称	略 図	員 数
妻梁上部フィックスパネル		2

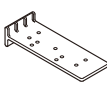
【8】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

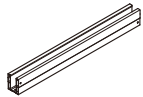
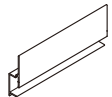
【9】部品箱

名 称	略 図	員 数	
		部品箱A	部品箱B
垂木掛けキャップ 右		1	1
垂木掛けキャップ 左		1	1
樋受けベース		2	2
樋受け本体		2	2
樋受けストッパー		2	2
エルボ		4	4
接着剤		1	1

【9】部品箱 (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		部品箱A	部品箱B
穴開け治具		2	—
補修用研磨紙		1	—
ネジカバー		21	21
【9-1】φ4×13ナベドリルネジ		84	65
【9-2】φ4×20サラタッピンネジ3種D=6		4	4
【9-3】φ4×8特サラタッピンネジ3種		31	31
【9-4】φ4×8トラスタッピンネジ3種D=8		6	6
【9-5】φ4×10トラスタッピンネジ3種D=8		16	16
【9-6】φ4×12トラスタッピンネジ3種D=8		5	5
【9-7】φ4.1×32丸木ネジ		—	20
【9-8】φ3.8×20ナベALC特殊ネジ		—	110
取付説明書—総合編—〈E168〉	—	1	1
取付説明書—デッキ編 樹5楽ステージ—〈E364〉	—	—	1
取扱説明書〈UE043〉	—	1	1

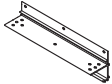
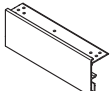
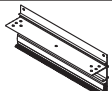
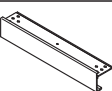
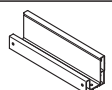
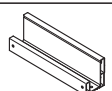
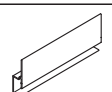
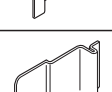
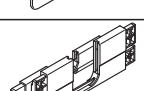
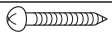
【10】桁レールセット

名 称	略 図	員 数	
		内収納	外収納
桁部上レール		1	1
桁部下レール		1	1
上棧カバー		—	3
連結框カバーA		—	2

【10】桁レールセット (つづき)

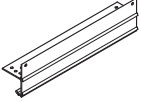
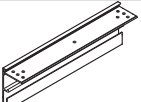
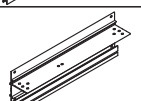
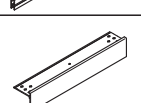
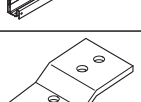
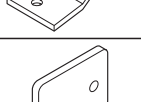
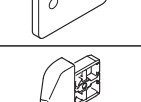
名 称	略 図	員 数	
		内収納	外収納
連結框カバーB		—	2
ロック框カバーA		—	1
ロック框カバーB		—	1
【10-1】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6		—	9

【11】 妻梁レールセット

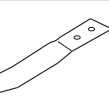
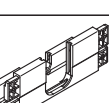
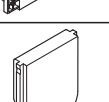
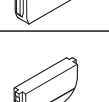
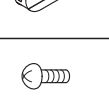
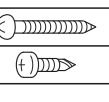
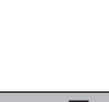
名 称	略 図	員 数			
		4 尺		6 尺	
		内収納	外収納	内収納	外収納
妻梁上レールA 引掛け側		—	1	—	1
妻梁上レールA カバー側		—	1	—	1
妻梁上レールB 引掛け側		1	—	1	—
妻梁上レールB カバー側		1	—	1	—
妻梁下レール 前側		1	1	1	1
妻梁下レール 壁側		1	1	1	1
上棧カバー		—	2	—	4
連結框カバーA		—	1	—	2
連結框カバーB		—	1	—	2
ロック框カバーA		—	1	—	2
ロック框カバーB		—	1	—	2
掃出し部連結部材		1	1	1	1
掃出し部キャップ 大		1	1	1	1
掃出し部キャップ 小		1	1	1	1
φ5用プッシュボタン		2	2	2	2
【11-1】 φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6		—	7	—	13
【11-2】 φ4×8トラスタッピンネジ3種		6	6	6	6
【11-3】 φ4.1×32丸木ネジ		2	2	2	2
【11-4】 φ4×13ナベドリルネジ		2	2	2	2

■梱包明細表（つづき）

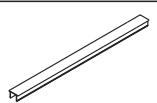
【12】戸袋レールセット

名 称	略 図	員 数	
		内収納	外収納
上戸袋レールA 引掛け側		—	1
上戸袋レールA カバー側		—	1
上戸袋レールB 引掛け側		1	—
上戸袋レールB カバー側		1	—
下戸袋レール		1	1
上レール天板連結金物B		1	1
レール側板連結金物		1	1
パネルガイドA		1	1

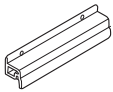
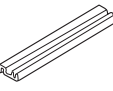
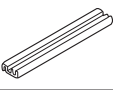
【12】戸袋レールセット（つづき）

名 称	略 図	員 数	
		内収納	外収納
φ5用プッシュボタン		17	17
戸当りストッパー		3	3
ストッパーガイド		3	3
掃出し部品連結材		1	1
掃出し部キャップ 大		1	1
掃出し部キャップ 小		1	1
【12-1】φ4×8トラス タッピンネジ3種		6	6
【12-2】φ4.1×32丸木ネジ		2	2
【12-3】φ4×13ナベドリルネジ		2	2

【13】方立セット

名 称	略 図	員 数
方立		2
方立フタ		2

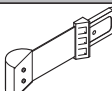
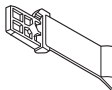
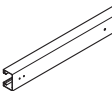
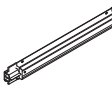
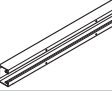
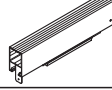
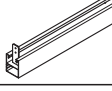
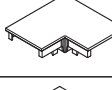
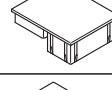
【14】フィックス枠セット

名 称	略 図	員 数
フィックス枠AN		2
フィックス枠B 縦		2
フィックス枠B 横		4

【15】フィックスパネルセット

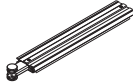
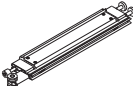
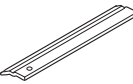
名 称	略 図	員 数
フィックスパネル		2

【16】戸当り吊元枠セット

名 称	略 図	員 数	
		左外／右内	左内／右外
スムーサー 左外・右内収納		1	—
スムーサー 左内・右外収納		—	1
吊元枠B		1	1
戸当り枠		1	1
戸当り枠 受け		1	1
L字枠 受け		2	2
吊元枠A		2	2
下レール連結材		6	6
L字枠上キャップ		2	2
吊元枠上キャップ		2	2
L字吊元枠後付固定金具		2	2
【16-1】 M4×8 (＋) トラス小ネジ D=8		2	2
【16-2】 M4用六角ナット		2	2

■梱包明細表（つづき）

【17】戸当り吊元框セット

名 称	略 図	員 数	
		左外／右内	左内／右外
吊元框		1	1
戸当り框		1	1
吊元ストッパー		1	1

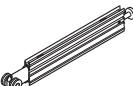
【18】パネルセット

名 称	略 図	員 数
パネル		1
パネルストッパー		2
パネル下キャップ		2
パネル挿入注意書き	—	1

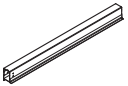
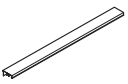
【19】ロックパネルセット

名 称	略 図	員 数
ロックパネル		1
パネルストッパー		2
パネル下キャップ		2
パネル挿入注意書き	—	1

【20】連結框セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	4本入
連結框		1	4

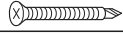
【21】ベース材セット 縦

名 称	略 図	員 数
ベース材 縦 右		1
ベース材 縦 左		1
レールベース		2
ベース用パッキン		2
ベース材組付金具A		2

【22】 ベース材セット 前

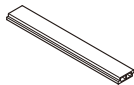
名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース材 前		1	1	1	1
束柱		3	3	3	4
ベース材組付金具B		2	2	2	2
束柱組付金具		1	1	1	2
ベース用クッション材		1	1	1	2
【22-1】 $\phi 4 \times 55$ サラドリルネジ		45	59	75	89
【22-2】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ 生地		22	22	22	26
【22-3】 $\phi 4 \times 12$ トラストッピンネジ3種D=8		18	18	18	18
【22-4】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		5	5	5	5

【23】 ベース材セット 横

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース材 横		1	1	1	1
束柱		1	1	1	2
ベース材組付金具B		2	2	2	2
束柱組付金具		1	1	1	2
ベース用クッション材		1	1	1	2
【23-1】 $\phi 4 \times 55$ サラドリルネジ		45	59	75	89
【23-2】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		14	14	14	18

■梱包明細表（つづき）

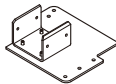
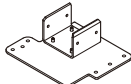
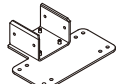
【24】内面デッキセット

名 称	略 図	員 数
内面デッキ		2

【25】内面デッキセット端部用

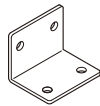
名 称	略 図	員 数
内面デッキ		2

【26】柱固定ベースセット

名 称	略 図	員 数	
		主 柱	中間柱
柱ベースプレート 右		1	—
柱ベースプレート 左		1	—
中間柱ベースプレート		—	1
【26-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		8	4
【26-2】φ4.1×32丸木ネジ		14	10
【26-3】樹脂プラグ		14	10
【26-4】φ4×70トラスタッピンネジ1種 ※		14	10

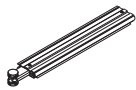
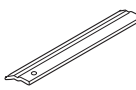
※φ4×70トラスタッピンネジ1種はフラットデッキ仕様（デッキ上に柱を立てる場合）に使用します。

【27】束柱固定アングルセット

名 称	略 図	員 数
束柱固定アングル		1
【27-1】φ4×16ナベドリルネジ		3
【27-2】φ4.1×32丸木ネジ		3
【27-3】樹脂プラグ		3

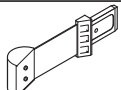
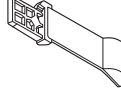
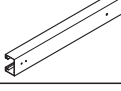
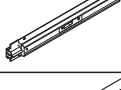
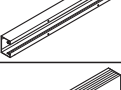
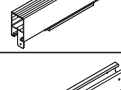
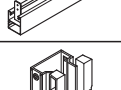
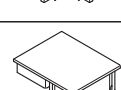
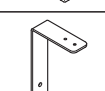
【28】戸当り吊元框セット 錠付

オプション

名 称	略 図	員 数	
		左外／右内	左内／右外
吊元框		1	1
戸当り框 錠付		1	1
吊元ストッパー		1	1

【29】戸当り吊元枠セット 錠付

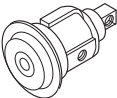
オプション

名 称	略 図	員 数	
		左外／右内	左内／右外
スムーサー 左外・右内収納		1	—
スムーサー 左内・右外収納		—	1
吊元枠B		1	1
戸当り枠 錠仕様		1	1
戸当り枠 受け		1	1
L字枠 受け 錠仕様		2	2
吊元枠A		2	2
下レール連結材		6	6
L字枠上キャップ		2	2
吊元枠上キャップ		2	2
L字吊元枠後付固定金具		2	2
【29-1】 M4×8 (+) トラス小ネジ D=8		2	2
【29-2】 M4用六角ナット		2	2

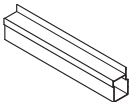
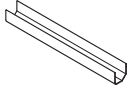
■梱包明細表（つづき）

【30】錠セット

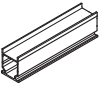
オプション

名 称	略 図	員 数
シリンダーユニット		3
サムターン座		3
サムターンツマミ		3
小鍵		3
【30-1】 M3×10サラ小ネジ		6
【30-2】 M3×10ナベ小ネジ		3
【30-3】 M4×16サラ小ネジ		3

【31】連棟用部品セット 桁用

名 称	略 図	員 数
桁連結用スリーブA		1
桁連結用スリーブB		1
【31-1】 φ4×13ナベドリルネジ 生地		5
【31-2】 φ4×13ナベドリルネジ ブロンズ		5
【31-3】 φ4×13ナベドリルネジ 白		5
【31-4】 φ4×16サラドリルネジ 生地		17
【31-5】 φ4×16サラドリルネジ ブロンズ		17
【31-6】 φ4×16サラドリルネジ 白		17

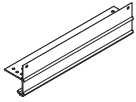
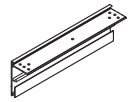
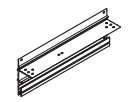
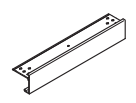
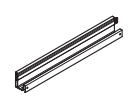
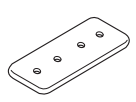
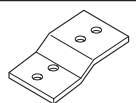
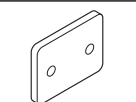
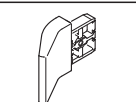
【32】連棟用部品セット ベース材用

名 称	略 図	員 数
ベース材連棟スリーブ		1
【32-1】 φ4×13ナベドリルネジ 生地		9
【32-2】 φ4×13ナベドリルネジ ブロンズ		9
【32-3】 φ4×13ナベドリルネジ 白		9

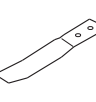
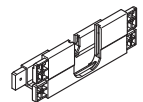
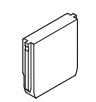
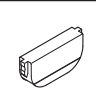
【33】束柱セット

名 称	略 図	員 数
束柱		1
束柱組付金具		1
【33-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4

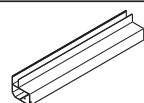
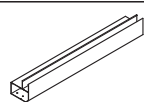
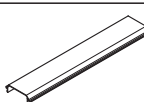
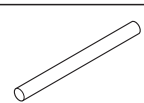
【34】戸袋レールセット 連棟用

名 称	略 図	員 数	
		内収納	外収納
上戸袋レールA 引掛け側 連棟用		—	1
上戸袋レールA カバー側 連棟用		—	1
上戸袋レールB 引掛け側 連棟用		1	—
上戸袋レールB カバー側 連棟用		1	—
下戸袋レール 連棟用		1	1
上レール天板連結金物A		1	1
上レール天板連結金物B		1	1
レール側板連結金物		5	5
パネルガイドA		1	1

【34】戸袋レールセット 連棟用（つづき）

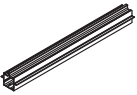
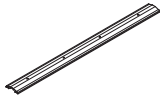
名 称	略 図	員 数	
		内収納	外収納
φ5用プッシュボタン		18	18
戸当りストッパー		3	3
ストッパーガイド		3	3
ネジカバー		4	4
掃出し部品レール連結		1	1
掃出し部キャップ 大		1	1
掃出し部キャップ 小		1	1
【34-1】φ4×8トラスタッピンネジ3種		14	14
【34-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		4	4
【34-3】φ4×13ナベドリルネジ		10	10
【34-4】φ4.1×32丸木ネジ		7	7

【35】積雪用主柱セット

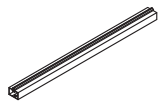
名 称	略 図	員 数
積雪用主柱 右		1
積雪用主柱 左		1
柱カバー		2
アンカー棒		2

■梱包明細表（つづき）

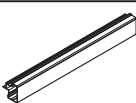
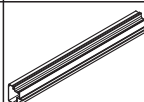
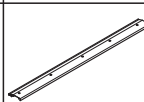
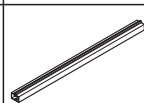
【36】 積雪用垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺		6尺	
		2本入	3本入	2本入	3本入
垂木		2	3	2	3
垂木カバー		2	3	2	3
中骨		2	3	4	6
【36-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		10	14	14	20
【36-2】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)		20	29	28	41
【36-3】 M4×12 (+) 六角ボルト		5	7	5	7
【36-4】 M4平座金		5	7	5	7

【37】 積雪用サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数	
		4尺	6尺
サブ垂木		1	1
中骨		1	2
【37-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		7	7
【37-2】 M4×12 (+) 六角ボルト		2	2
【37-3】 M4平座金		2	2

【38】 積雪用妻垂木セット

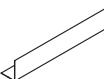
名 称	略 図	員 数	
		4尺	6尺
妻垂木 右		1	1
妻垂木 左		1	1
妻垂木カバー		2	2
中骨		1	2
妻梁・妻垂木取付金具 右		1	1

【38】 積雪用妻垂木セット（つづき）

名 称	略 図	員 数	
		4尺	6尺
妻梁・妻垂木取付金具 左		1	1
【38-1】 φ4×12 トラス タッピンネジ3種 D=8		2	4
【38-2】 φ4×13 ナベドリルネジ		20	24
【38-3】 φ4×12トラス タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)		20	28
【38-4】 M4×12 (+) 六角ボルト		2	2
【38-5】 M4平座金		2	2
【38-6】 φ4×30ナベドリルネジ		4	4

【39】 ハイフロアスパーサー用ベース材 前セット

オプション

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース材 前		1	1	1	1
束柱		3	3	3	4
ベース材組付金具B		2	2	2	2
束柱組付金具		1	1	1	2
ベース用クッション材		1	1	1	2
ハイフロア用Lアングル		2	2	2	2
【39-1】φ4×13 ナベドリルネジ 生地		22	22	22	26
【39-2】φ4×12トラス タッピンネジ3種D=8		18	18	18	18
【39-3】φ4×8サラ タッピンネジ3種D=6		4	4	4	4
【39-4】φ4×13 ナベドリルネジ		5	5	5	5

【40】 ハイフロアスパーサー用ベース材 横セット

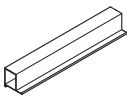
オプション

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース材 横		1	1	1	2
束柱		1	1	1	2
ベース材組付金具B		2	2	2	2
束柱組付金具		1	1	1	2
ベース用クッション材		1	1	1	2
【40-1】φ4×13 ナベドリルネジ		14	14	14	18

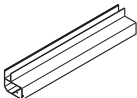
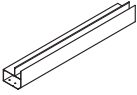
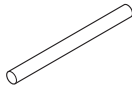
■梱包明細表（つづき）

【41】 ハイフロアスペーサーセット

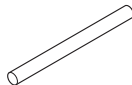
オプション

名 称	略 図	員 数							
		4尺				6尺			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ハイフロアスペーサー		3	3	3	3	4	4	4	4
【41-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		9	9	9	9	12	12	12	12
【41-2】 $\phi 4 \times 55$ サラダドリルネジ		135	177	225	267	180	236	300	356

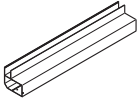
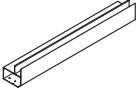
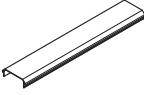
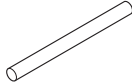
【42】 テラス用主柱セット

名 称	略 図	員 数
テラス用主柱 右		1
テラス用主柱 左		1
柱カバー		2
アンカー棒		2

【43】 テラス用中間柱セット

名 称	略 図	員 数
ロング中間柱		1
柱桁金具		1
アンカー棒		1
【43-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		9

【44】 テラス用積雪主柱セット

名 称	略 図	員 数
テラス用積雪主柱 右		1
テラス用積雪主柱 左		1
柱カバー		2
アンカー棒		2

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

INDEX

1	施工時の重要確認事項	26
2	基本寸法と各部名称	27
1.	インナーデッキ仕様基本寸法	27
2.	土間・デッキ仕様基本寸法	35
3.	各部名称	43
4.	断面納まり図	46
3	柱の位置出し	54
1.	インナーデッキ仕様柱の位置出し	54
2.	土間・デッキ仕様柱の位置出し	56
4	テラス部本体の施工	57
1.	水盛遣方・水系張り	57
2.	方立・上部方立・垂木掛けの取付け	58
3.	柱・束柱の建込み	59
4.	ベース材の取付け	65
5.	妻梁・桁の取付け	67
6.	垂木・妻垂木および中骨の取付け	69
7.	樋受け部品の取付け	72
8.	妻梁上部フィックスパネルの取付け	73
9.	屋根材の取付け	75
5	床面の工事 (1)	78
1.	内面デッキの施工準備	78
6	レールの取付け	80
1.	前面上下レールの施工	80
2.	妻梁側側面上下レールの施工	92
3.	戸当り枠・上キャップの取付け	98
4.	水抜き穴の加工	98
7	床面の工事 (2)	100
1.	内面デッキの張付け	100
2.	内面デッキ施工後の仕上げ	102
8	パネルの施工	103
1.	錠の取付け オプション	103
2.	パネルの吊込み	104
3.	パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け	105
4.	吊元ストッパーの取付け	105
5.	戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け	106
6.	上棧カバーおよび框カバーの取付け	107
7.	フィックス枠およびフィックスパネルの加工	108
8.	フィックス枠およびフィックスパネルの取付け	109
9.	ハイフロア用Lアングルの取付け	110
10.	パネルの調整	110

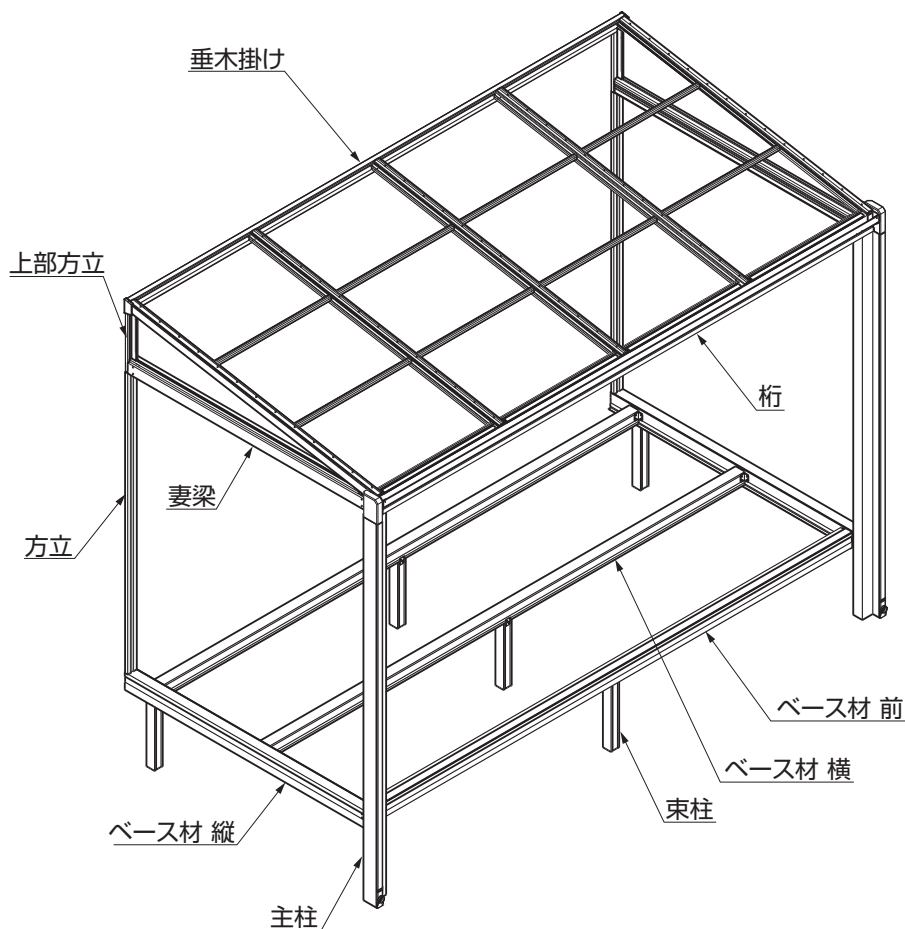
9	連棟の施工	111
1.	インナーデッキ仕様基本寸法	111
2.	土間・デッキ仕様基本寸法	113
3.	インナーデッキ仕様柱の位置出し	115
4.	土間・デッキ仕様柱の位置出し	116
5.	垂木掛けの加工	116
6.	桁の加工	117
7.	桁の連結	120
8.	ベース材の加工	121
9.	レールの加工	122
10.	ベース材の連結	123
11.	桁レールの連結	124
10	積雪仕様の施工	125
1.	各部の名称	125
2.	垂木掛けの加工	125
3.	桁の加工	126
4.	妻梁・妻垂木取付金具の取付け	126
5.	垂木・妻垂木・サブ垂木の取付け	127
6.	中骨の取付	128

1 施工時の重要確認事項

※図はインナーデッキ仕様です。

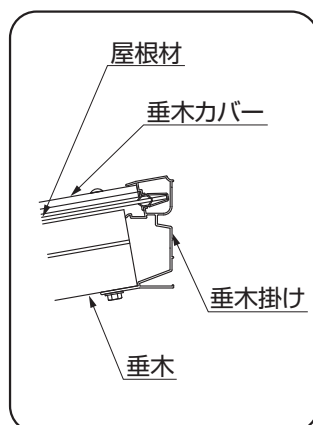
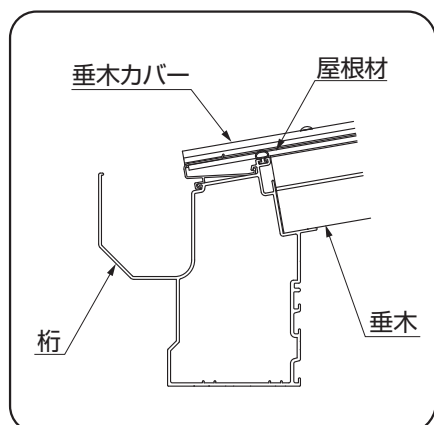
1

施工時の
重要確認事項



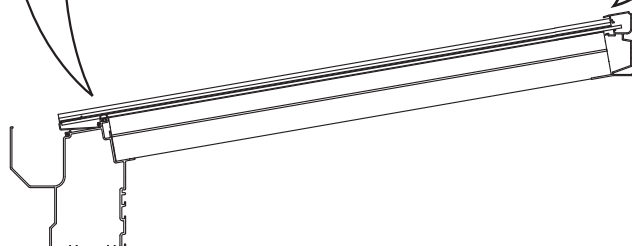
ポイント

- 垂木掛け、上部方立、方立、妻梁、桟、主柱、ベース材 横、ベース材 前、ベース材 縦、束柱の「水平」「垂直」に注意して施工してください。折戸パネルの開閉やオプション類の取付けに支障がでる場合があります。



ポイント

- 屋根材が確実に納まるように施工してください。雨漏りするおそれがあります。



2 基本寸法と各部名称

※柱の位置は「3 柱の位置出し」1. インナーデッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

※連棟の場合は「9 連棟の施工 1.インナーデッキ仕様基本寸法」を参照してください。

1. インナーデッキ仕様基本寸法

1-1 4尺 1.5間 立面図

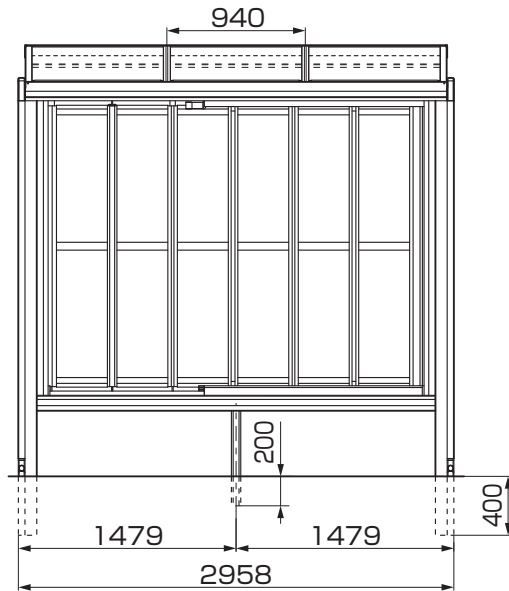


图1-1 正面图

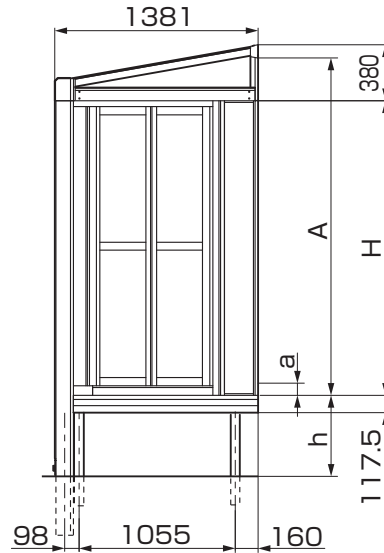
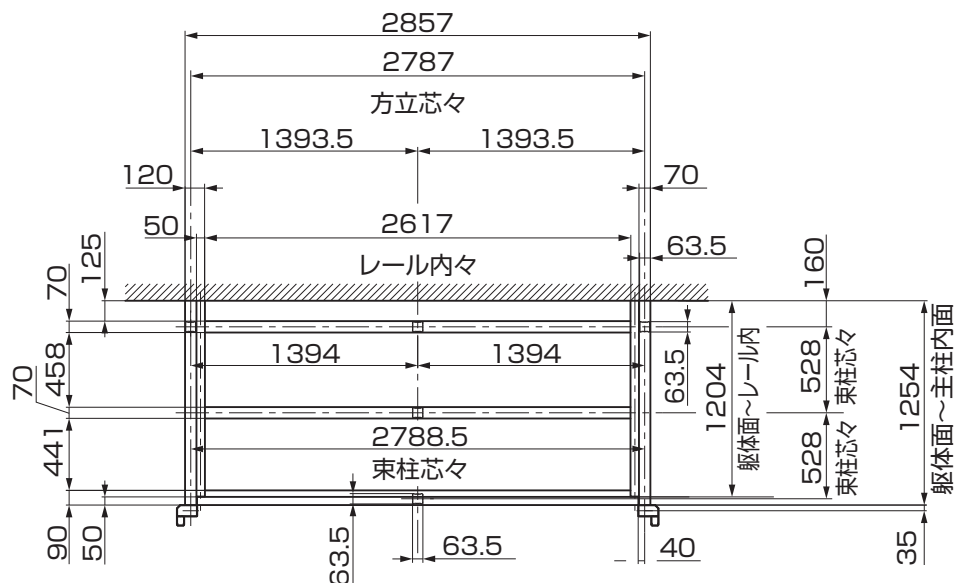


図1-2 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2309.5	h+27
2100	2409.5	
2300	2609.5	
2400	2709.5	

※hは最大550mmです。

1-2 4尺 1.5間 平面図



1. (つづき)

1-3 4尺 2.0間 立面図

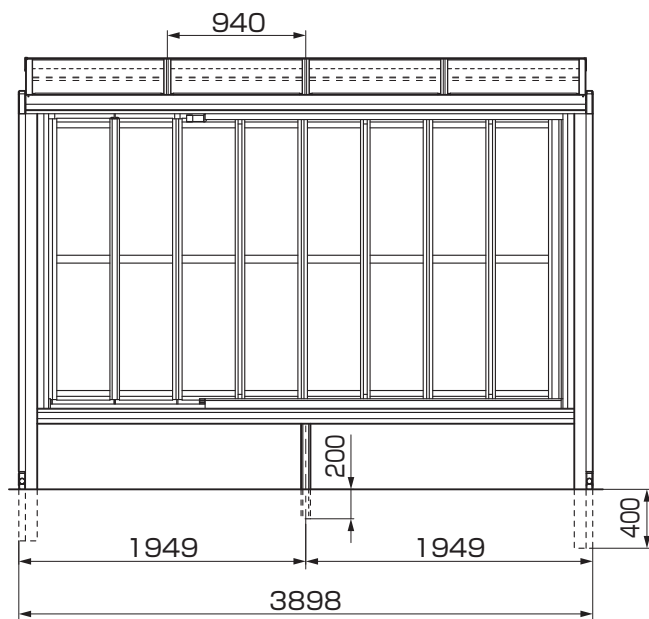


図1-3 正面図

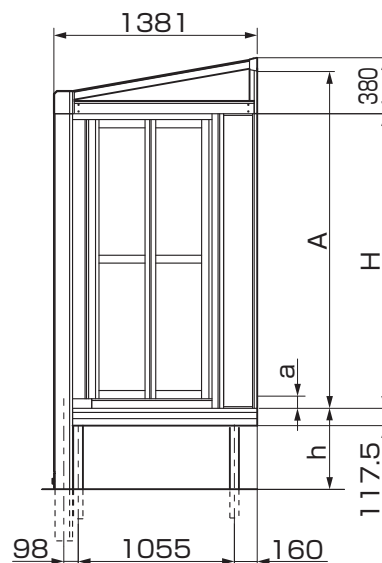
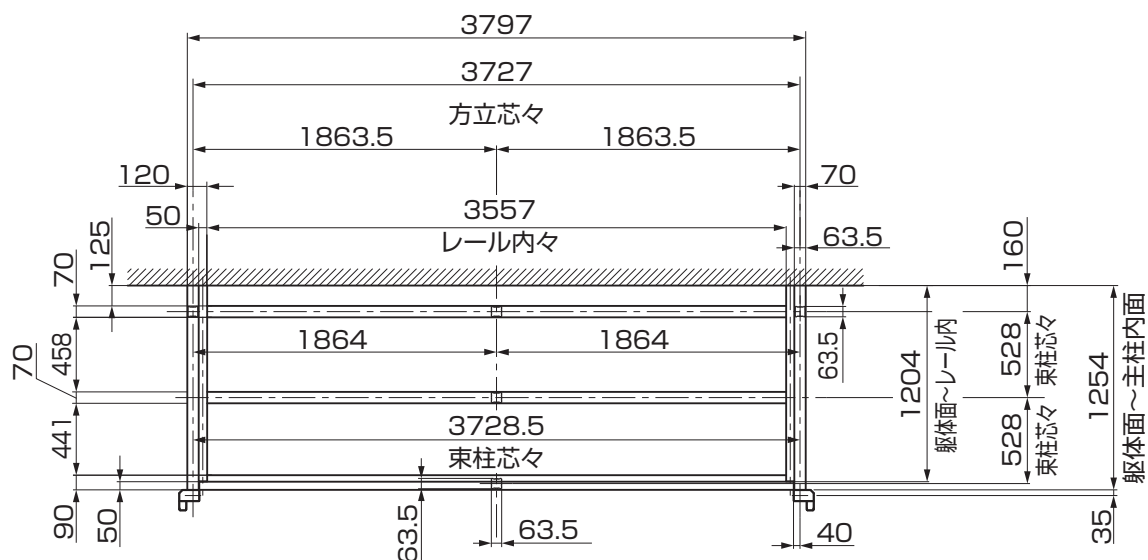


図1-4 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2309.5	h+27
2100	2409.5	
2300	2609.5	
2400	2709.5	

※hは最大550mmです。

1-4 4尺 2.0間 平面図



1-5 4尺 2.5間 立面図

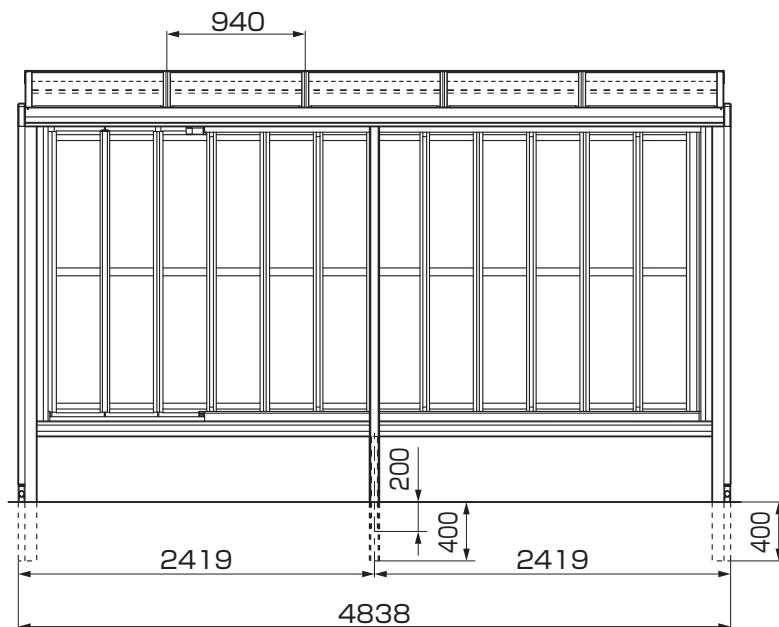


図1-5 正面図

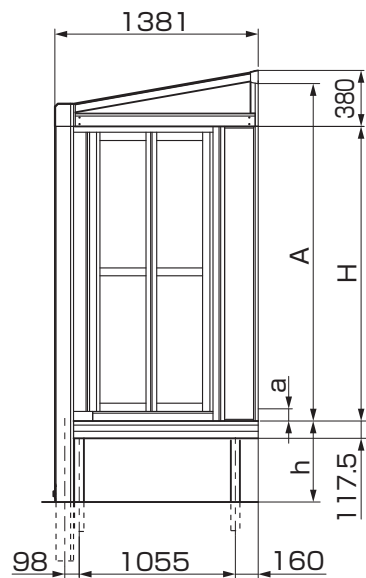
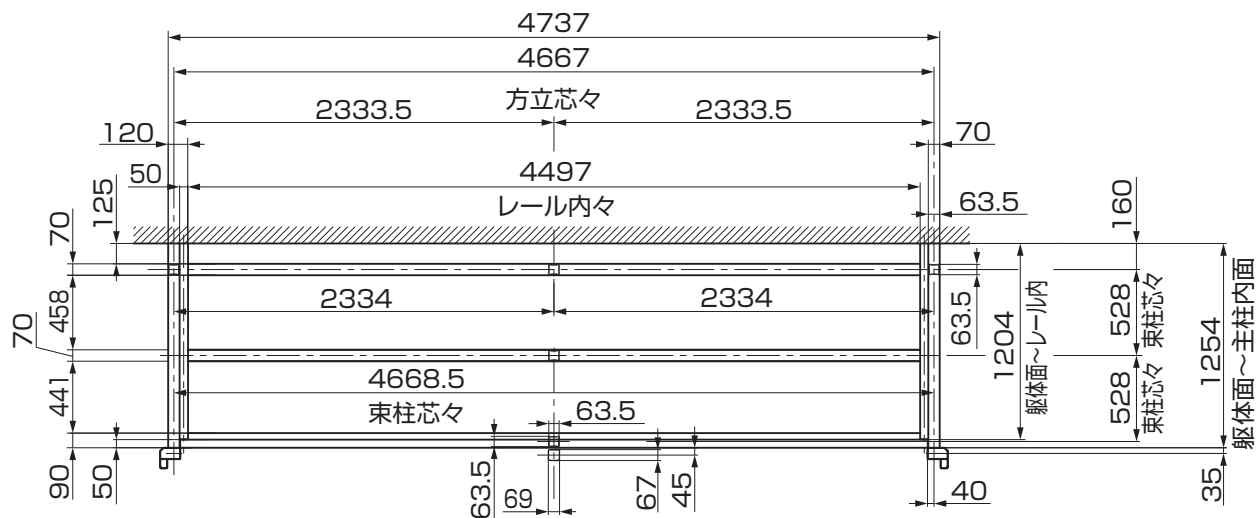


図1-6 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2309.5	h+27
2100	2409.5	
2300	2609.5	
2400	2709.5	

※hは最大550mmです。

1-6 4尺 2.5間 平面図



1. (つづき)

1-7 4尺 3.0間 立面図

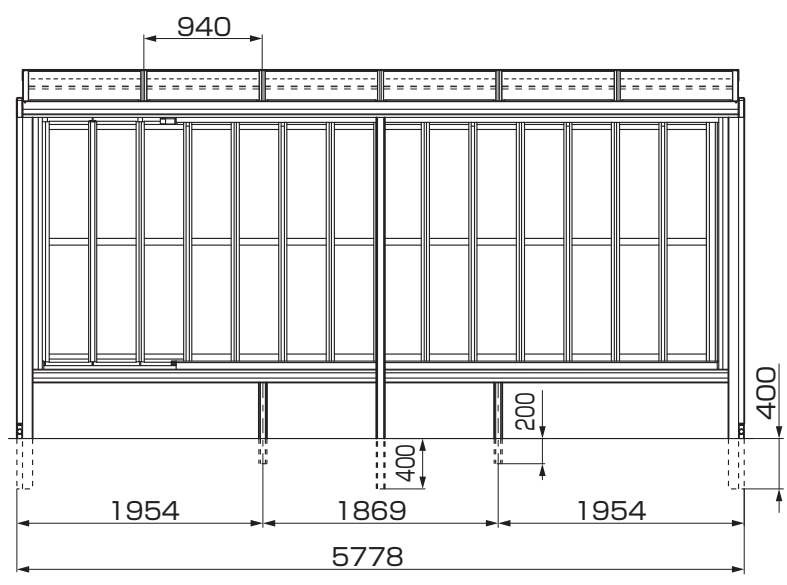


図1-7 正面図

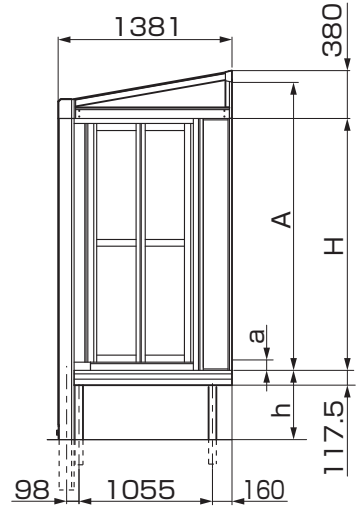
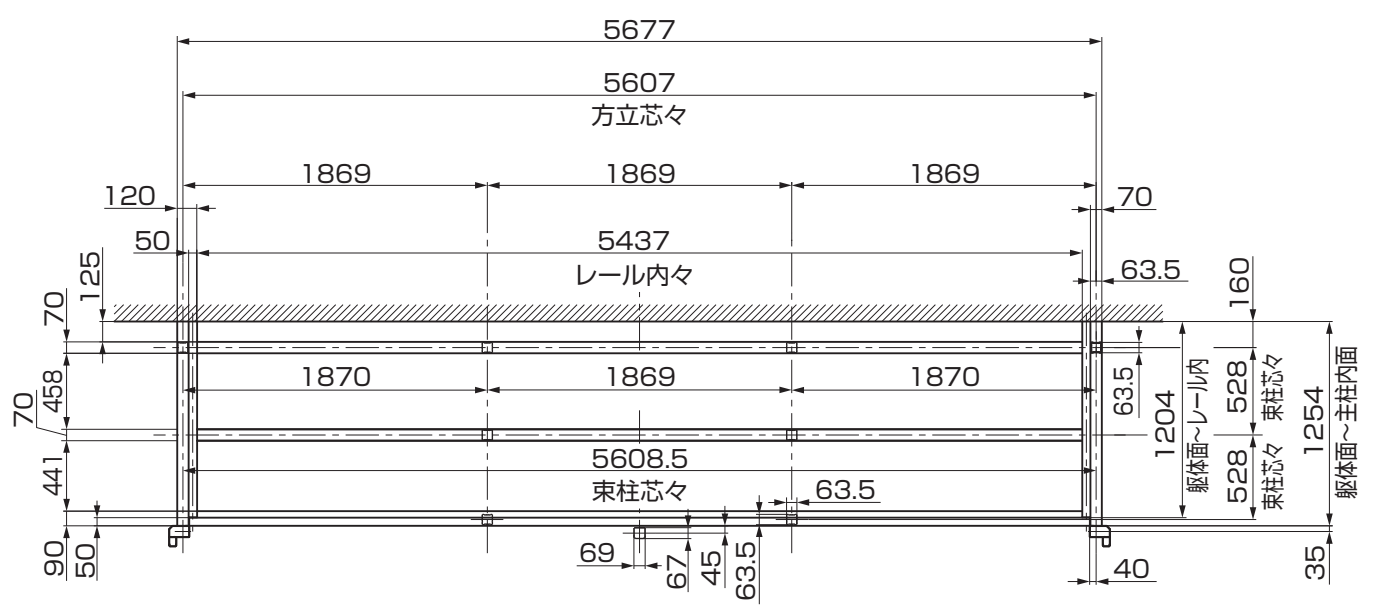


図1-8 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2309.5	h+27
2100	2409.5	
2300	2609.5	
2400	2709.5	

※hは最大550mmです。

1-8 4尺 3.0間 平面図



1-9 6尺 1.5間 立面図

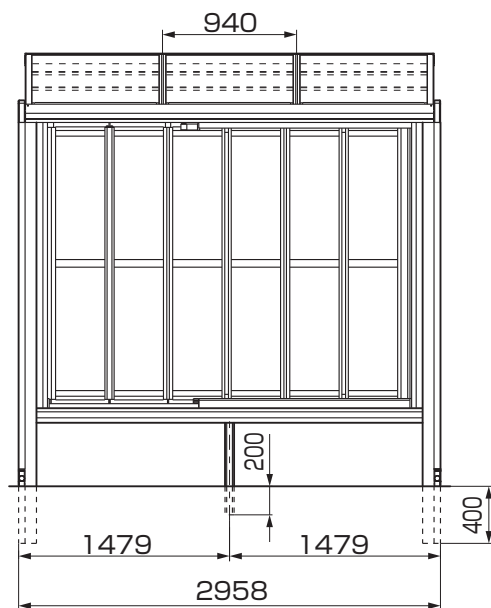


図1-9 正面図

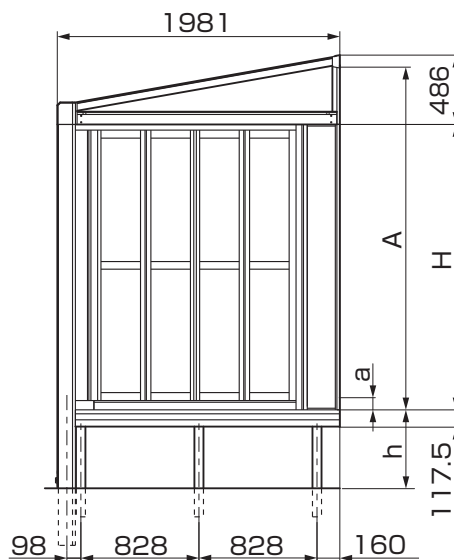
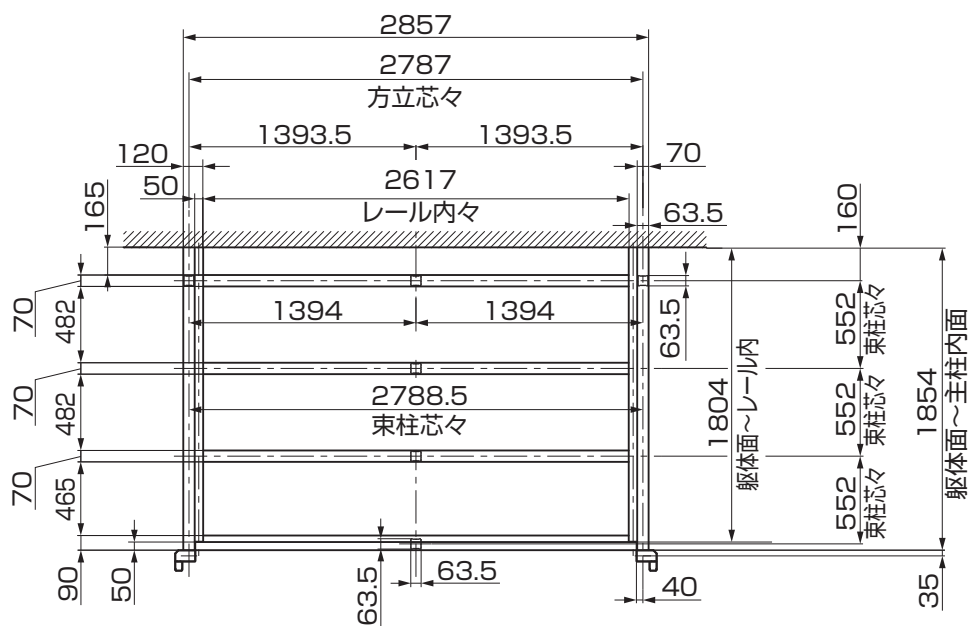


図1-10 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2415.5	h+27
2100	2515.5	
2300	2715.5	
2400	2815.5	

※hは最大550mmです。

1-10 6尺 1.5間 平面図



1. (つづき)

1-11 6尺 2.0間 立面図

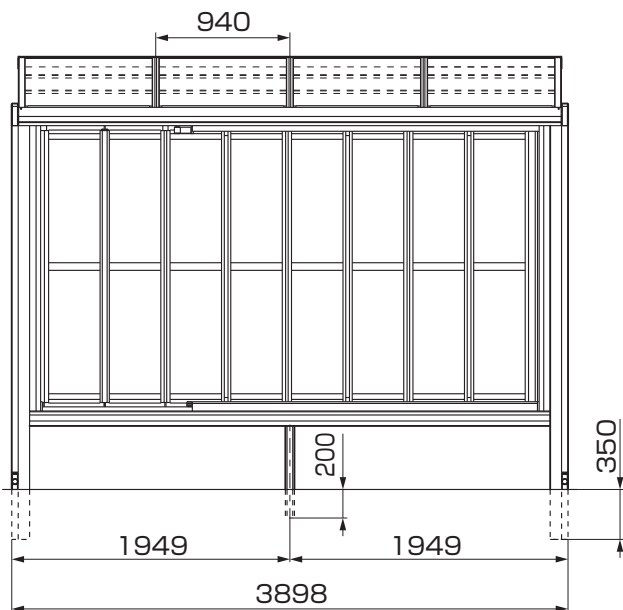


図1-11 正面図

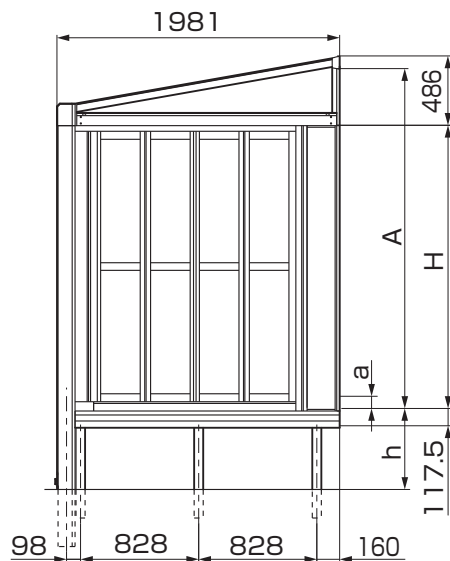
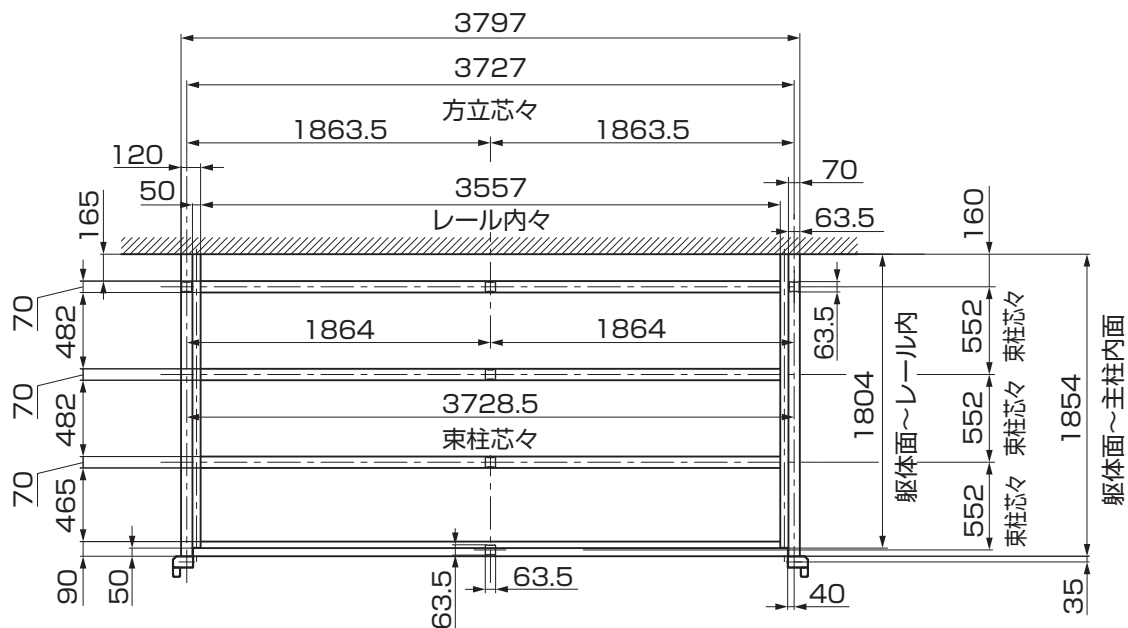


図1-12 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2415.5	h+27
2100	2515.5	
2300	2715.5	
2400	2815.5	

※hは最大550mmです。

1-12 6尺 2.0間 平面図



1-13 6尺 2.5間 立面図

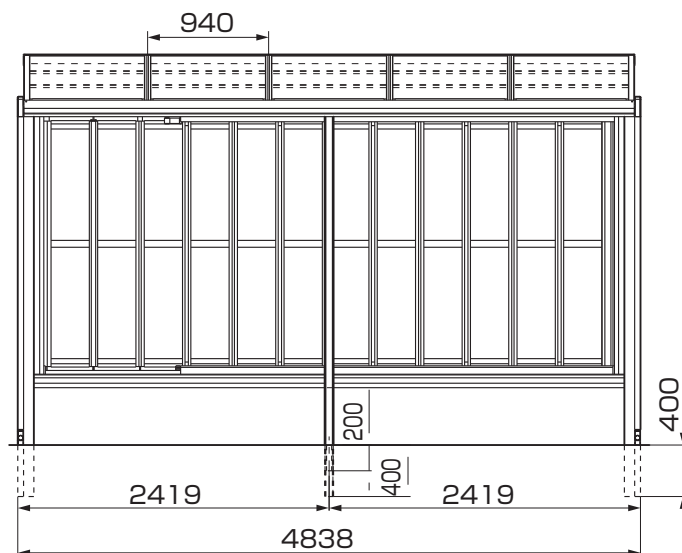


図1-13 正面図

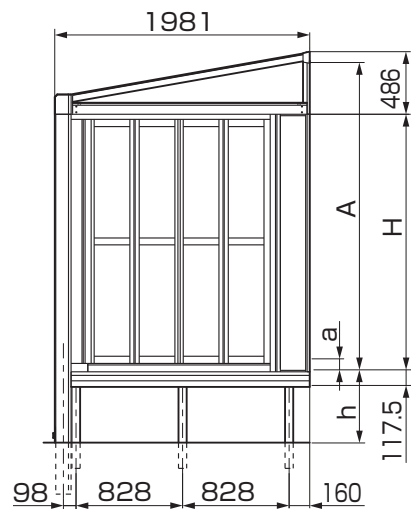
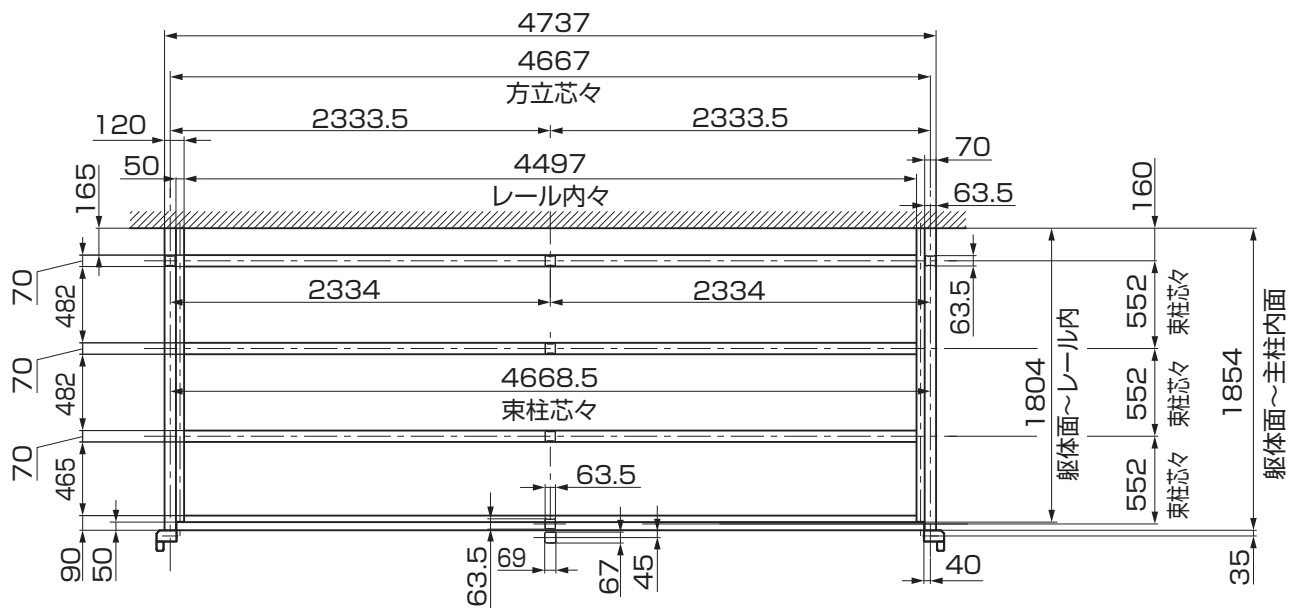


図1-14 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2415.5	h+27
2100	2515.5	
2300	2715.5	
2400	2815.5	

※hは最大550mmです。

1-14 6尺 2.5間 平面図



1. (つづき)

1-15 6尺 3.0間 立面図

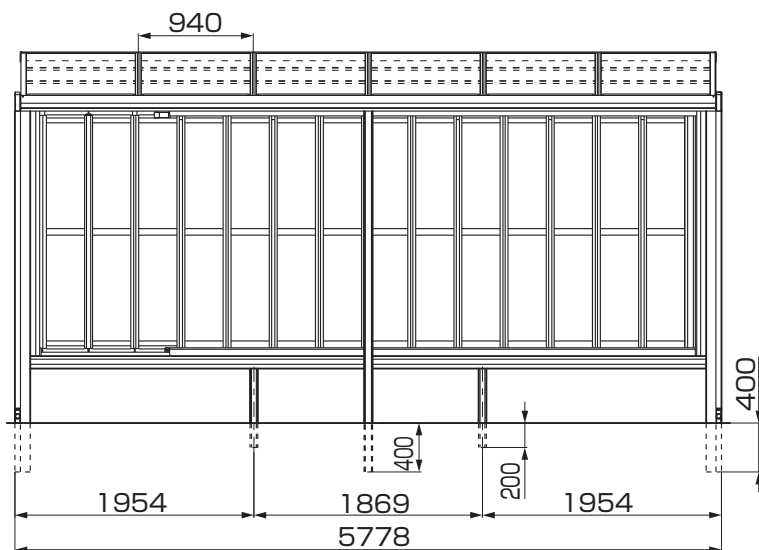


図1-15 正面図

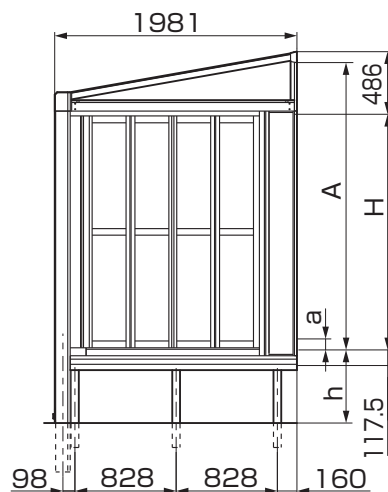
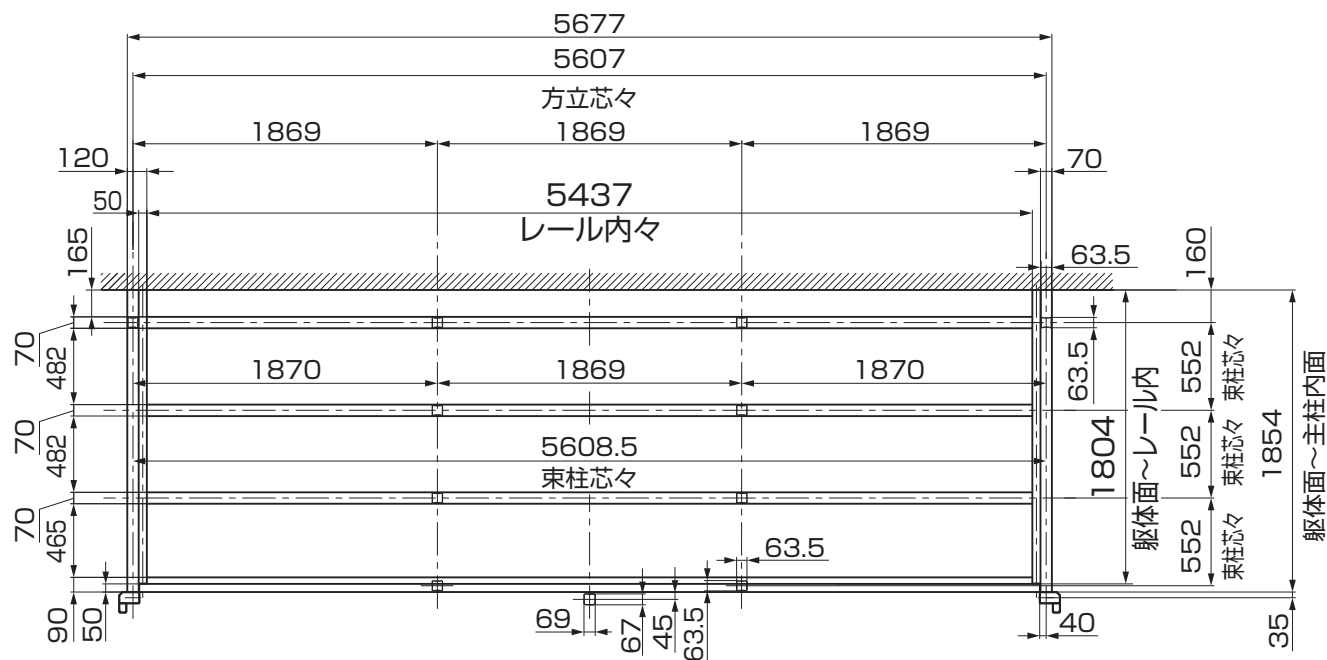


図1-16 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2415.5	h+27
2100	2515.5	
2300	2715.5	
2400	2815.5	

※hは最大550mmです。

1-16 6尺 3.0間 平面図



※柱の位置は「3 柱の位置出し 2. 土間・デッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

※連棟の場合は「9 連棟の施工 2.土間・デッキ仕様基本寸法」を参照してください。

2. 土間・デッキ仕様基本寸法

2-1 4尺 1.5間 立面図

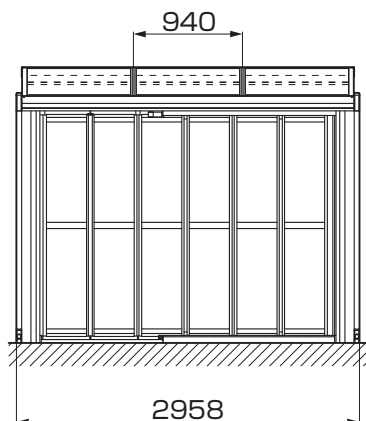


図2-1 正面図

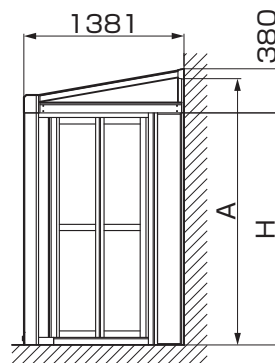
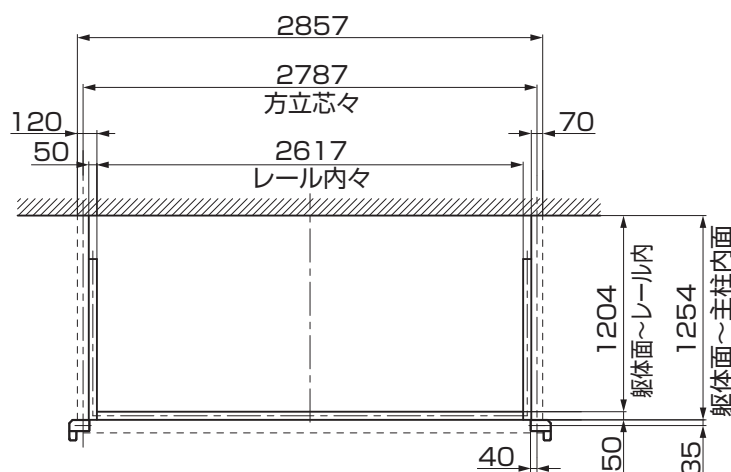


図2-2 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2309.5
2100	2409.5
2300	2609.5
2400	2709.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3409.5

2-2 4尺 1.5間 平面図



2. (つづき)

2-3 4尺 2.0間 立面図

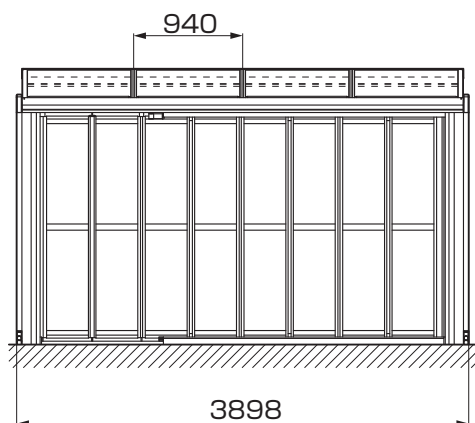


図2-3 正面図

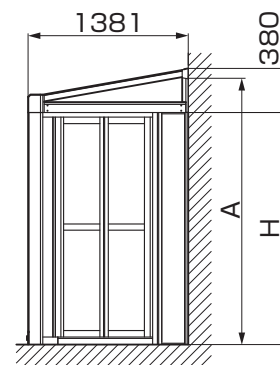
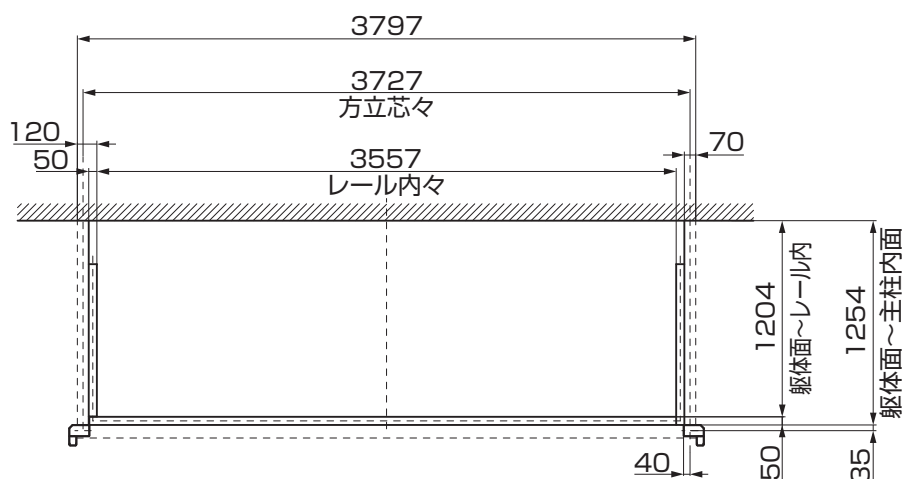


図2-4 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2309.5
2100	2409.5
2300	2609.5
2400	2709.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3409.5

2-4 4尺 2.0間 平面図



2-5 4尺 2.5間 立面図

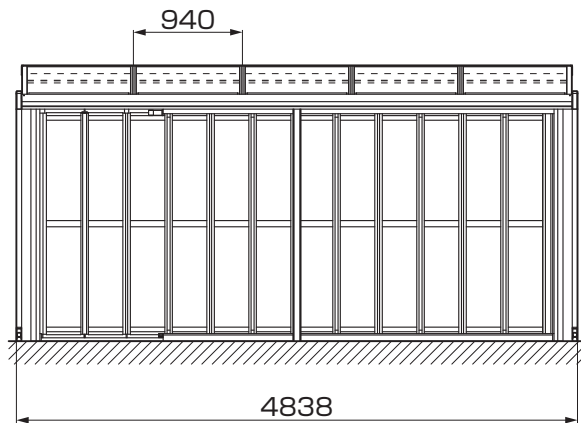


図2-5 正面図

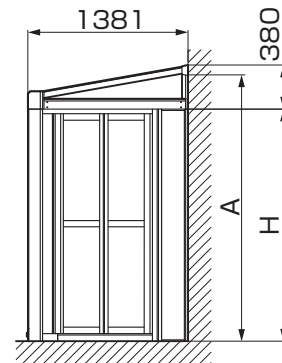
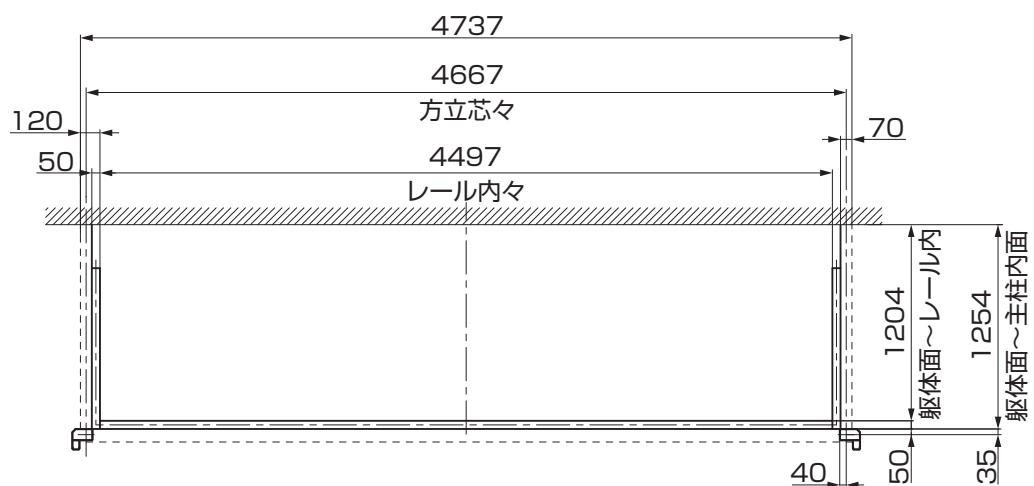


図2-6 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2309.5
2100	2409.5
2300	2609.5
2400	2709.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3409.5

2-6 4尺 2.5間 平面図



2. (つづき)

2-7 4尺 3.0間 立面図

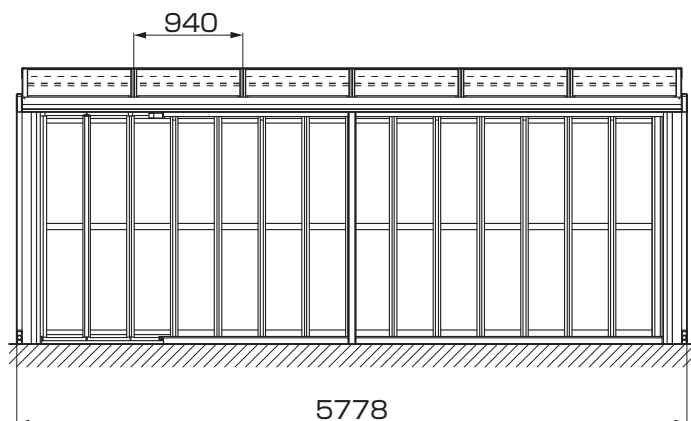


図2-7 正面図

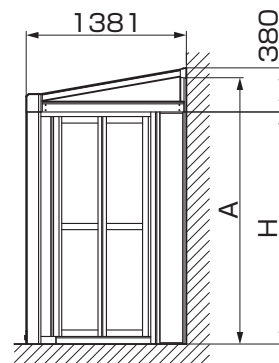
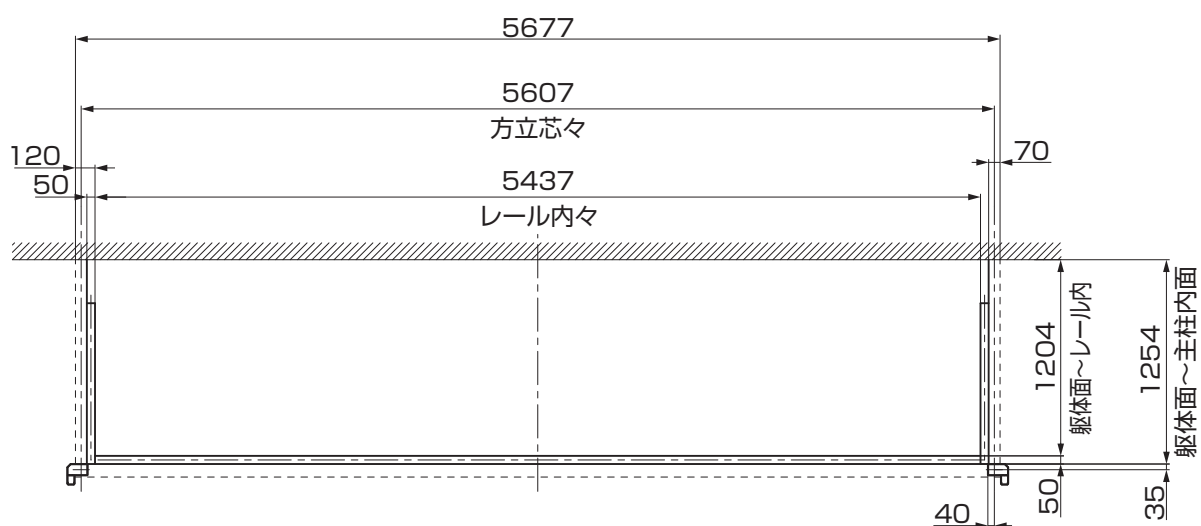


図2-8 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2309.5
2100	2409.5
2300	2609.5
2400	2709.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3409.5

2-8 4尺 3.0間 平面図



2-9 6尺 1.5間 立面図

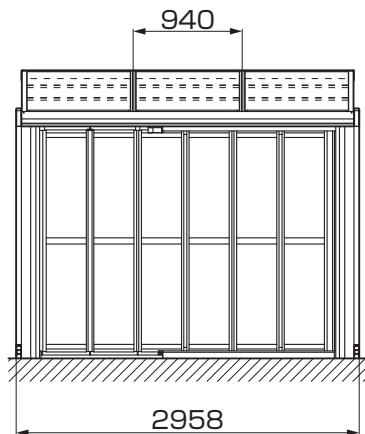


図2-9 正面図

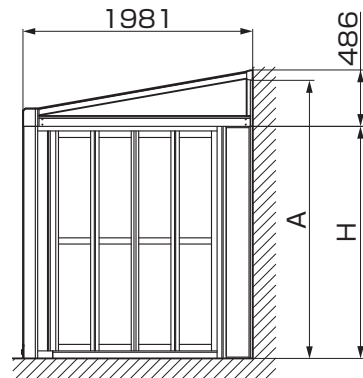
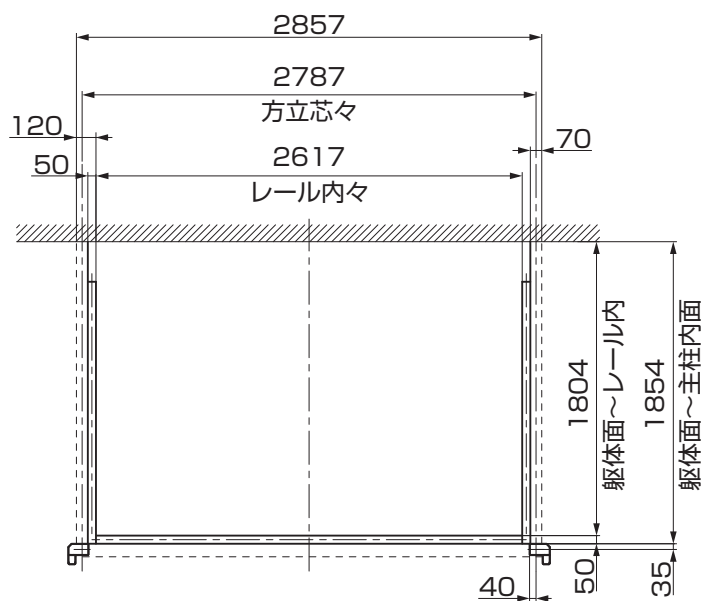


図2-10 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2415.5
2100	2515.5
2300	2715.5
2400	2815.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3515.5

2-10 6尺 1.5間 平面図



2. (つづき)

2-11 6尺 2.0間 立面図

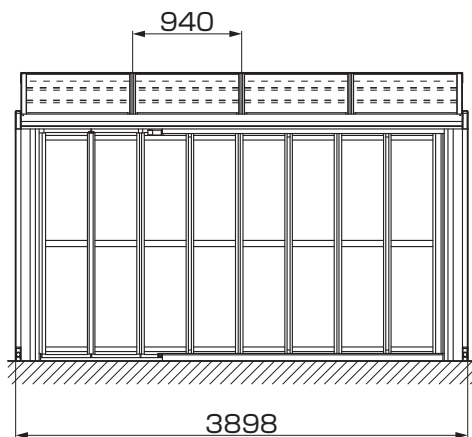


図2-11 正面図

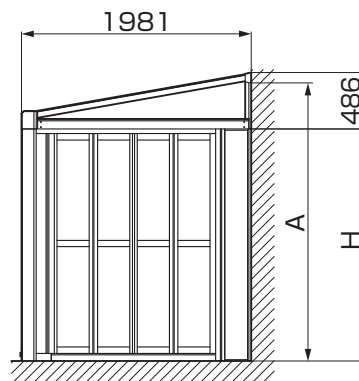
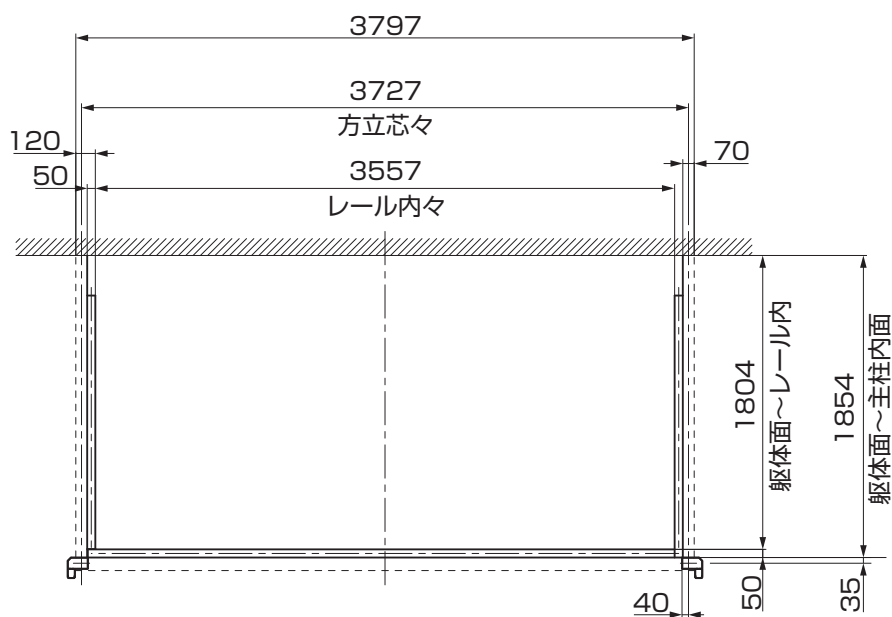


図2-12 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2415.5
2100	2515.5
2300	2715.5
2400	2815.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3515.5

2-12 6尺 2.0間 平面図



2-13 6尺 2.5間 立面図

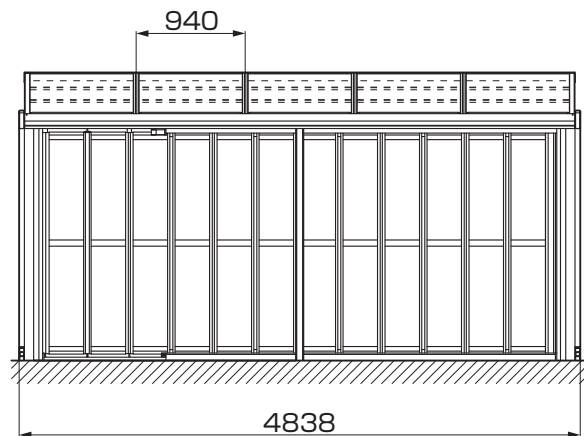


図2-13 正面図

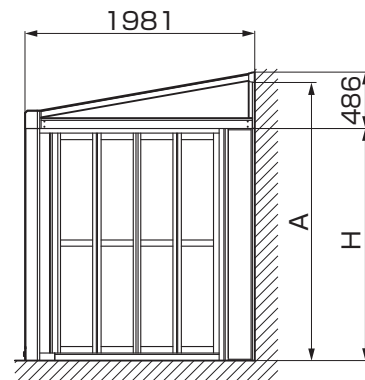
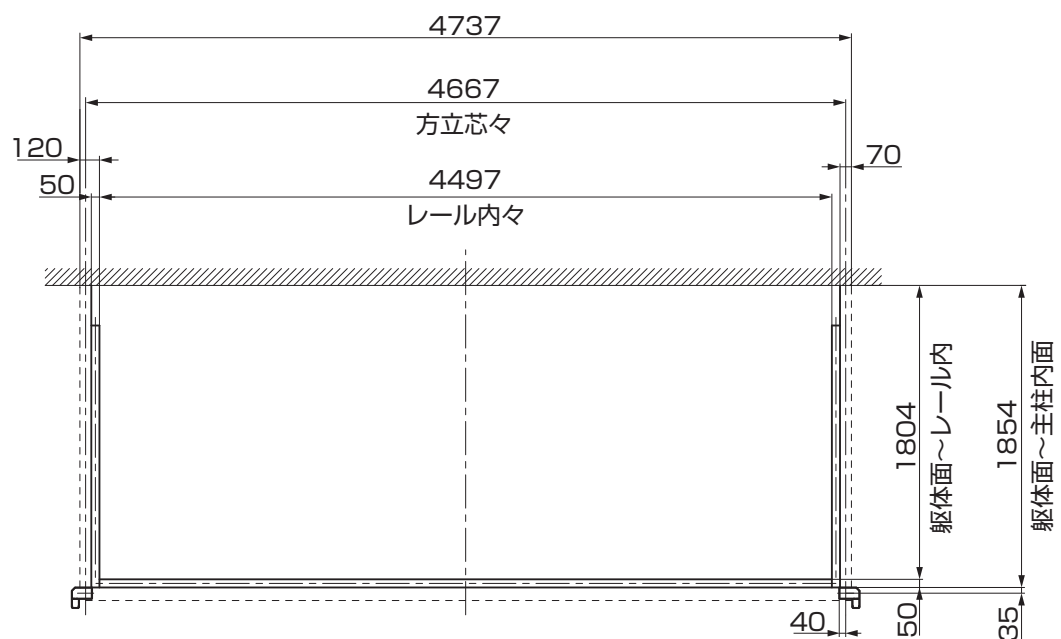


図2-14 側面図

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2415.5
2100	2515.5
2300	2715.5
2400	2815.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3515.5

2-14 6尺 2.5間 平面図



2 基本寸法と各部名称

Technical drawing of a window unit. The top view shows a width of 940. The side view shows a height of 5778. The drawing includes a top rail, a bottom rail, and a frame with multiple panes.

Technical drawing of a window frame. The width is 1981 and the height is 486. The drawing shows a cross-section of the frame with a sloped top and a vertical section labeled A and H.

パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2415.5
2100	2515.5
2300	2715.5
2400	2815.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3515.5

Technical drawing of a rectangular structure, likely a container or enclosure, showing dimensions and internal components.

Dimensions:

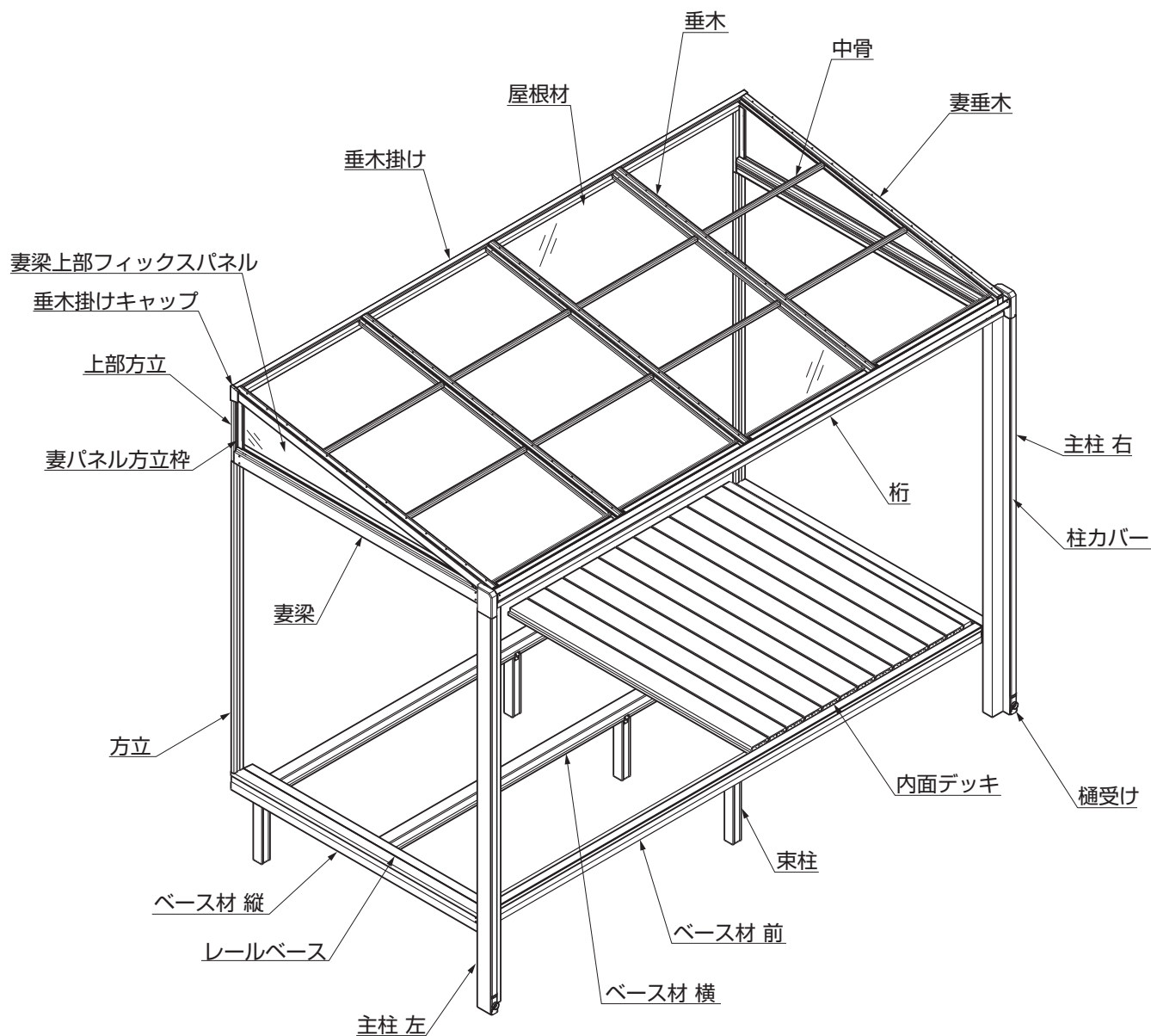
- Overall width: 5677
- Width excluding side panels: 5607
- Width of internal rail assembly: 5437
- Overall height: 1854
- Height of the main body (excluding top and bottom panels): 1804
- Height of the bottom panel: 50
- Height of the top panel: 35
- Width of the left side panel: 120
- Width of the right side panel: 70
- Width of the bottom rail assembly: 40

Labels:

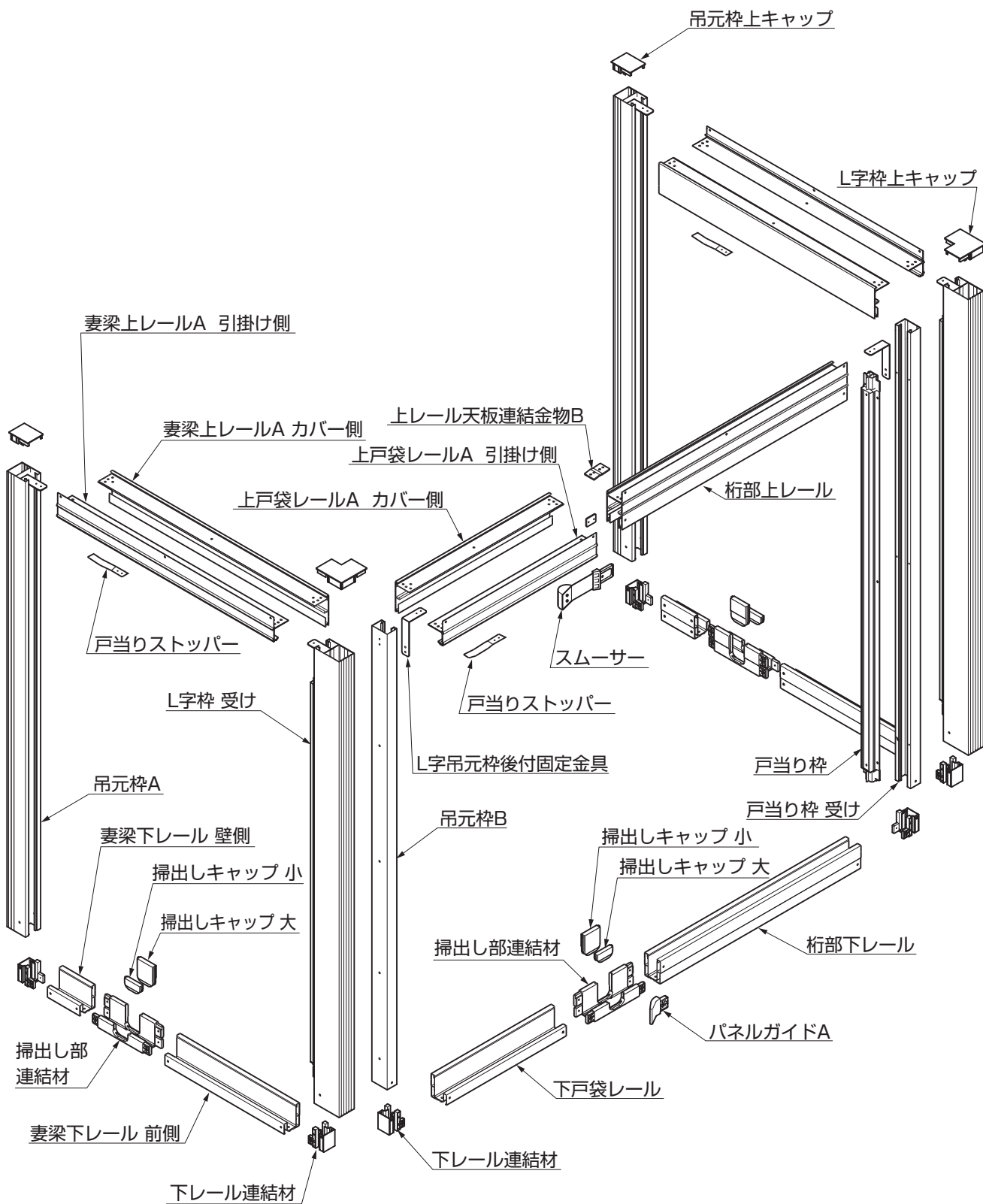
- 方立芯々 (Kata-tate-kokokko): Refers to the internal rail assembly.
- レール内々 (Reiru-nakakko): Refers to the internal rail assembly.
- 躯体面~レール内 (Kotai-omae~Reiru-naka): Refers to the main body surface to the internal rail.
- 躯体面~主柱内面 (Kotai-omae~Shushu-naimae): Refers to the main body surface to the main column inner surface.

3. 各部名称

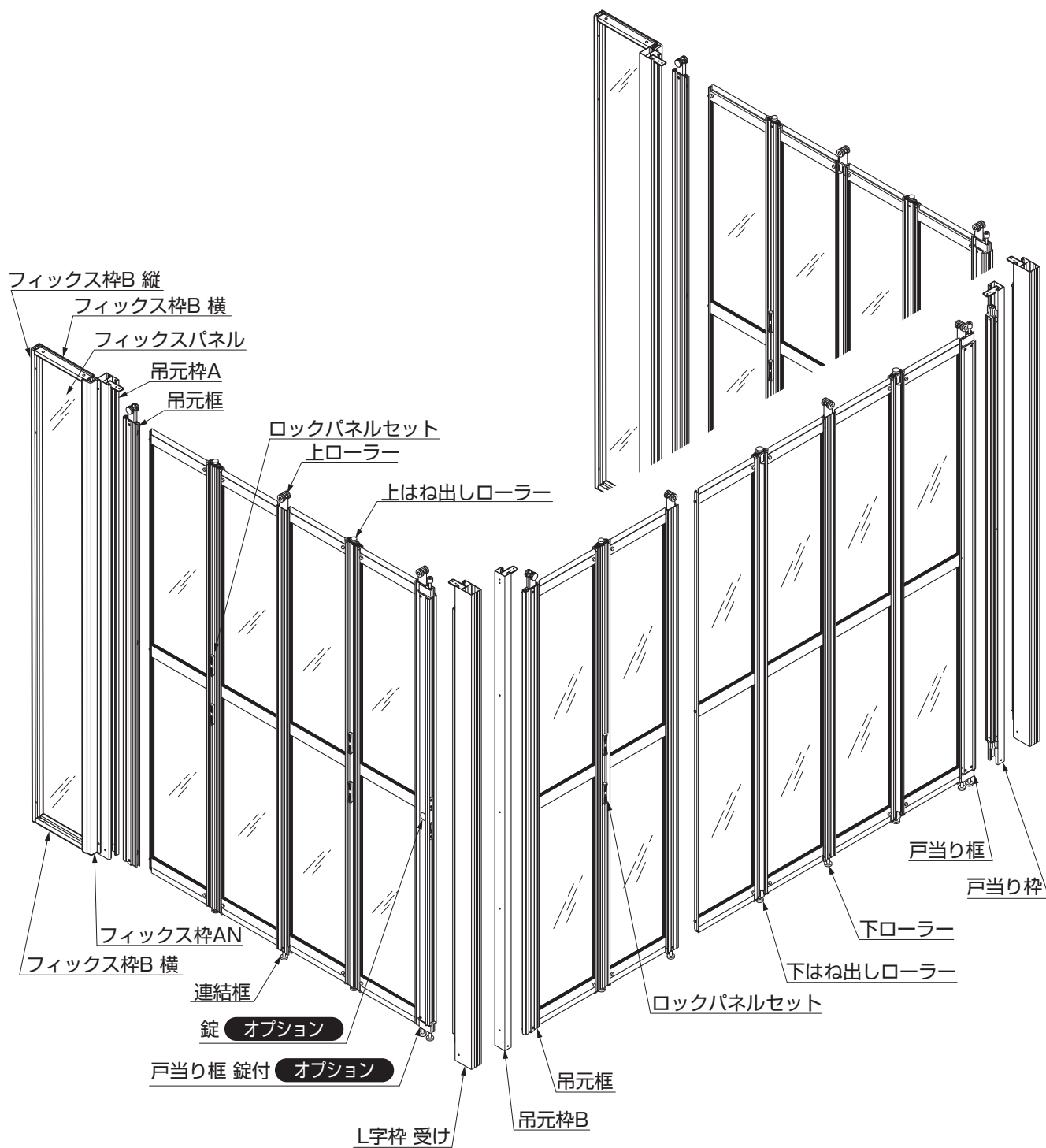
3-1 テラス部 ※図はエクシオールインナーデッキ仕様の場合のテラス部です。



3-2 レール部 ※本図は出幅6尺外収納仕様を示します。

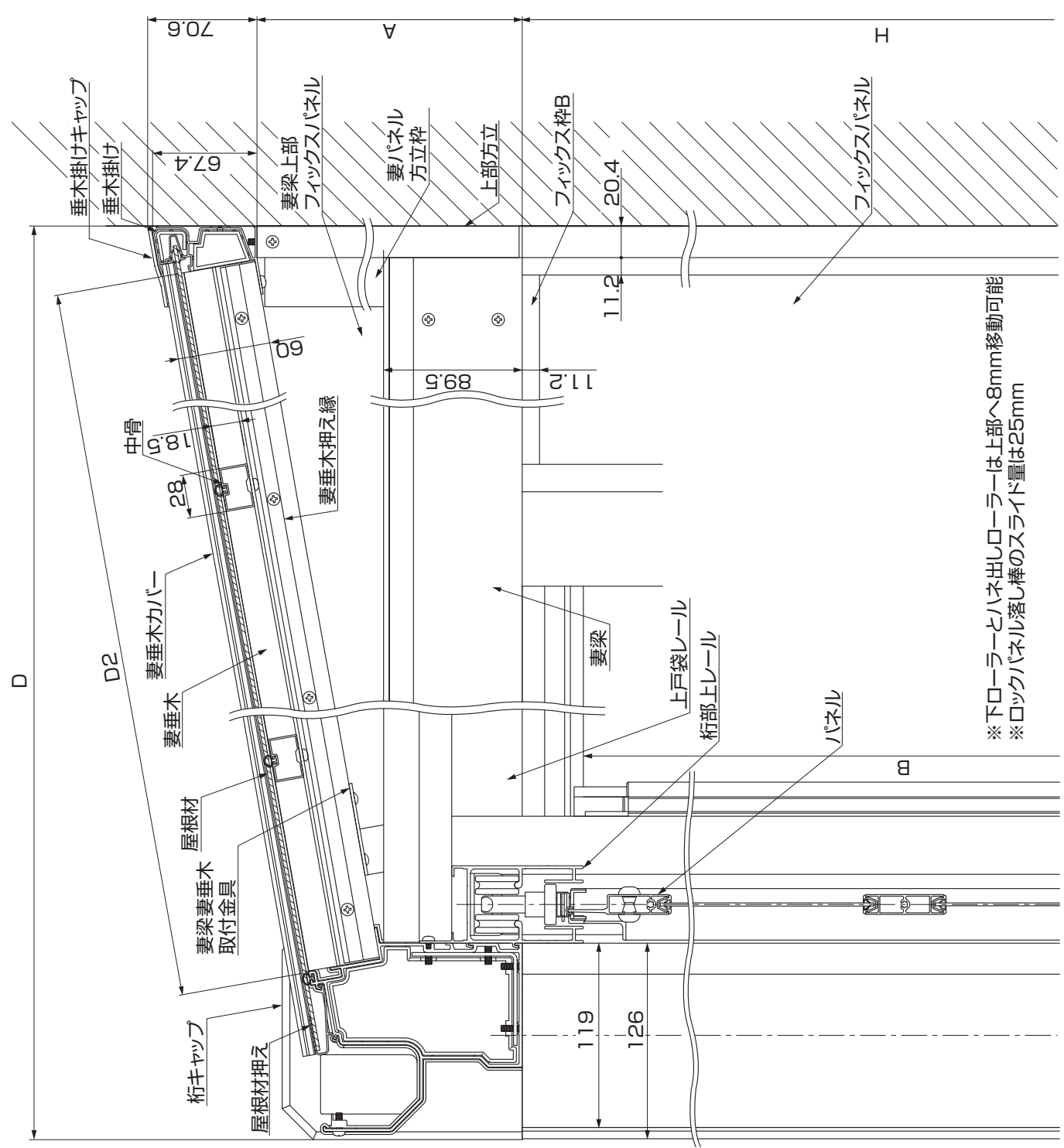


3-3 パネル部

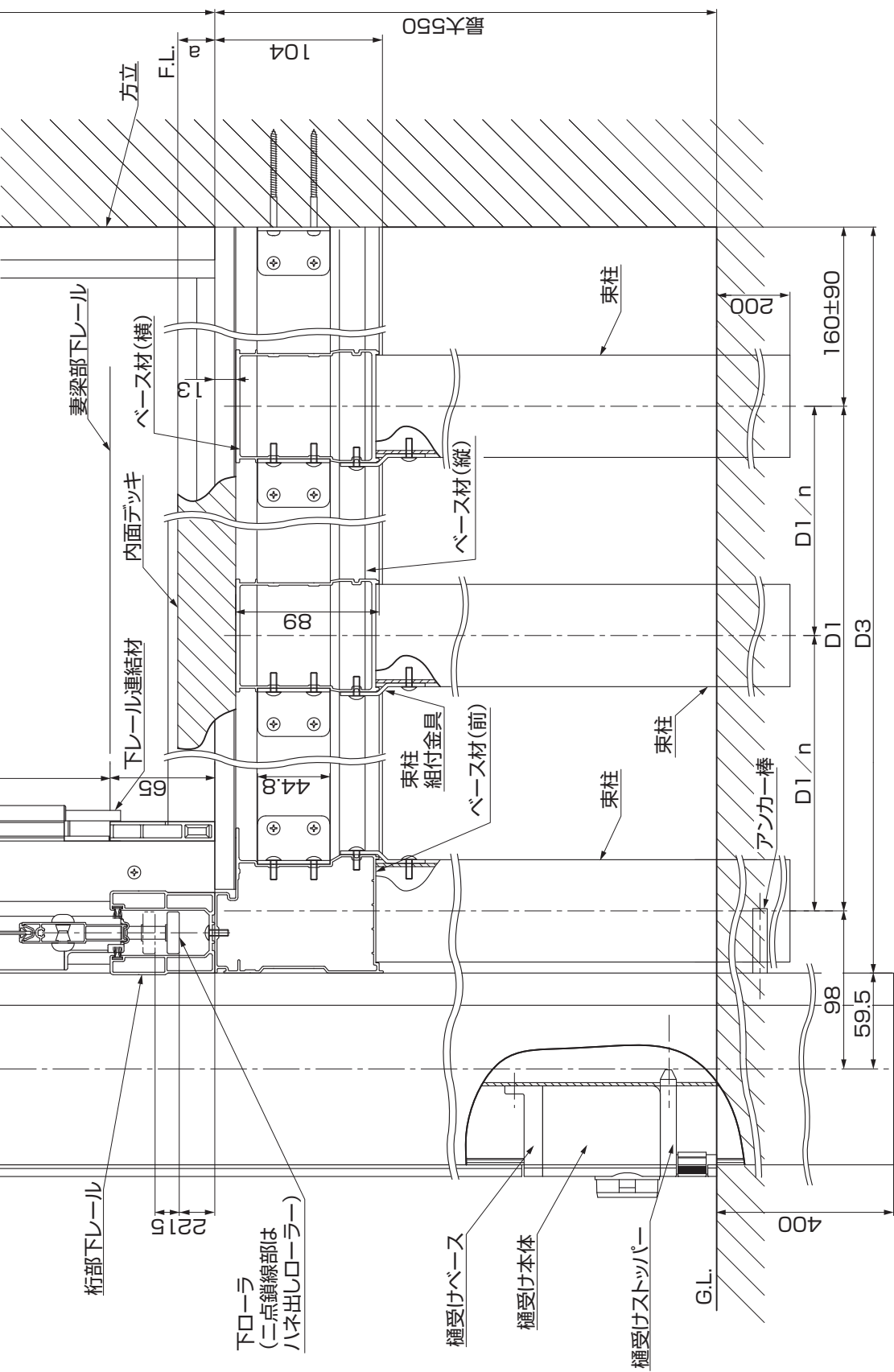


4. 断面納まり図

4-1 インナーデッキ仕様出幅断面納まり図



※下ローラーとハネ出しローラーは上部へ8mm移動可能
※ロックパネル落し棒のスライド量は25mm



※1:図の束柱が一列追加となります。

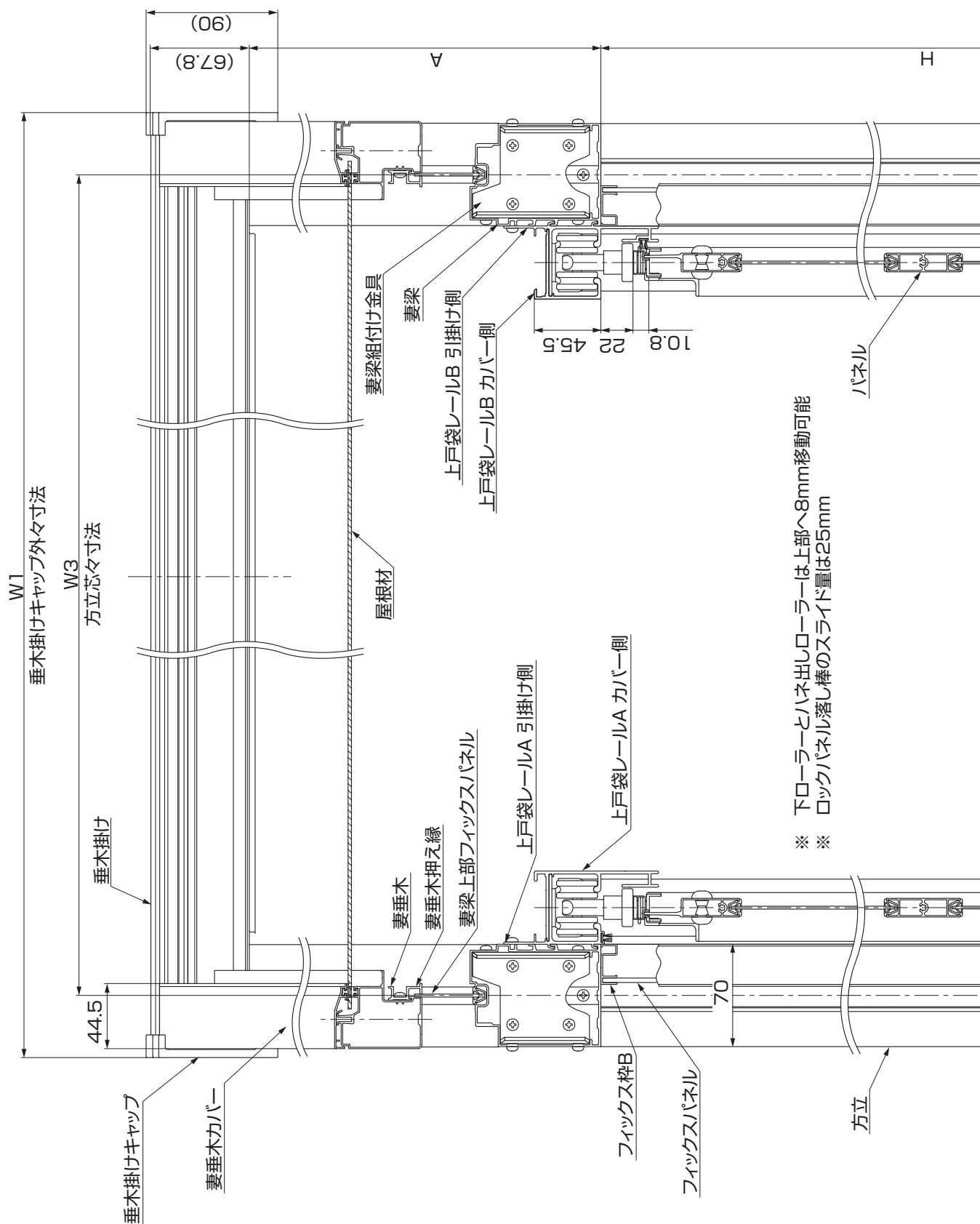
H	B	a
2000	1895.5	27
2100	1995.5	
2300	2195.5	
2400	2295.5	

出幅寸法	テラス出幅		
	4R	6R	
D	1381	1981	
D1	1055	1655	
D2	1261	1871	
D3	1254	1854	
n	2	3(※1)	

高さ寸法	テラス出幅	
	4R	6R
A	309.5	415.5

4. (つづき)

4-2 インナーデッキ仕様間口断面納まり図



※ 下ローラーとハネ出しローラーは上部へ8mm移動可能
※ ロックパネル落し棒のスライド量は25mm

※

※

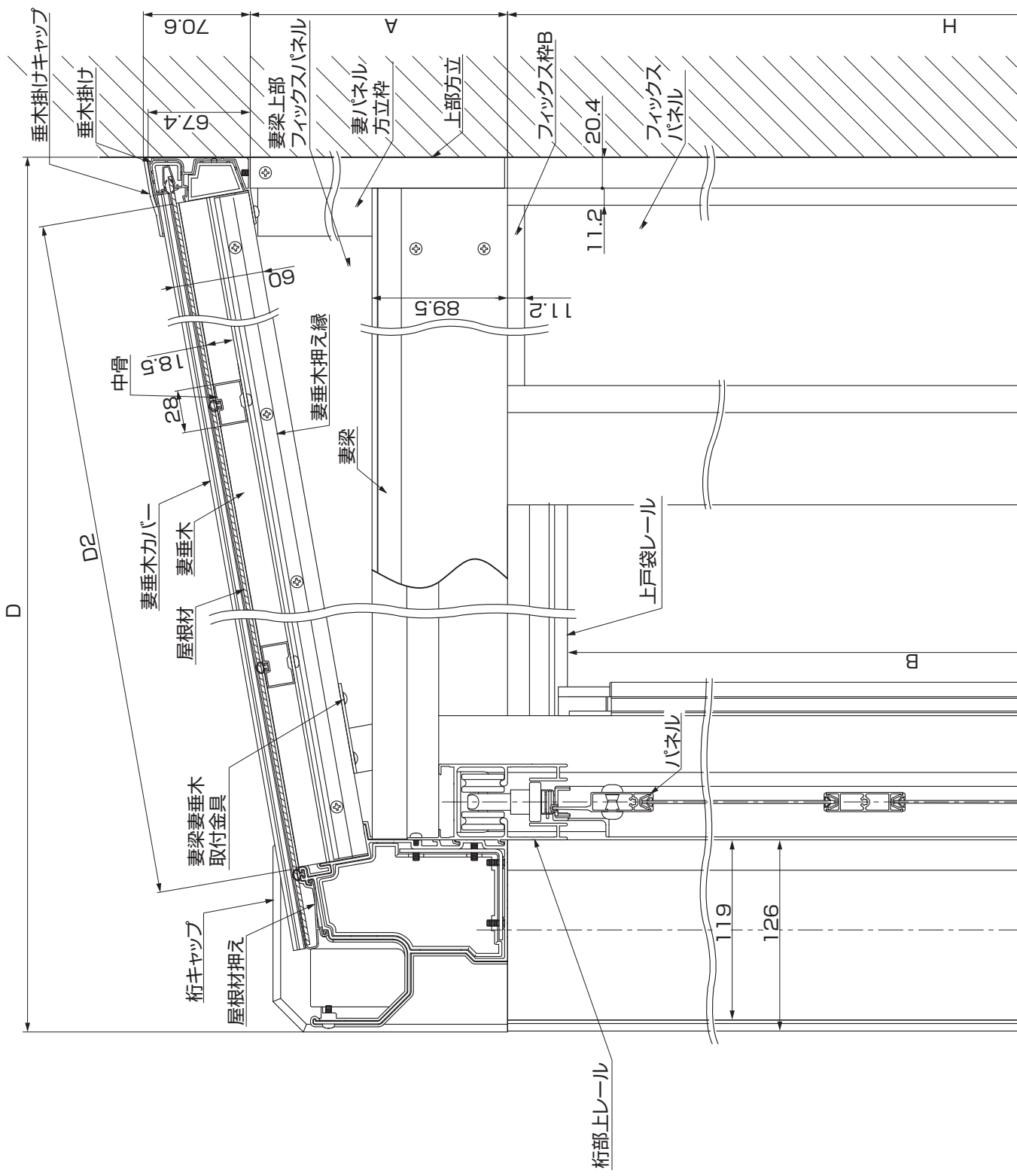
束柱芯々寸法
W2

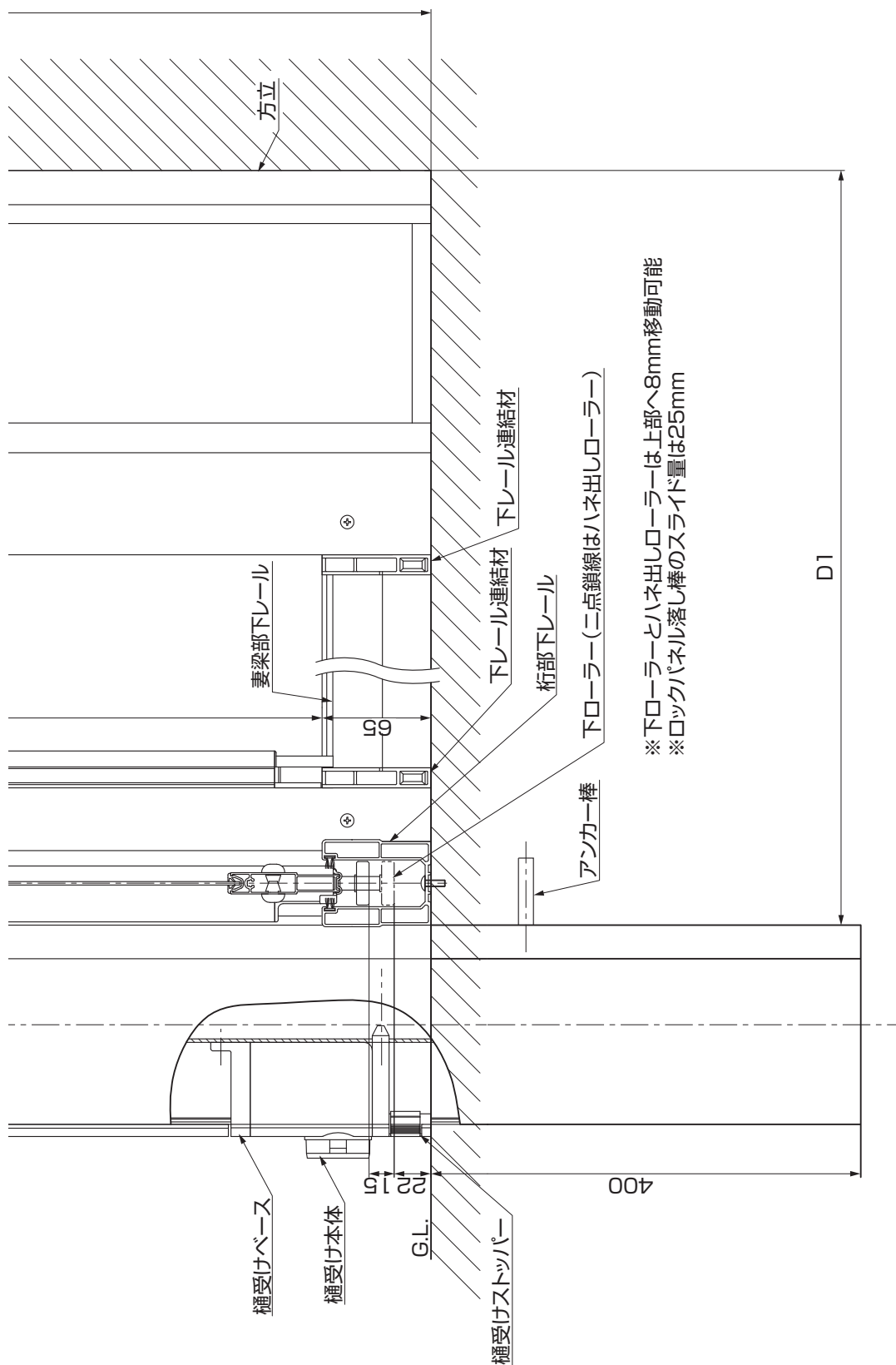
間口 間口寸法	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	2872	3812	4752	5692
W2	2788.5	3728.5	4668.5	5609
W3	2787	3727	4667	5607

H	a
2000	27
2100	
2300	
2400	

4. (つづき)

4-3 土間・デッキ仕様出幅断面納まり図





テラス出幅 高さ寸法	4尺	6尺
	A	A
	309.5	415.5

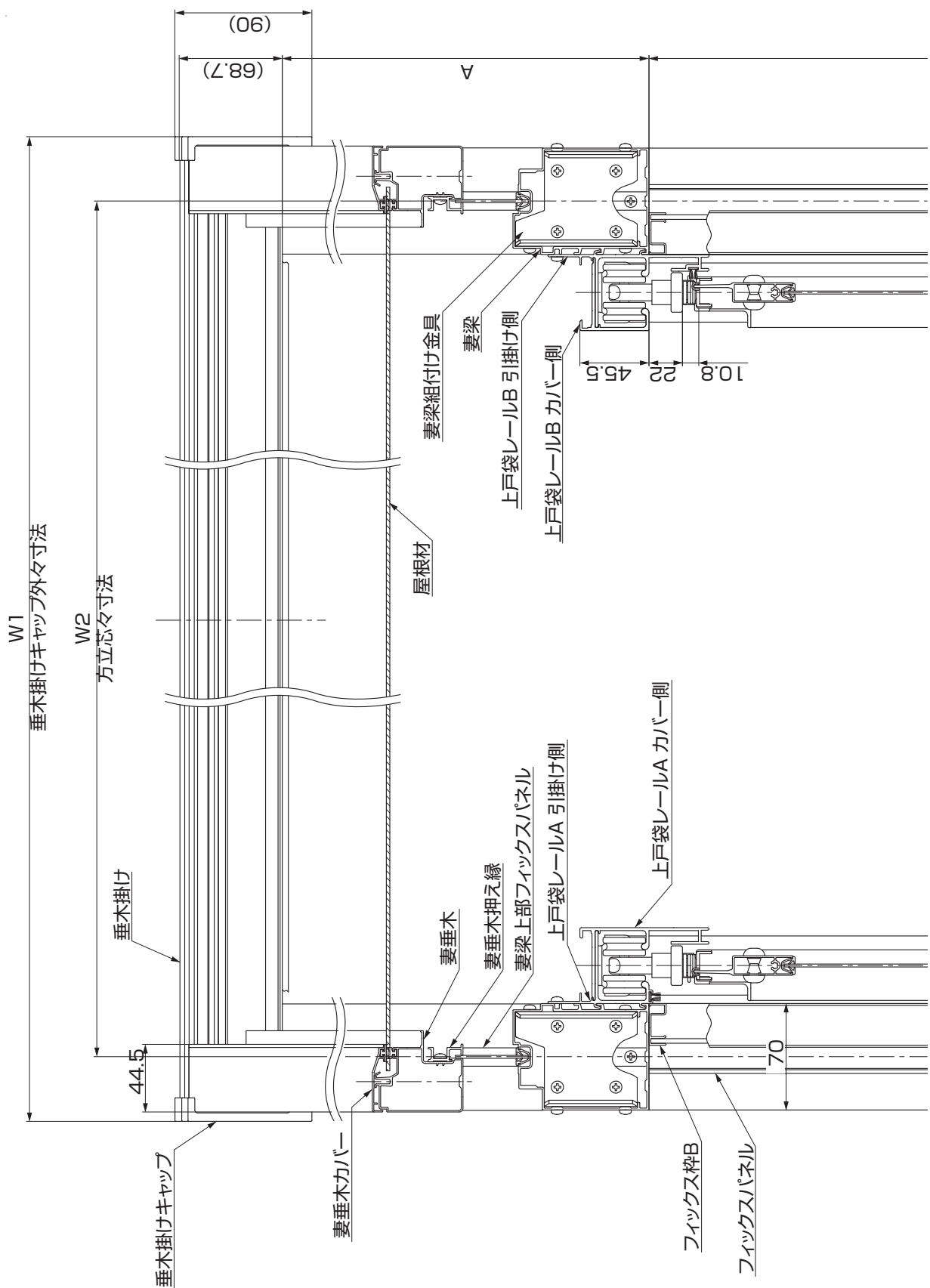
テラス出幅 出幅寸法	4尺	6尺
	D	D
D1	1381	1981
D2	1254	1854
	1261	1871

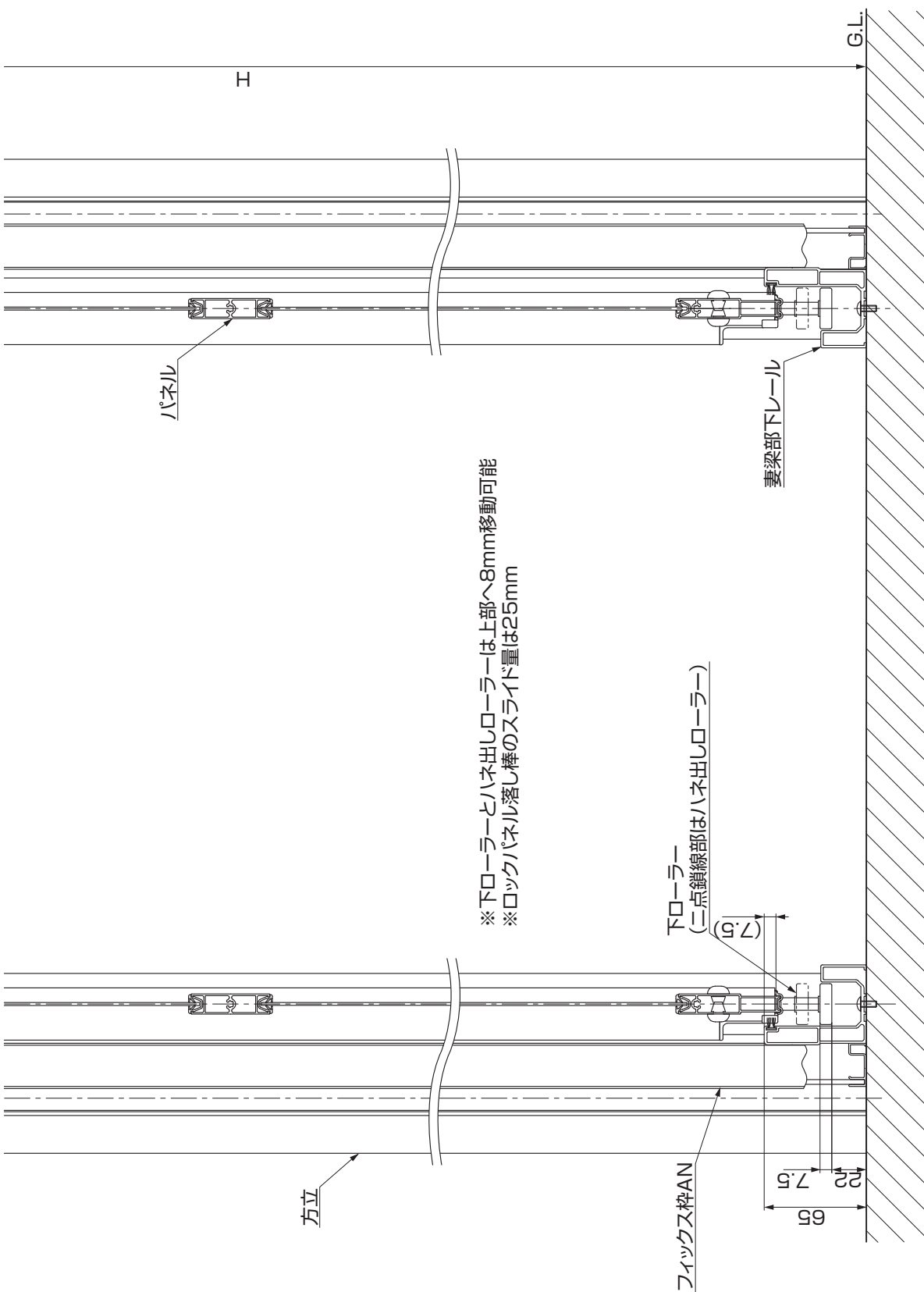
H	B
2000	1895.5
2100	1995.5
2300	2195.5
2400	2295.5

テラス仕様H
3100

4. (つづき)

4-4 土間・デッキ仕様間口断面納まり図





間口 高さ寸法	4尺	6尺
A	309.5	415.5

間口 間口寸法	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	2872	3812	4752	5692
W2	2787	3727	4667	5607

デラス仕様H
3100

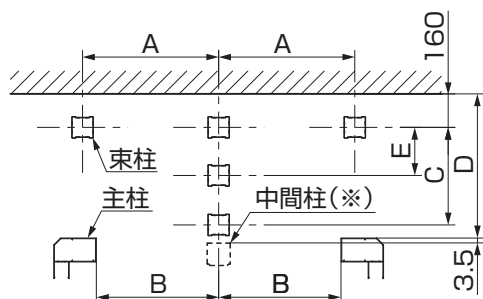
H
2000
2100
2300
2400

3 柱の位置出し

1. インナーデッキ仕様柱の位置出し

※連棟の場合は「9 連棟の施工 3.インナーデッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

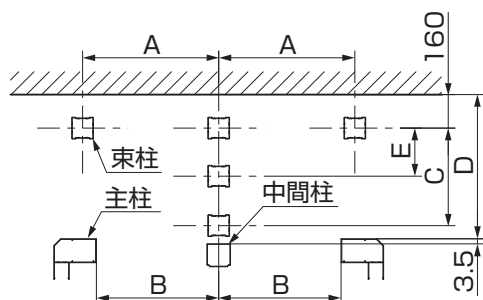
1-1 4尺 1.5間・2.0間



※2.0間で積雪仕様の場合は中間柱を施工してください。

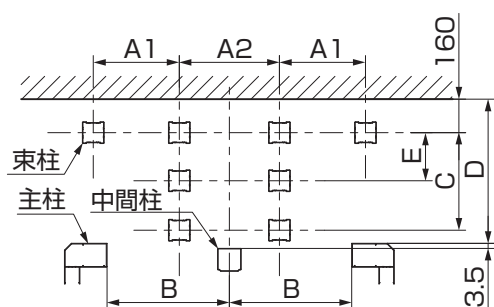
	1.5間	2.0間
A寸法	1394	1864
B寸法	1354	1824
C寸法	1055	1055
D寸法	1254	1254
E寸法	528	528

1-2 4尺 2.5間



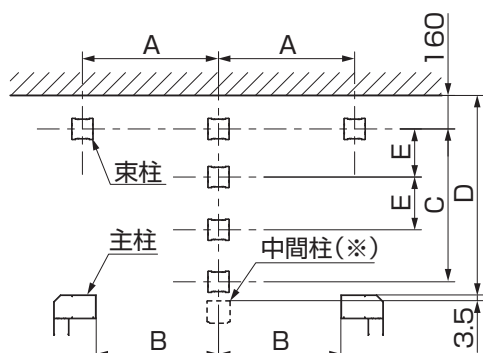
	2.5間
A寸法	2334
B寸法	2294
C寸法	1055
D寸法	1254
E寸法	528

1-3 4尺 3.0間



	3.0間
A1寸法	1870
A2寸法	1869
B寸法	2764
C寸法	1055
D寸法	1254
E寸法	528

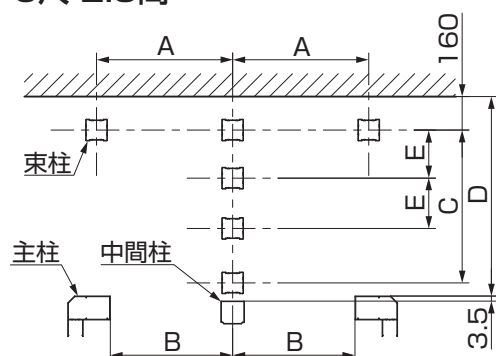
1-4 6尺 1.5間・2.0間



※2.0間で積雪仕様の場合は中間柱を施工してください。

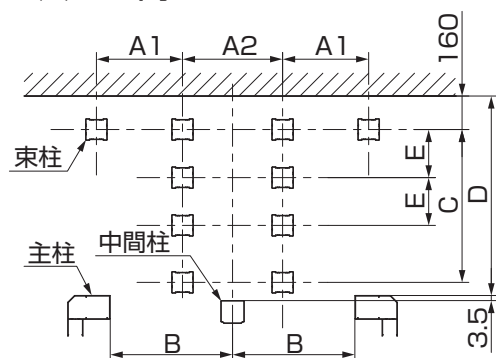
	1.5間	2.0間
A寸法	1394	1864
B寸法	1354	1824
C寸法	1655	1655
D寸法	1854	1854
E寸法	552	552

1-5 6尺 2.5間



	2.5間
A寸法	2334
B寸法	2294
C寸法	1655
D寸法	1854
E寸法	552

1-6 6尺 3.0間

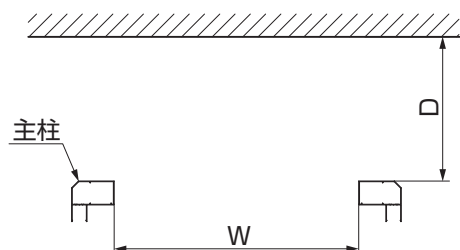


	3.0間
A1寸法	1870
A2寸法	1869
B寸法	2764
C寸法	1655
D寸法	1854
E寸法	552

2. 土間・デッキ仕様柱の位置出し

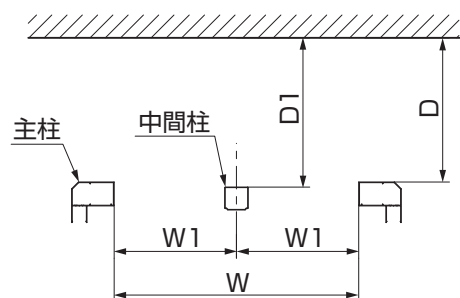
※連棟の場合は「9 連棟の施工 4. 土間・デッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

2-1 1.5間・2.0間



	4尺		6尺	
	1.5間	2.0間	1.5間	2.0間
W寸法	2707	3647	2707	3647
D寸法	1254	1254	1854	1854

2-2 2.0間積雪仕様・2.5間・3.0間



	4尺		6尺	
	2.5間	3.0間	2.5間	3.0間
W寸法	4587	5527	4587	5527
W1寸法	2293.5	2763.5	2293.5	2763.5
D寸法	1254	1254	1854	1854
D1寸法	1257.5	1257.5	1857.5	1857.5

	2.0間積雪仕様	
	4尺	6尺
W寸法	3647	3647
W1寸法	1823.5	1823.5
D寸法	1254	1854
D1寸法	1257.5	1857.5

4 テラス部本体の施工

1. 水盛遣方・水系張り

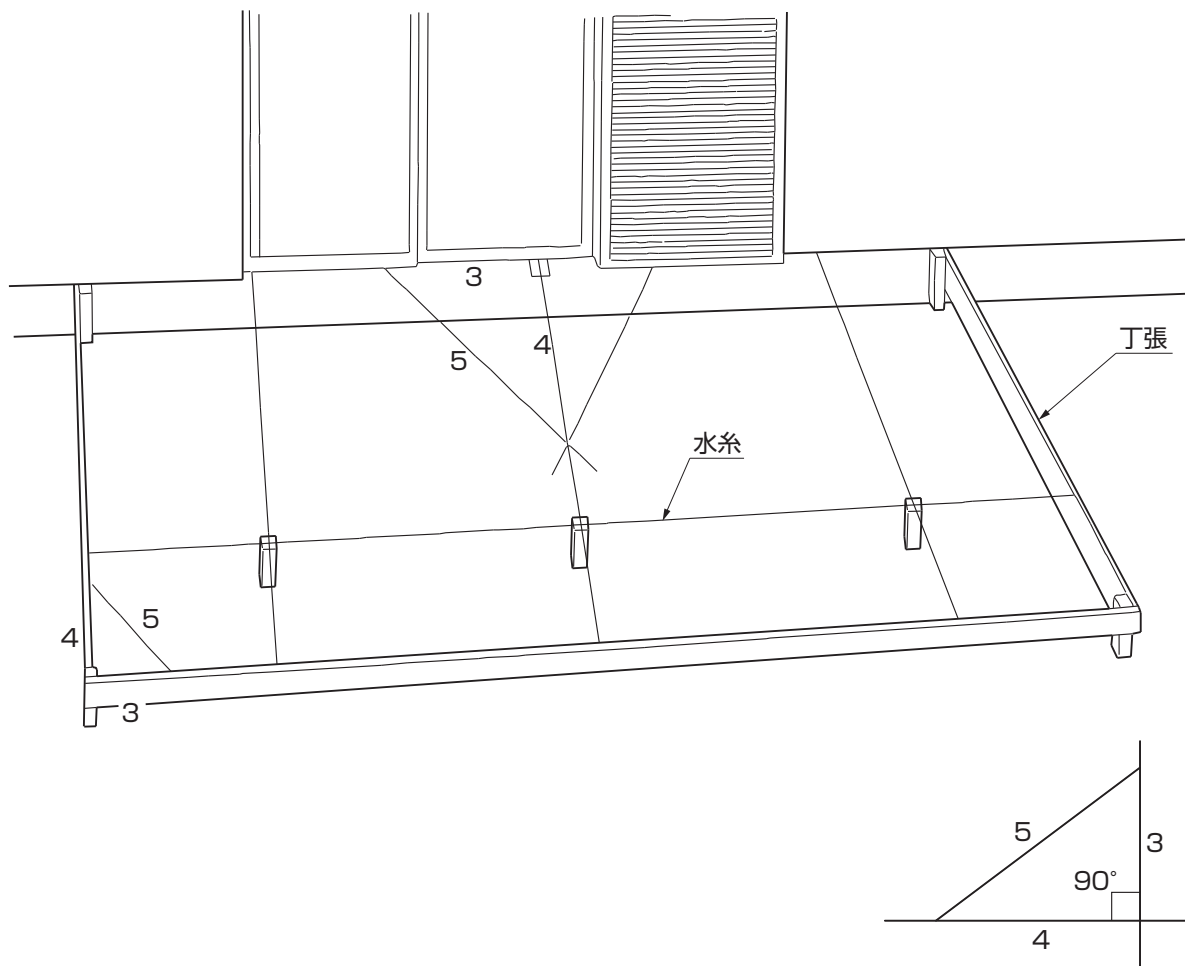


図1-1 直角出し寸法

- ①「**2 基本寸法と各部名称** 1. インナーデッキ仕様基本寸法、2. 土間・デッキ仕様基本寸法」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。

補足

- 連棟の場合は「**9 連棟の施工** 1. インナーデッキ仕様基本寸法、2. 土間・デッキ仕様基本寸法」を参照してください。

- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
 ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-1の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
 ④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

- エクシオール仕様で土間面にレールを取付ける場合は、下レール取付けレベルの高さをパネルサイズに合わせて正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-1の方法等で割り出してください。

※連棟の場合は「9 連棟の施工 5.垂木掛けの加工」と同時に行なう作業です。

※積雪用の場合は「11 積雪仕様の施工 2.垂木掛けの加工」と同時に行なう作業です。

2. 方立・上部方立・垂木掛けの取付け

2-1 上部方立・垂木掛けの取付け

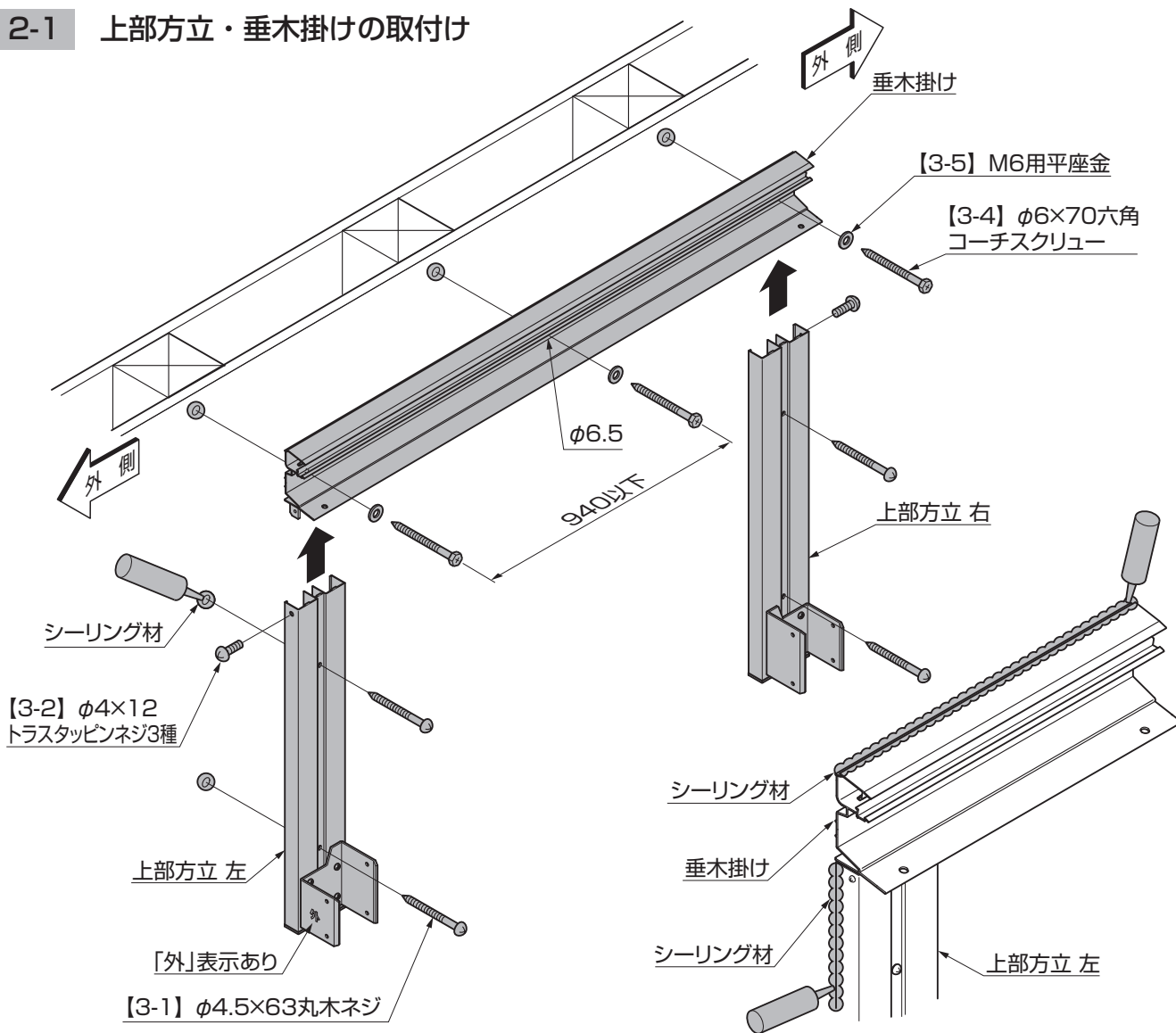


図2-1 シーリング箇所

- ①垂木掛けのV溝部にφ6.5の下穴をあけてください。
- ②垂木掛けを躯体に【3-4】、【3-5】で取付けてください。
- ③上部方立を垂木掛けに【3-2】で取付けてください。
- ④上部方立を躯体に【3-1】で取付けてください。

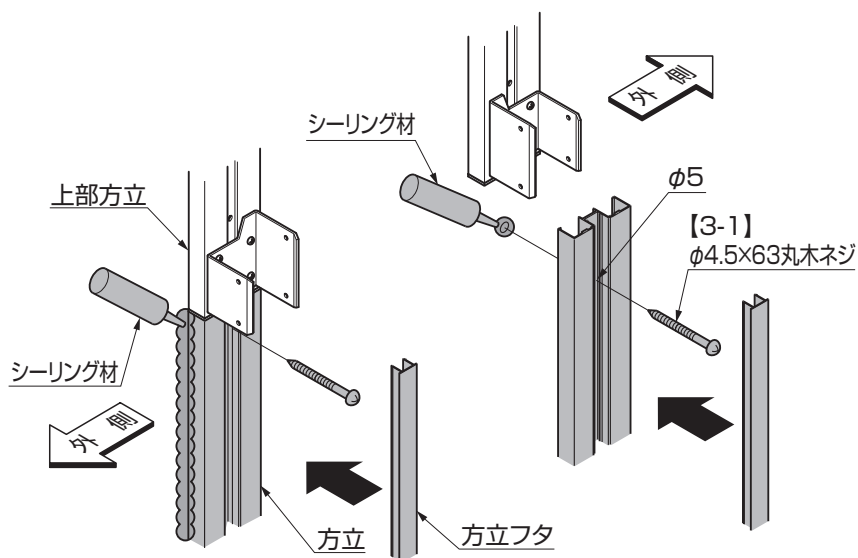
⚠ 注意

- 垂木掛けは必ず躯体の柱、間柱等の構造体に取り付けてください。取付けピッチは940mm以下にしてください。強度低下や破損の原因になります。

🔑 ポイント

- 垂木掛け取付位置は「2. 基本寸法と各部名称 4. 断面納まり図」で必ず確認してください。
- 垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- 指定の箇所に必ずシーリングしてください。(図2-1参照)

2-2 方立の取付け ※エクシオール仕様でパネルを取付ける場合の作業です。



①「**2 基本寸法と各部名称** 1. インナーデッキ仕様基本寸法、2. 土間・デッキ仕様基本寸法」を参照し、方立にφ5の穴をあけてください。

補足

●連棟の場合は「**9 連棟の施工** 1. インナーデッキ仕様基本寸法、2. 土間・デッキ仕様基本寸法」を参照してください。

②方立を躯体に【3-1】で取付けてください。

③方立を躯体に取付けた後、方立に方立フタをはめこんでください。

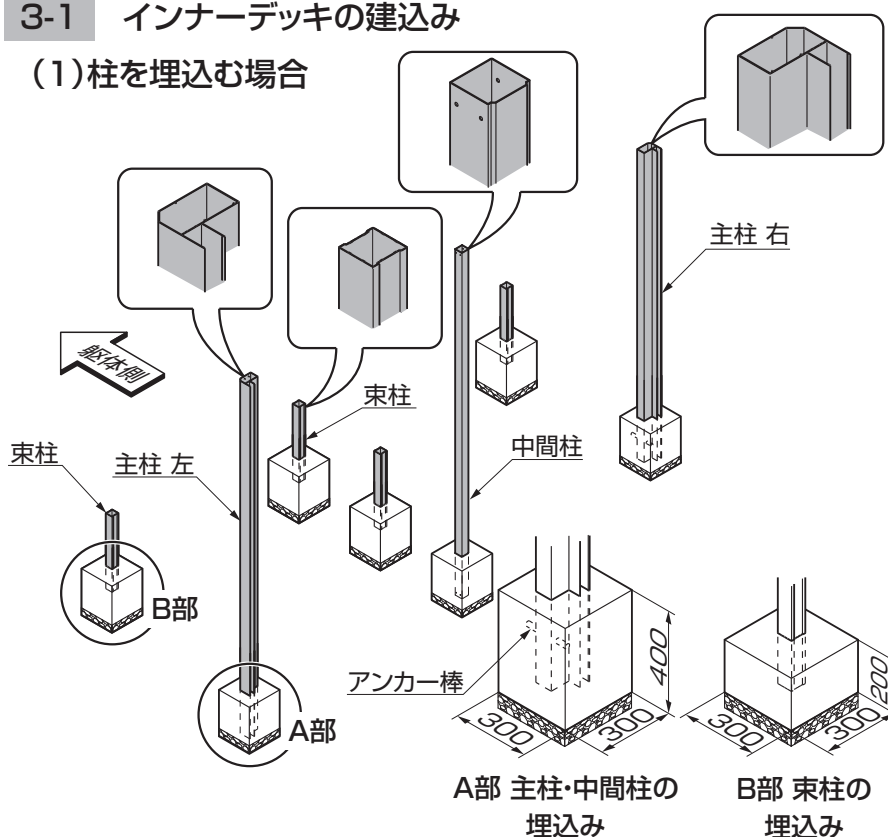
ポイント

- 方立は必ず柱、間柱等の構造体に取り付けてください。
- 指定の箇所に必ずシーリングしてください。

3. 柱・束柱の建込み

3-1 インナーデッキの建込み

(1) 柱を埋込む場合



①「**2 基本寸法と各部名称** 4. 断面納まり図」を参照してフロアの高さを決めてください。

ポイント

- 各柱には、上下、前後の区別があります。
- 柱の切断は下側から行なってください。

②「**3 柱の位置出し**」を参照して主柱、束柱、中間柱を建込んでください。

補足

●連棟の場合は「**9 連棟の施工** 3. インナーデッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

3. (つづき)

3-1 つづき

(2) 柱を埋込まない場合の作業 ※柱固定ベース、束柱固定アングルを使う場合の作業です。

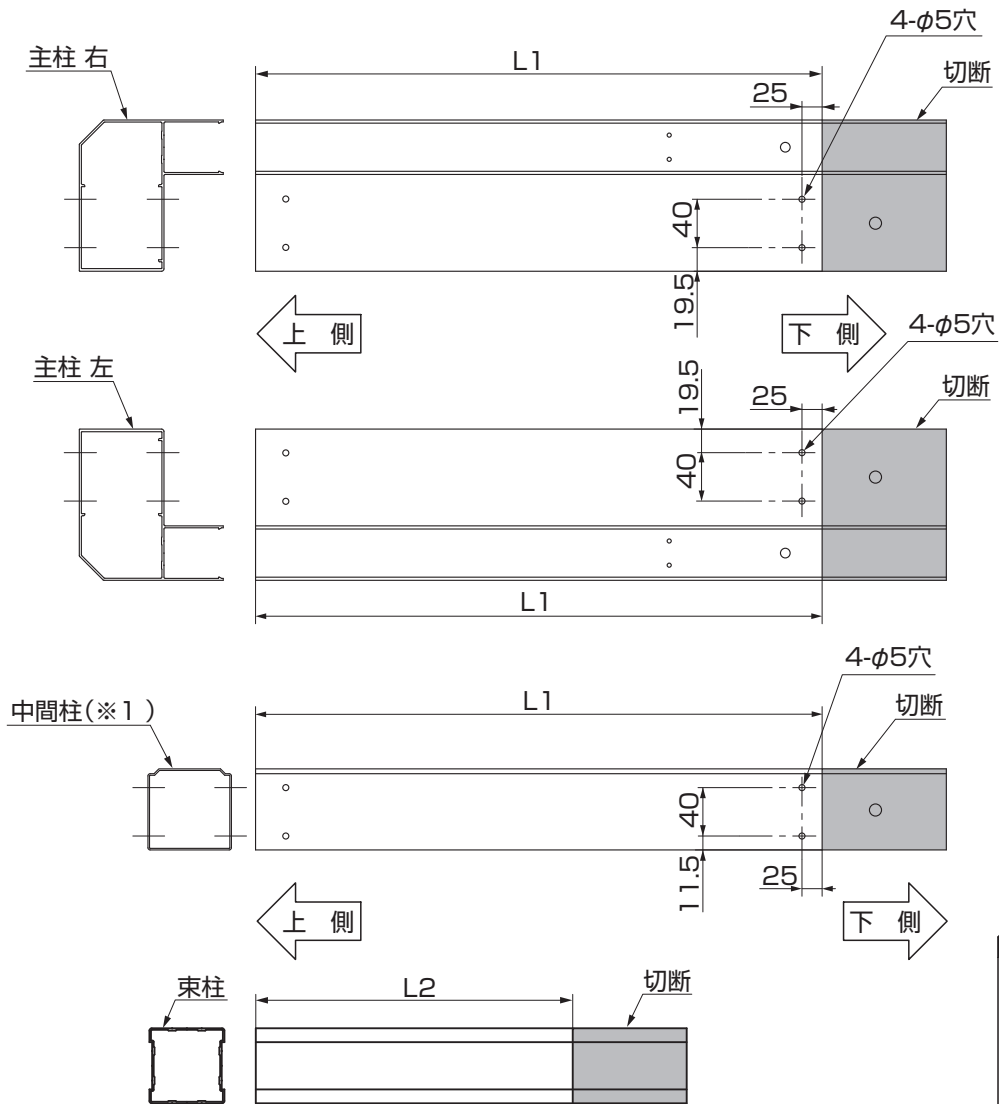


図3-1

表3-1 柱の切断寸法 L1、L2

	L1	L2
H=2000	1997+A	A-100
H=2100	2097+A	A-100
H=2300	2297+A	A-100
H=2400	2397+A	A-100

表3-2

a寸法
27

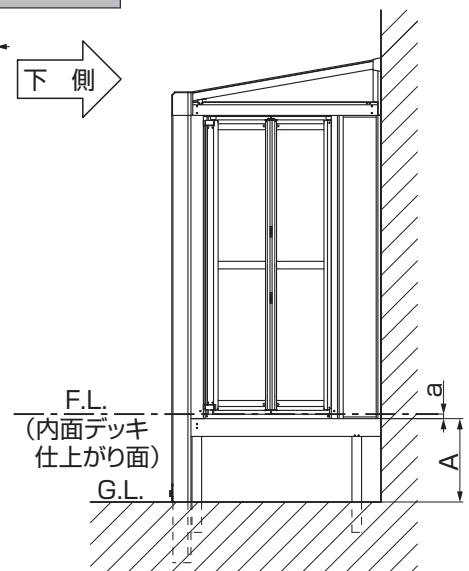


図3-2

① 図3-1、表3-1を参照して主柱、束柱、中間柱を切断および加工してください。

ポイント

- 中間柱は2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合に使用します。(※1)
- 表3-1のAはインナーデッキ立上げ寸法です。G.L.～下レール下面までの高さを示します。
- 表3-2のaは下レール下面から内面デッキ仕上がり面までの寸法です。

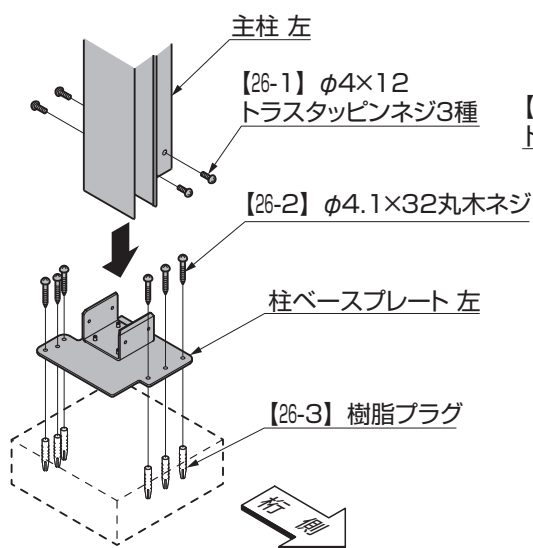


図3-3 主柱 左の固定

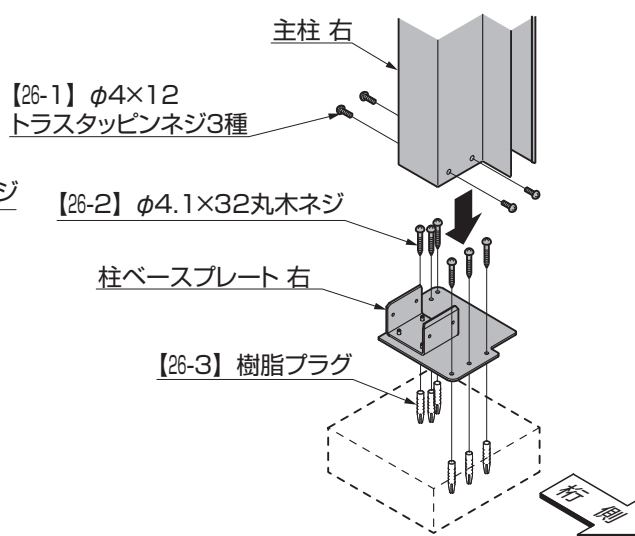


図3-4 主柱 右の固定

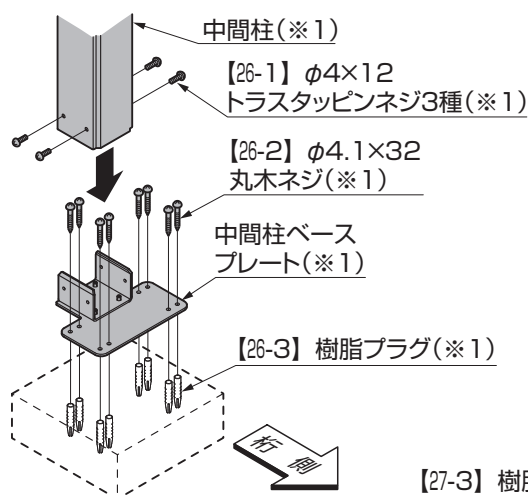


図3-5 中間柱の固定

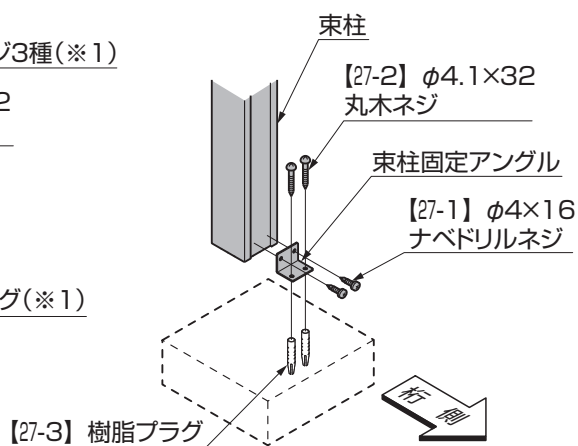


図3-6 束柱の固定

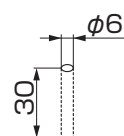


図3-7 樹脂
プラグ用穴

②主柱下面に柱ベースプレートを【26-1】で固定してください。(図3-3、図3-4参照)

ポイント

●柱ベースプレートには取付ける方向があります。左右に注意して取付けてください。

③中間柱下面に中間柱ベースプレートを【26-1】で固定してください。(図3-5参照)

ポイント

●※1は2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合に使用します。

④束柱下面に束柱固定アングルを【27-1】で固定してください。(図3-6参照)

⑤「3 柱の位置出し」を参照して柱ベースプレート、中間柱ベースプレート、束柱固定アングルの位置を確認してください。

補足

●主柱、束柱、中間柱は妻梁を取付けた後に固定してください。

●柱を固定する場合は【26-3】、【27-3】を先に固定してから【26-2】、【27-2】で固定してください。

●連棟の場合は「9 連棟の施工 3. インナーデッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

3. (つづき)

3-2 土間・デッキ仕様で柱を埋込まない場合の建込み

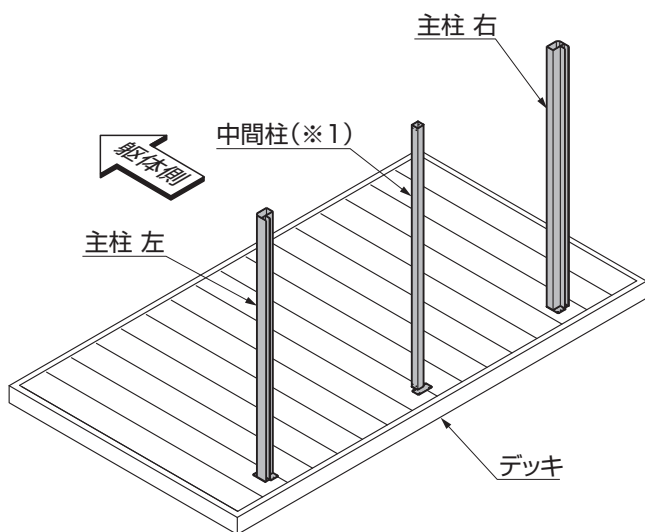


図3-8 デッキの場合

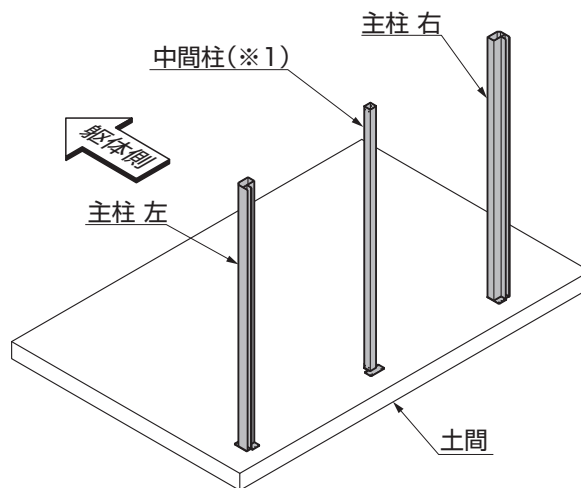


図3-9 土間の場合

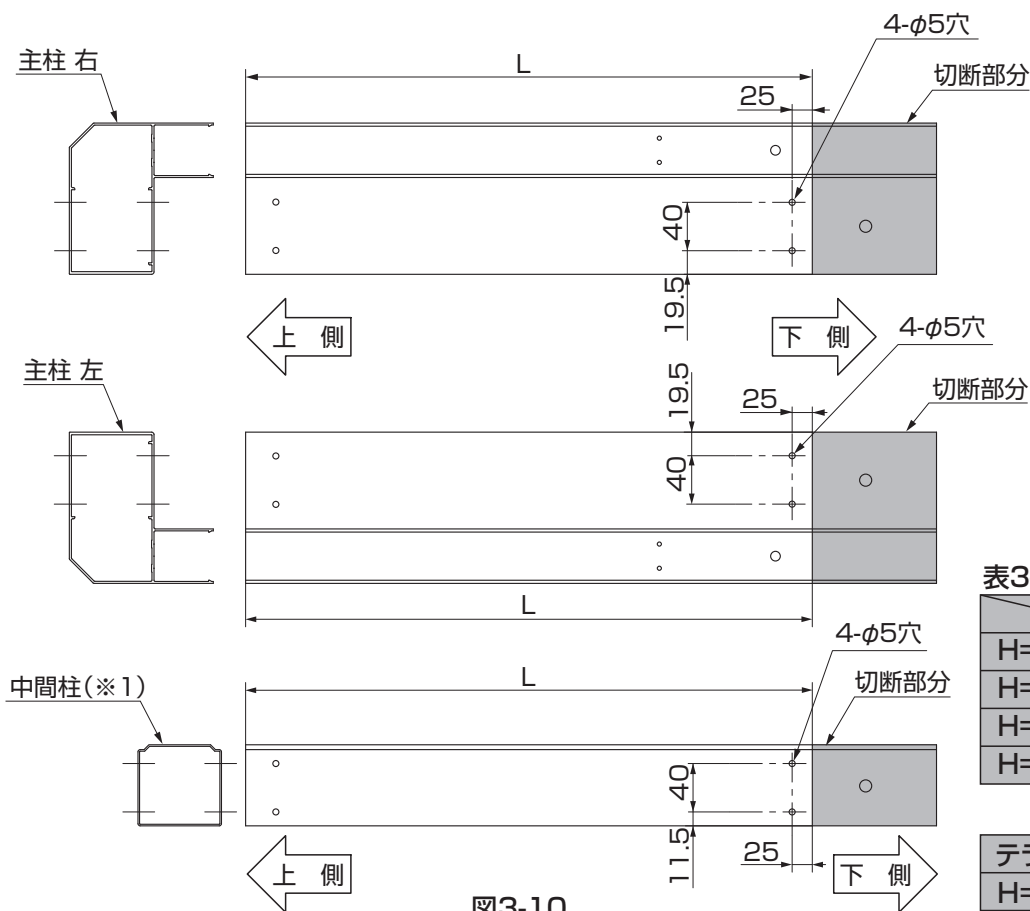


図3-10

表3-3 柱の切断寸法 L

	L
H=2000	1997
H=2100	2097
H=2300	2297
H=2400	2397

テラス仕様	L
H=3100	3097

①図3-10、表3-3を参照して主柱、中間柱を加工してください。

ポイント

- 柱の切断は下側から行なってください。
- 中間柱は2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合に使用します。(※1)

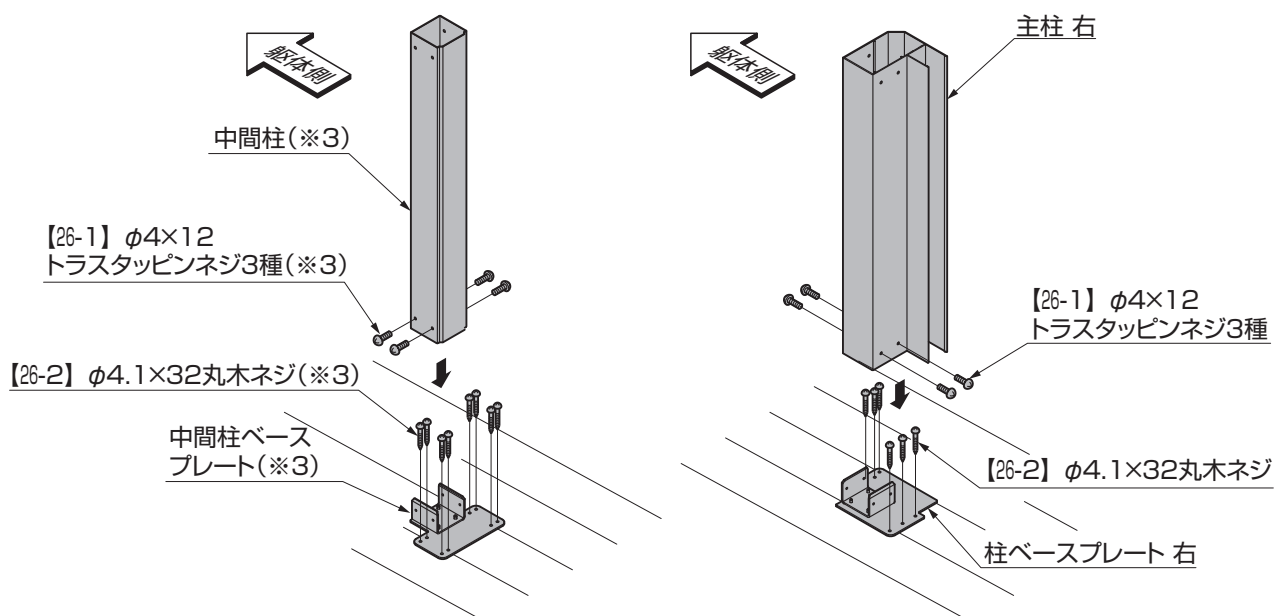


図3-11

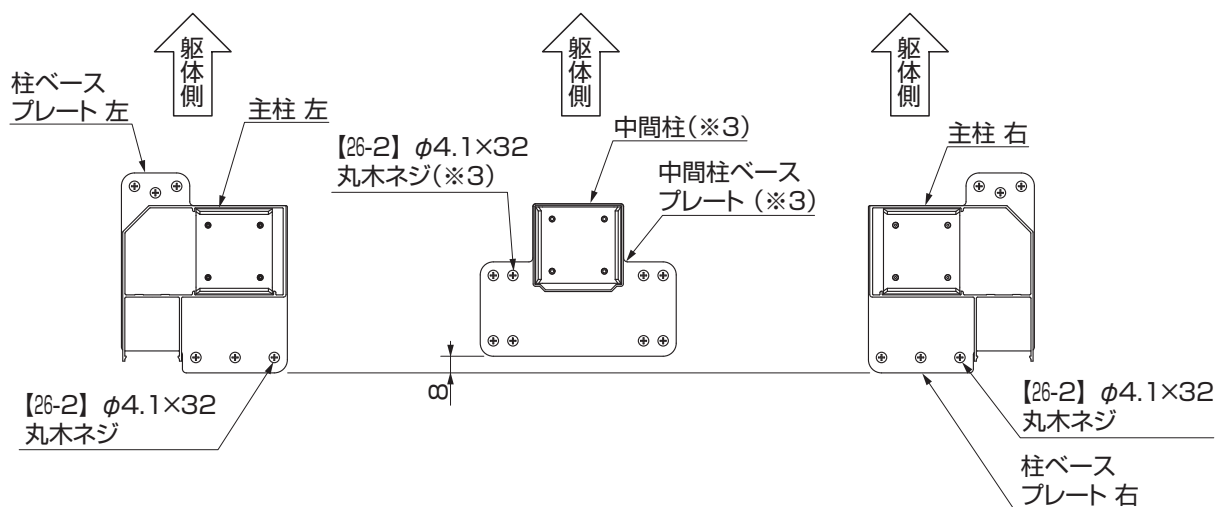


図3-12 柱・柱ベースプレート取付け方向

②柱下面に柱ベースプレートを【26-1】で固定してください。(図3-11参照)

ポイント

- 柱ベースプレートには取付ける方向があります。(図3-12参照)

③「3 柱の位置出し」および図3-12を参照して柱ベースプレートの位置を確認してください。

補足

- 主柱、中間柱は妻梁を取付けた後に固定してください。
- 連棟の場合は「9 連棟の施工 4. 土間・デッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

ポイント

- ※3は2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合に使用します。

3. (つづき)

3-3 土間仕様で柱を埋込む場合の建込み

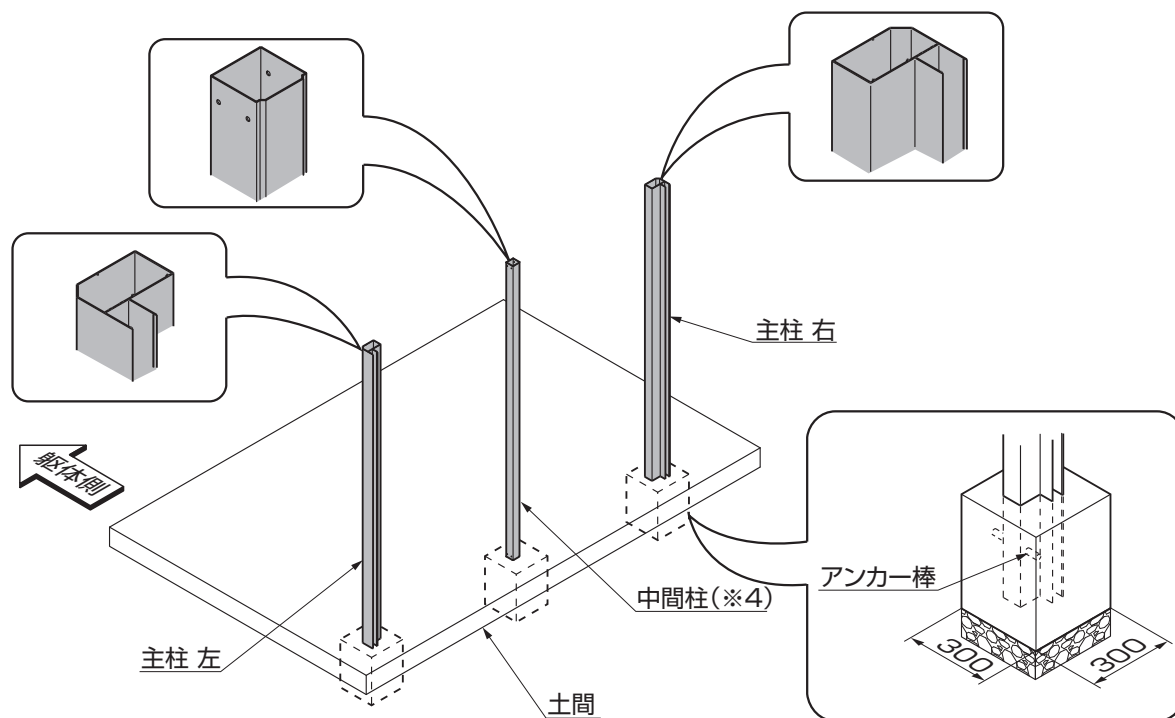


図3-13

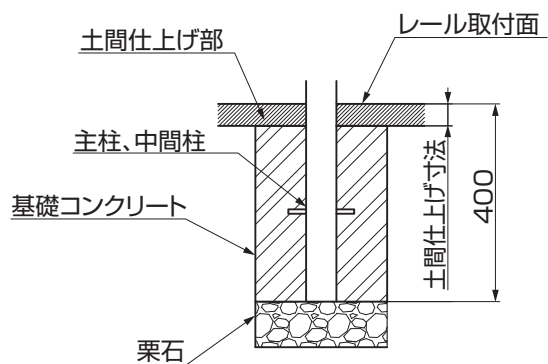


図3-14

① 「3 柱の位置出し」を参照して主柱・中間柱を建込んでください。

ポイント

- 主柱・中間柱は妻梁を取付けてた後に固定してください。
- 主柱・中間柱の埋込み深さは、土間仕上がり部の上面を含んで400mmにしてください。
- 中間柱は2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合に使用します。(※4)

※インナーデッキ仕様の場合は作業です。

※「3. 柱・束柱の建込み」と同時に行なう作業です。

※連棟の場合は「9 連棟の施工 8.ベース材の加工、10.ベース材の連結」と同時に行なう作業です。

4. ベース材の取付け

4-1 ベース材 縦の取付け

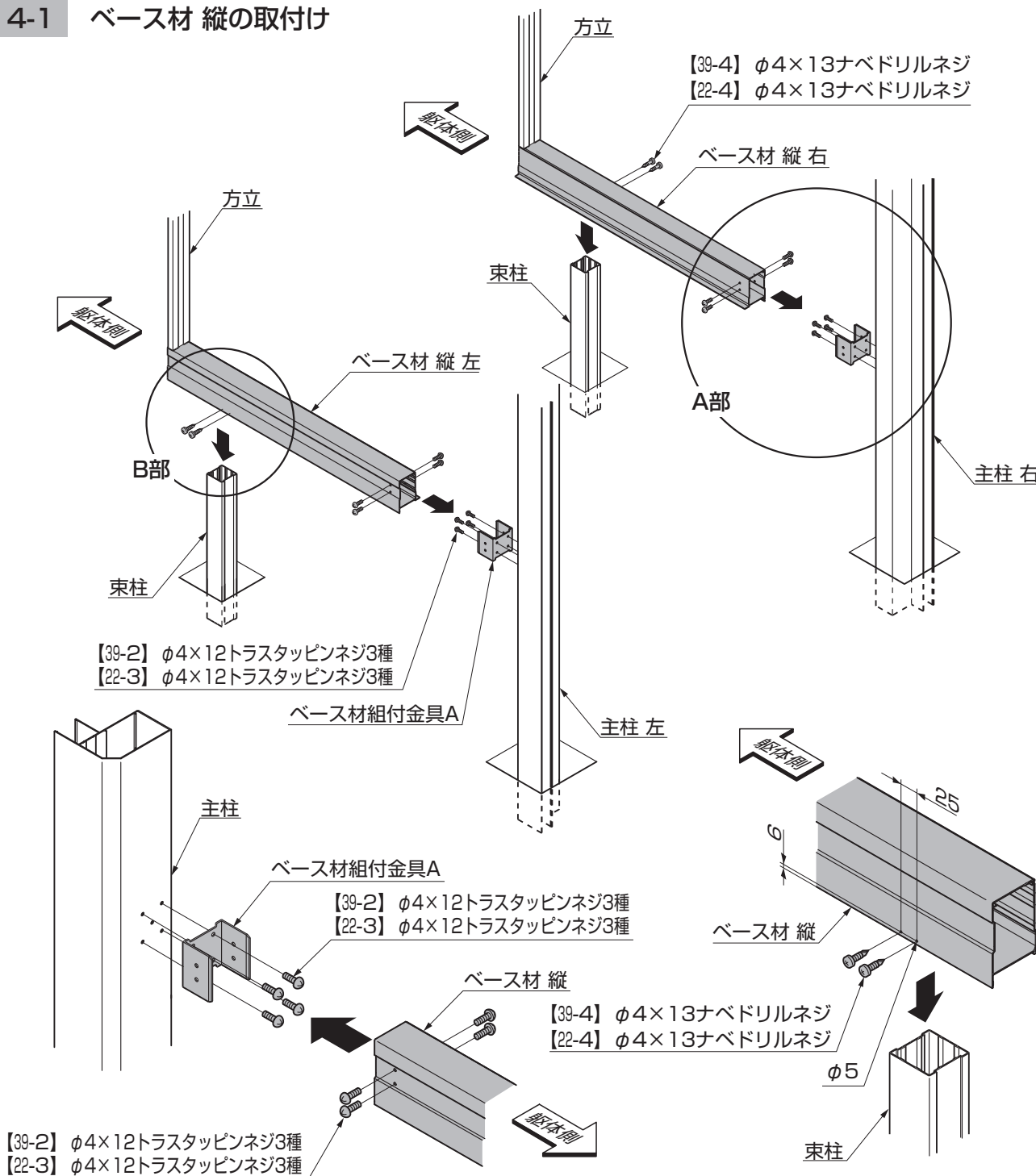


図4-1 A部詳細図

図4-2 B部詳細図

- ①主柱にベース材組付金具Aを【22-3】または【39-2】で取付けてください。（図4-1参照）
- ②ベース材 縦を主柱に取付けたベース材組付金具Aに【22-3】または【39-2】で取付けてください。
- ③ベース材 縦に $\phi 5$ の穴を加工して、束柱に【22-4】または【39-4】で固定してください。（図4-2参照）

4. (つづき)

4-2 ベース材 前・横の取付け

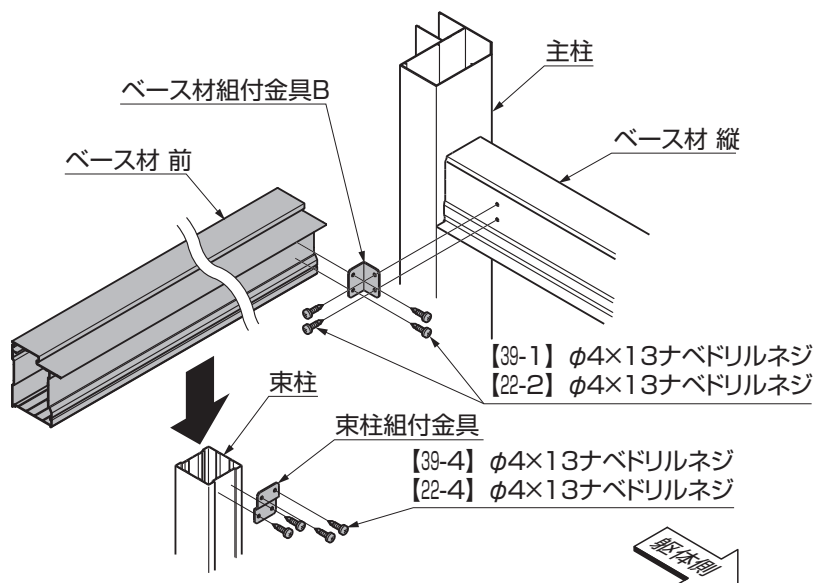


図4-3 ベース材 前の取付け

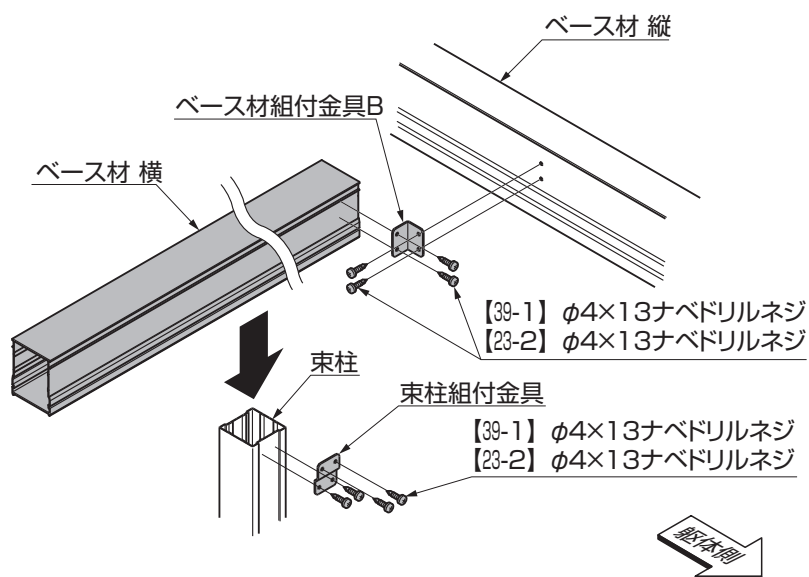


図4-4 ベース材 横の取付け

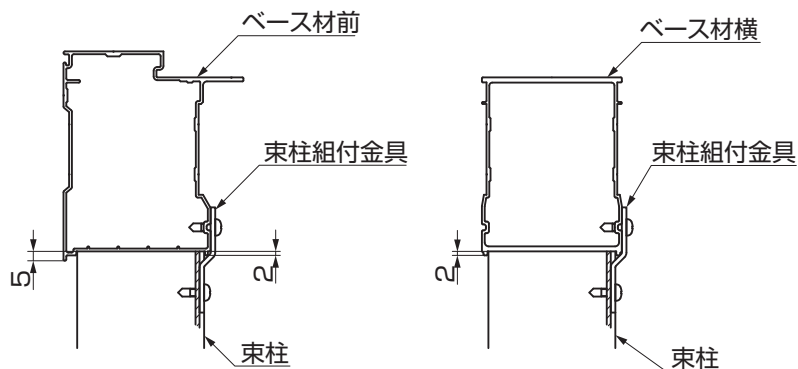


図4-5 ベース材前・ベース材横 断面図

- ① ベース材前をベース材組付金具Bと【22-2】または【39-1】でベース材 縦に取付けてください。
- ② ベース材前を束柱組付金具と【22-4】または【39-4】で束柱に取付けてください。

- ③ ベース材横をベース材組付金具Bと【23-2】または【39-1】でベース材 縦に取付けてください。
- ④ ベース材横を束柱組付金具と【23-2】または【39-1】で束柱に取付けてください。

※連棟の場合は「9 連棟の施工 6.桁の加工、7.桁の連結」と同時に行なう作業です。

5. 妻梁・桁の取付け ※積雪用の場合は「10 積雪仕様の施工 3.桁の加工」と同時に行なう作業です。

5-1 桁妻梁連結金具の取付け

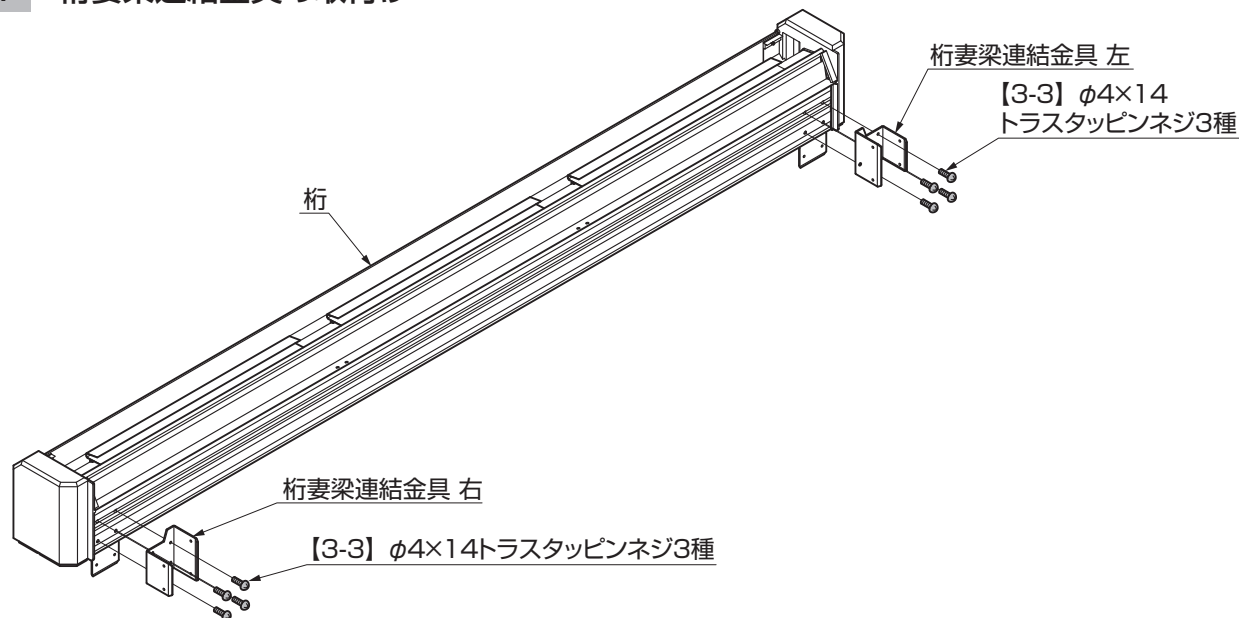


図5-1

①桁に桁妻梁連結金具 右、桁妻梁連結金具 左を【3-3】で取付けてください。(図5-1参照)

5-2 桁の中間柱取付け加工 ※2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合の作業です。

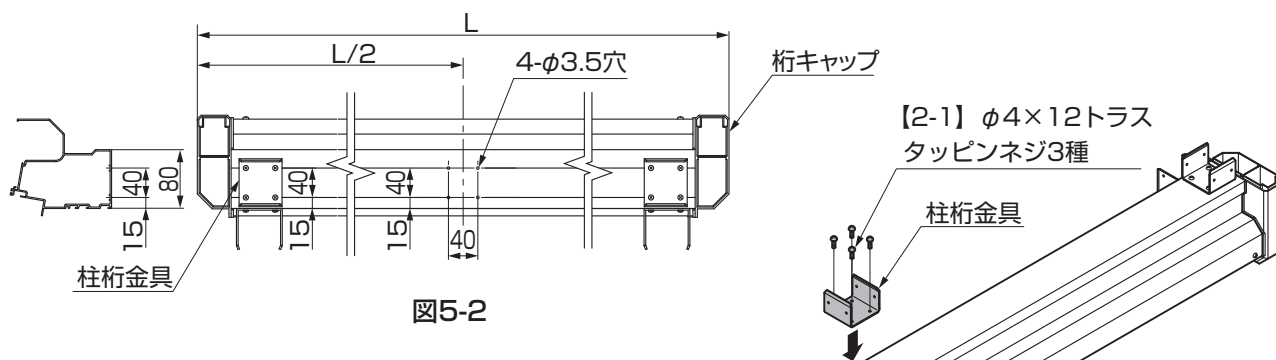


図5-2

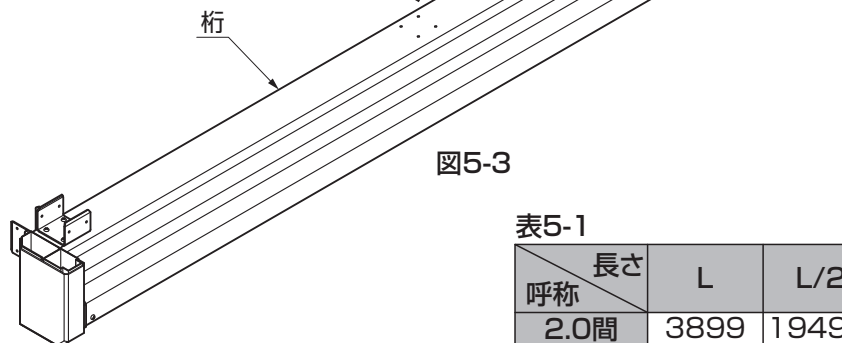


図5-3

表5-1

呼称	長さ	L	L/2
2.0間		3899	1949.5
2.5間		4839	2419.5
3.0間		5779	2889.5

①桁に図5-2、表5-1を参照して穴加工をしてください。

②桁に柱桁金具を【2-1】で取付けてください。(図5-3参照)

5. (つづき)

5-3 柱、桁、妻梁の取付け ※「3. 柱・束柱の建込み」と同時に行なう作業です。

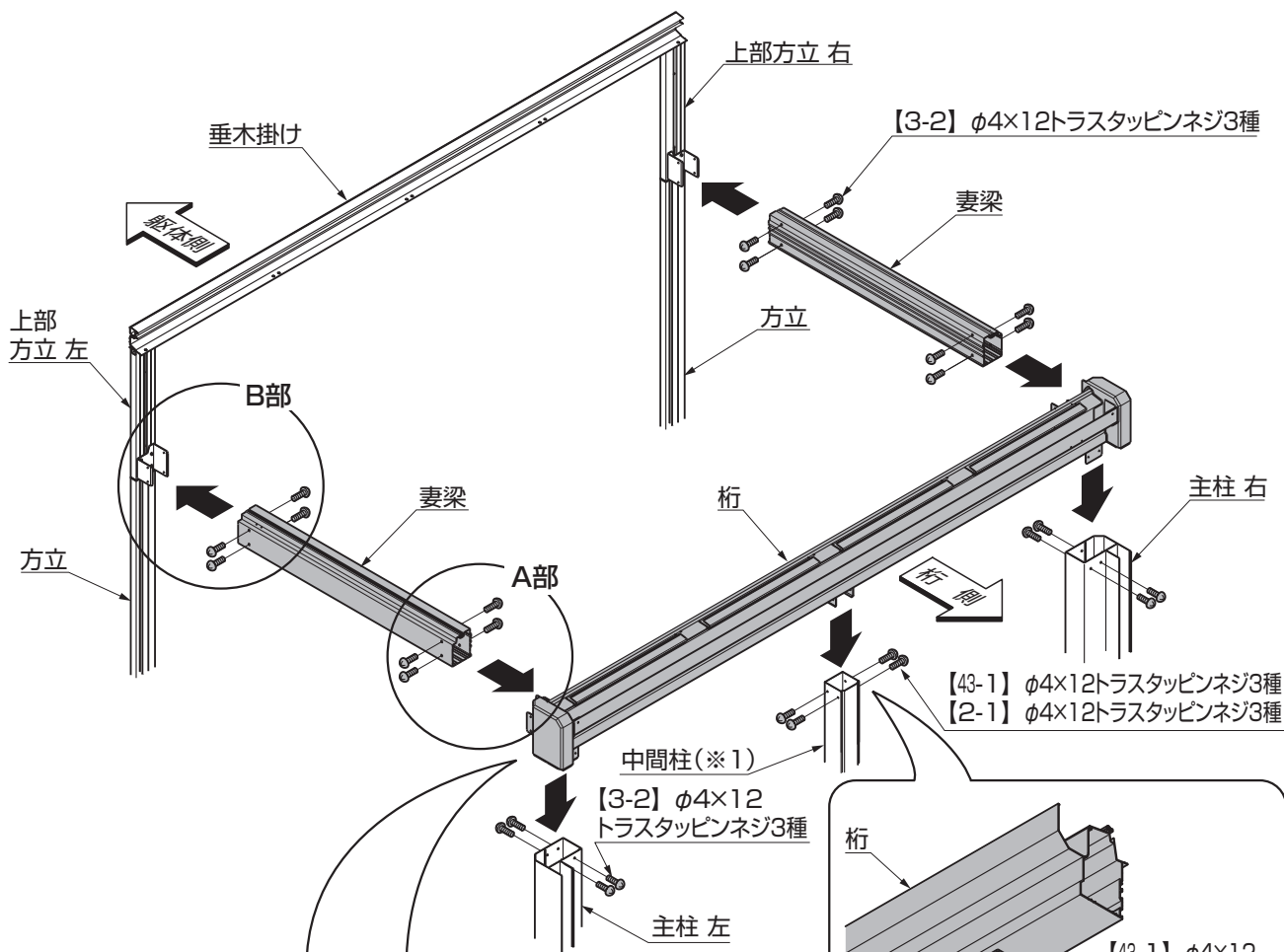


図5-4

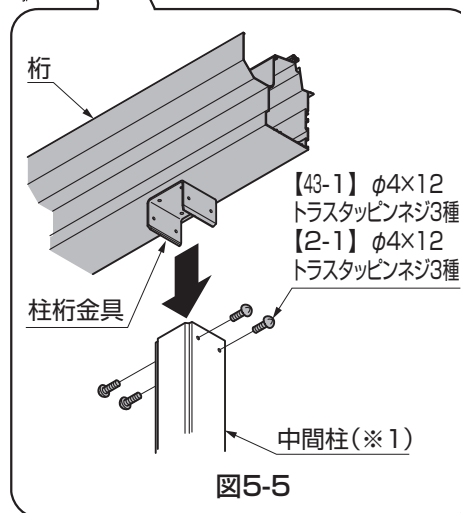


図5-5

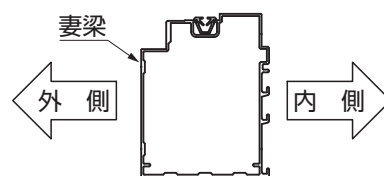


図5-6 妻梁取付け方向

①桁を主柱、中間柱(※1)に【3-2】、【2-1】または【43-1】で取付けてください。(図5-4、図5-5参照)

ポイント

- 中間柱は2.0間積雪仕様、2.5間、3.0間の場合に使用します。(※1)
- 指定の箇所に、必ずシーリングをしてください。(図5-4参照)

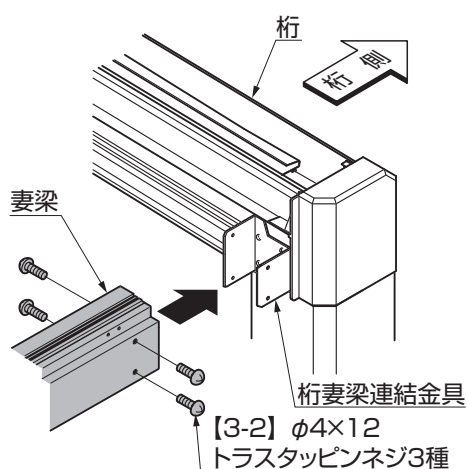


図5-7 A部詳細図

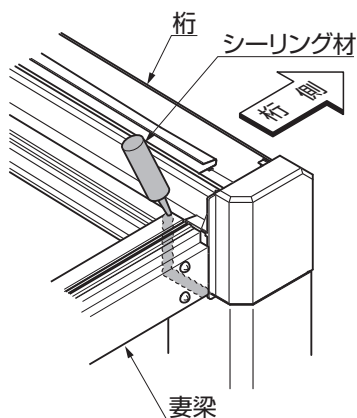


図5-8 A部シーリング箇所

②妻梁を桁と上部方立に【3-2】で取付けてください。(図5-7、図5-9参照)

ポイント

- 妻梁は「内側」「外側」に注意してください。(図5-6参照)
- 妻梁、桁、柱の水平・垂直に注意してください。
- 指定の箇所に、必ずシーリングをしてください。(図5-8、図5-10参照)

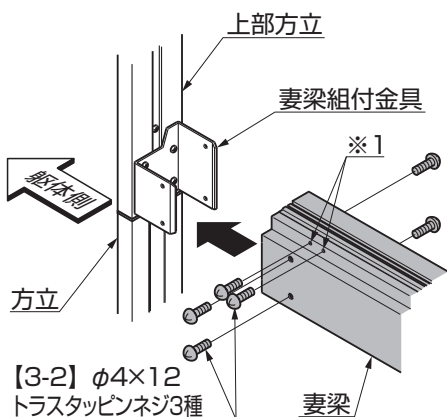


図5-9 B部詳細図

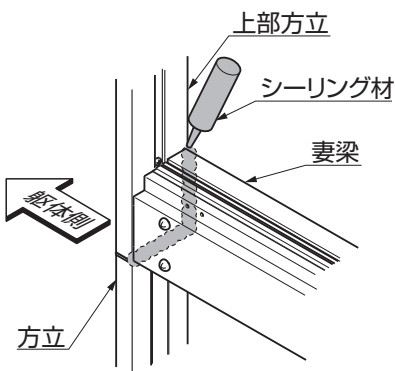


図5-10 B部シーリング箇所

③妻梁の躯体側の穴(※1)に【3-2】を取付けてカバーしてください。(図5-9参照)

6. 垂木・妻垂木および中骨の取付け

※積雪用の場合は「10 積雪仕様の施工」を参照してください。

6-1 妻梁・妻垂木取付金具の取付け

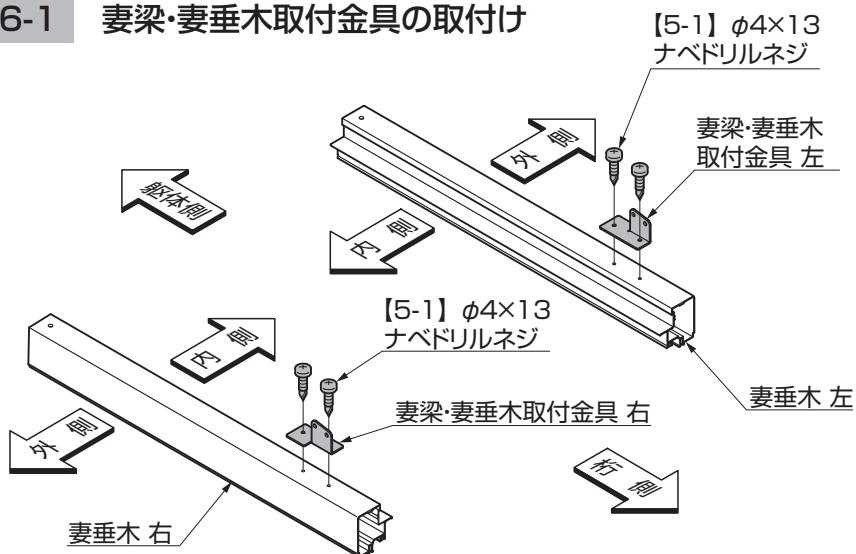


図6-1

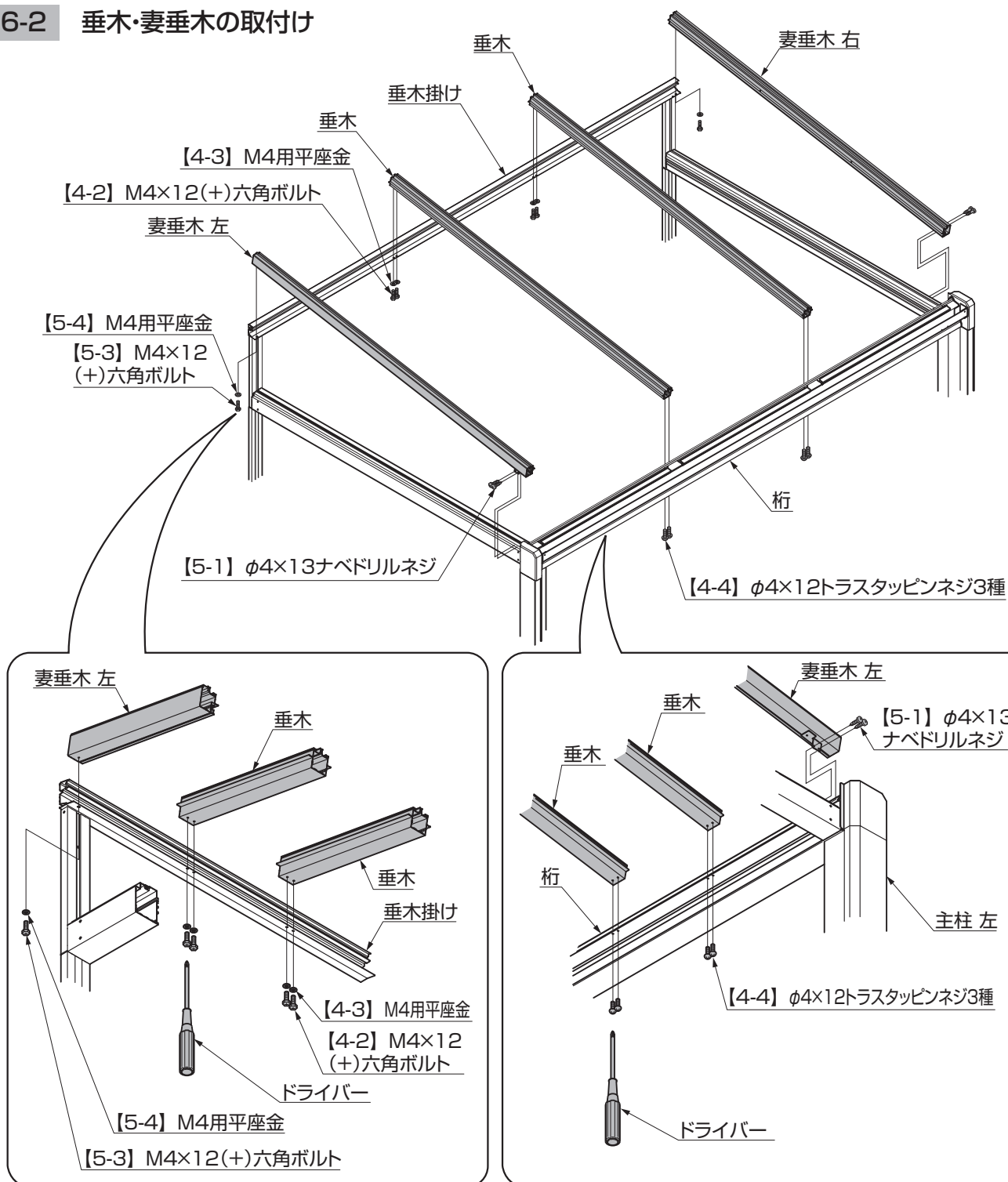
①妻垂木の桁側下面に妻梁・妻垂木取付金具を【5-1】で取付けてください。

ポイント

- 妻垂木および妻梁・妻垂木取付金具には左右、取付け方向があります。

6. (つづき)

6-2 垂木・妻垂木の取付け

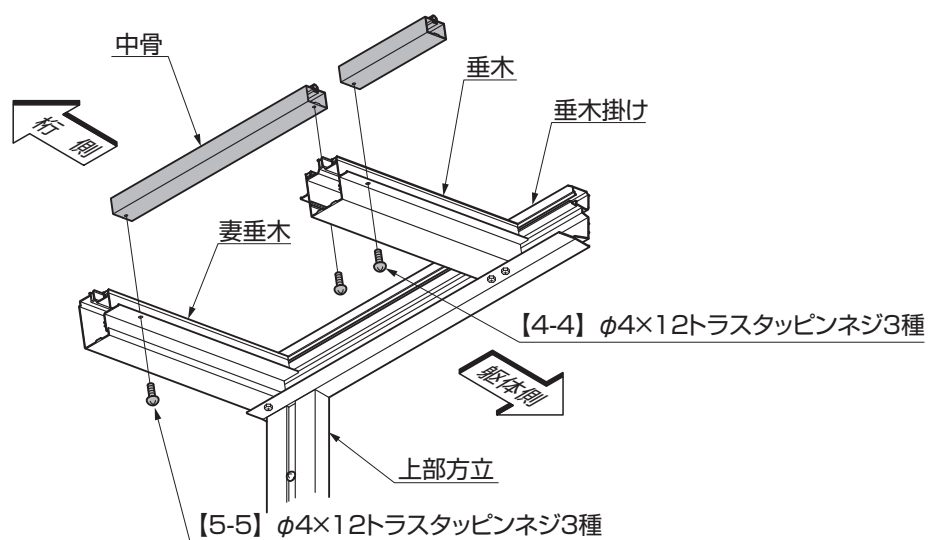
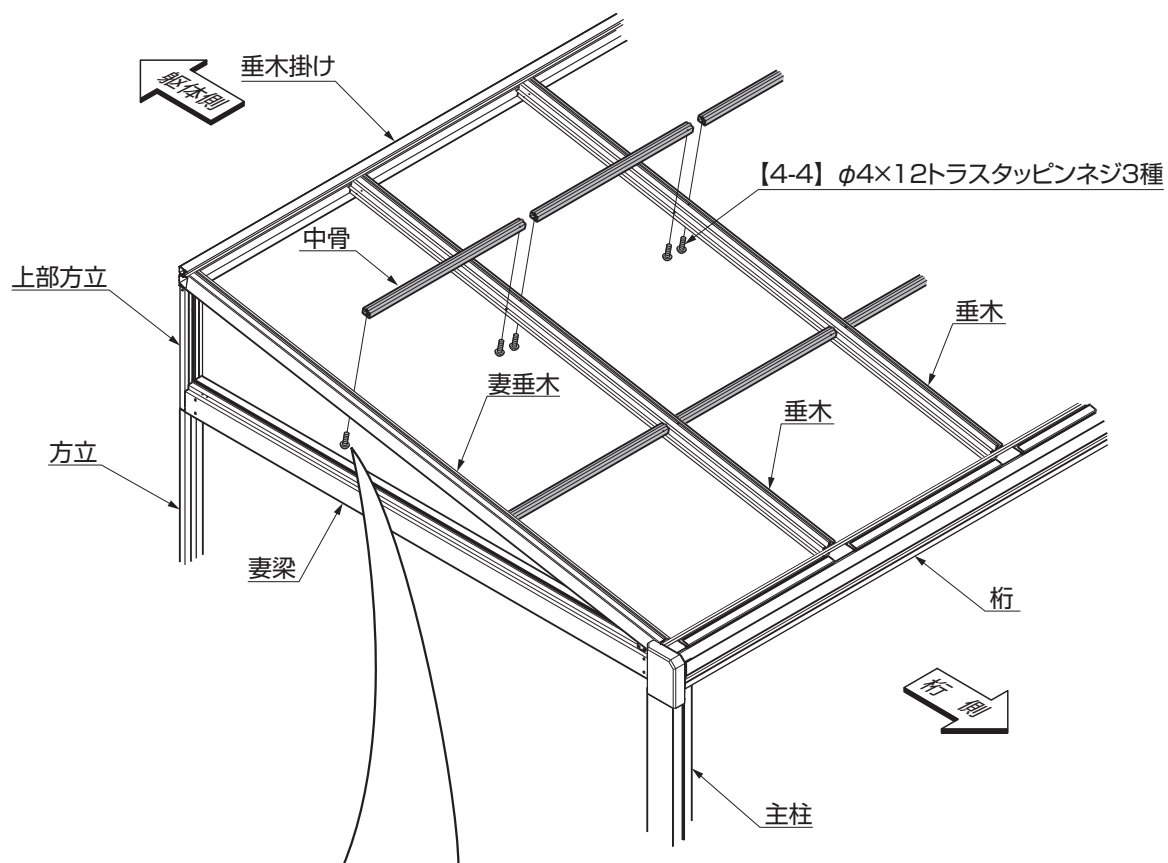


- ①妻垂木を垂木掛けに【5-4】と【5-3】で取付けてください。
- ②妻垂木を妻梁に【5-1】で取付けてください。
- ③垂木を垂木掛けに【4-3】と【4-2】で取付けてください。
- ④垂木を桁に【4-4】で取付けてください。

ポイント

- 妻垂木、垂木の取付けにはインパクトドライバーは使用しないでください。ネジ山が破損するおそれがあります。

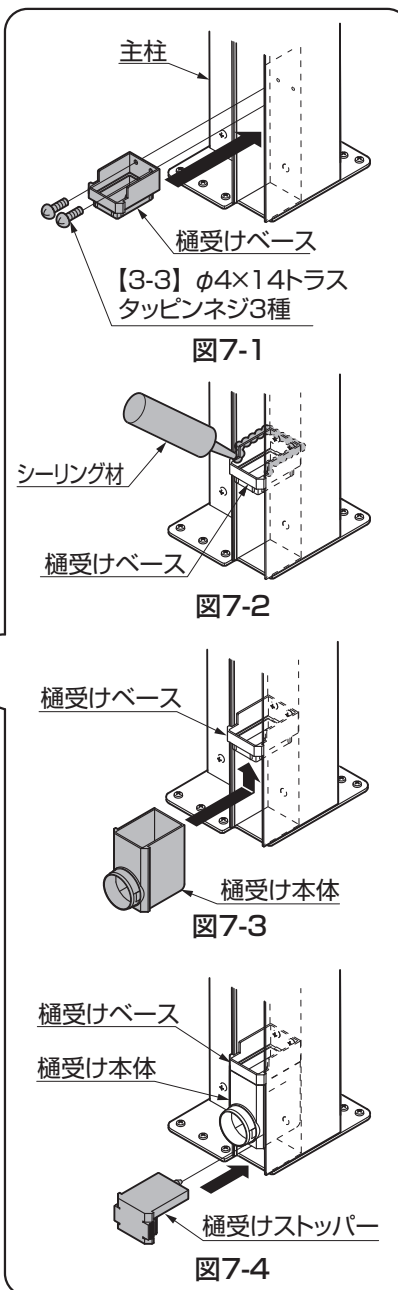
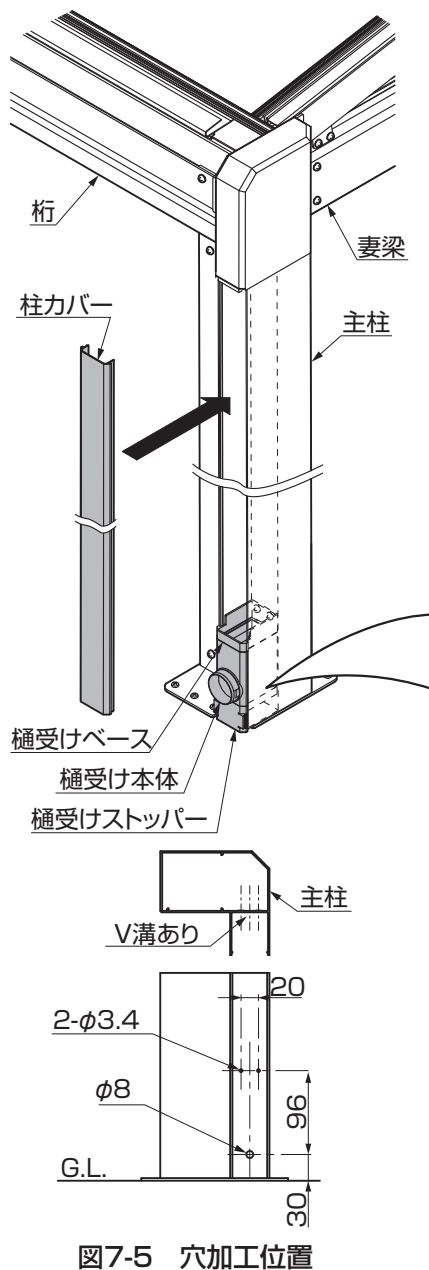
6-3 中骨の取付け



①中骨を妻垂木と垂木に【5-5】、【4-4】で取付けてください。

7. 樋受け部品の取付け

7-1 柱カバー・樋受けの取付け



補足

●樋受けベースおよび樋受けストッパー取付用の穴は、あらかじめ加工してあります。現場切詰めをした場合は、穴を再加工してください。(図7-5参照)

①樋受けベースを【3-3】で取付けてください。(図7-1参照)

②樋受けベースにシーリングをしてください。(図7-2参照)

③樋受けベースに樋受け本体を取付けてください。(図7-3参照)

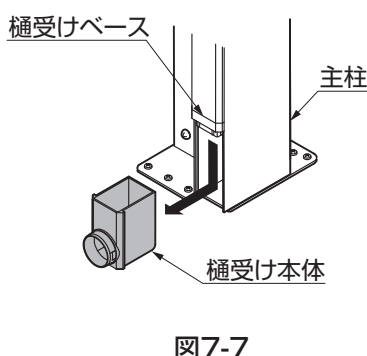
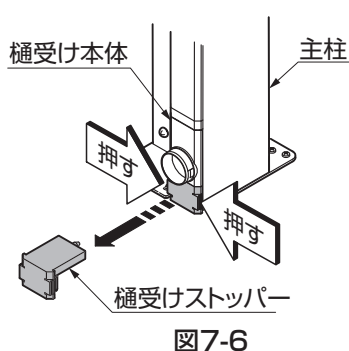
④主柱に樋受けストッパーを取付けてください。(図7-4参照)

⑤主柱に柱カバーをはめ込んでください。

ポイント

●樋受けベース、樋受け本体、樋受けストッパーは接着しないでください。

7-2 樋受けの取外し



補足

●樋受け本体はゴミがたまったとき等に取外すことができます。

①樋受けストッパーを取外してください。(図7-6参照)

②樋受け本体を下にさげ、主柱から取外してください。(図7-7参照)

7-3 丸樋の取付け ※必要に応じて加工、取付けを行ってください。

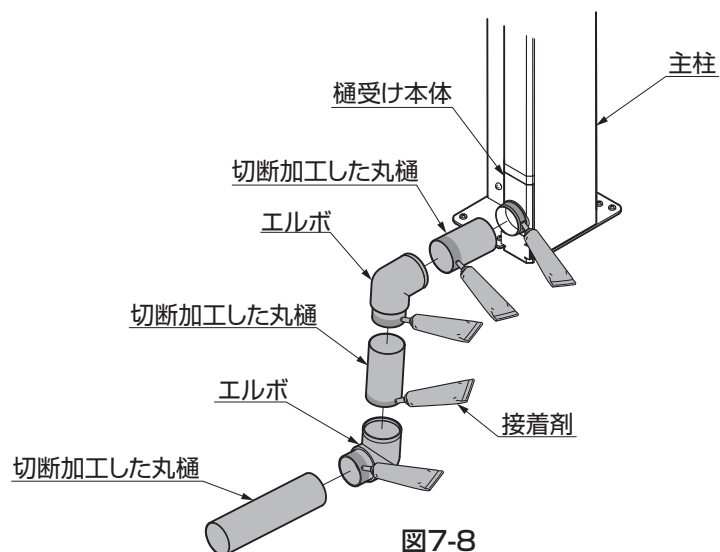
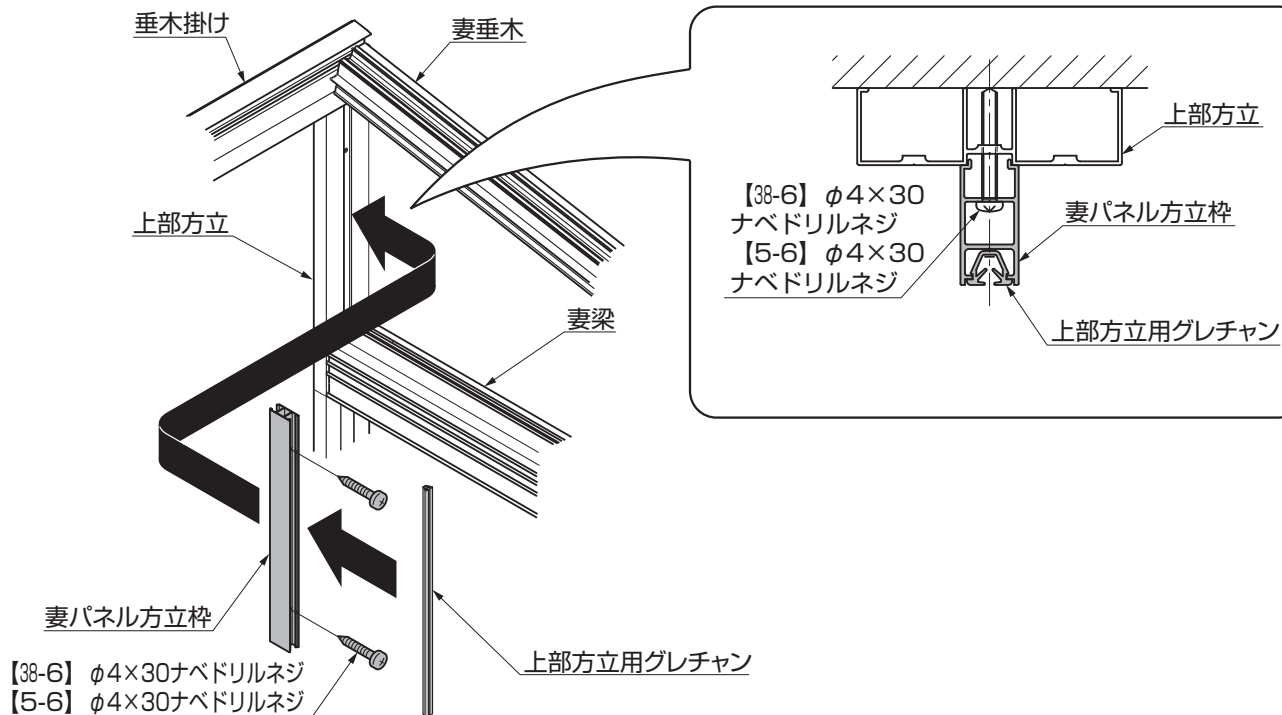


図7-8

①エルボ、切断加工をした丸樋を樋受け本体に取付けてください。

8. 妻梁上部フィックスパネルの取付け

8-1 妻パネル方立枠の取付け



①妻パネル方立枠を上部方立に【5-6】または【38-6】で取付けてください。

②妻パネル方立枠に上部方立用グレチャンをはめ込んでください。

補足

●上部方立に妻パネル方立枠の取付け穴はあいていません。

9. 屋根材の取付け

9-1 屋根材の取付け

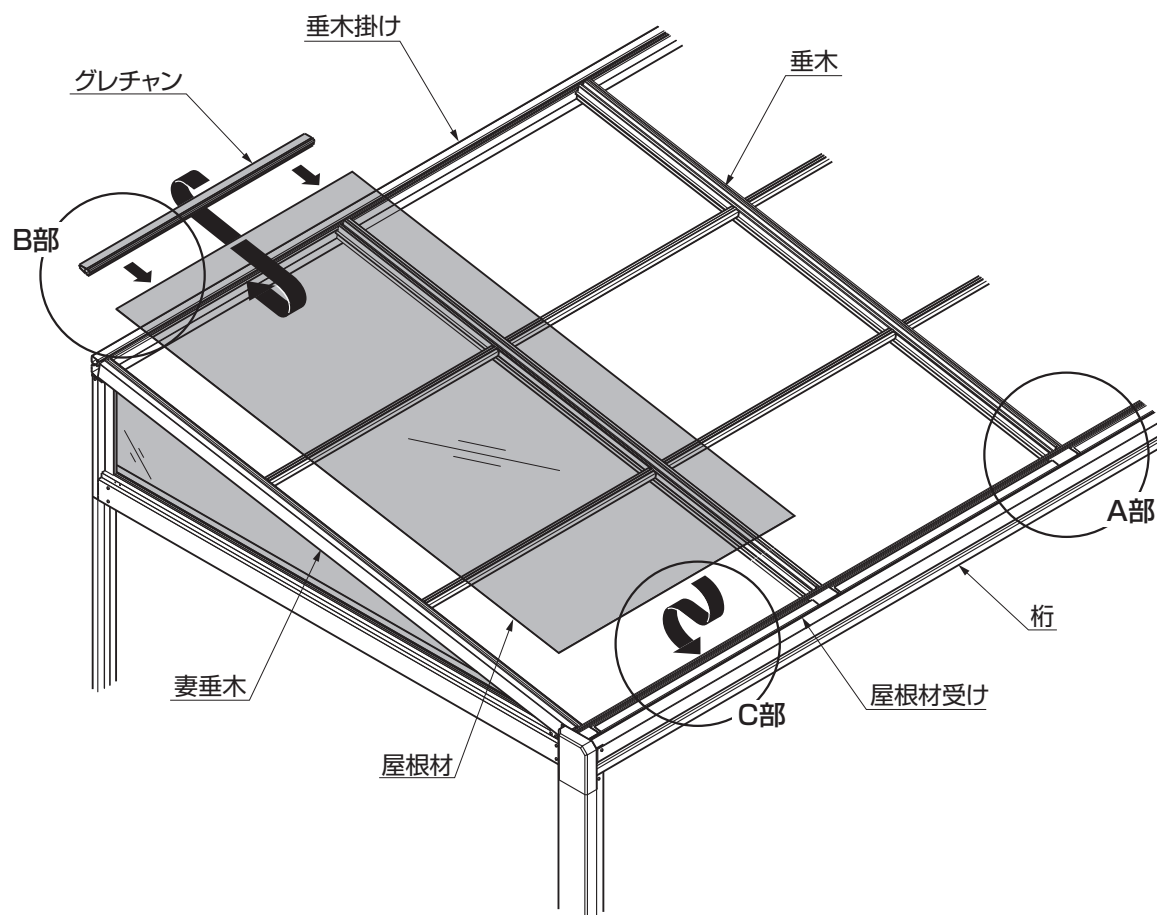


図9-1

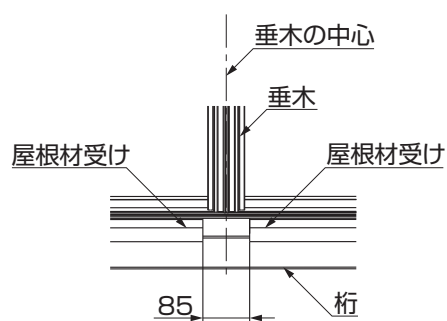


図9-2 A部詳細図

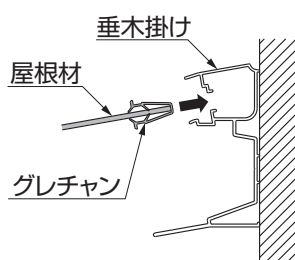


図9-3 B部詳細図

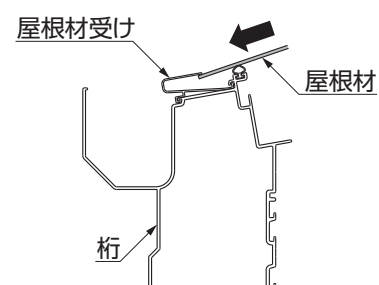


図9-4 C部詳細図

ポイント

- 屋根材を取付ける前にレールおよび戸当り吊元枠を取付けると作業がスムーズです。
- 左右どちらかの妻垂木より1スパンごとに 9-1 屋根材の取付け 9-2 垂木カバーの取付けを行ってください。

- ① 屋根材受けの位置を垂木間の中央に納まるように調整してください。（図9-2参照）
- ② 屋根材にグレチャンを取付け、垂木掛けの溝に差込んでください。（図9-3参照）
- ③ 屋根材受けに屋根材を差込んでください。（図9-4参照）

9. (つづき)

9-2 垂木カバーの取付け

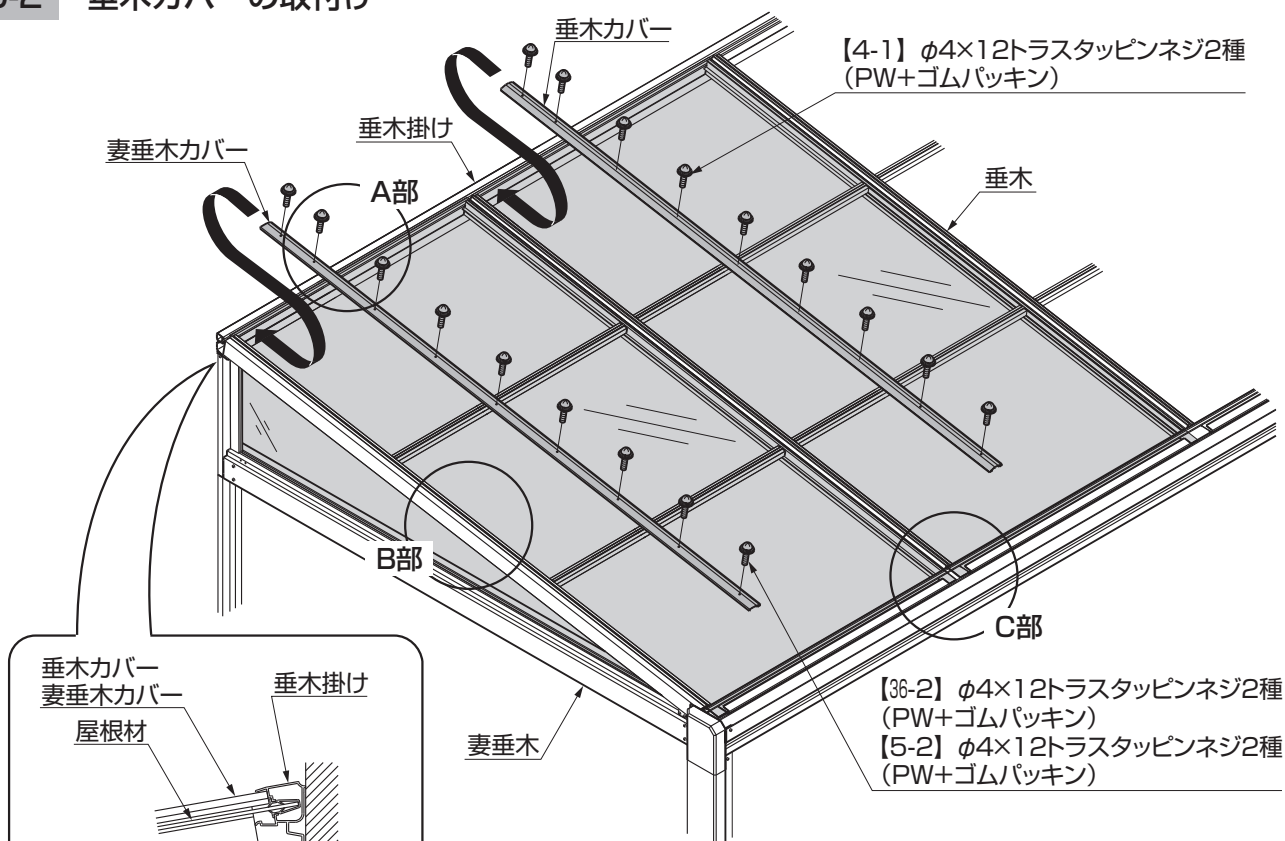
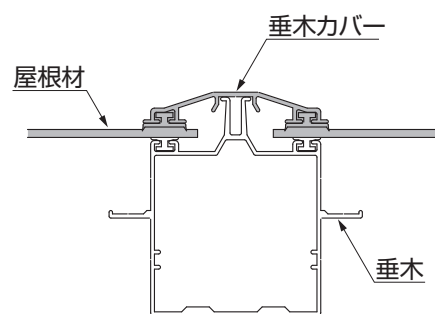
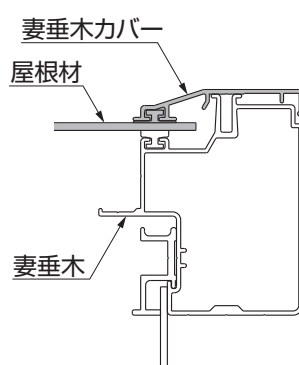
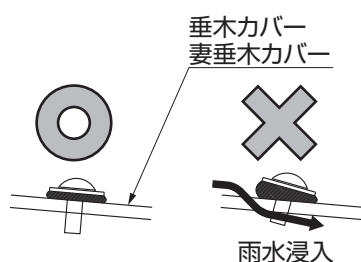
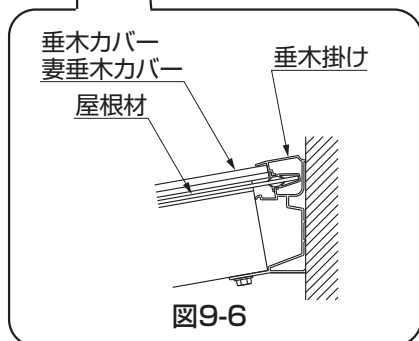


図9-5

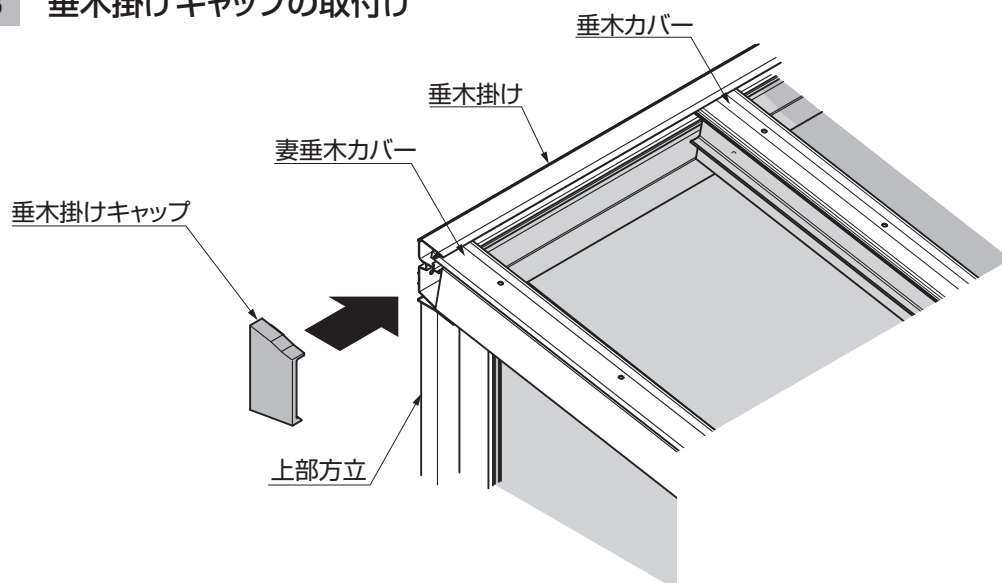


①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込み、【5-2】または【36-2】、【4-1】で垂木掛け側から順番に取付けてください。(図9-6参照)

ポイント

- ネジ止めは垂木、妻垂木に対して垂直にかつ、ゴムパッキンが十分につぶれるまでねじ込んでください。不十分だと雨もれの原因になります。(図9-7参照)
- 妻垂木カバーには取付け方向があります。図9-8のように取付けてください。
- 屋根材の取付けはパネルののみ込みが左右均等になるようにしてください。(図9-9参照)

9-3 垂木掛けキャップの取付け



①垂木掛けキャップを取付けてください。

9-4 シーリング処理

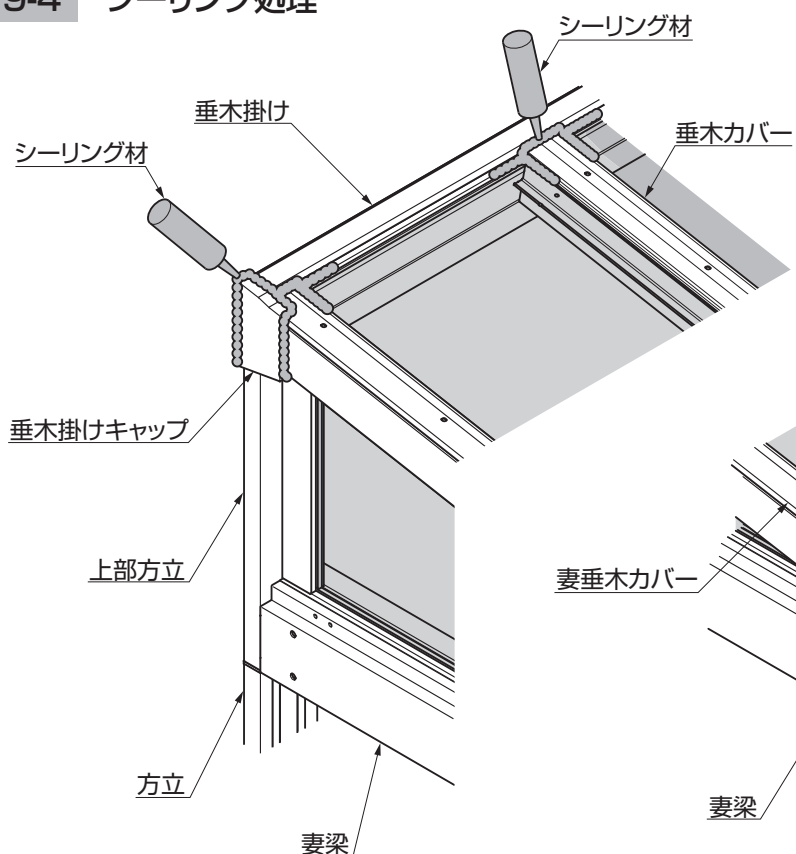
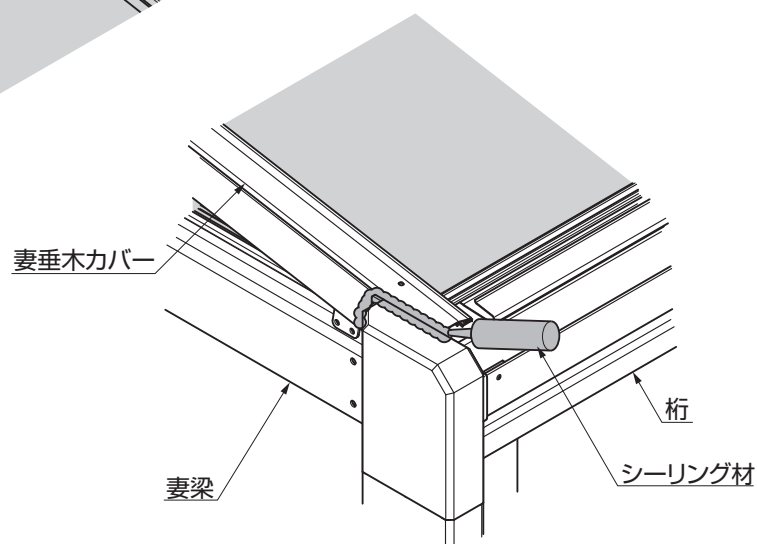


表9-1 指定のシーリング材

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・ マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960



ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをして、ヘラで押さえてください。確実にシーリングを行わないと、雨漏りの原因になります。
- 屋根材に接触する部分へシリコンシーリングを行う場合は表9-1を参照して、弊社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。指定外のシーリング材を使用すると、屋根材がひび割れて雨漏りの原因になります。
- シーリング処理を施す前に、表面の水分・ゴミ・油分が除去されているか確認をしてください。

5 床面の工事 (1)

1. 内面デッキの施工準備 ※インナーデッキ仕様の場合の作業です。

1-1 レールベース材の取付け

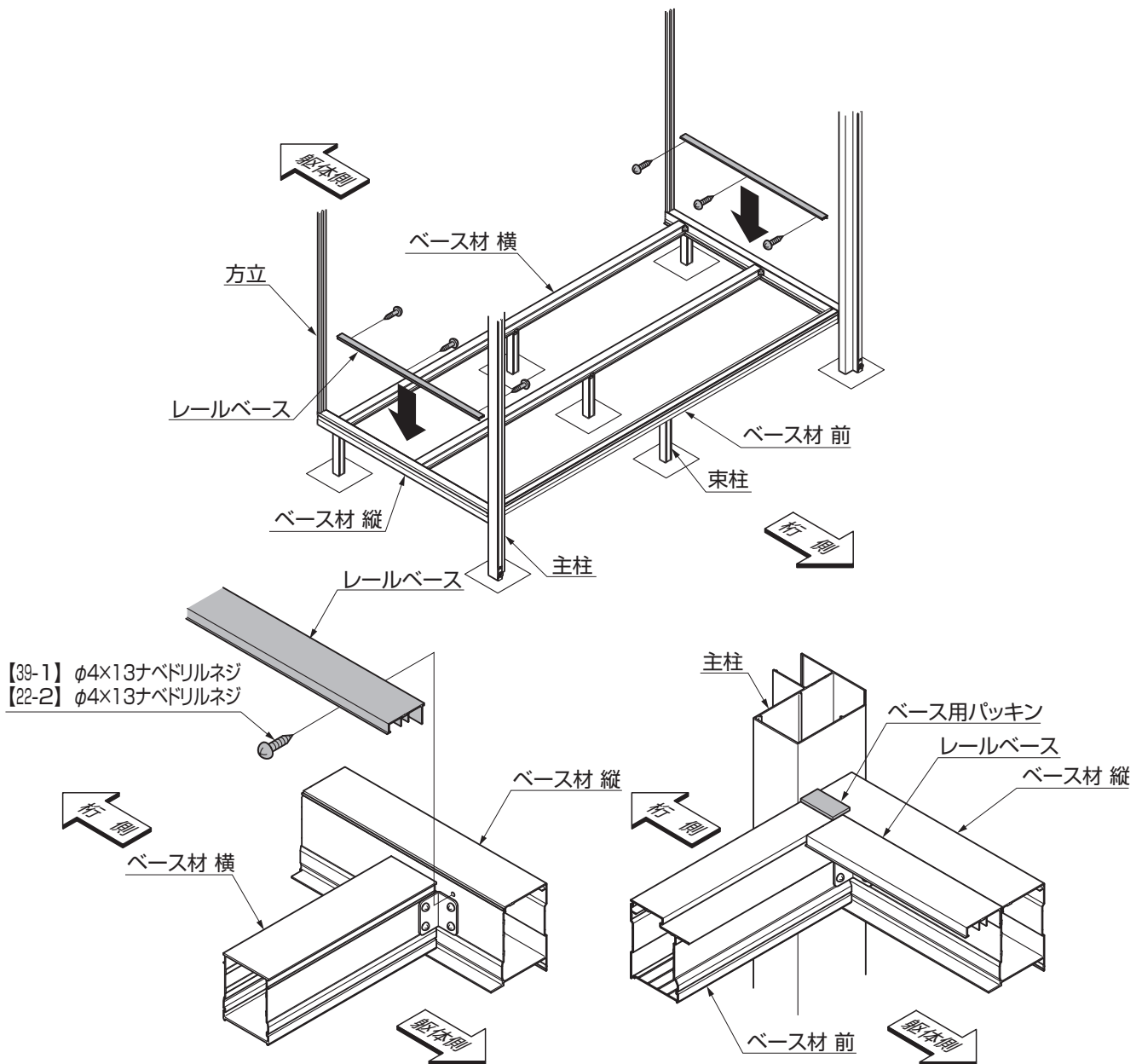


图 1-1

图 1-2

- ①レールベースをベース材 横とベース材 縦のすき間へはめ、柱側へ押し当て【22-2】または【39-1】で取付けてください。
- ②レールベースの止め位置にベース材 横がくる場合は、ベース材 横をよけた位置に下穴をあけ、【22-2】または【39-1】を止めてください。(図1-1参照)

ポイント

- レールベースをネジ止めせずに施工すると下レールのがたつき、およびパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

- ③ベース材 縦とベース材 前のすき間にベース用パッキンを貼ってください。(図1-2参照)

1-2 ハイフロアスペーサーの取付け **オプション** ※デッキ材を下レールと同じ高さにする場合の作業です。

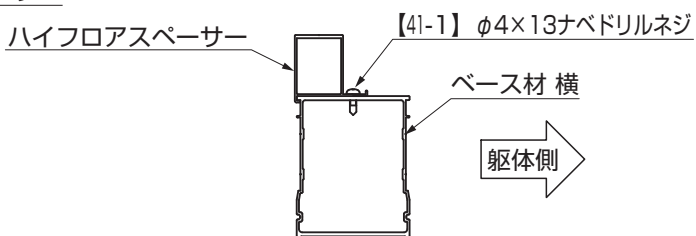
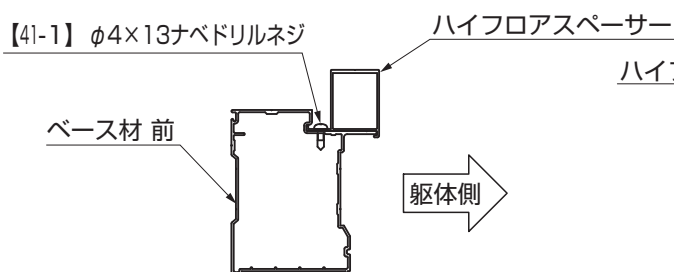
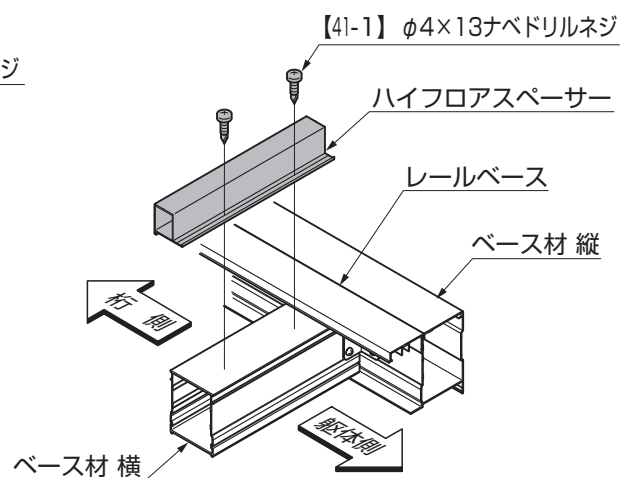
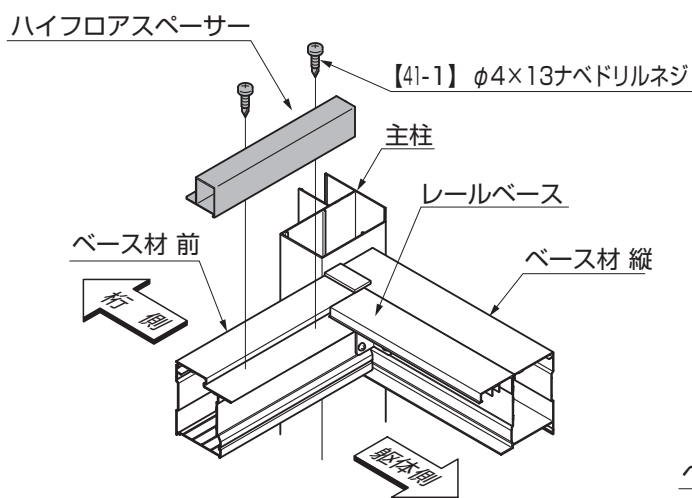
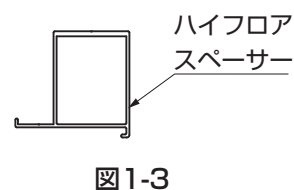
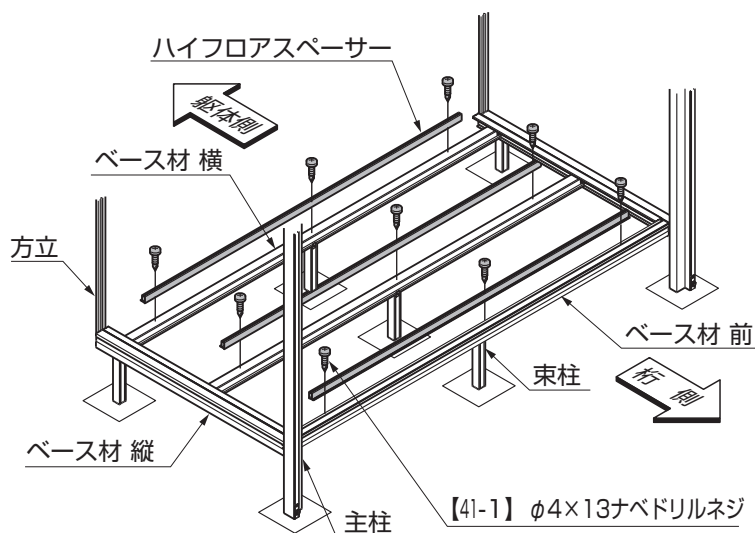


図1-4 ベース材 前への取付け

図1-5 ベース材 横への取付け

- ①ベース材 前にハイフロアスペーサーを【4I-1】で取付けてください。(図1-4参照)
- ②ベース材 横にハイフロアスペーサーを【4I-1】で取付けてください。(図1-5参照)

ポイント

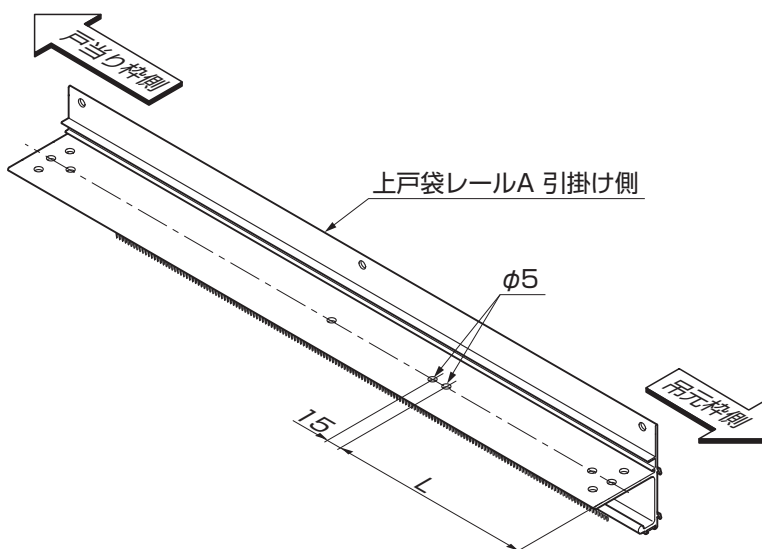
- 両端および中央の3箇所をネジ止めしてください。

6 レールの取付け

1. 前面上下レールの施工

※連棟の場合は「**9 連棟の施工** 9. レールの加工、11. 桁レールの連結」と同時に行なう作業です。

1-1 上戸袋レールの加工



①戸袋レールセットの梱包を開いた時点で、上戸袋レール引掛け側に戸当りストッパー取付け用のφ5の穴をあけてください。

（図1-1、1-2参照）、（表1-1参照）

ポイント

- 穴位置を間違えるとパネルの開閉に支障を生じることがあります。
- 穴加工は、上戸袋レール引掛け側の吊元枠側だけを加工してください。

図1-1 外収納の場合

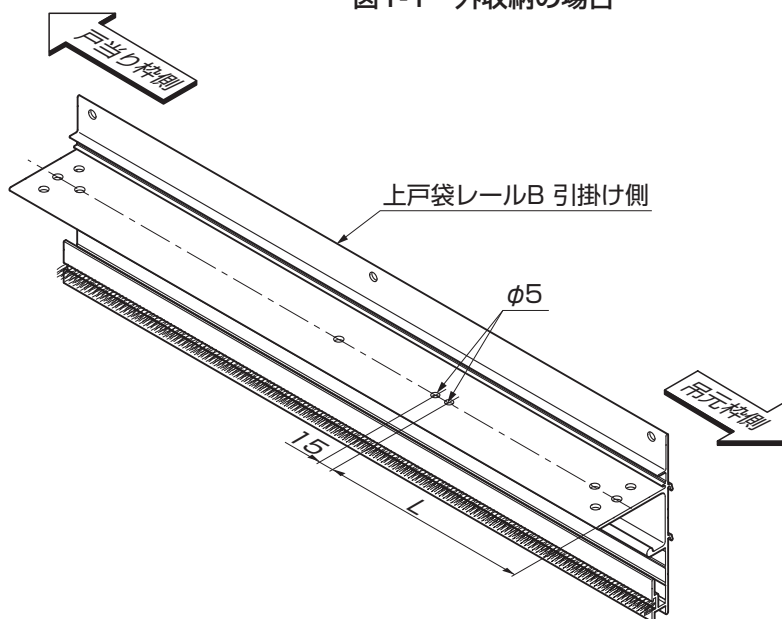
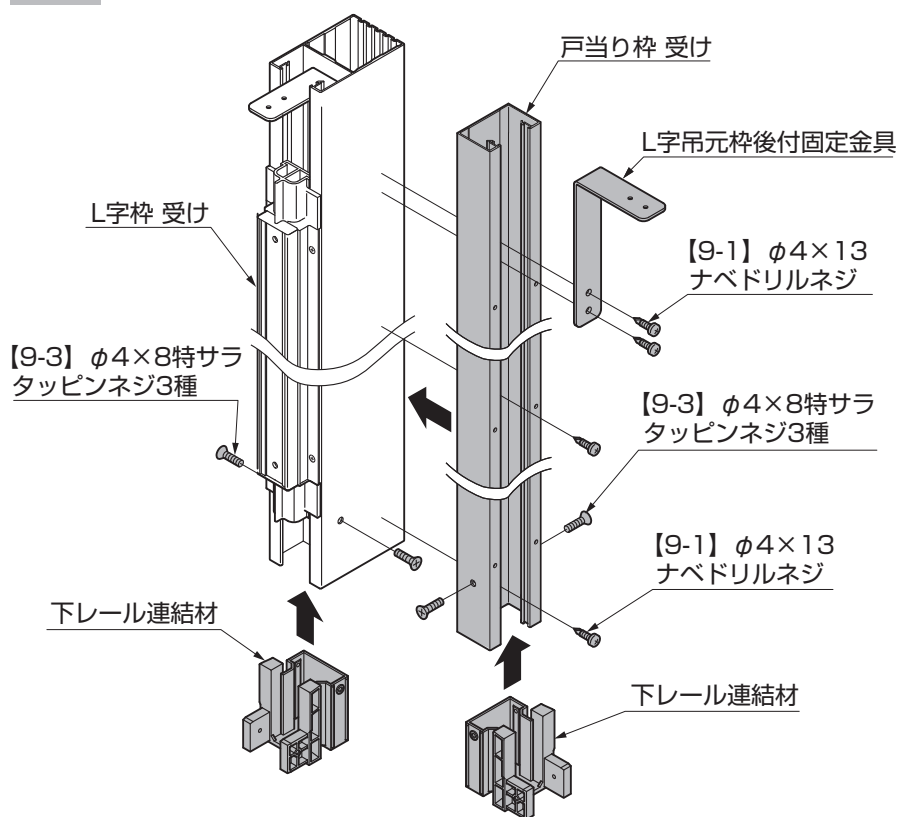


図1-2 内収納の場合

表1-1

戸袋サイズ	寸法	L	備 考
パネル6枚用		265	1.5間前面
パネル8枚用		307	2.0間前面
パネル12枚用		391	2.5間前面
パネル14枚用		433	3.0間前面

1-2 L字枠 受け・戸当り枠 受けの取付け ※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。



補足

●各部材の配置は「2 基本寸法と各部名称 3.各部名称 3-2 レール部」を参照してください。

- ① L字枠 受けと下レール連結材を【9-3】で取付けてください。
- ② 戸当り枠 受けと下レール連結材を【9-3】で取付けてください。
- ③ L字枠 受けに戸当り枠 受けとL字吊元枠後付固定金具を【9-1】で取付けてください。

ポイント

- L字枠 受け・戸当り枠 受けの位置は図1-3を参考にしてください。
- 戸当り枠 受けのみ、取付けてください。吊元枠Bはこの段階では取付けないでください。

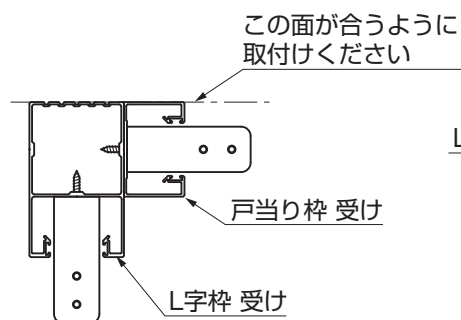


図1-3 戸当り受け位置

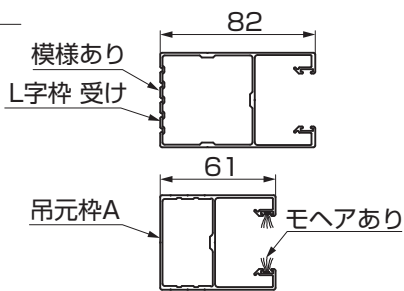


図1-4

補足

- L字枠 受けは吊元枠Aと類似しています。図1-4を参照して確認してください。
- 戸当り枠 受けと吊元枠Bの見分け方は図1-5、図1-6を参照してください。
- 戸当り枠 受け、吊元枠Bには上下があります。穴(※1)がある方が下側です。(図1-5、図1-6参照)

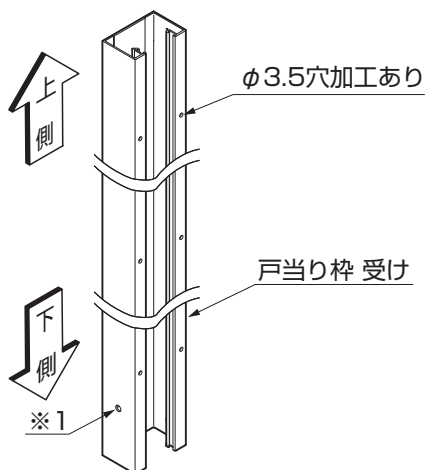


図1-5 戸当り枠 受け

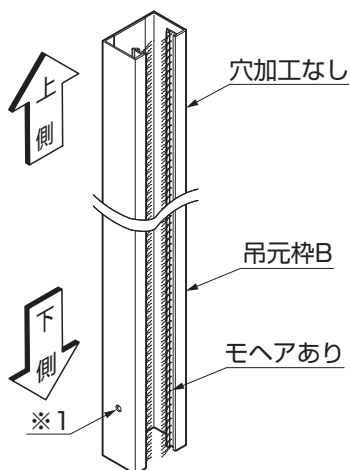


図1-6 吊元枠B

1. (つづき)

1-3 桁部上レールの取付け ※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。

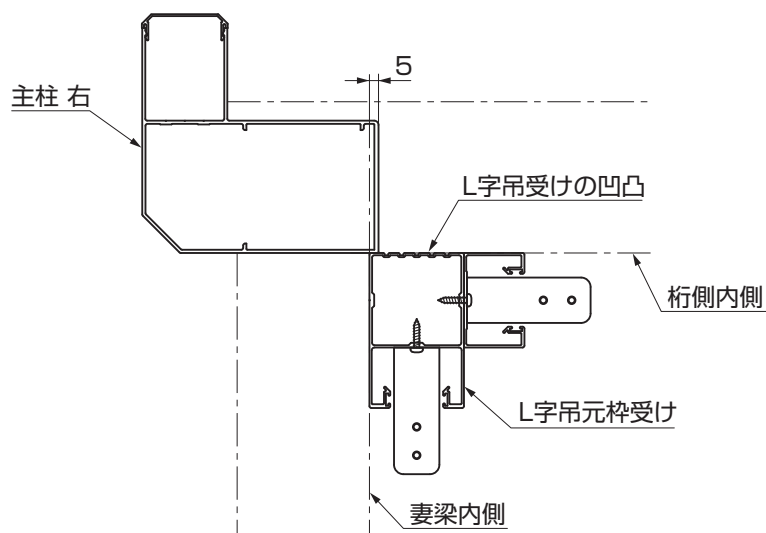
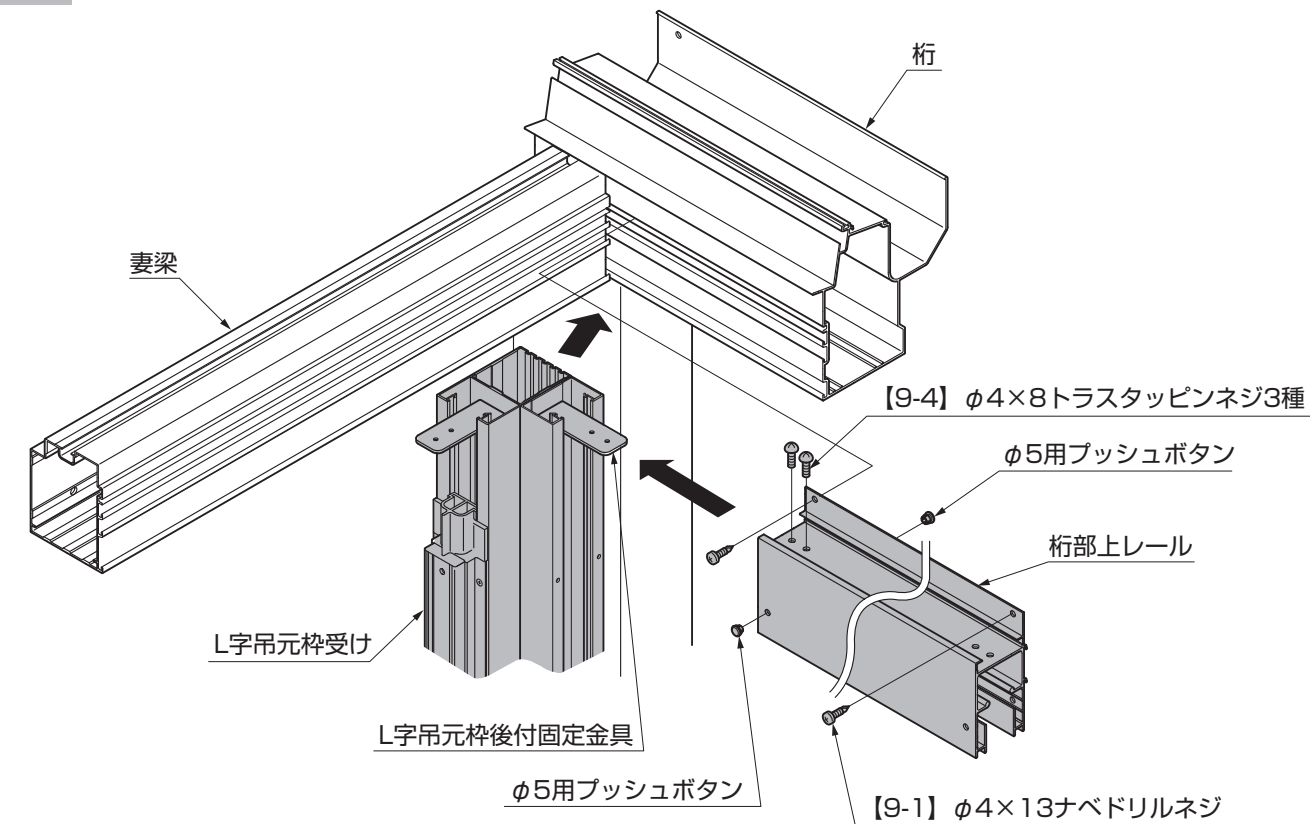


図1-7 戸当り受け妻梁側・桁側位置

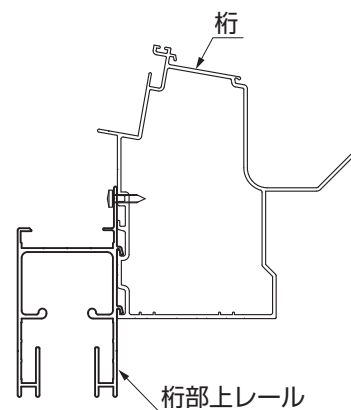


図1-8 桁部上レール取付け位置

- ① L字吊元枠受けを図1-7を参照して妻梁と桁部に設置してください。
- ② 桁部上レールをL字吊元枠後付固定金具に差込み、【9-4】で取付けてください。
- ③ 桁部上レールを桁に【9-1】で取付けてください。
- ④ 桁部上レールのL字吊元枠受け側の穴にφ5用プッシュボタンを取付けてください。

1-4 桁部下レールの取付け

※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。
 ※デッキ仕様の場合は「エクシオールフィリアⅡ デッキ編
 (樹ら楽ステージ) 取付説明書〈E364〉」を参照してください。

(1) インナーデッキ仕様の場合

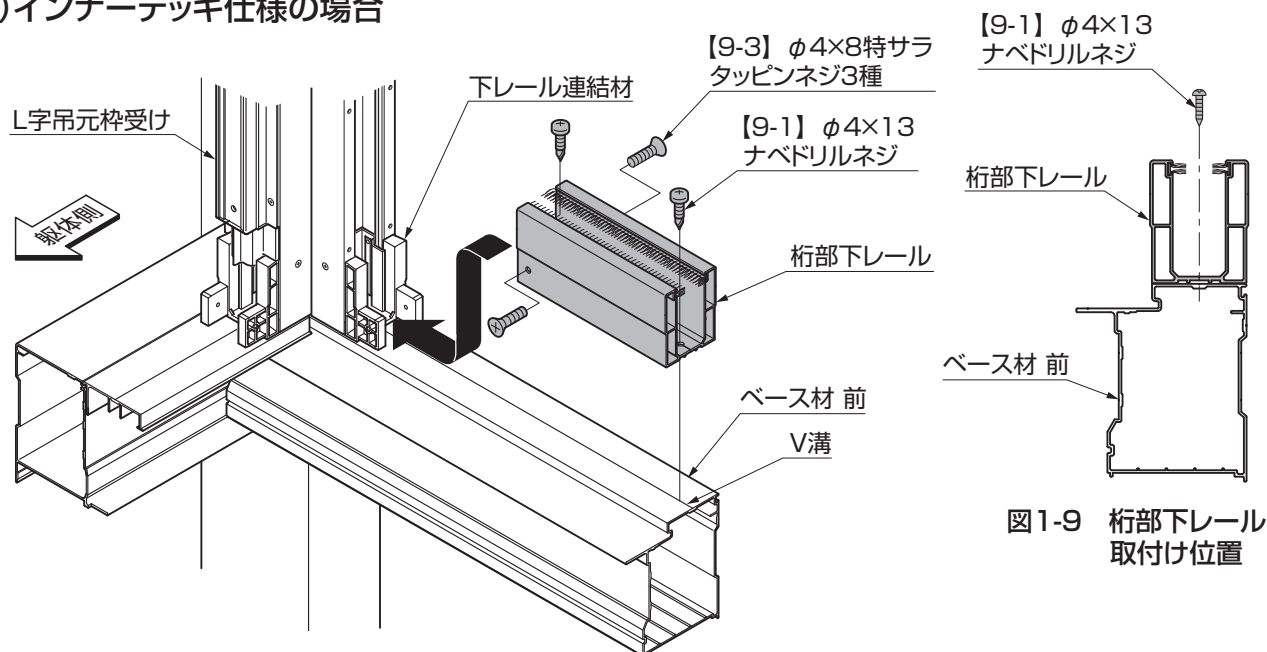


図1-9 桁部下レール取付け位置

- ①下レール連結材へ桁部下レールを入れて、【9-3】で取付けてください。
- ②桁部下レールをベース材前のV溝に合わせて【9-1】で取付けてください。

(2) 土間仕様の場合

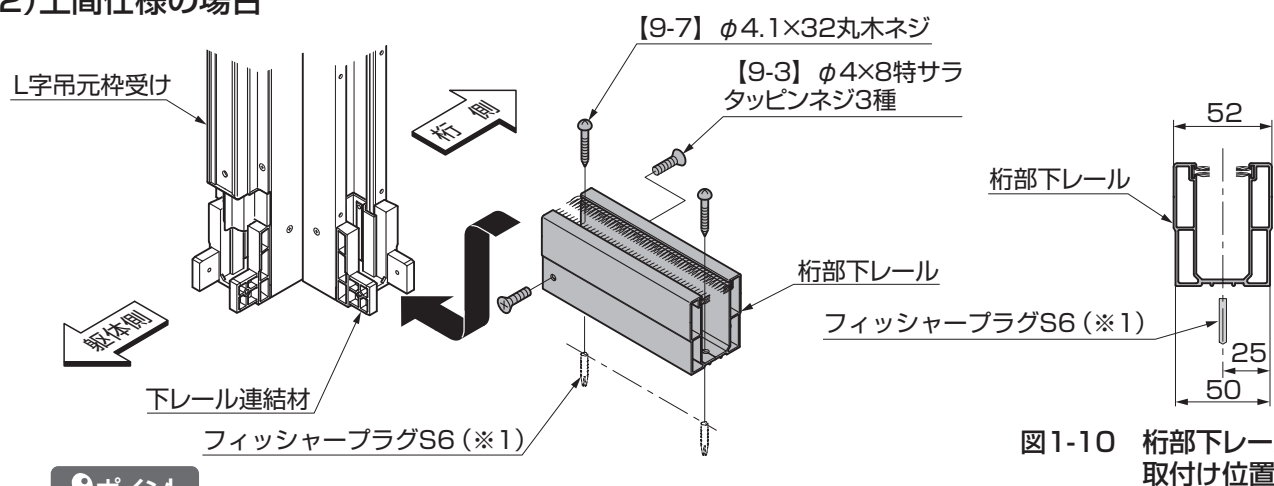


図1-10 桁部下レール取付け位置

ポイント

- 土間仕様の場合の桁部下レールの固定には、フィッシャープラグS6を使ってください。(※1)
- フィッシャープラグS6は現場で手配してください。(※1)

- ①下レール連結材へ桁部下レールを入れて、【9-3】で取付けてください。
- ②桁部下レールを【9-7】で取付けてください。

補足

- コンクリート土間にレールを固定する場合はフィッシャープラグS6を先に固定してから【9-7】で取付けてください。

1.(つづき)

1-5 スムーサーの取付け

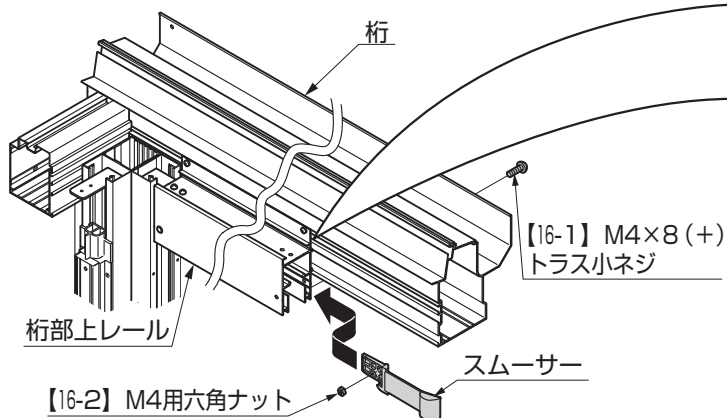


図1-11 外収納の場合

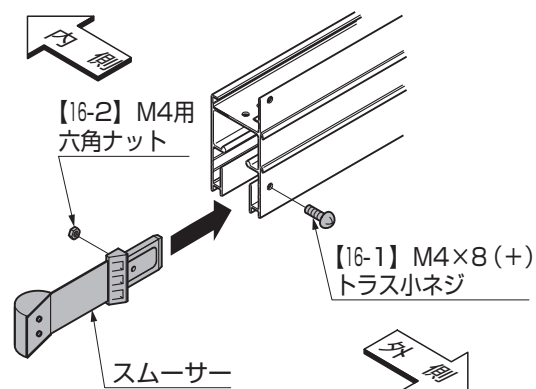


図1-12

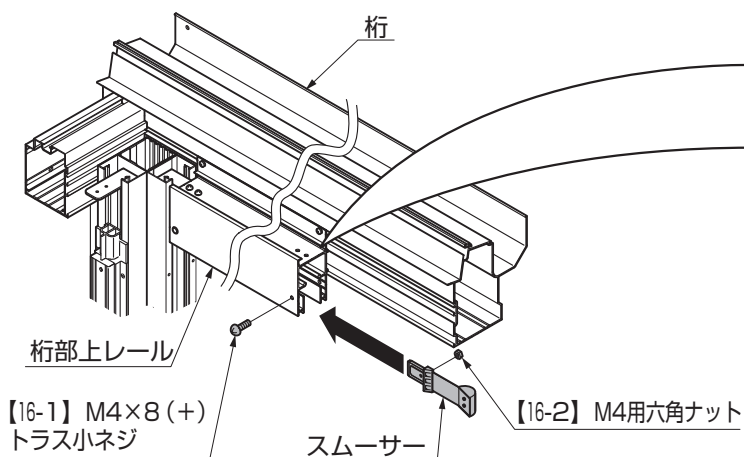


図1-13 内収納の場合

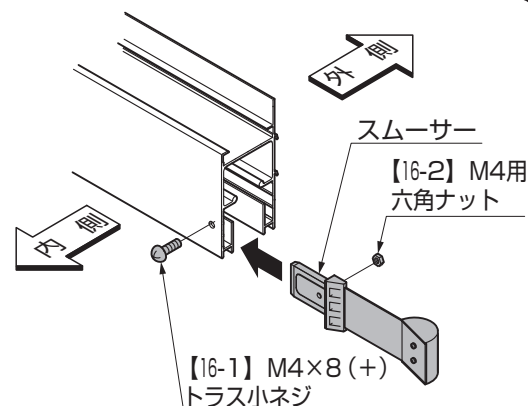


図1-14

① 榫部上レールにスムーサーを【16-1】、【16-2】で取付けてください。(図1-11、図1-13参照)

1-6 上戸袋レール 引掛け側とカバー側の取付け

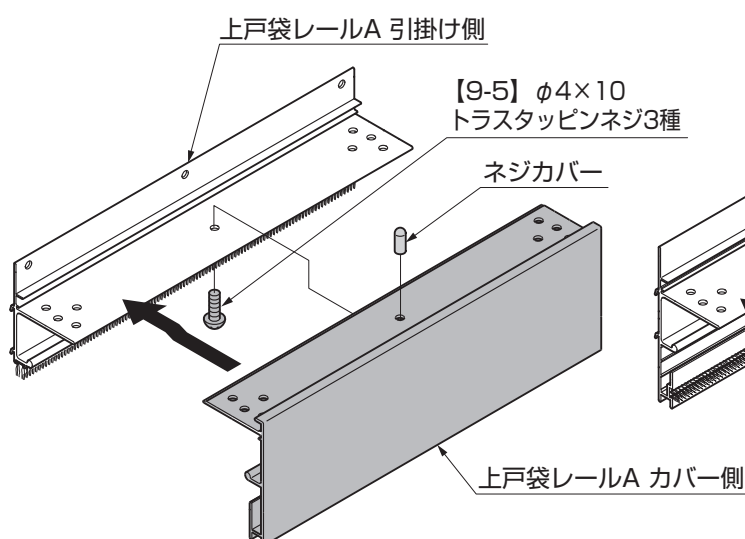


図1-15 外収納の場合

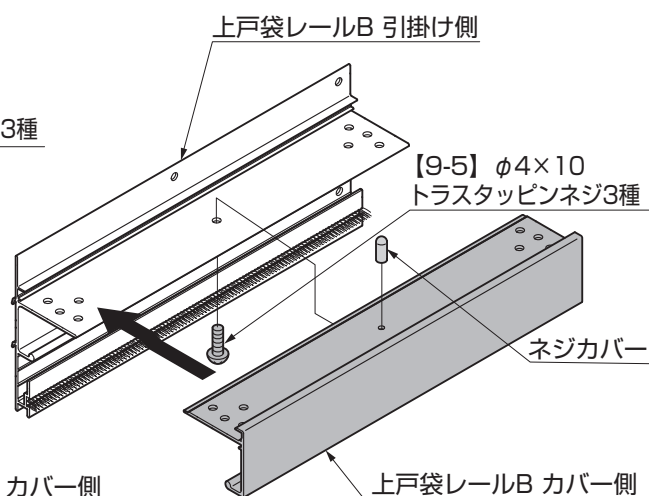
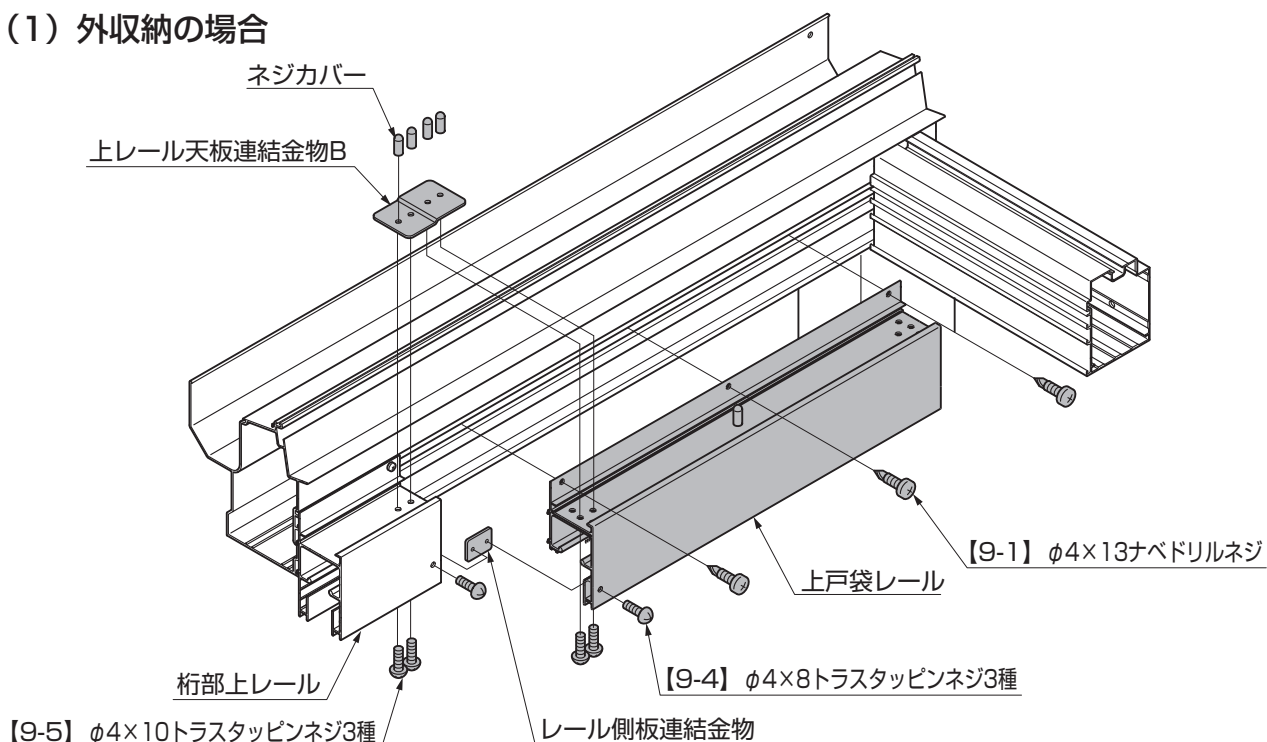


図1-16 内収納の場合

① 上戸袋レール カバー側と上戸袋レール 引掛け側の天板と天板をはめ合わせ、【9-5】で取付けてください。

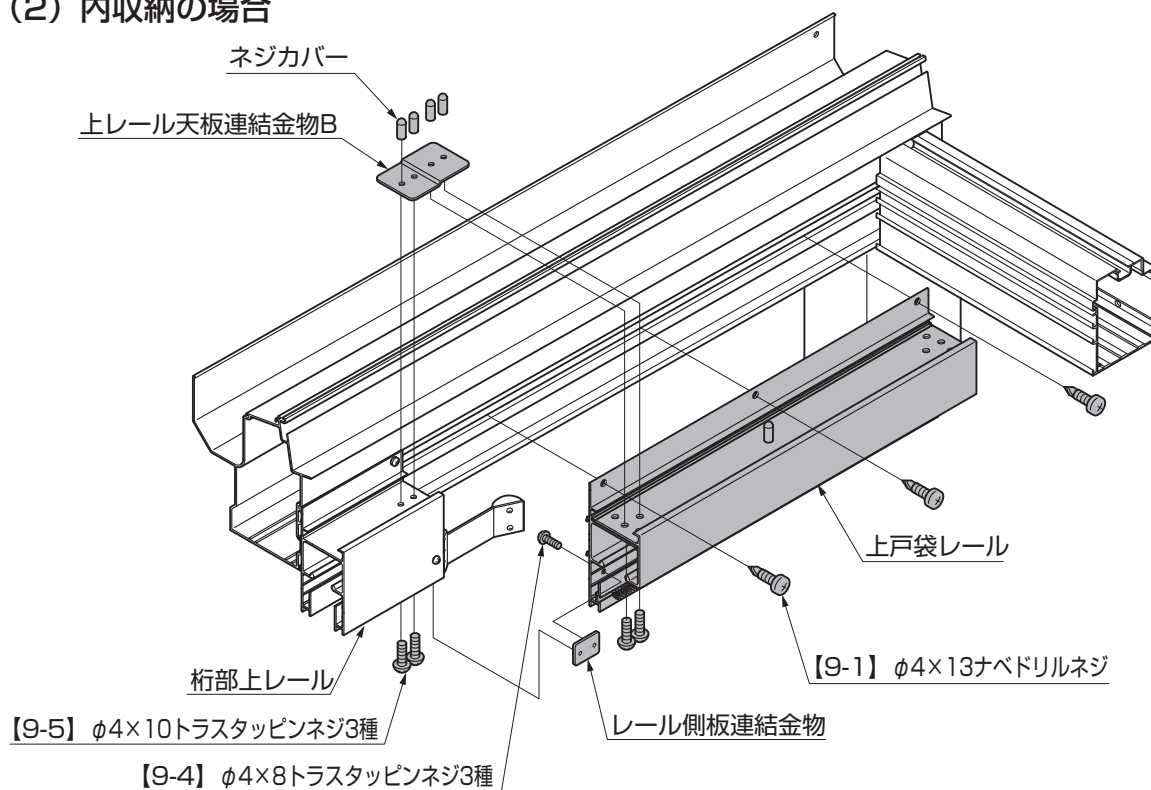
1-7 上戸袋レールの取付け

(1) 外収納の場合



- ① 1-6で組立てた上戸袋レールにレール側板連結金物を【9-4】で取付けて、桁に引っ掛けてください。
- ② 桁部上レール、上戸袋レールと上レール天板連結金物Bを【9-5】で取付けて、ネジカバーをはめてください。

(2) 内収納の場合



- ① 1-6で組立てた上戸袋レールにレール側板連結金物を【9-4】で取付けて、桁に引っ掛けてください。
- ② 桁部上レール、上戸袋レールと上レール天板連結金物Bを【9-5】で取付けて、ネジカバーをはめてください。

1. (つづき)

1-8 掃出し部連結材の取付け

(1) インナーデッキ仕様の場合 ※図は左収納仕様を示します。右収納仕様の場合は図と対称です。

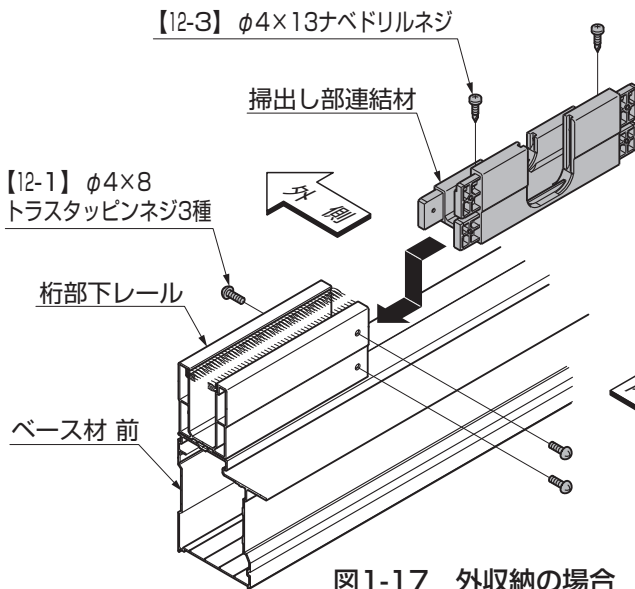


図1-17 外収納の場合

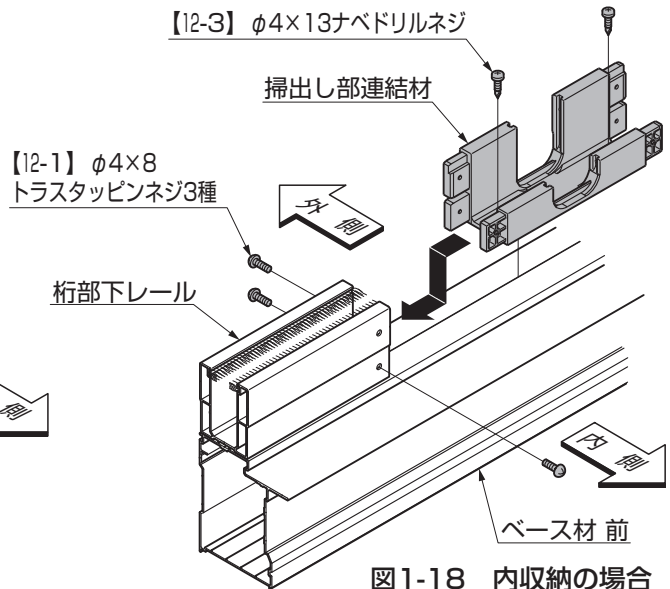


図1-18 内収納の場合

- ① 掃出し部連結材を桁部下レールに差込み、【12-1】で取付けてください。
- ② 掃出し部連結材をベース材 前に【12-3】で取付けてください。

(2) 土間仕様の場合 ※図は左収納仕様を示します。右収納仕様の場合は図と対称です。

※デッキ仕様の場合は「エクシオールフィリアⅡ デッキ編（樹ら楽ステージ）取付説明書〈E364〉」を参照してください。

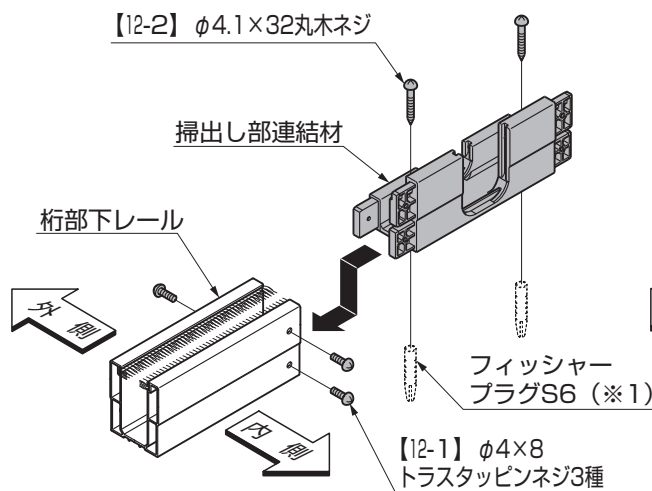


図1-19 外収納の場合

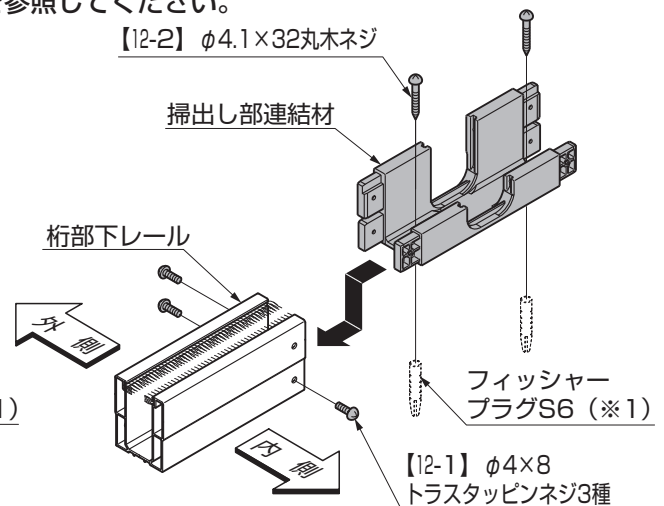


図1-20 内収納の場合

ポイント

- 土間仕様の場合には、フィッシャープラグS6を使ってください。（※1）
- フィッシャープラグS6は現場で手配してください。（※1）

- ① 掃出し部連結材を桁部下レールに差込み、【12-1】で取付けてください。
- ② 掃出し部連結材を【12-2】で取付けてください。

補足

- コンクリート土間部に掃出し部連結材を固定する場合は、フィッシャープラグS6を先に固定してから【12-2】で取付けてください。

1-9 戸袋下レールの取付け

(1) インナーデッキ仕様の場合 ※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。

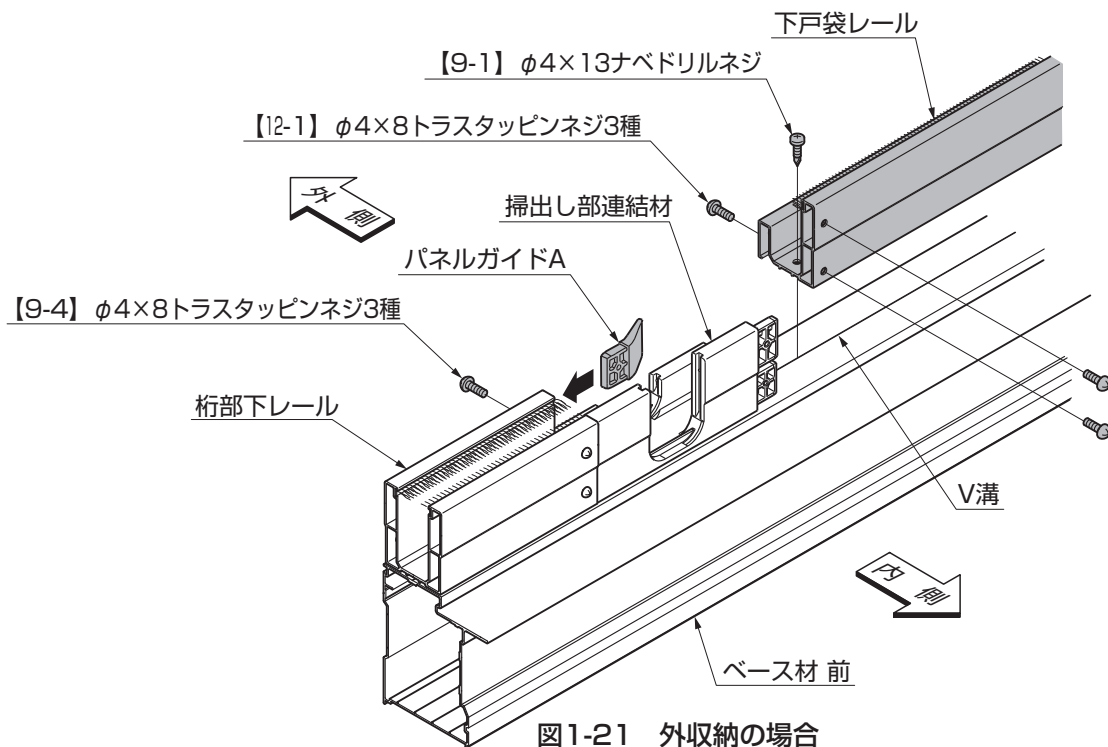


図1-21 外収納の場合

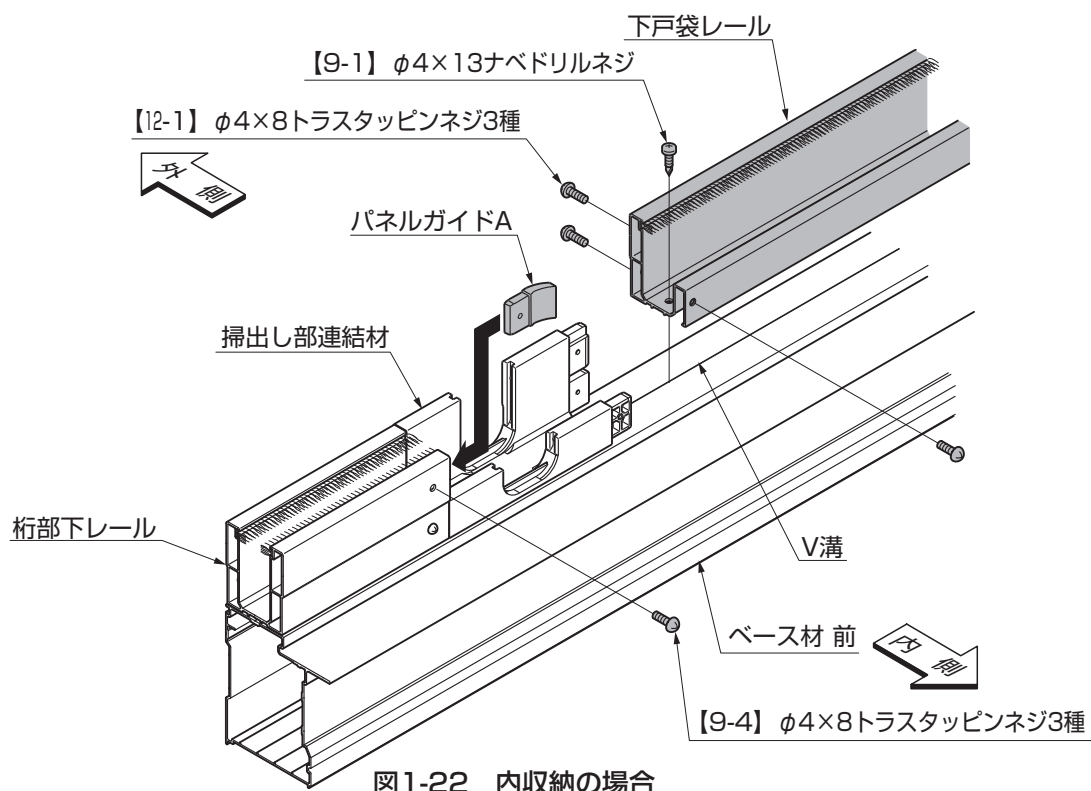


図1-22 内収納の場合

- ①下戸袋レールを掃出し部連結材に【12-1】で取付けてください。
- ②パネルガイドAを桁部下レールに【9-4】で取付けてください。
- ③ベース材 前のV溝に下戸袋レールを【9-1】で取付けてください。

1. (つづき)

1-9 つづき

(2) 土間仕様の場合

※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。
※デッキ仕様の場合は「エクシオールフィリアⅡ デッキ編（樹ら楽ステージ）
取付説明書〈E364〉」を参照してください。

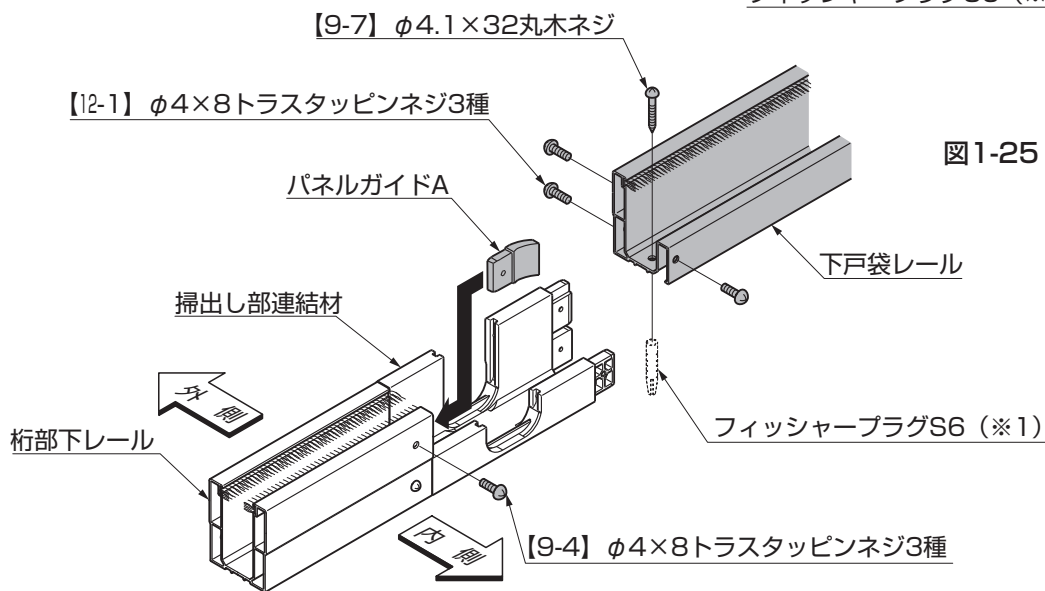
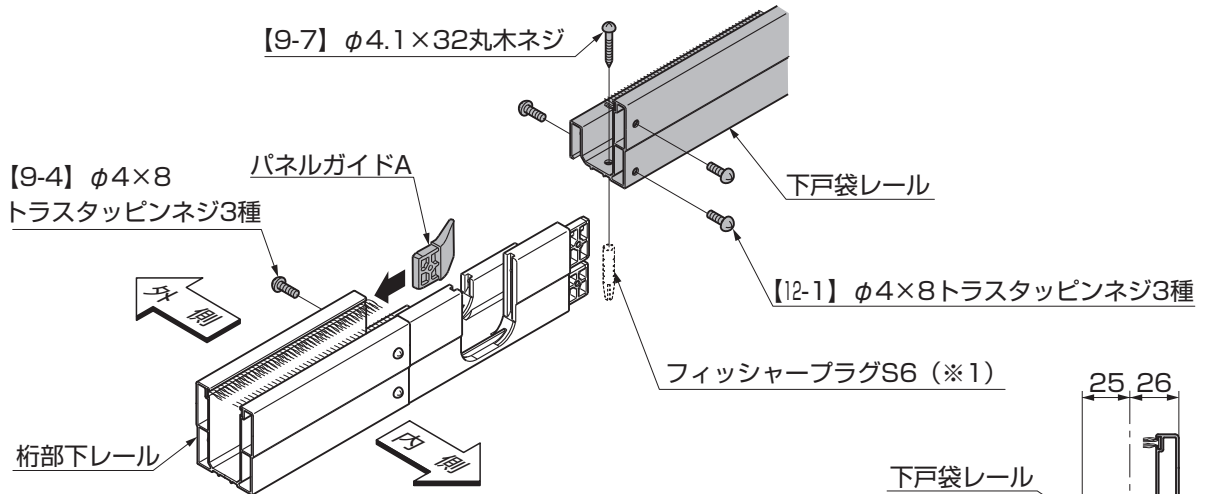
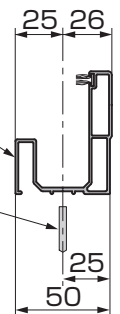


図1-25 下戸袋レール
取付け位置



ポイント

- 土間仕様の場合の下戸袋レールの固定には、フィッシャープラグS6を使ってください。（※1）
- フィッシャープラグS6は現場で手配してください。（※1）

- ①下戸袋レールを掃出し部連結材に【12-1】で取付けてください。
- ②パネルガイドAを桁部下レールに【9-4】で取付けてください。
- ③下戸袋レールを【9-7】で取付けてください。

補足

- コンクリート土間にレールを固定する場合はフィッシャープラグS6を先に固定してから、【9-7】で取付けてください。

1-10 戸当り框・連結框・吊元框の吊込み ※図は左外収納仕様を示します。

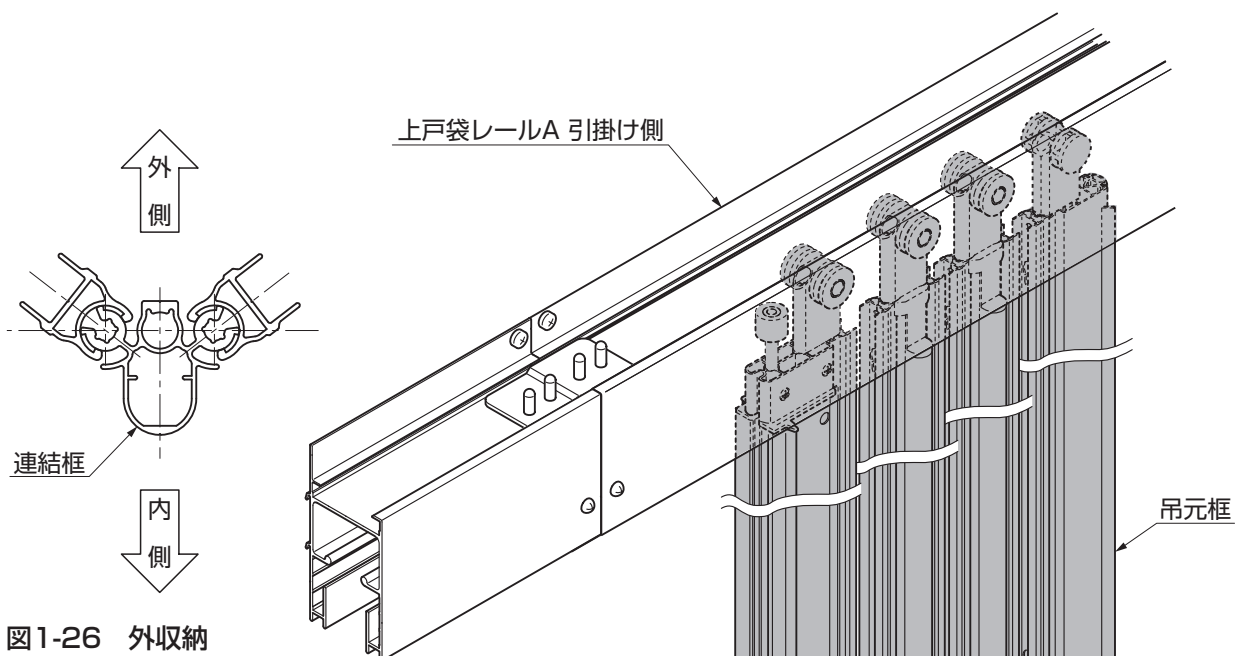


図1-26 外収納

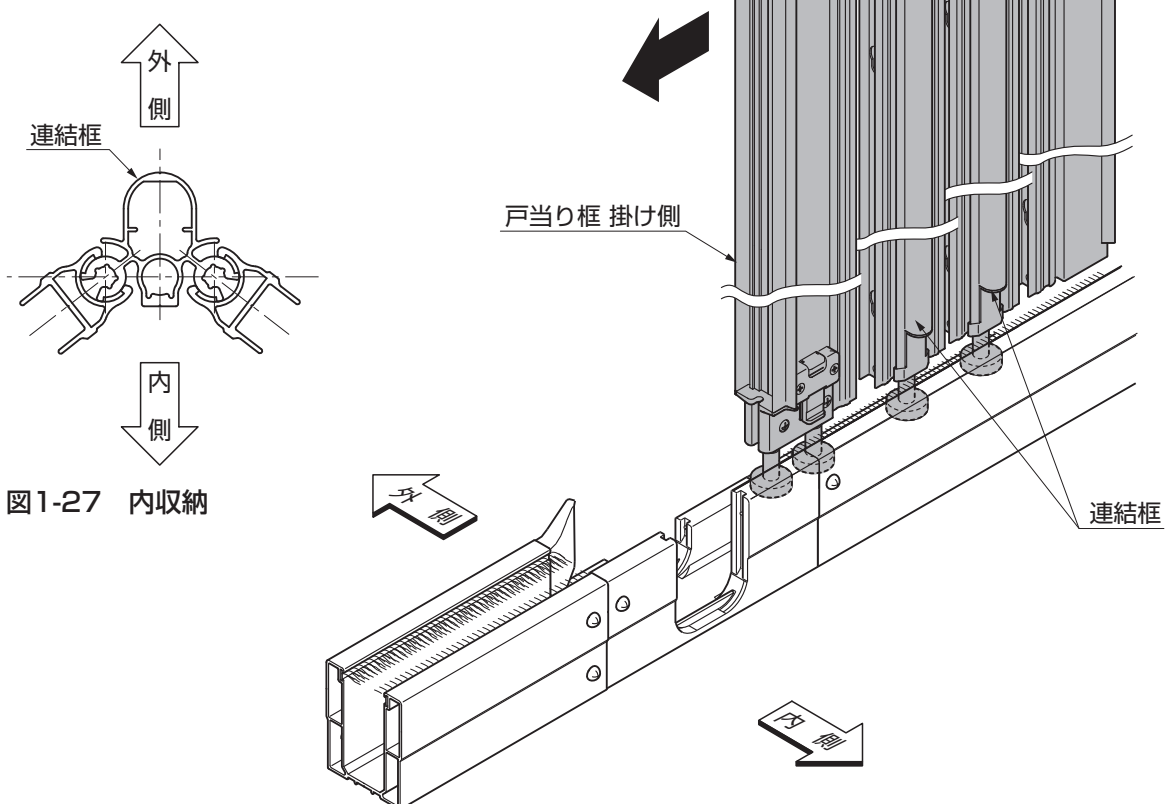


図1-27 内収納

①上戸袋レールより戸当り框・連結框、吊元框を上下レール部に吊込んでください。

ポイント

- 連結框は、パネルの枚数に応じて必要本数を挿入してください。このとき、パネル折り畳み収納方向に注意してください。(図1-26、図1-27参照)

1. (つづき)

1-11 吊元棒Bの取付け ※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。

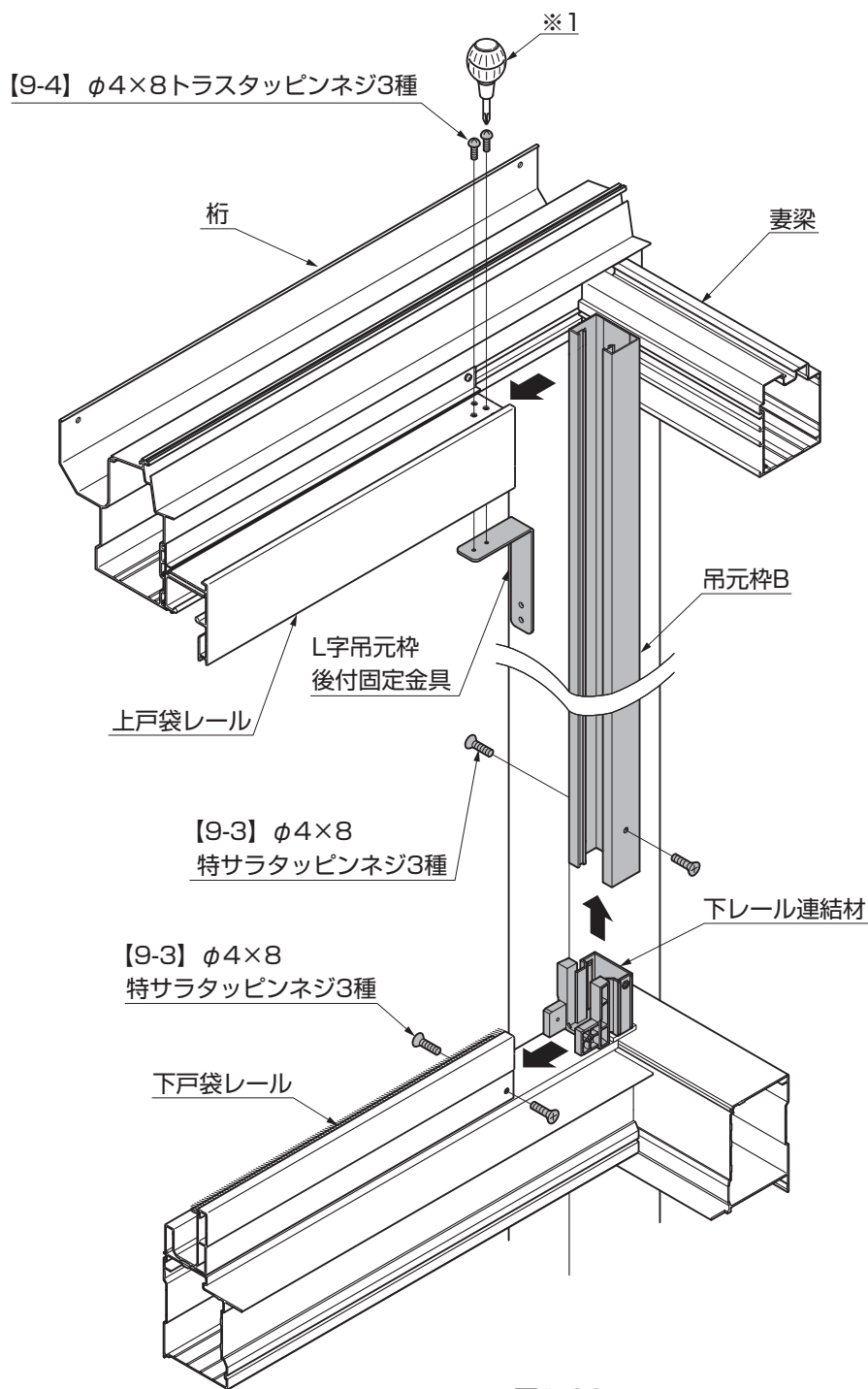


図1-28

- ①吊元棒Bと下レール連結材を【9-3】で取付けてください。
- ②L字吊元棒後付固定金具を上戸袋レールに【9-4】で取付けてください。

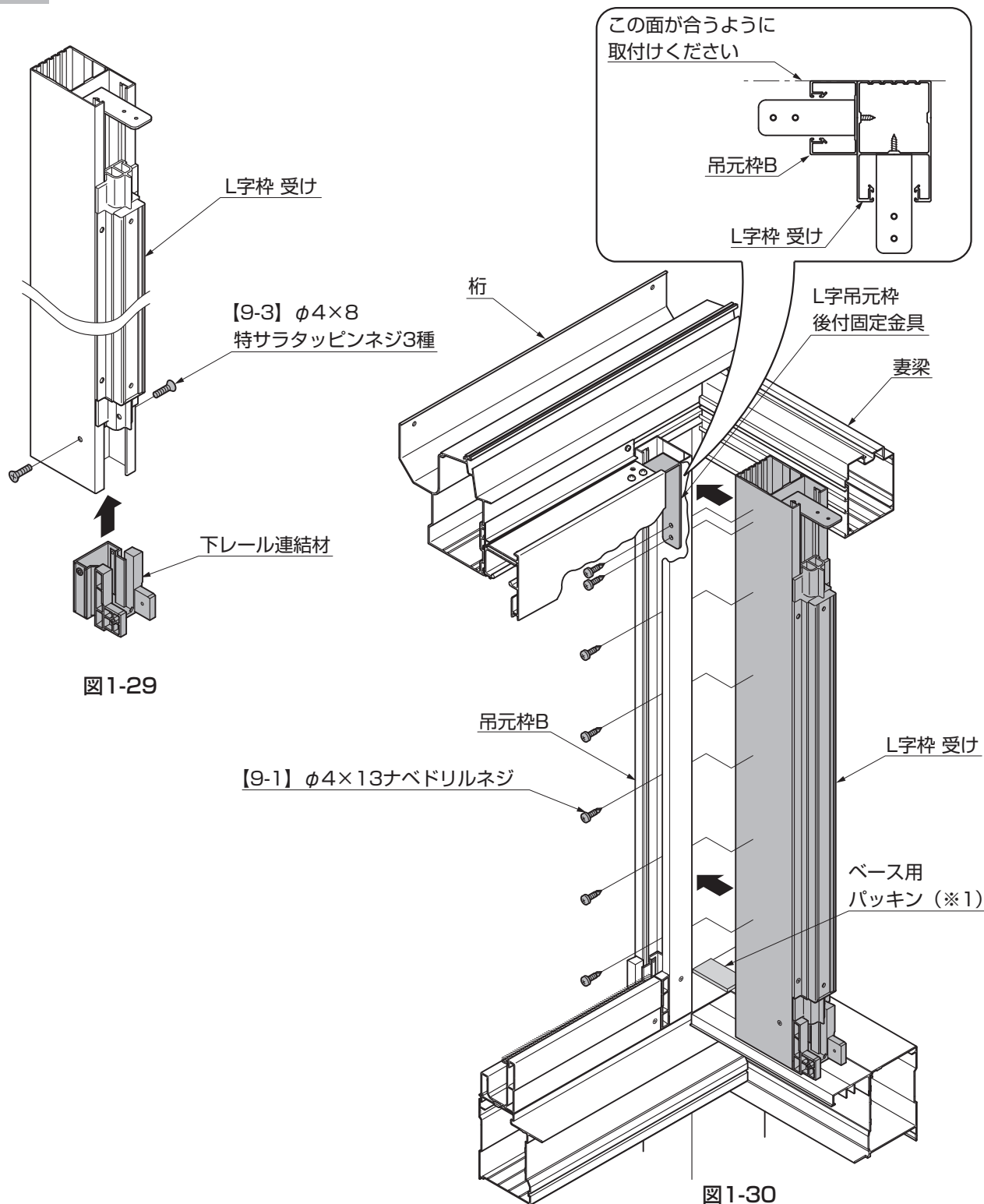
補足

●短めのドライバーを使用してください。(※1)

- ③下レール連結材を下戸袋レールにはめ込んで【9-3】で取付けてください。

1-12 吊元側L字枠 受けの取付け

※図は左収納仕様を示します。右収納仕様は図と対称です。



- ①下レール連結材をL字枠 受けに差込み、【9-3】で取付けてください。(図1-29参照)
- ②L字枠 受けと吊元枠B、L字吊元枠後付固定金具を【9-1】で取付けてください。(図1-30参照)

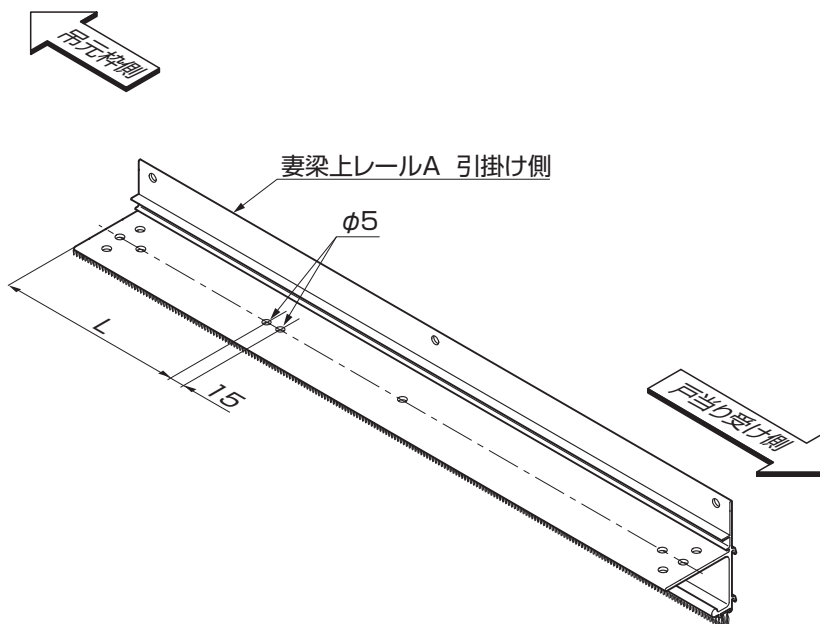
ポイント

- ベース用パッキン(※1) がはがれないように差込んでください。

2. 妻梁側側面上下レールの施工

※図は右側面の場合です。左側面の場合は図と対称です。

2-1 上レールの加工



- ①妻梁レールセットの梱包を開いた時点で、妻梁上レール引掛け側に戸当りストッパー取付け用のφ5の穴を開けてください。
(図2-1、2-2参照)、(表2-1参照)

ポイント

- 穴位置を間違えるとパネルの開閉に支障を生じることがあります。
- 穴加工は、妻梁上レール引掛け側の吊元枠側だけを加工してください。

図2-1 外収納の場合

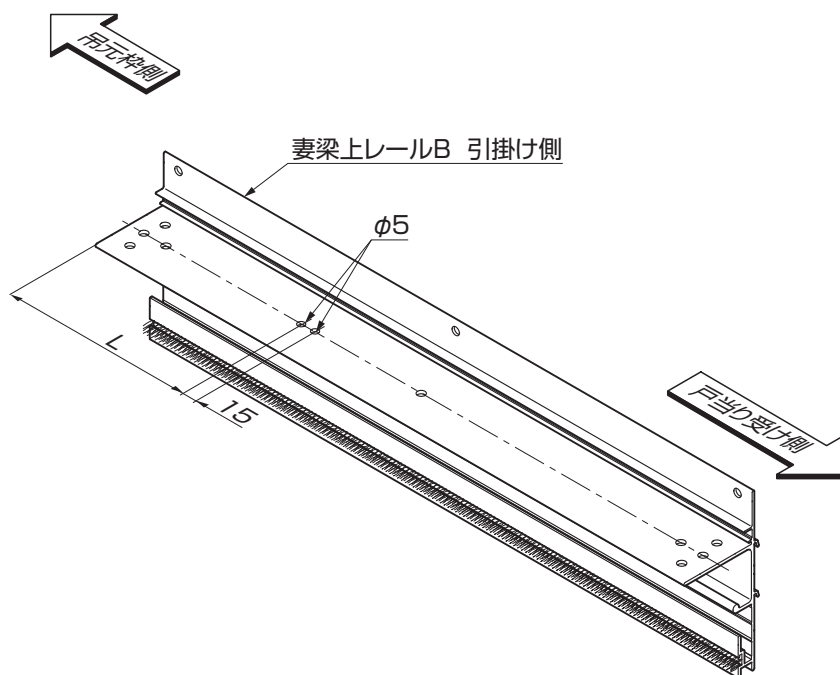


図2-2 内収納の場合

表2-1

寸法	L	備考
戸袋サイズ		
パネル2枚用	181	4尺側面
パネル4枚用	223	6尺側面

2-2 妻梁上レール 引掛け側とカバー側の取付け

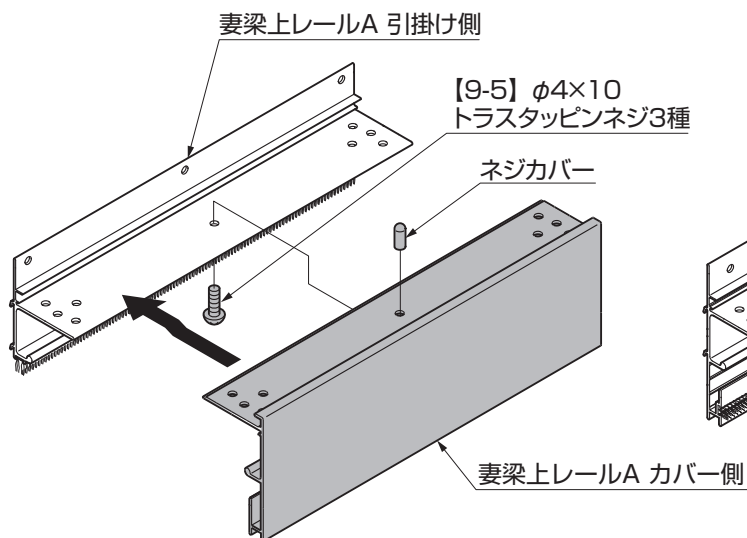


図2-3 外収納の場合

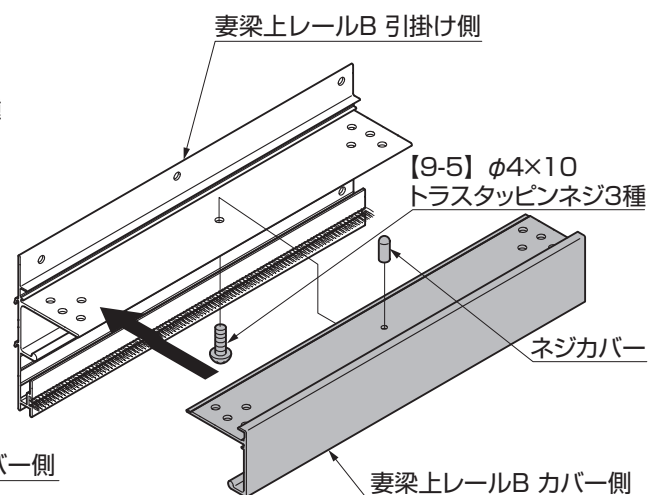
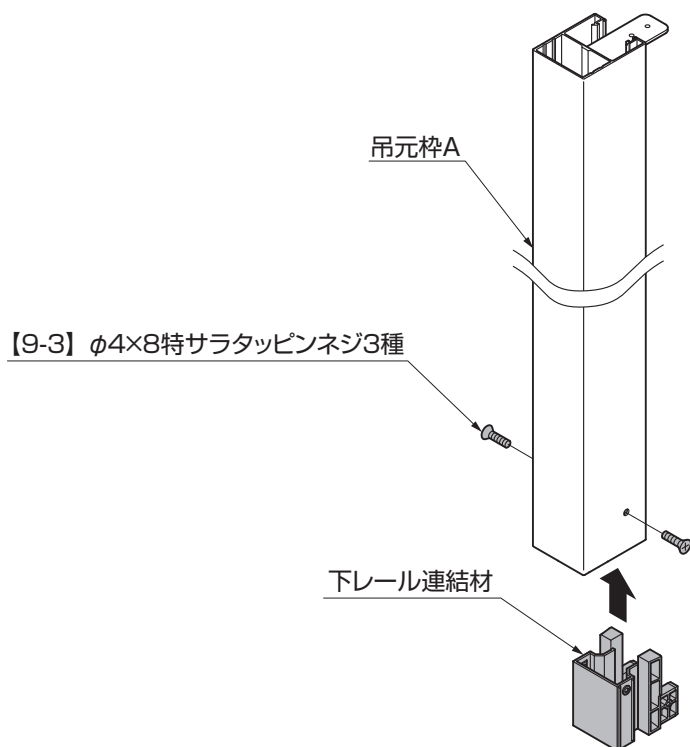


図2-4 内収納の場合

①妻梁上レール カバー側と妻梁上レール 引掛け側の天板と天板をはめ合わせ、【9-5】で取付けてください。

2-3 吊元枠Aと下レール連結材の取付け



①下レール連結材を吊元枠Aに差込み、【9-3】で取付けてください。

2.(つづき)

2-4 妻梁側上下レールの取付け ※図は外収納仕様を示します。

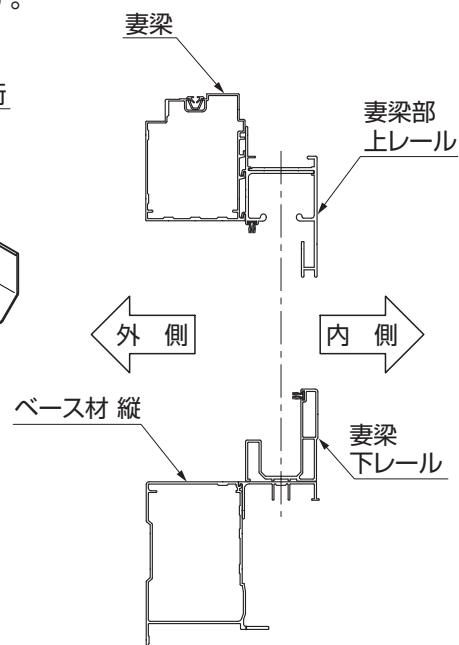
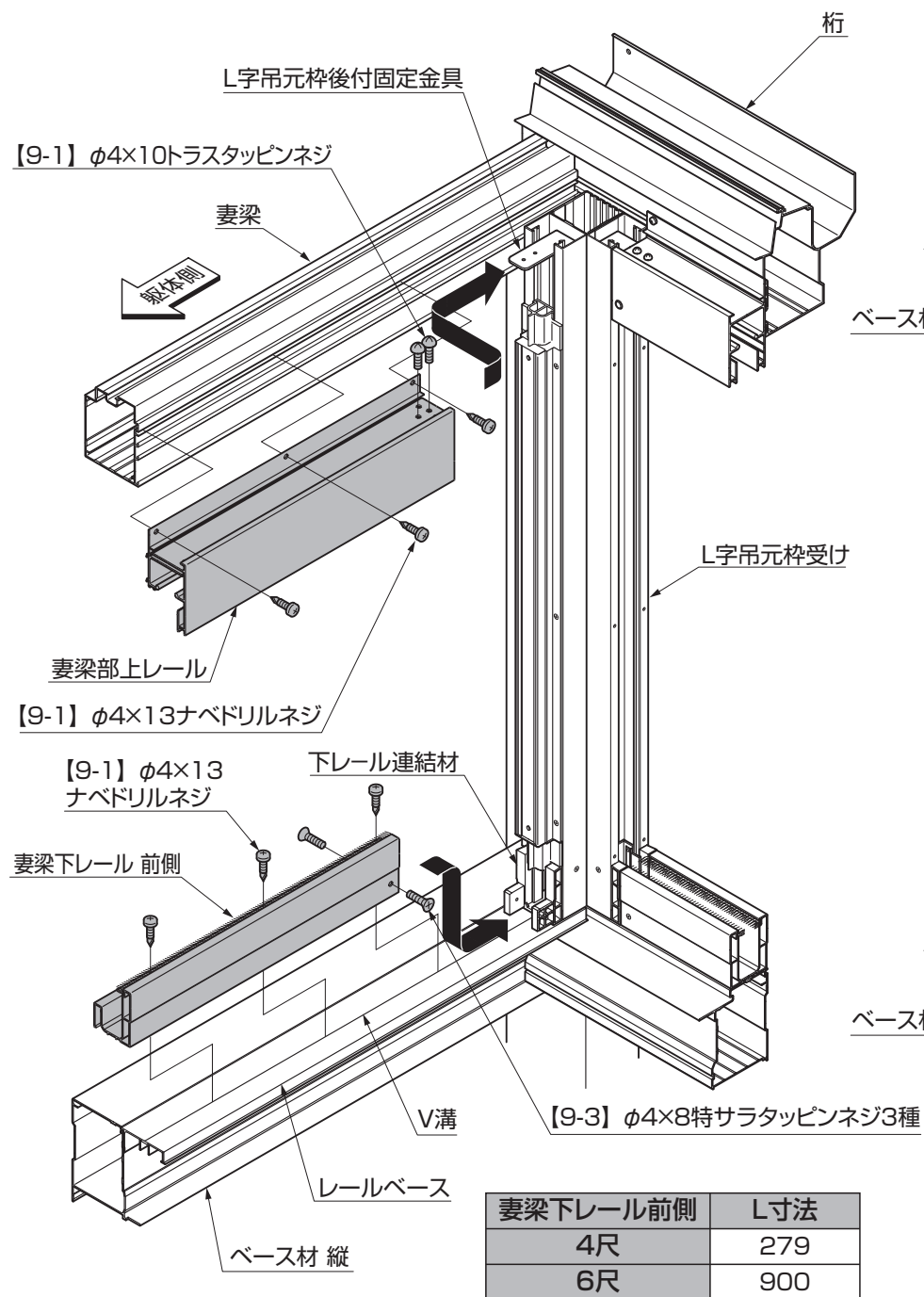


図2-5 外収納

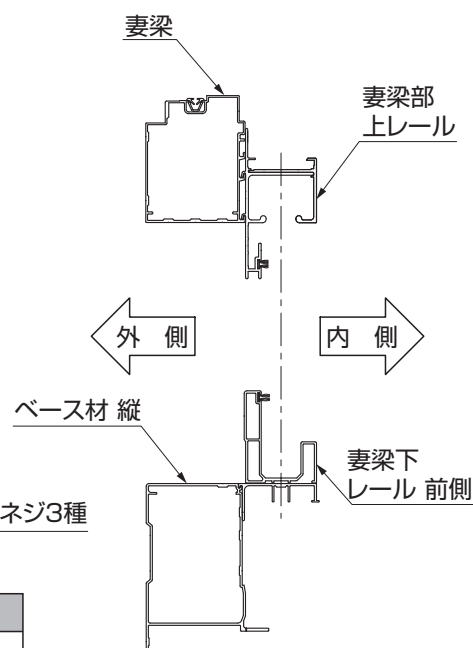


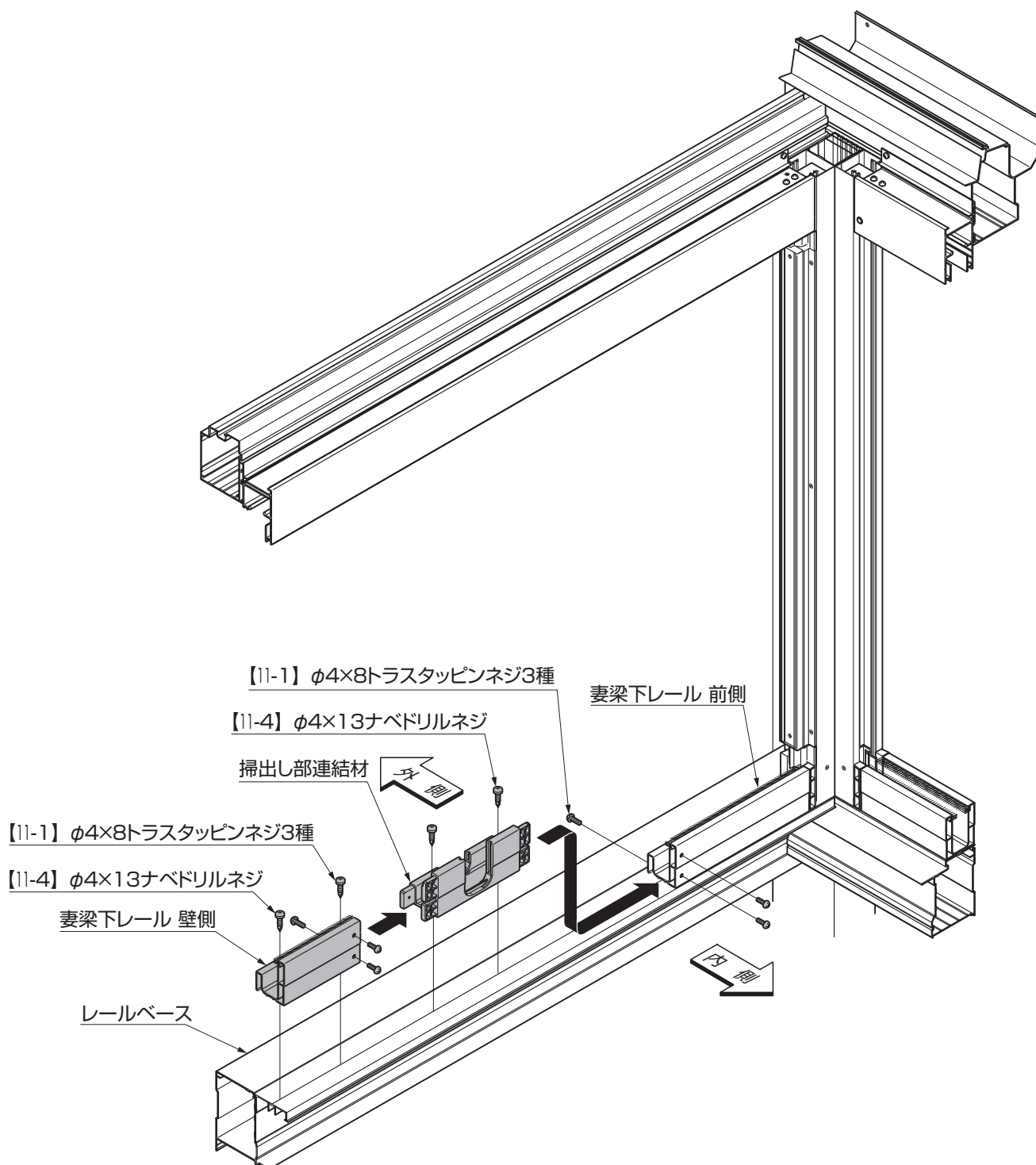
図2-6 内収納

- ① 2-2で組立てた妻梁部上レールを妻梁に引っ掛けて、L字吊元枠後付固定金具と【9-5】で取付けてください。
- ② 妻梁部上レールを妻梁に【9-1】で取付けてください。
- ③ 妻梁下レール 前側を下レール連結材に【9-3】で取付けてください。
- ④ 妻梁下レール 前側をレールベースのV溝に【9-1】で取付けてください。

ポイント

- 妻梁部上レールのセンターと妻梁下レール 前側のセンターが一致します。(図2-5、図2-6参照)

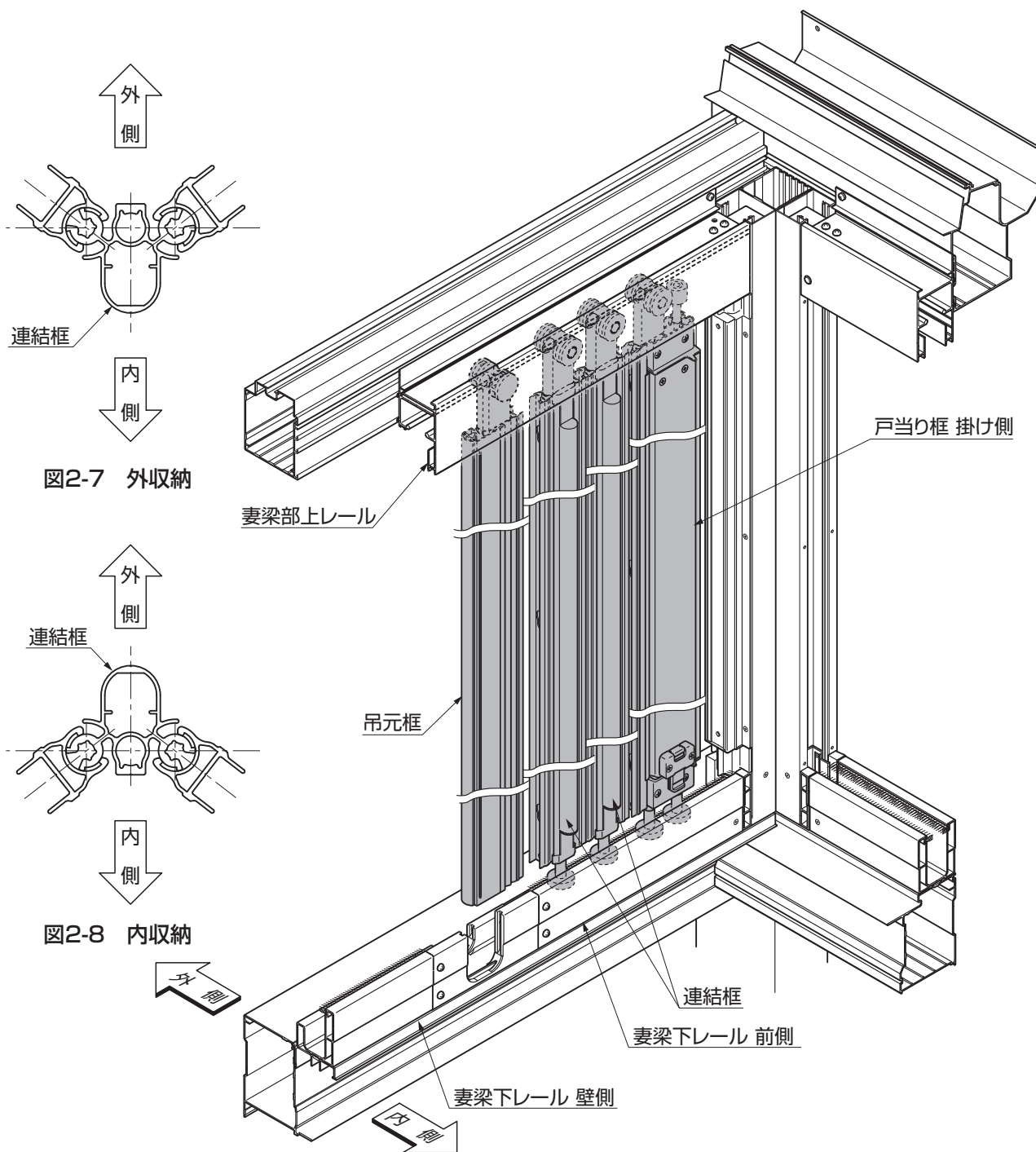
2-5 妻梁側掃出し部連結材の取付け ※図は外収納仕様を示します。



- ① 掃出し部連結材を妻梁下レール 前側に【11-1】で取付けてください。
- ② 掃出し部連結材をレールベースに【11-4】で取付けてください。
- ③ 妻梁下レール壁側を掃出し部連結材にはめ込み【11-1】で取付けてください。
- ④ 妻梁下レール 壁側をレールベースに【11-4】で取付けてください。

2.(つづき)

2-6 戸当り框・連結框・吊元框の吊込み ※図は外収納仕様を示します。

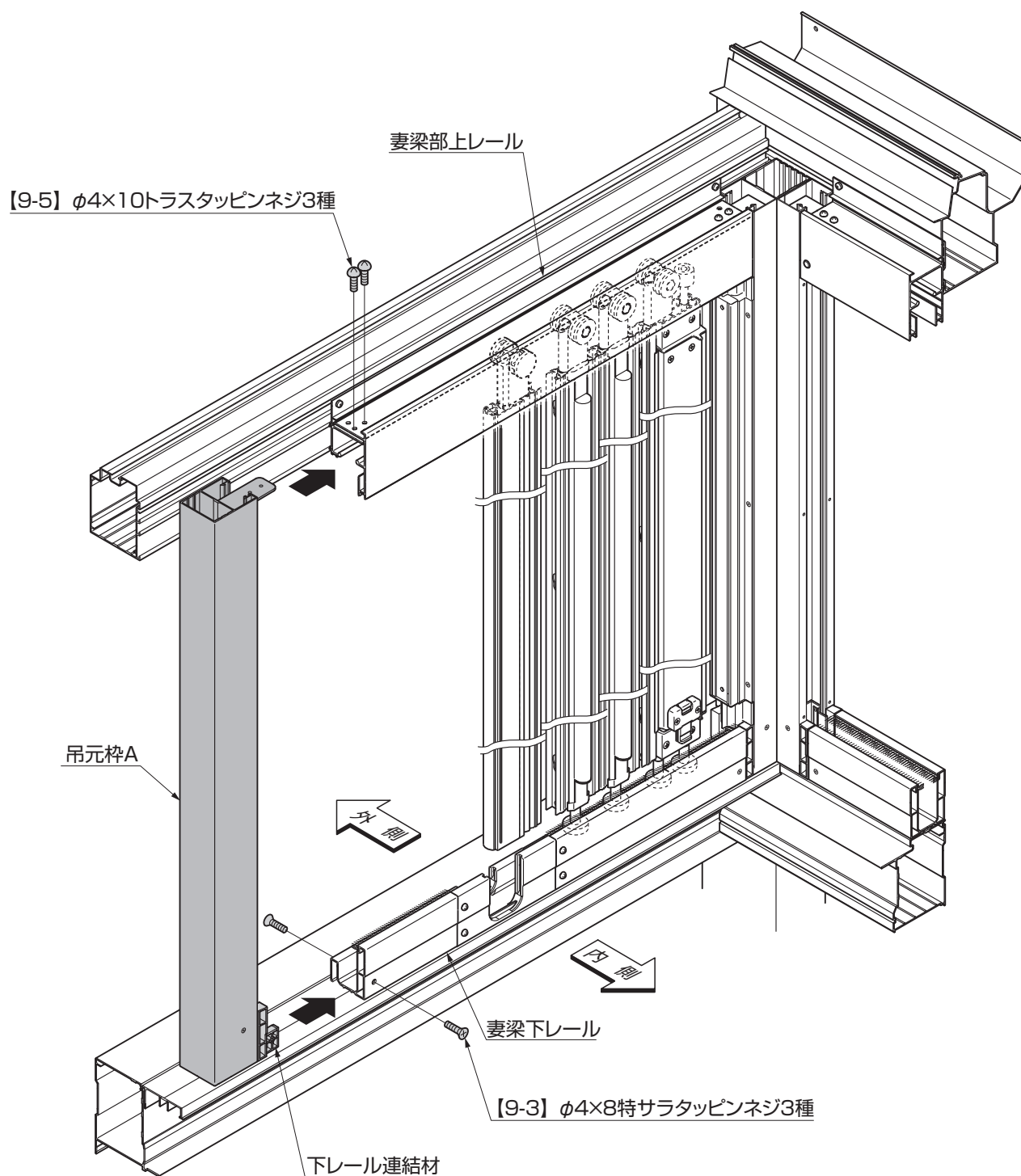


①妻梁部上レールより戸当り框・連結框、吊元框を上下レール部に吊込んでください。

ポイント

- 連結框は、パネルの枚数に応じて必要本数を挿入してください。このとき、パネル折り畳み収納方向に注意してください。(図2-7、図2-8参照)

2-7 吊元杵Aの取付け ※図は外収納仕様を示します。



- ① 2-3で組立てた吊元杵Aを妻梁上下レールにはめ込んでください。
- ② 吊元杵Aと妻梁部上レールを【9-5】で取付けてください。
- ③ 下レール連結材と妻梁下レールを【9-3】で取付けてください。

3. 戸当り枠・上キャップの取付け

※図は、インナーデッキ仕様の場合です。

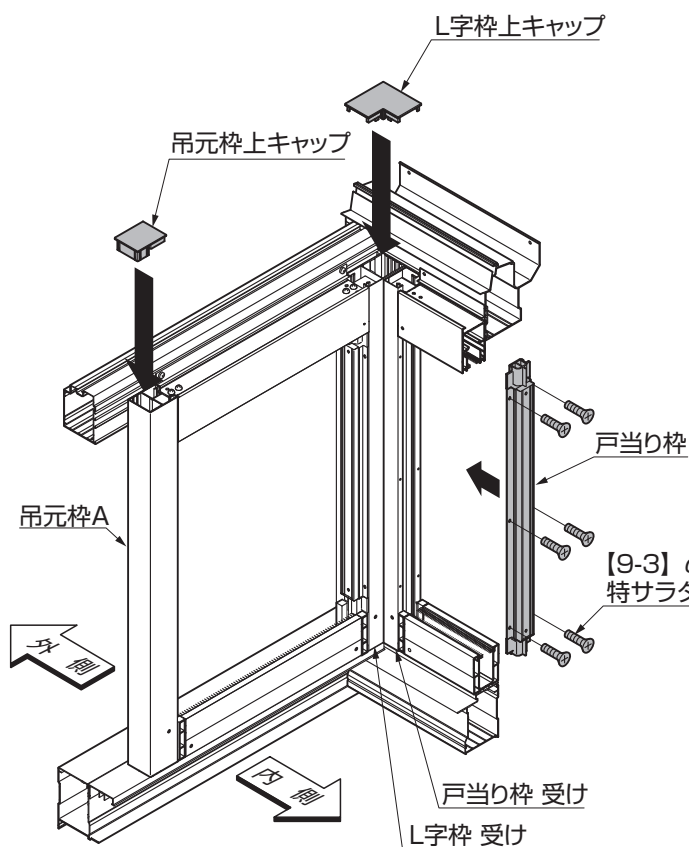


図3-1 前面戸当り側の場合

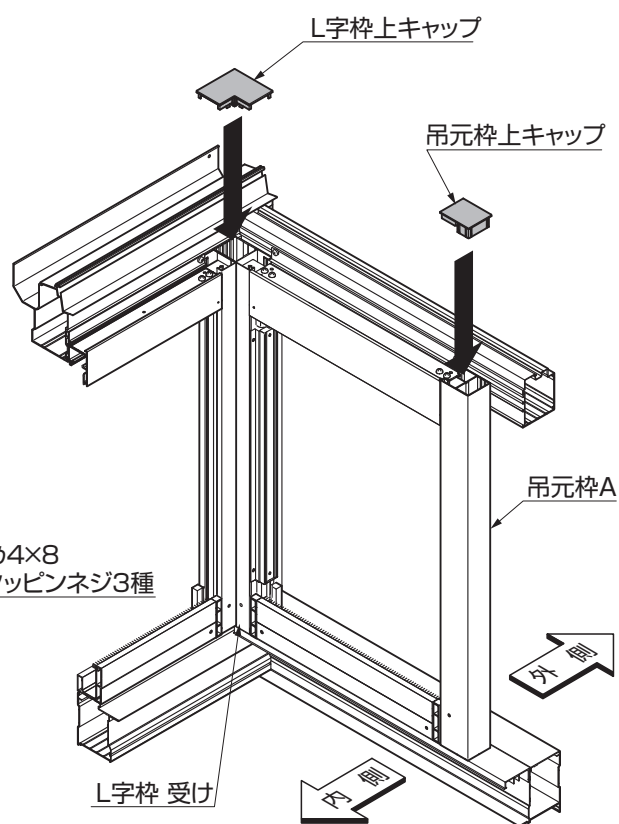
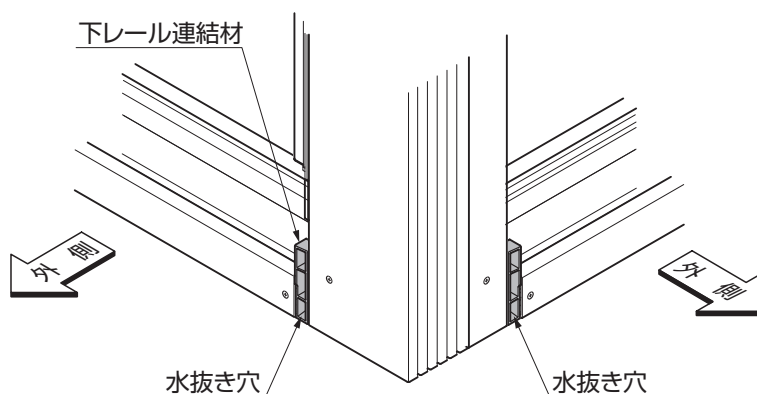


図3-2 前面吊元側の場合

- ①戸当り枠 受けに戸当り枠を【9-3】で取付けてください。
- ②L字枠 受け上側にL字枠上キャップを取付けてください。
- ③吊元枠A上側に吊元枠上キャップを取付けてください。

4. 水抜き穴の加工

4-1 下レール連結材の加工

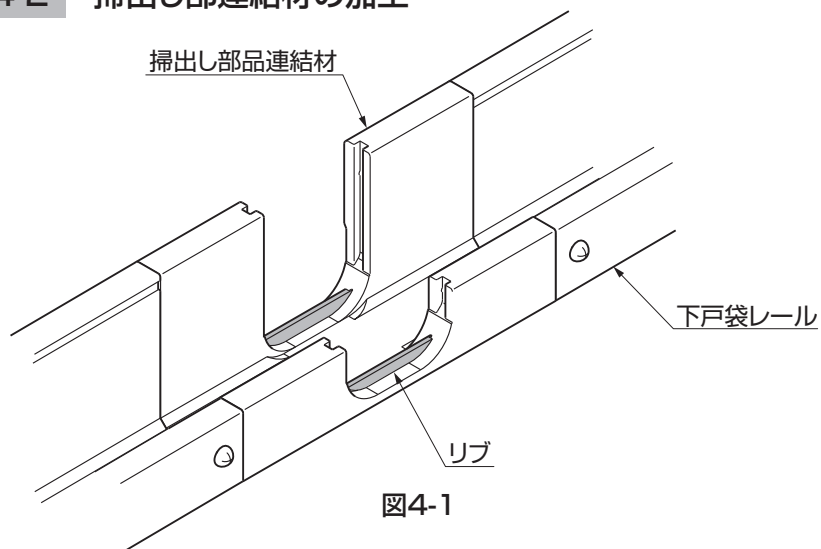


- ①下レール連結材の外側の「水抜き穴」を軽く打ち抜いてください。

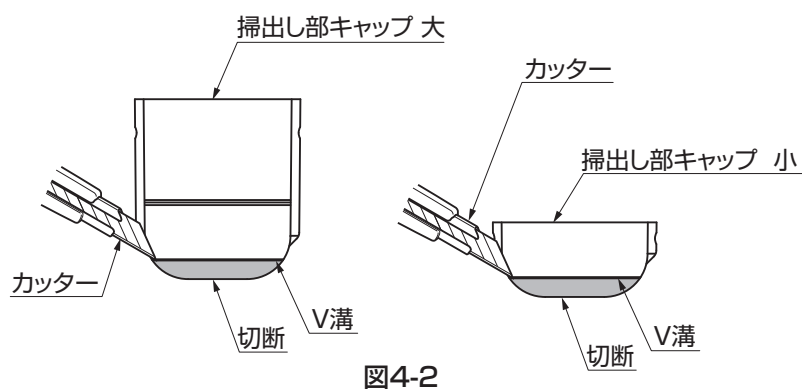
補足

- 出荷時は、穴が貫通していません。

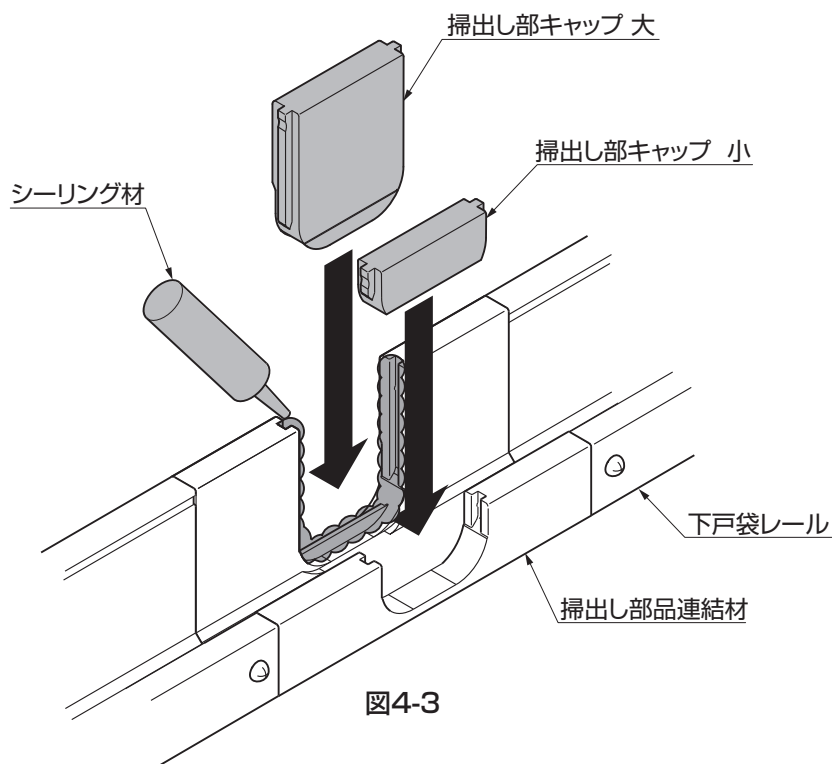
4-2 掃出し部連結材の加工



- ①水抜きする側の掃出し部連結材のリブを切取ってください。
(図4-1参照)



- ②水抜きする側の掃出し部キャップの下側をV溝に沿ってカッター等で切取ってください。(図4-2参照)



- ③掃出し部キャップを掃出し部連結材に取付けてください。
(図4-3参照)

補足

- 図4-3は掃出し部キャップ 小を水抜き側にした場合を示します。
- 水抜きしない側の掃出し部にシーリングをして、掃出しキャップを取付けてください。
(図4-3参照)

ポイント

- シーリング処理を施す前に、表面の水分・ゴミ・油分が除去されているか確認をしてください。

7 床面の工事 (2)

1. 内面デッキの張付け ※インナーデッキ仕様の場合の作業です。

1-1 内面デッキの張付け

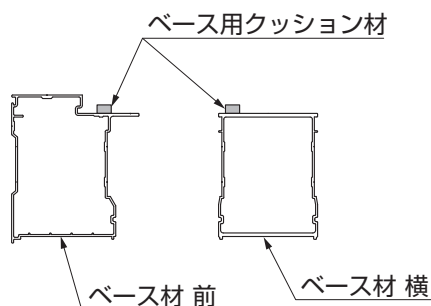


図1-1 樹ら楽ステージの場合

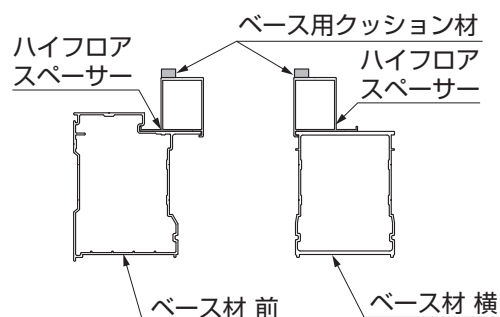


図1-2 ハイフロアの場合

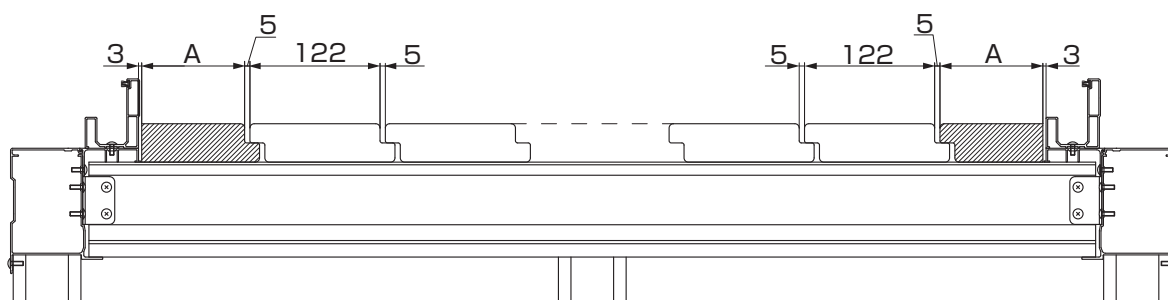


図1-3 1.5間、2.5間、3.0間 内面デッキ配置図

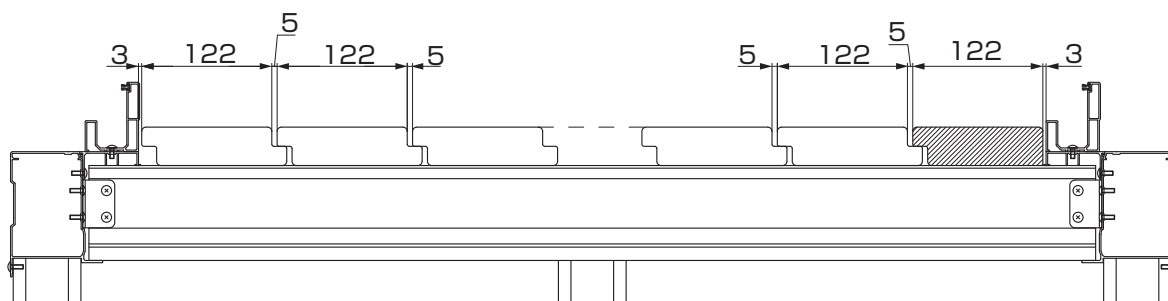


図1-4 2.0間 内面デッキ配置図

表1-1

間口	A寸法	間口	A寸法
1.5間	96.5	3.5間	71.5
2.5間	84	4.0間	97
3.0間	109.5		

- ①ベース材 前、ベース材 横のデッキ張付け面にベース用クッション材を貼ってください。（図1-1、図1-2参照）
- ②図1-3、図1-4を参照し、端部に配置する内面デッキを加工してください。

ポイント

- 間口サイズにより内面デッキの配置パターンが異なります。
- 図1-3、図1-4の斜線部の内面デッキは現場加工が必要です。加工寸法は間口サイズによって異なります。（表1-1参照）
- 樹ら楽ステージ仕様で1.5間、2.5間、3.0間の場合、両端部には端部用の内面デッキを使用してください。
- 樹ら楽ステージ仕様の内面デッキには表裏の区別があります。研磨加工面が表面になります。

- ③レールとの隙間が3mm程度あくように内面デッキを1枚配置してください。

1-1 つづき

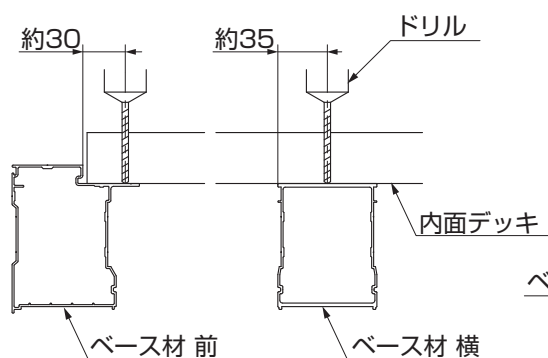


図1-5 樹ら楽ステージの場合

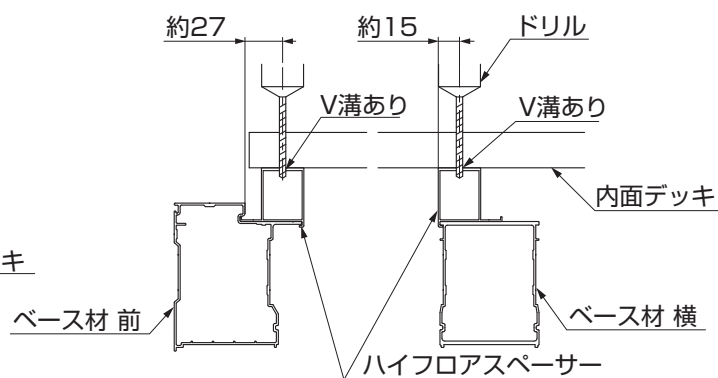


図1-6 ハイフロアの場合

表1-2

内面デッキの加工		形材部の加工
下穴径	サラ加工	
φ4.5	φ9	不要

【42-2】 φ4×55サラドリルネジ
 【23-1】 φ4×55サラドリルネジ

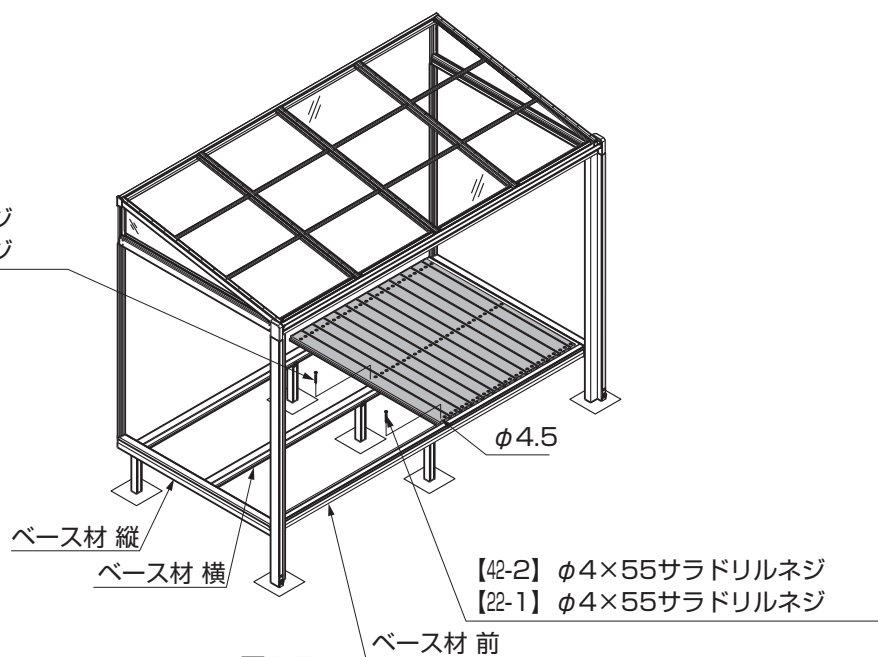


図1-7

④ベース材前、ベース材横の位置にあわせて、内面デッキに下穴をあけてください。(表1-2、図1-5、図1-6参照)

ポイント

●下穴はベース材前、ベース材横まで貫通させないでください。

⑤④であけた下穴に【22-1】または【23-1】、【42-2】を差込み、ベース材 前、ベース材 横にネジ止めしてください。(図1-7参照)

1.(つづき)

1-1 つづき

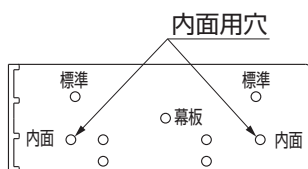


図1-8 穴開け治具

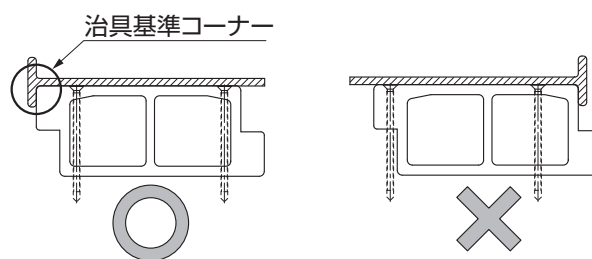


図1-9 穴開け治具使用例

⑥次の内面デッキを配置し、約5mmの目地をとり、④⑤の作業を行ってください。

ポイント

- 穴開け治具を内面デッキの間にはさむと、目地を約5mmとることができます。(図1-9参照)
- 内面デッキの幅には寸法のバラツキがあります。目地幅で微調整することを前提に張込みを行ってください。
- 必ず穴開け治具を使用して、「内面」と刻印のある位置に下穴を加工してください。穴開け治具の当て方を間違えたり、下穴位置がずれると内面デッキを正しく固定できません。(図1-8参照)

⑦内面デッキを全体の2/3程張り終えた時点で、残りの内面デッキを仮配置して目地調整をしてください。

⑧最後の内面デッキはレールとの隙間が3mm程度あくように取付けてください。(図1-3、図1-4参照)

⑨内面デッキの浮上がりがないか確認し、浮上がりがあった場合、その部分のネジを増し締めするか、一度取外して止めなおしてください。

2. 内面デッキ施工後の仕上げ

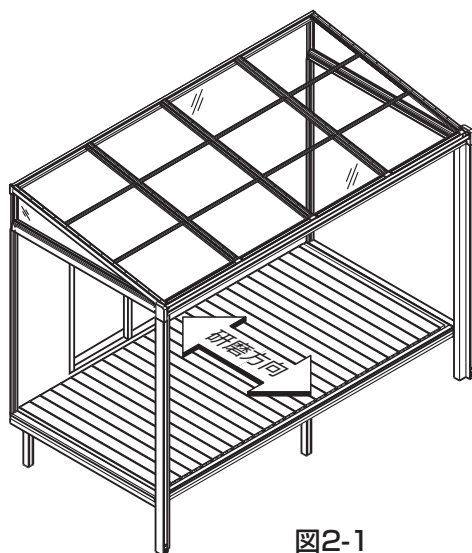


図2-1

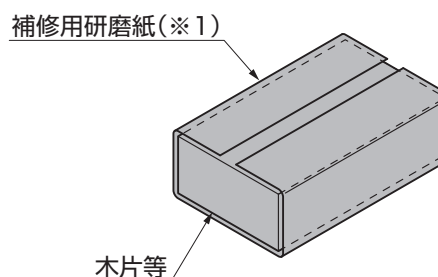


図2-2

①施工後、表面に付いたすりキズは図2-1を参照して、研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

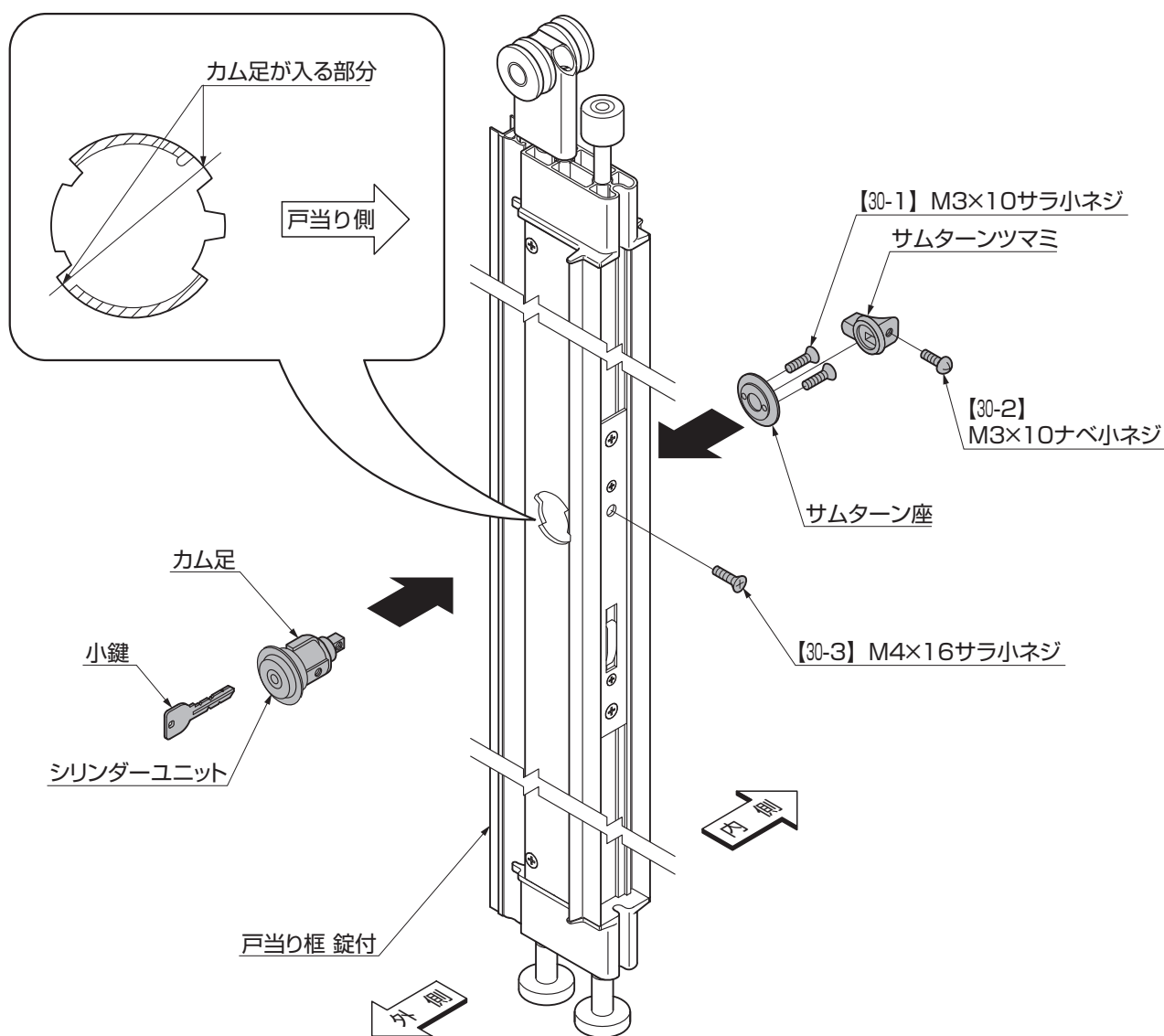
ポイント

- 1箇所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部分を補修用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 市販の研磨紙を利用する場合は、60番の研磨紙を用いてください。

8 パネルの施工

1. 錠の取付け

オプション

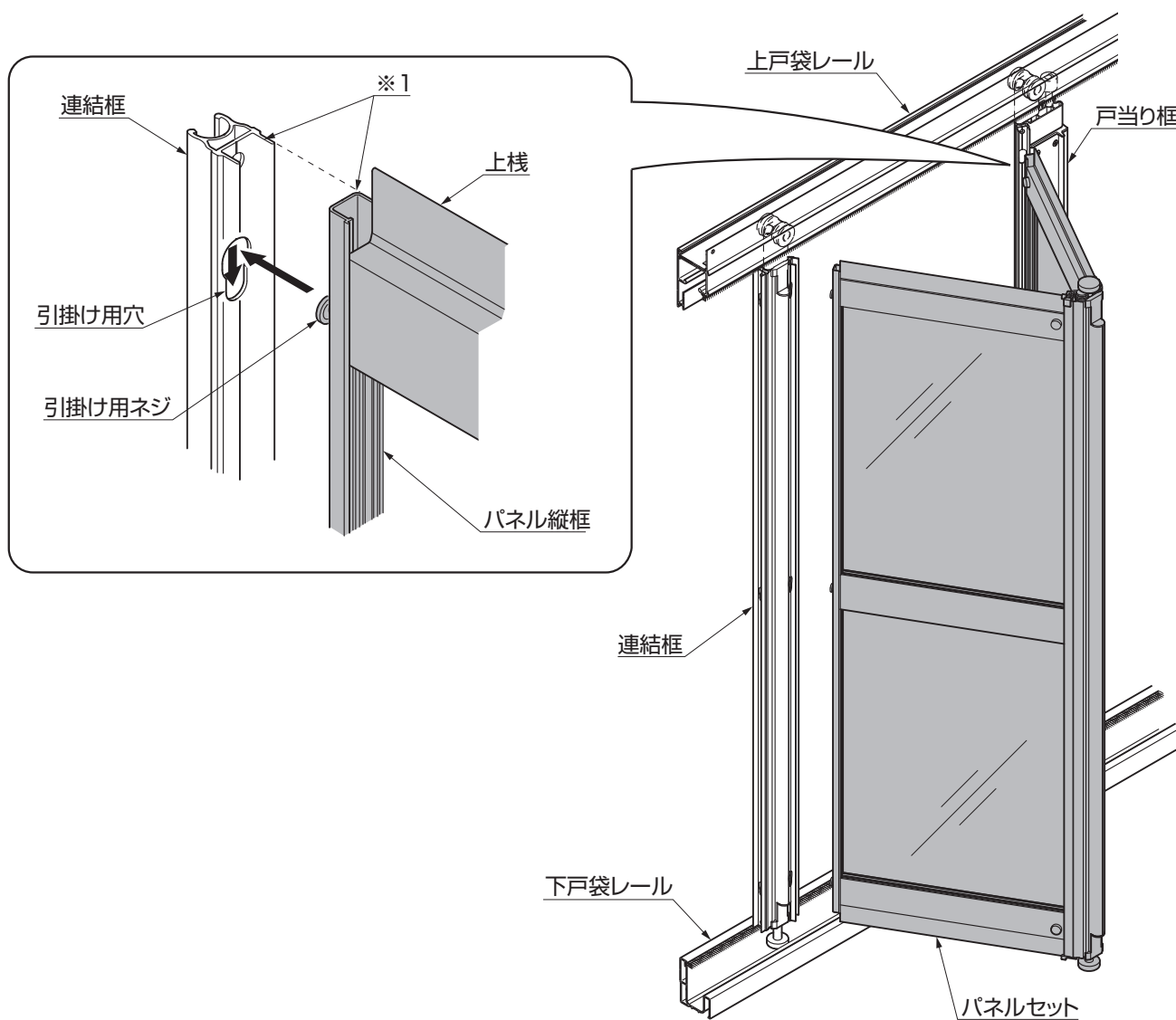


- ①シリンダーユニットを戸当り框掛け側の穴に挿入して、【30-3】で取付けてください。
- ②サムターン座をシリンダーユニットに【30-1】で取付けてください。
- ③サムターンツマミをシリンダーユニットに【30-2】で取付けてください。

ポイント

- シリンダーユニット側面にあるネジ穴を戸当り側へ向けてください。
- シリンダーユニットの挿入部分の形状を框の中の穴形状に合わせて挿入してください。
- 両開きの場合は、外観左側の戸当り框に錠を取付けてください。
- サムターン座凸部がサムターンツマミ側にくるように組付けてください。

2. パネルの吊込み



① パネルセットの引掛け用ネジを連結框の引掛け用穴に挿入して取付けてください。

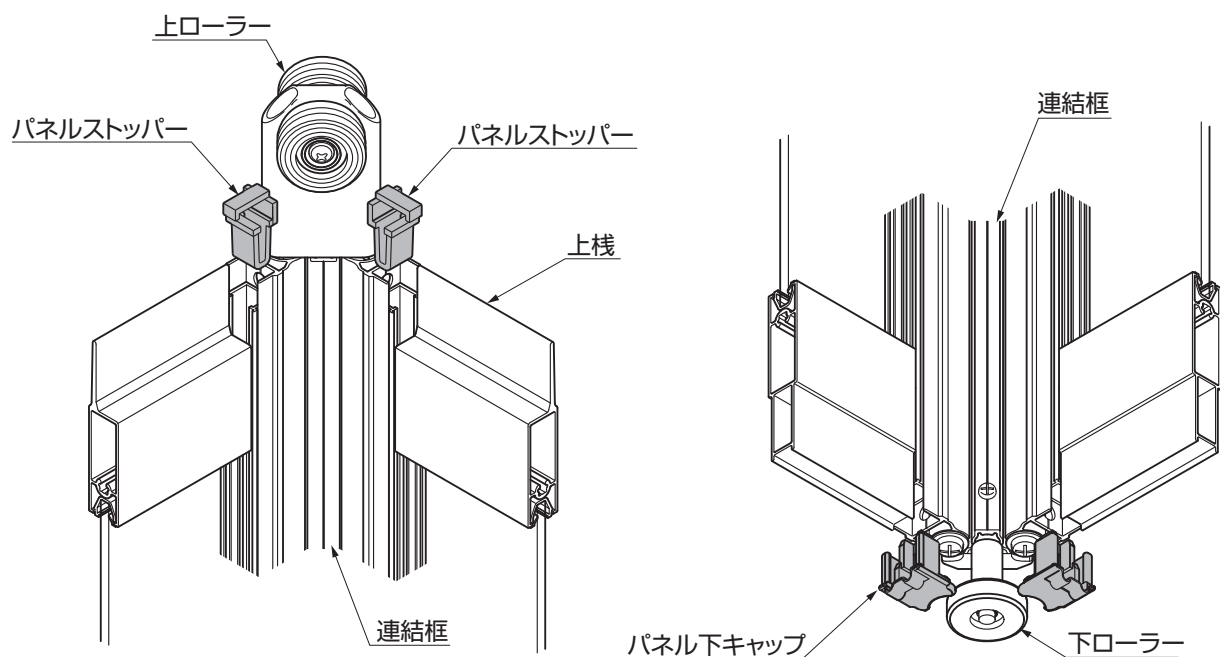
⚠ 注意

● 引掛け用ネジの頭が完全に引っ掛かっていないとパネルが脱落して破損し、事故につながるおそれがあります。

🔑 ポイント

- 上端をそろえてからパネルを引掛け用穴に挿入し下へスライドしてください。（※1）
- パネルの上・中・下の3ヶ所に引掛け用ネジの頭が、引掛け用穴に引っ掛かっていることを確認してください。
- パネルセットには内収納・外収納および上下がありますのでシールを参考にして吊込みを行なってください。

3. パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け



①パネルストッパーおよびパネル下キャップを連結框の上下に取付けてください。

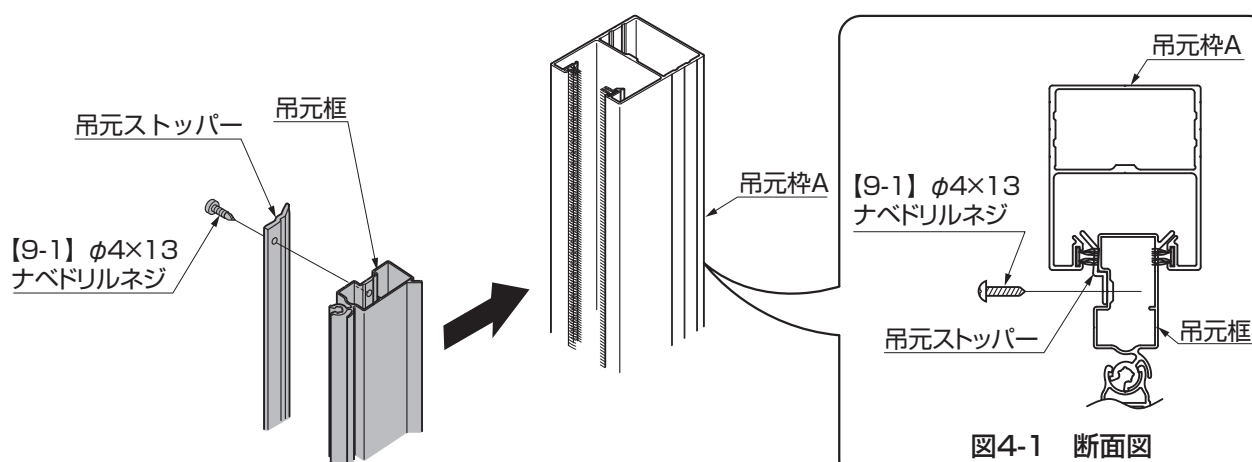
⚠ 注意

●パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをするおそれがあります。

🔑 ポイント

●パネルセットには内収納セット、外収納セットがあります。表示シールを貼ってありますが、吊込み時には注意してください。

4. 吊元ストッパーの取付け



①吊元枠を吊元枠Aに差込んでから吊元ストッパーを【9-1】で吊元枠に取付けてください。（図4-1参照）

🔑 ポイント

●吊元ストッパーと吊元枠を吊元枠A内に挿入した後に組付けてください。

5. 戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け

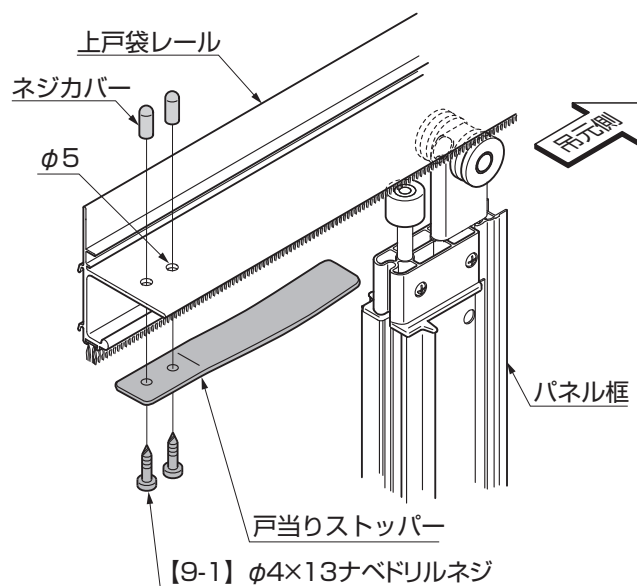


図5-1

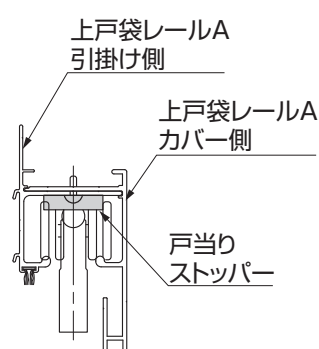


図5-2 外収納

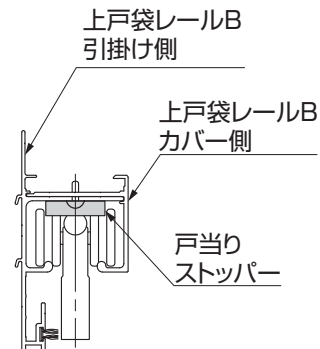


図5-3 内収納

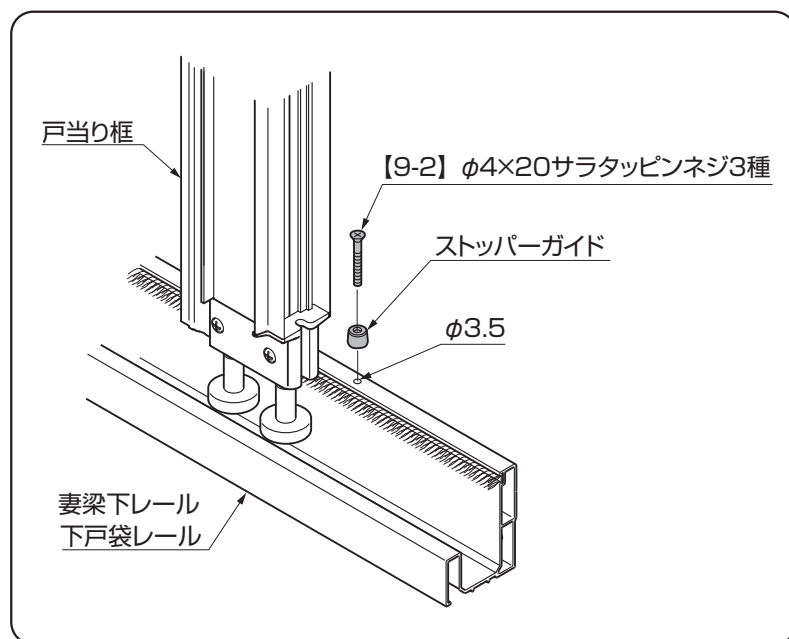
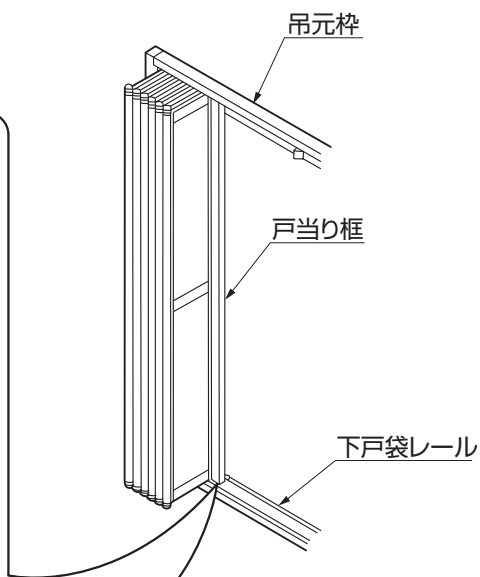


図5-4



①「6 レールの取付け 1. 前面上下レールの施工 1-1 上戸袋レールの加工」・「6 レールの取付け 2. 妻梁側側面上下レールの施工 2-1 上レールの加工」で加工した穴に【9-1】で戸当りストッパーを取付けて、ネジカバーをはめてください。（図5-1参照）

②下戸袋レールにφ3.5の穴をあけてください。（図5-4参照）

③ストッパーガイドを【9-2】で下戸袋レール、妻梁下レールに取付けてください。（図5-4参照）

ポイント

- ストッパーガイドはパネルを全て戸袋に収納してから下戸袋レール、妻梁下レールにφ3.5の穴をあけストッパーガイドを固定してください。

6. 上棧カバーおよび框カバーの取付け

※外収納仕様の場合の作業です。

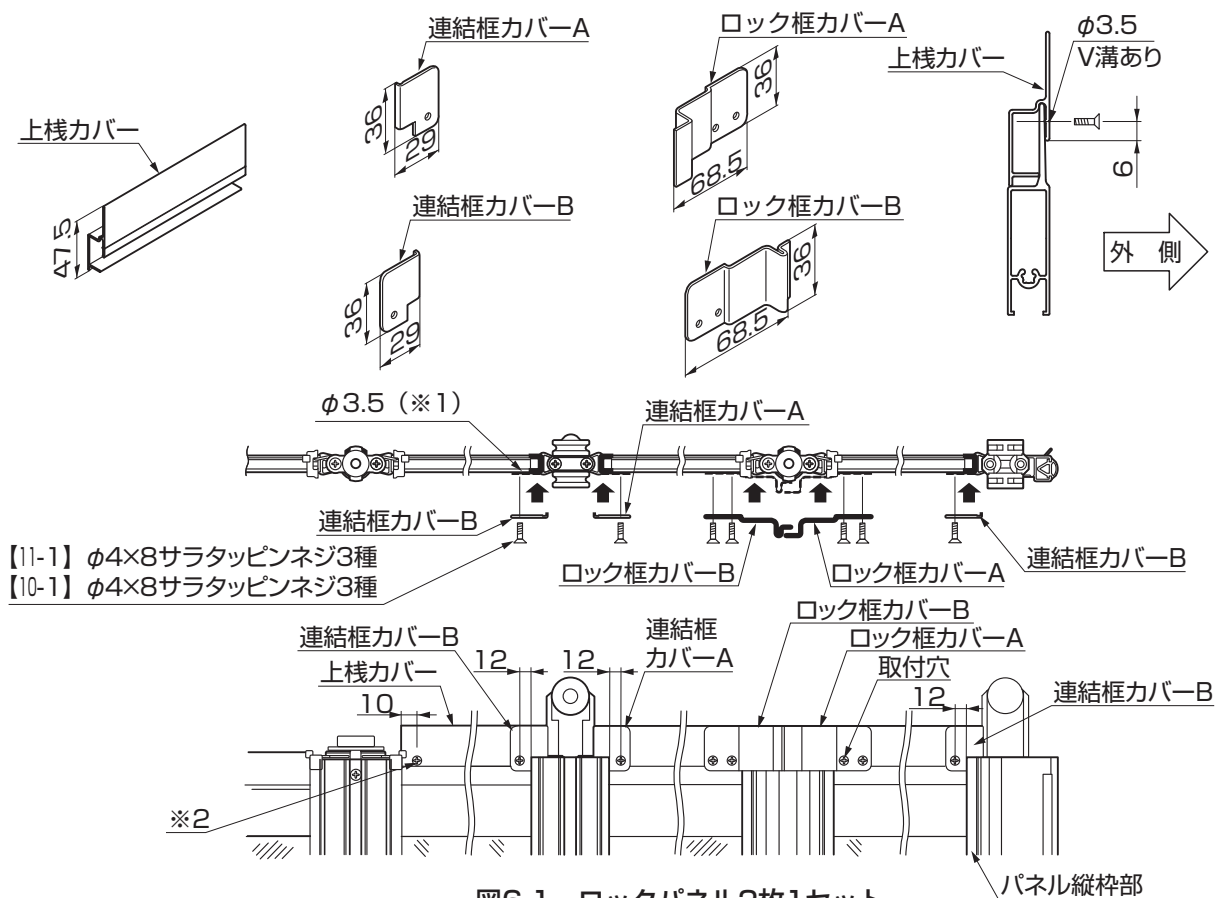


図6-1 ロックパネル2枚1セット

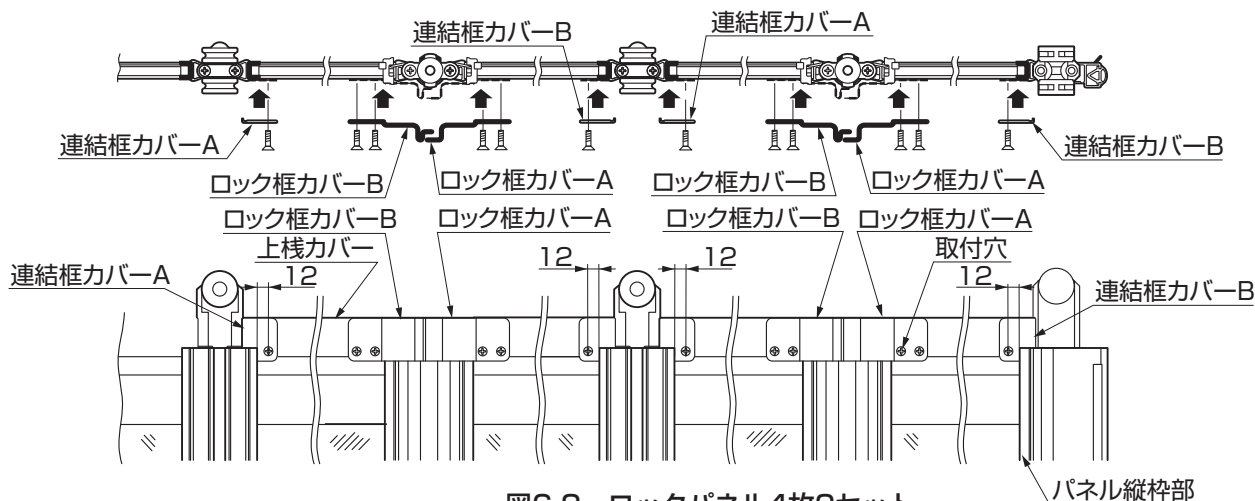


図6-2 ロックパネル4枚2セット

①図6-1、図6-2を参照して連結框カバー、ロック框カバー、上棧カバーを【10-1】、【11-1】で取付けてください。

ポイント

- 連結框カバーを取付けるための下穴φ3.5は、上棧カバーのV溝に合わせてパネル縦枠部から12mmの位置に加工してください。（※1）

補足

- 上棧カバーを【10-1】、【11-1】で止めてください。（※2）

7. フィックス枠およびフィックスパネルの加工

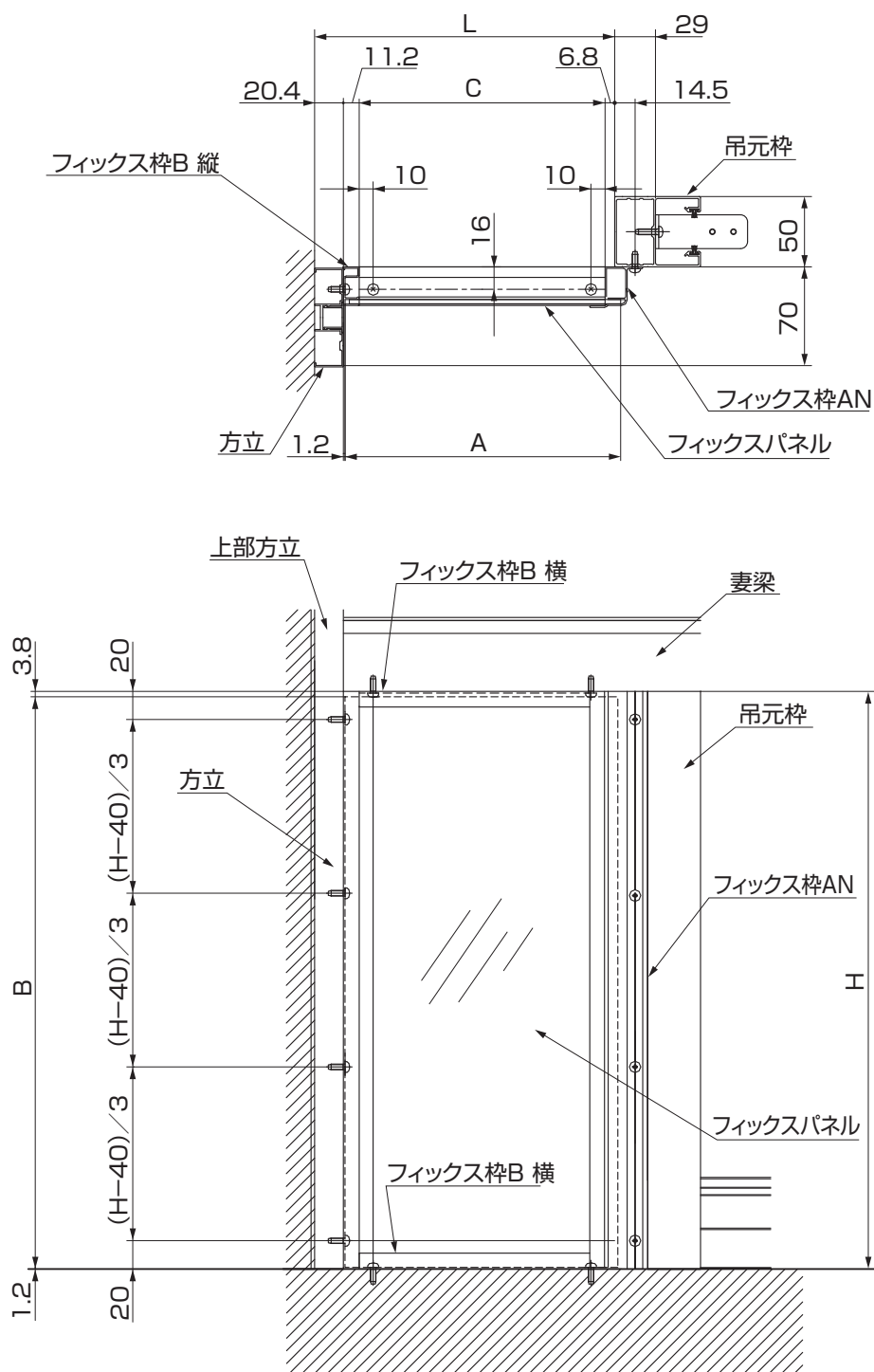


表8-1

タイプ	L	加工部材	
		フィックス枠B 横	標準仕様
			フィックスパネル
		C	A
4尺	267	229	247
6尺	246	208	227

表8-2

呼称高さH	B
2000	1995
2100	2095
2300	2295
2400	2395

①表8-1、表8-2を参照してフィックス枠およびフィックスパネルを加工してください。

8. フィックス枠およびフィックスパネルの取付け

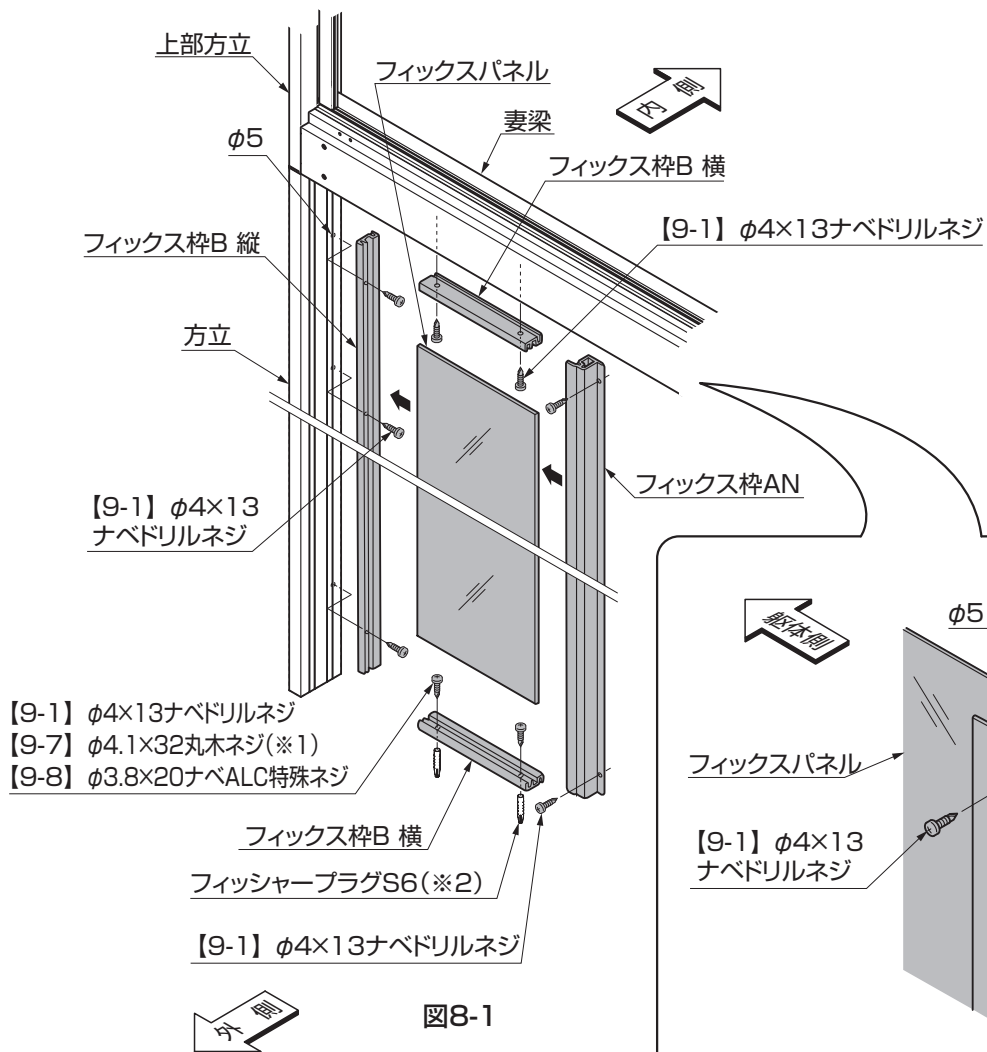


図8-1

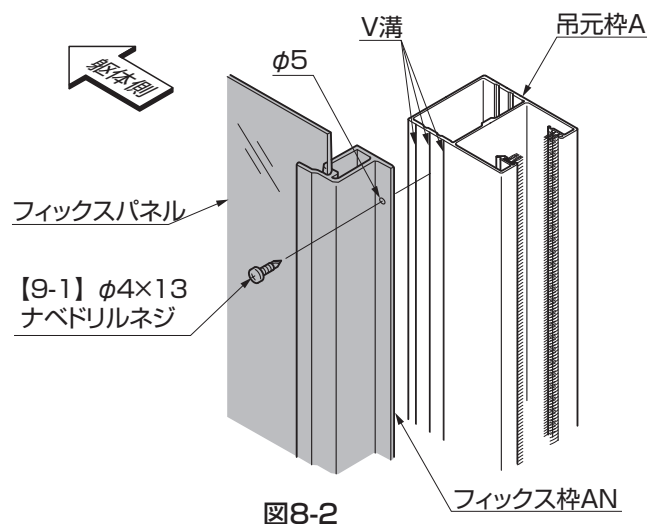


図8-2

- ①フィックス枠B 縦を方立へ【9-1】で取付けてください。(図8-1参照)
- ②フィックス枠B 横を妻梁へ【9-1】で取付けてください。(図8-1参照)
- ③フィックス枠B 横を【9-1】、【9-7】(※1)または【9-8】で床材へ取付けてください。(図8-1参照)

ポイント

- デッキ仕様の場合は【9-8】を使用してください。
- 土間仕様の場合は【9-7】(※1)を使用してください。
- 土間仕様の場合のフィックス枠B 横の固定にはフィッシャープラグS6を使ってください。(※2)
- フィッシャープラグS6は現場で手配してください。(※2)

- ④フィックスパネルをはめ込んでください。(図8-1参照)
- ⑤フィックス枠ANを【9-1】で吊元枠へ取付けてください。(図8-2参照)

ポイント

- フィックス枠AN、フィックス枠B 縦、フィックス枠B 横、方立は穴加工をしていません。必要に応じてφ5の穴加工をしてください。
- 吊元枠へのフィックス枠ANは、吊元枠A側面の3本のV溝内に納まる位置で固定してください。V溝から外れると折戸パネルの開閉に不具合を生じるおそれがあります。また、内収納の場合はフィックス枠ANを吊元枠A側面の一番躯体側のV溝に取付けてください。(図8-2参照)
- 網戸を取付ける際は一番躯体側のV溝にフィックス枠ANを固定してください。

9. ハイフロア用Lアングルの取付け

※インナーデッキ仕様でデッキ材をハイフロアにした場合の作業です。

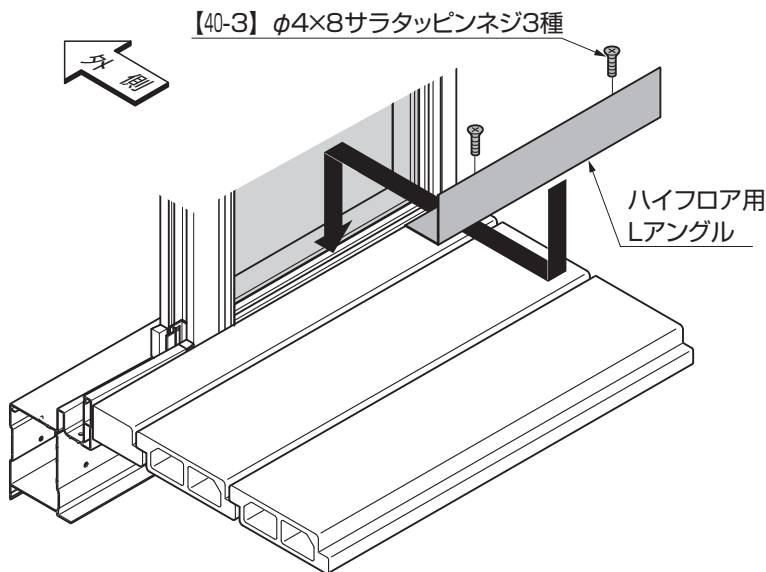


図9-2

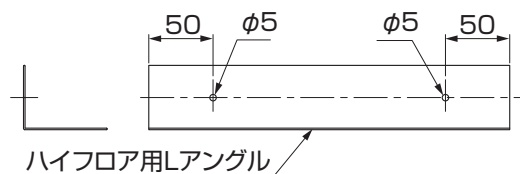


図9-1

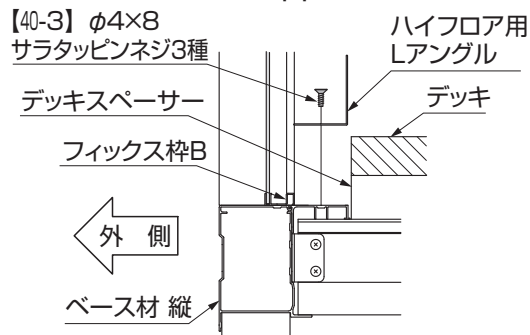


図9-3

- ①ハイフロア用Lアングルの両端から50mmの位置にφ5、レールベースにφ3.5の下穴をあけてください。（図9-1参照）
- ②ハイフロア用Lアングルのレールベースに【40-3】で取付けてください。（図9-2、図9-3参照）

ポイント

- ハイフロア用Lアングルは必要に応じ切断加工をしてください。

10. パネルの調整

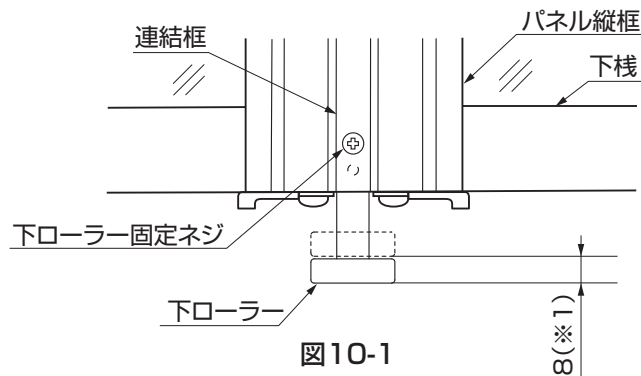


図10-1

- ①図10-1を参照してパネルの調整をしてください。

ポイント

- パネルの下ローラーは、2段階の調整式です。様々な条件により、下ローラーが下レール固定ネジと干渉する場合は、「下ローラー固定ネジ」を外して、1段上に上げてください。ただし、戸袋部でパネルの折り畳みの機能に支障がない範囲で調整を行なってください。
- 「下ローラー固定ネジ」には緩み止めを塗布しています。外す場合は十分注意の上、ハンドドライバー等でゆっくり外してください。

補足

- 上に8mm移動可能です。（※1）

9 連棟の施工

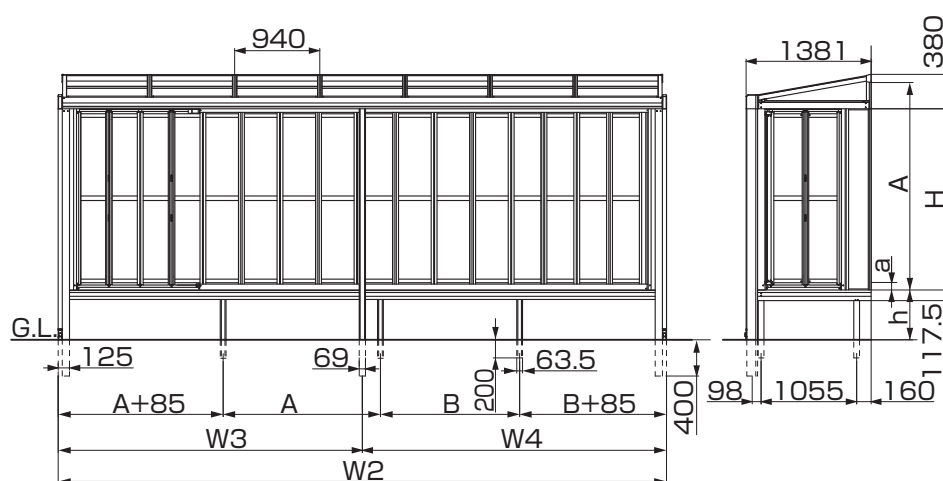
1. インナーデッキ仕様基本寸法

※図は3.5間標準仕様の場合です。

※積雪仕様の場合、中間柱が2本になります。

※柱の位置は「9 連棟の施工 3.インナーデッキ仕様 柱の位置出し」を参照してください。

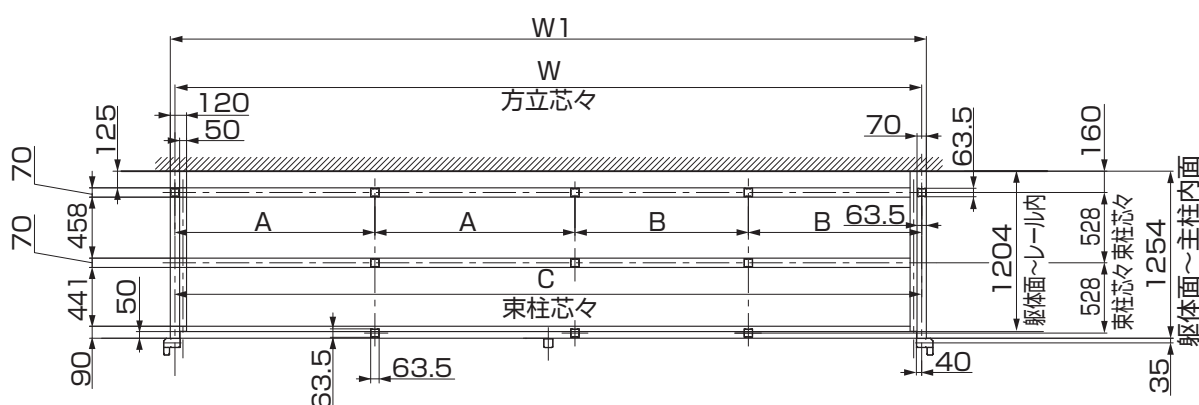
1-1 4尺 3.5間、4.0間 立面図



パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA	床面仕上り高さ (h+a)
2000	2309.5	h+27
2100	2409.5	
2300	2609.5	
2400	2709.5	

※hは最大550mmです。

1-2 4尺 3.5間、4.0間 平面図

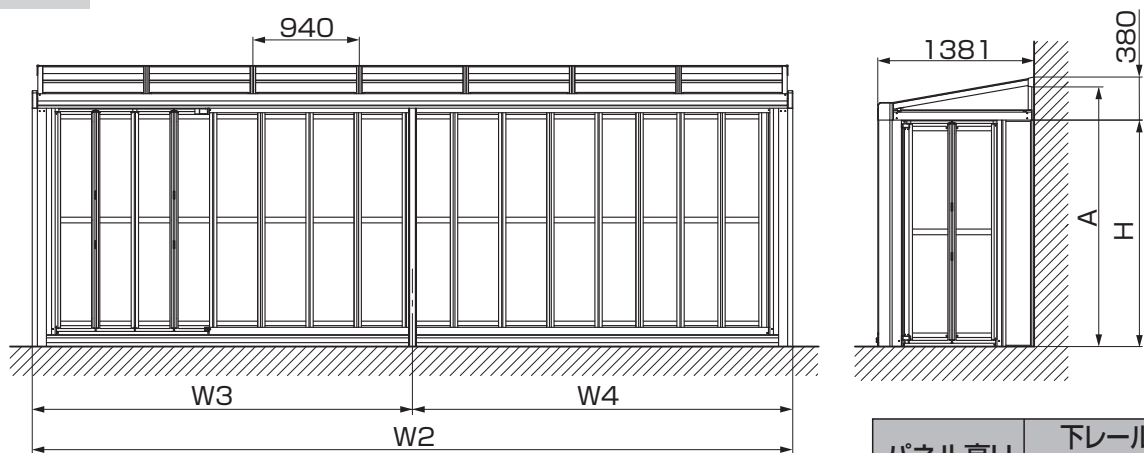


間口	W	W1	W2	W3	W4	A	B	C
3.5間	6547	6617	6718	3359	3359	1737	1537	6548
4.0間	7487	7557	7658	3812	3845	1972	1772	7488

※図は3.5間標準仕様の場合です。
 ※積雪仕様の場合、中間柱が2本になります。
 ※柱の位置は「9 連棟の施工 4. 土間・デッキ仕様柱の位置出し」を参照してください。

2. 土間・デッキ仕様基本寸法

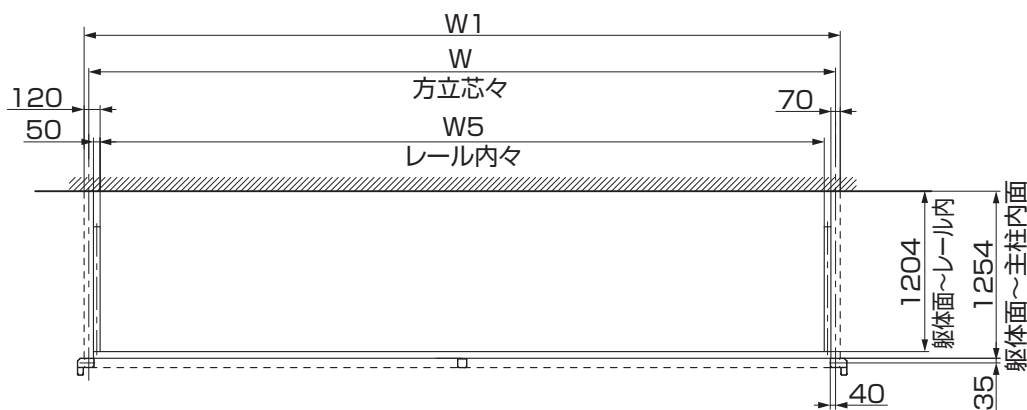
2-1 4尺 3.5間、4.0間 立面図



パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2309.5
2100	2409.5
2300	2609.5
2400	2709.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3409.5

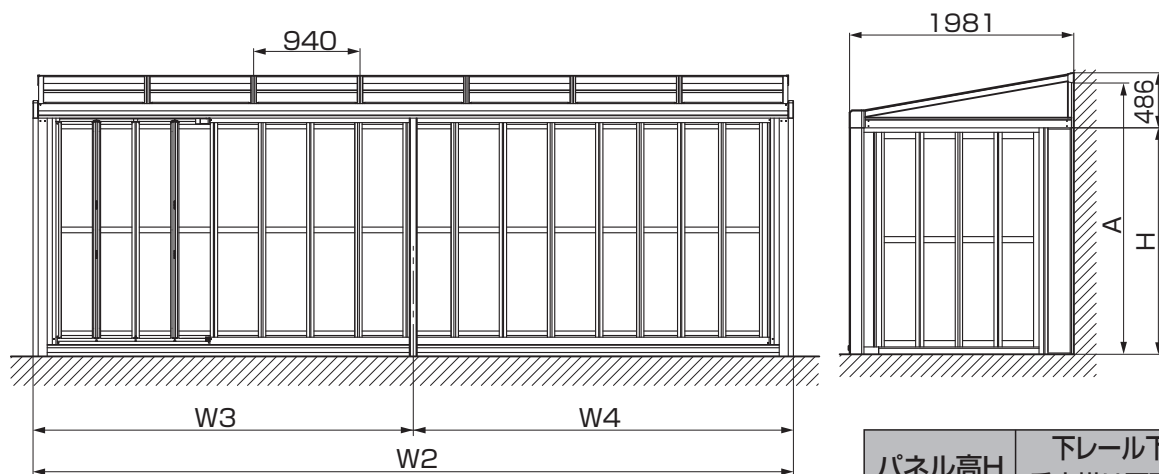
2-2 4尺 3.5間、4.0間 平面図



間口	W	W1	W2	W3	W4	W5
3.5間	6547	6617	6718	3359	3359	6377
4.0間	7487	7557	7658	3812	3845	7317

2. (つづき)

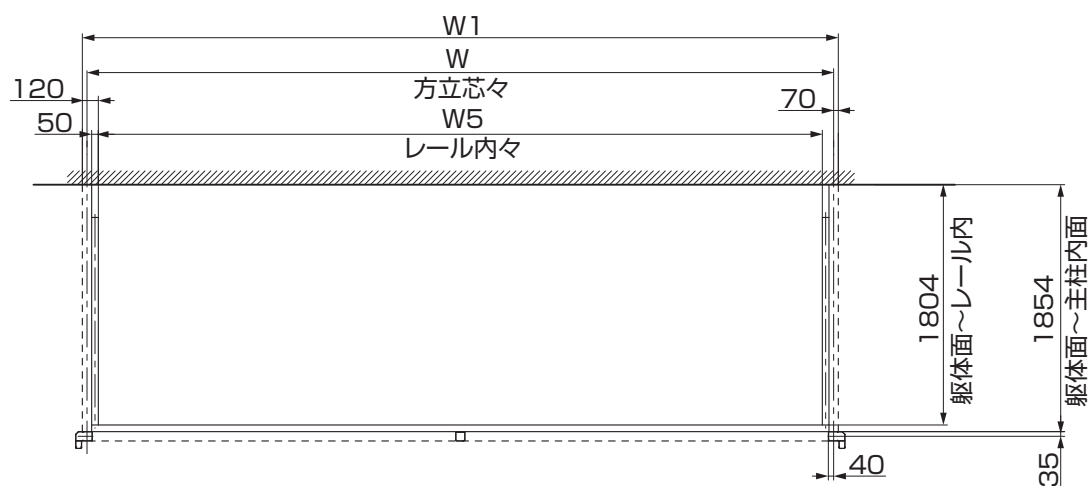
2-3 6尺 3.5間、4.0間 立面図



パネル高H	下レール下面～ 垂木掛け下面高さA
2000	2415.5
2100	2515.5
2300	2715.5
2400	2815.5

テラス仕様 H	FL～ 垂木掛け下面高さA
3100	3515.5

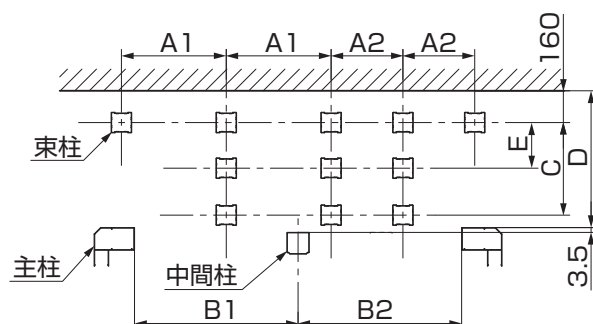
2-4 6尺 3.5間、4.0間 平面図



間口	W	W1	W2	W3	W4	W5
3.5間	6547	6617	6718	3359	3359	6377
4.0間	7487	7557	7658	3812	3845	7317

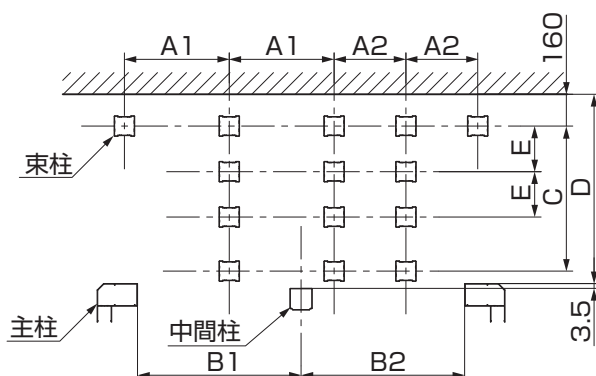
3. インナーデッキ仕様柱の位置出し

3-1 4尺 3.5間、4.0間



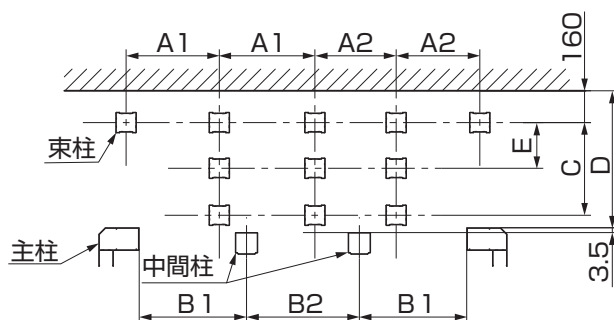
	3.5間	4.0間
A1寸法	1737	1972
A2寸法	1537	1772
B1寸法	3234	3687
B2寸法	3234	3720
C寸法	1055	1055
D寸法	1254	1254
E寸法	528	528

3-2 6尺 3.5間、4.0間



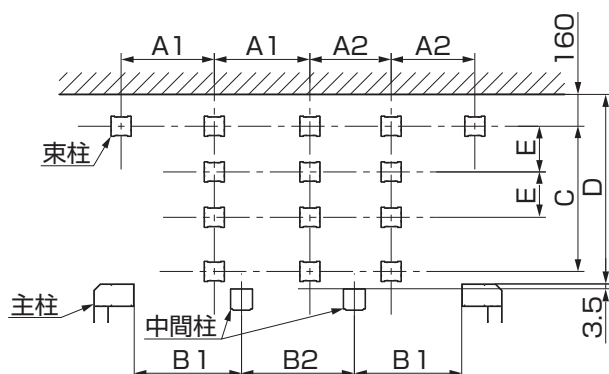
	3.5間	4.0間
A1寸法	1737	1972
A2寸法	1537	1772
B1寸法	3234	3687
B2寸法	3234	3720
C寸法	1655	1655
D寸法	1854	1854
E寸法	552	552

3-3 積雪仕様 4尺 3.5間、4.0間



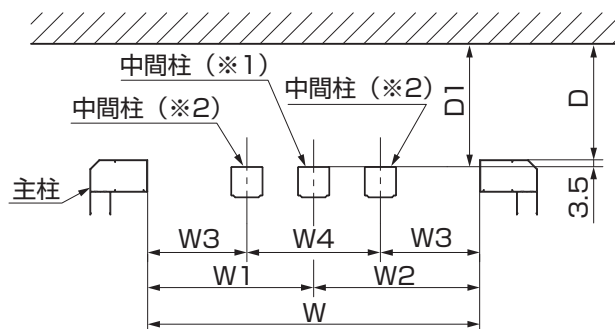
	3.5間	4.0間
A1寸法	1737	1972
A2寸法	1537	1772
B1寸法	1840	2780
B2寸法	2787	1847
C寸法	1055	1055
D寸法	1254	1254
E寸法	528	528

3-4 積雪仕様 6尺 3.5間、4.0間



	3.5間	4.0間
A1寸法	1737	1972
A2寸法	1537	1772
B1寸法	1840	2780
B2寸法	2787	1847
C寸法	1655	1655
D寸法	1854	1854
E寸法	552	552

4. 土間・デッキ仕様柱の位置出し



	4尺		6尺	
	3.5間	4.0間	3.5間	4.0間
W寸法	6468	7408	6468	7408
W1寸法 (※1)	3234	3687	3234	3687
W2寸法 (※1)	3234	3720	3234	3720
W3寸法 (※2)	1840	2780	1840	2780
W4寸法 (※2)	2787	1847	2787	1847
D寸法	1254	1254	1854	1854
D1寸法	1257.5	1257.5	1857.5	1857.5

ポイント

- 標準仕様では中間柱を1本使用します。(※1)
- 積雪仕様では中間柱を2本使用します。(※2)

5. 垂木掛けの加工

※「4 テラス部本体の施工 2. 方立・上部方立・垂木掛けの取付け」と同時に行なう作業です。

5-1 垂木掛けの拾い出し

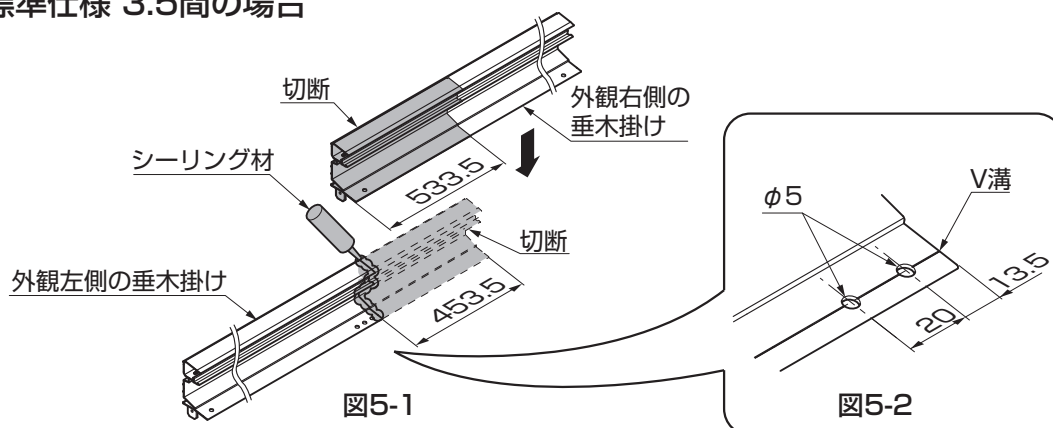
表5-1

		垂木掛け拾い出し	
		外観左側	外観右側
標準仕様	3.5間	2.0間用	2.0間用
	4.0間		
積雪仕様	3.5間	2.5間用	1.5間用
	4.0間		

ポイント

- 連棟の場合の垂木掛けの組み合わせは表5-1の通りです。外観右側、外観左側の指定があります。

5-2 標準仕様 3.5間の場合



- ①外観右側の垂木掛けの左端部を533.5mm切断してください。(図5-1参照)
- ②外観左側の垂木掛けの右端部を453.5mm切断してください。(図5-1参照)
- ③外観左側の垂木掛けの右端部のV溝上にφ5の穴を加工してください。(図5-2参照)

ポイント

- 垂木掛け連結部には必ずシーリングをしてください。

5-3 標準仕様 4.0間、積雪仕様 3.5間・4.0間の場合

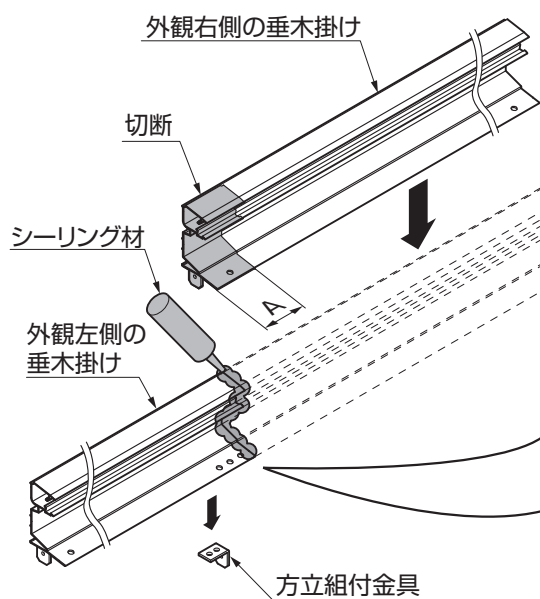


図5-3

表5-2

	A寸法
4.0間	47
3.5間積雪仕様	987
4.0間積雪仕様	47

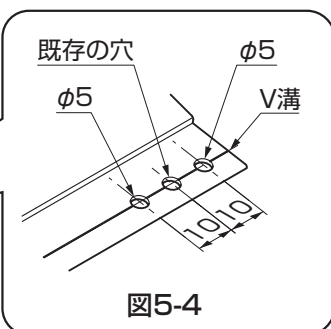


図5-4

- ①外観右側の垂木掛け端部を表5-2を参照して切詰めてください。
- ②外観左側の垂木掛けの右端の方立組付金具を取外してください。(5-3参照)
- ③外観左側の垂木掛けの右端のV溝上にφ5の穴をあけてください。(図5-4参照)

ポイント

- 方立組付金具は再使用しません。
- 垂木掛け連結部には必ずシーリングをしてください。

6. 桁の加工

※「4 テラス部本体の施工 5. 妻梁・桁の取付け」と同時に行なう作業です。

6-1 桁の拾い出し

表6-1

		桁拾い出し	
		外観左側	外観右側
標準仕様	3.5間	2.0間用	2.0間用
	4.0間		
積雪仕様	3.5間	2.5間用	1.5間用
	4.0間		

ポイント

- 連棟の場合の桁の組合わせは表6-1の通りです。外観右側、外観左側の指定があります。

6-2 部品の取外し

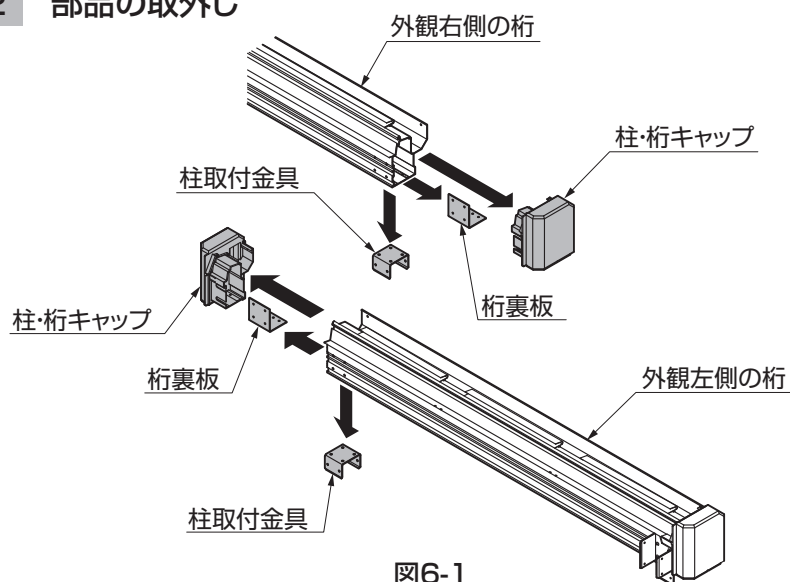


図6-1

- ①桁連結部の柱取付金具、柱・桁キャップ、桁裏板を取外してください。

ポイント

- 柱取付金具は1個再使用します。その他取外した部品は再使用しません。

6.(つづき)

6-3 桁の切断

(1) 標準仕様 3.5間の場合

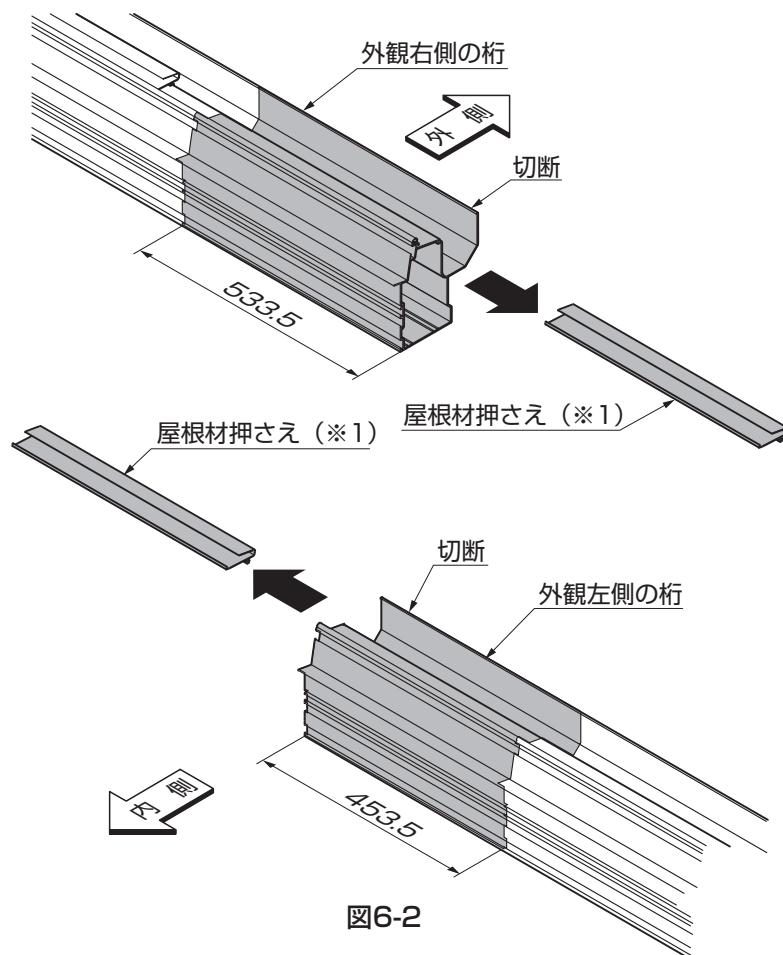


図6-2

- ①外観右側の桁の左端部を、533.5mm 切断してください。
- ②外観左側の桁の右端部を、453.5mm 切断してください。

ポイント

- 桁を切断する前に、切断部にかかる屋根材押さえ (※1) を取外してください。
- 取外した屋根材押さえ (※1) は1本だけ再使用します。

(2) 標準仕様 4.0間、積雪仕様3.5間・4.0間の場合

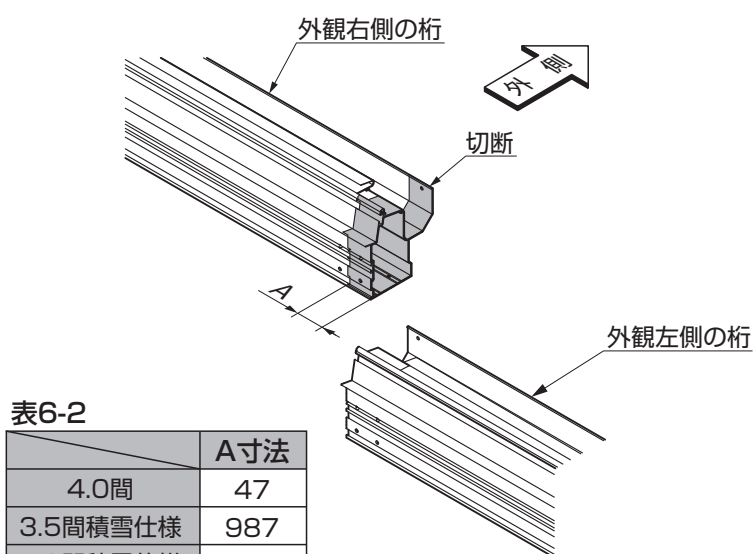


表6-2

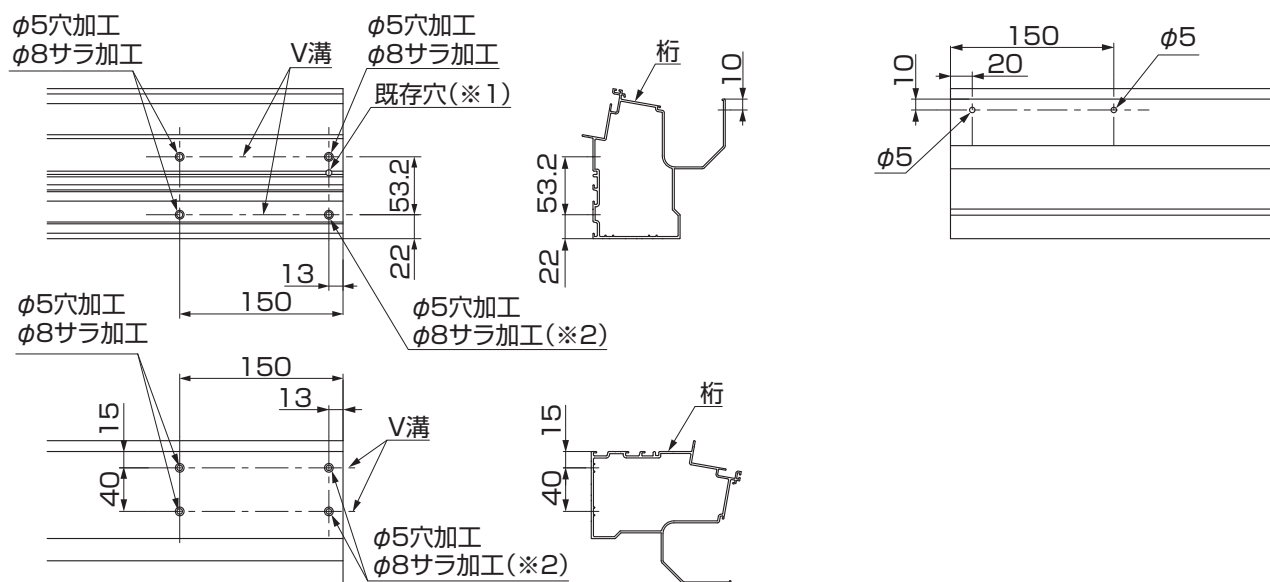
	A寸法
4.0間	47
3.5間積雪仕様	987
4.0間積雪仕様	47

図6-3

- ①外観右側の桁の左端部を表6-2を参照して切断してください。

6-4 桁の穴加工

(1) 外観右側の桁の穴加工

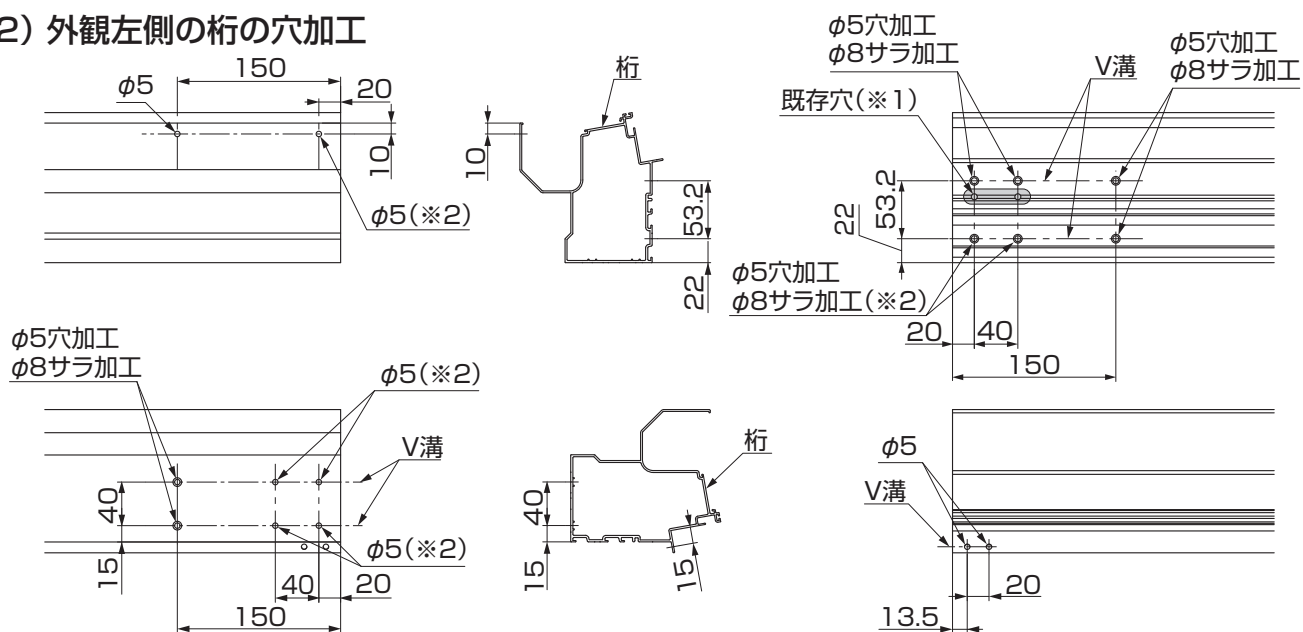


①図のように加工してください。

ポイント

- ※1の既存穴は使用しません。
- 3.5間は既存穴がありませんので新たにφ5穴を加工してください。(※2)

(2) 外観左側の桁の穴加工



①図のように加工してください。

ポイント

- ※1の既存穴は使用しません。
- 3.5間は既存穴がありませんので新たにφ5穴を加工してください。(※2)

7. 桁の連結

※「4 テラス部本体の施工 5. 妻梁・桁の取付け」と同時に行なう作業です。

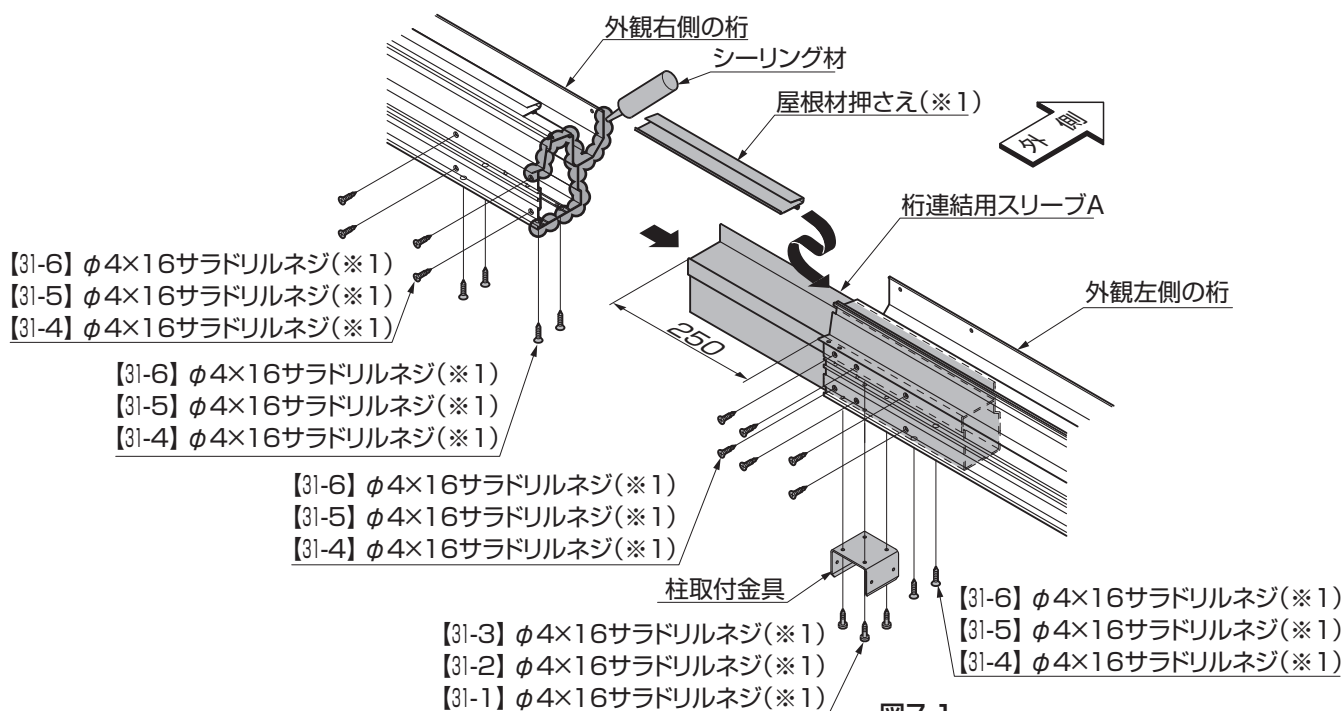


図7-1

- ①外観左側の桁に桁連結用スリーブAを差込み、サラ加工を行った所に【31-4】または【31-5】、【31-6】で固定してください。
- ②柱取付金具を【31-1】または【31-2】、【31-3】で固定してください。
- ③外観右側の桁を桁連結用スリーブAに差込み、サラ加工を行った所に【31-4】または【31-5】、【31-6】で固定してください。

ポイント

- 標準仕様3.5間の場合、取外した屋根材押さえ(※1)を取付けてください。
- 桁連結部には必ずシーリングをしてください。
- ※1のネジは本体色を使用してください。
- ※2のネジは本体色以外を使用してください。

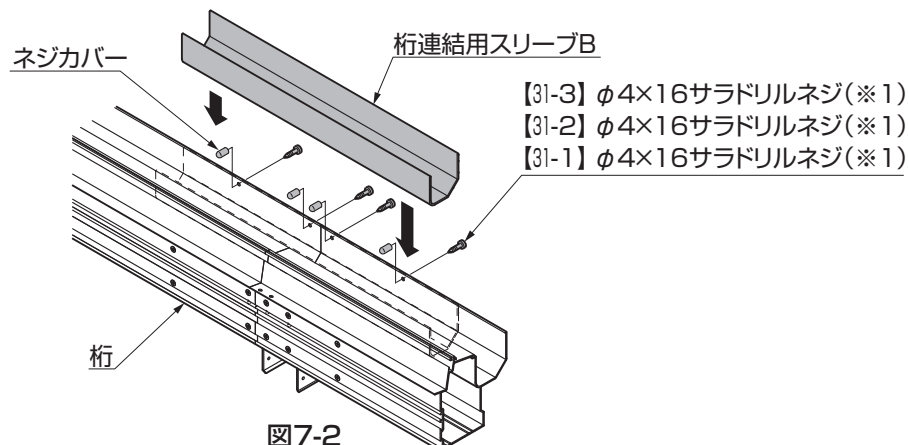


図7-2

- ④連結した桁に桁連結用スリーブBを【31-1】または【31-2】、【31-3】で取付けてください。
- ⑤【31-1】または【31-2】、【31-3】の先端にネジカバーを取付けてください。

ポイント

- 桁連結用スリーブA、Bには取付け穴はありません。
- ※3のネジは本体色を使用してください。

8. ベース材の加工

※「4 テラス部本体の施工 4. ベース材の取付け」と同時に行なう作業です。

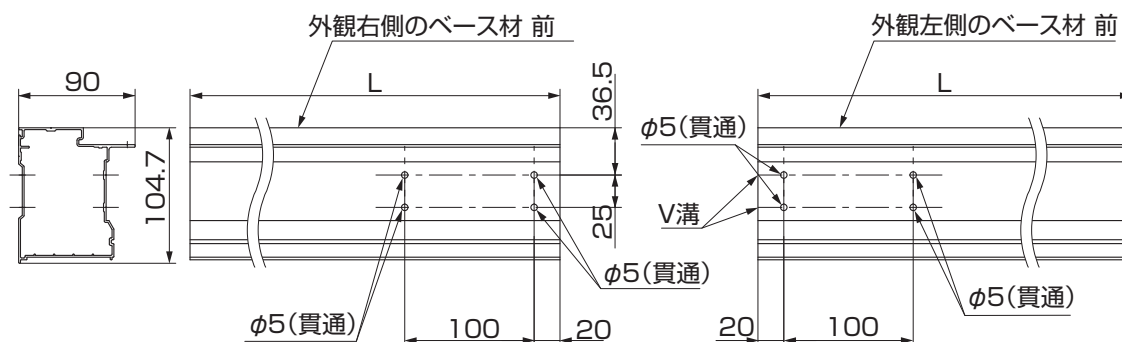


図8-1 ベース材 前加工図

表8-1

ベース材 前					
間口	ベース材 拾い出し	部材寸法		使用箇所	必要数
		加工前	加工後 L		
3.5間	2.0間	3656	3478	外観左側	1
	2.0間	3656	2998	外観右側	1
4.0間	2.0間	3656	3468	外観右側	1
	2.5間	4596	3948	外観左側	1

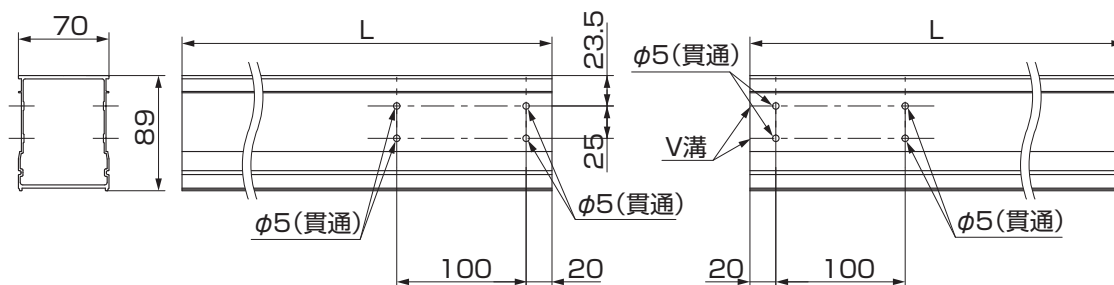


図8-2 ベース材 横加工図

表8-2

ベース材 横						
間口	ベース材 拾い出し	部材寸法		使用箇所	必要数	
		加工前	加工後 L		4尺	6尺
3.5間	2.0間	3656	3478	外観左側	2	3
	2.0間	3656	2998	外観右側	2	3
4.0間	2.0間	3656	3468	外観右側	2	3
	2.5間	4596	3948	外観左側	2	3

- ①図8-1、表8-1を参照して、ベース材 前を切断し、穴加工をしてください。
- ②図8-2、表8-2を参照して、ベース材 横を切断し、穴加工をしてください。

ポイント

- ベース材 前・ベース材 横を連結する場合は部材寸法に外観右側、外観左側の指定があります。

9. レールの加工

※「6 レールの取付け 1. 前面上下レールの施工」と同時に行なう作業です。

9-1 桁レールの加工

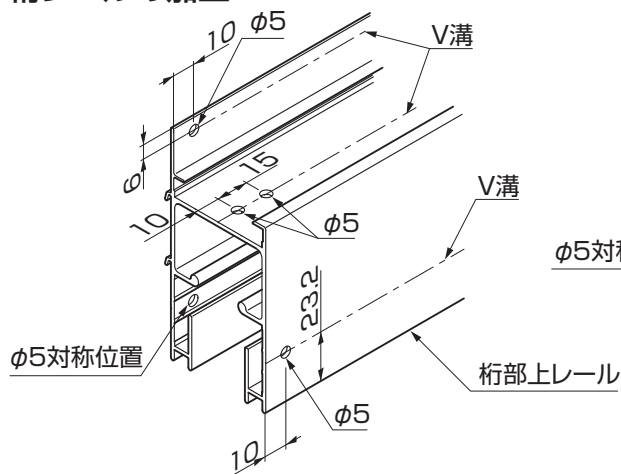


図9-1 桁部上レールの加工

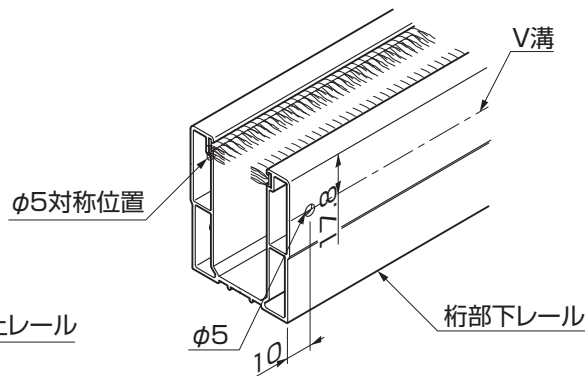


図9-2 桁部下レールの加工

表9-1

間口	桁部上レール				桁部下レール			
	レール材 拾い出し	部材寸法		必要数	レール材 拾い出し	部材寸法		必要数
		加工前	加工後			加工前	加工後	
3.5間	2.0間	2432	加工なし	1	2.0間	2420	加工なし	1
	2.5間	3372	2521	1	2.5間	3360	2521	1
4.0間	2.5間	3372	加工なし	1	2.5間	3360	加工なし	1
	2.5間	3372	2521	1	2.5間	3360	2521	1

①図9-1、図9-2、表9-1を参照して、桁部上レールおよび桁部下レールを加工してください。

9-2 上戸袋レールの加工

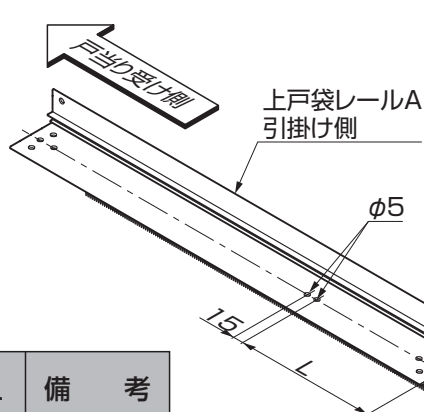


図9-3 外収納の場合

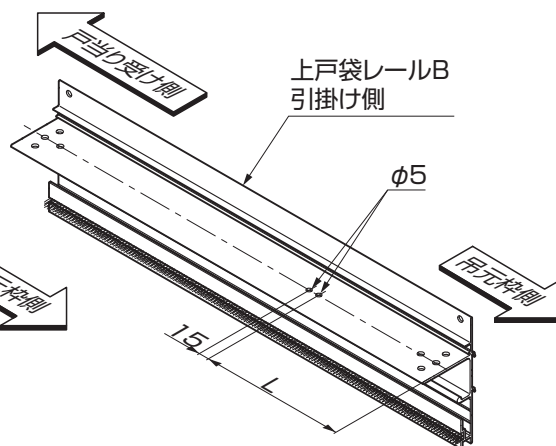


図9-4 内収納の場合

表9-2

寸法 戸袋サイズ	L	備 考
パネル16枚用	454	3.5間前面
パネル20枚用	496	4.0間前面

①戸袋レールセットの梱包を開いた時点で、上戸袋レール引掛け側に戸当りストッパー取付け用のØ5の穴をあけてください。(図9-3、図9-4参照)、(表9-2参照)

ポイント

- 穴位置を間違えるとパネルの開閉に支障を生じることがあります。
- 穴加工は、上戸袋レール引掛け側の吊元枠固定側だけを加工してください。

10. ベース材の連結

※「4 テラス部本体の施工 4. ベース材の取付け」と同時に行なう作業です。

10-1 ベース材 前の連結

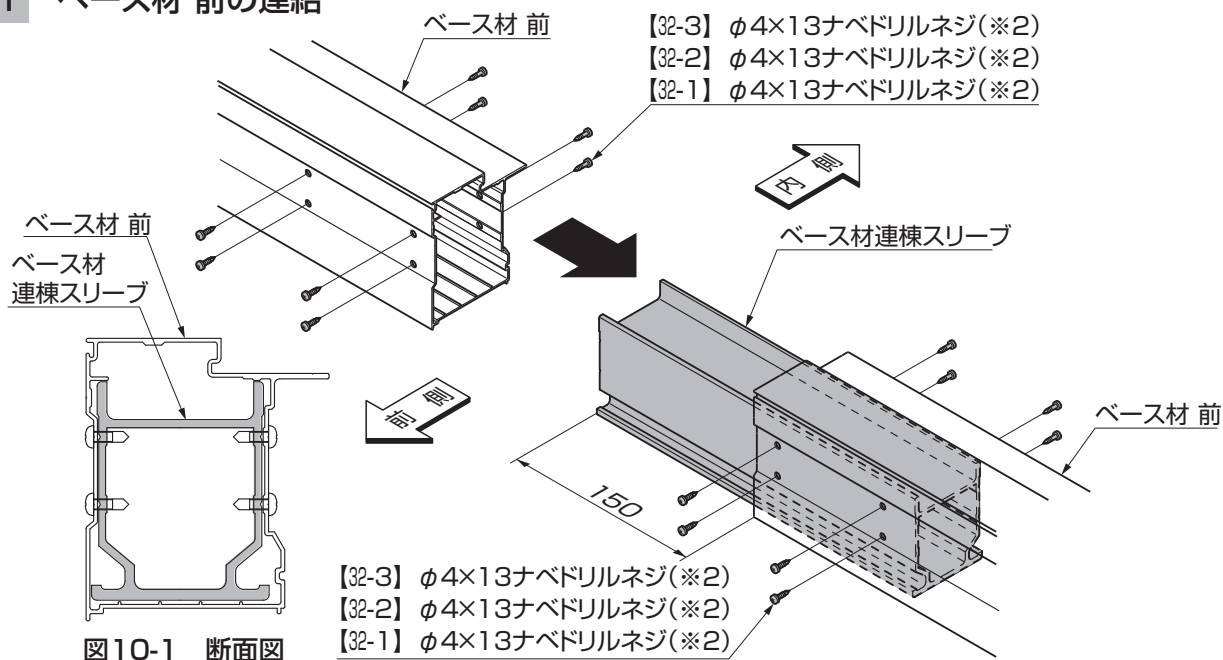


图 10-1 断面图

①ベース材 前にベース材連棟スリーブを挿入して【32-1】または【32-2】、【32-3】で固定してください。

ポイント

- ※1のネジは本体色を使用してください。
- ※2のネジは本体色以外を使用してください。

10-2 ベース材 横の連結

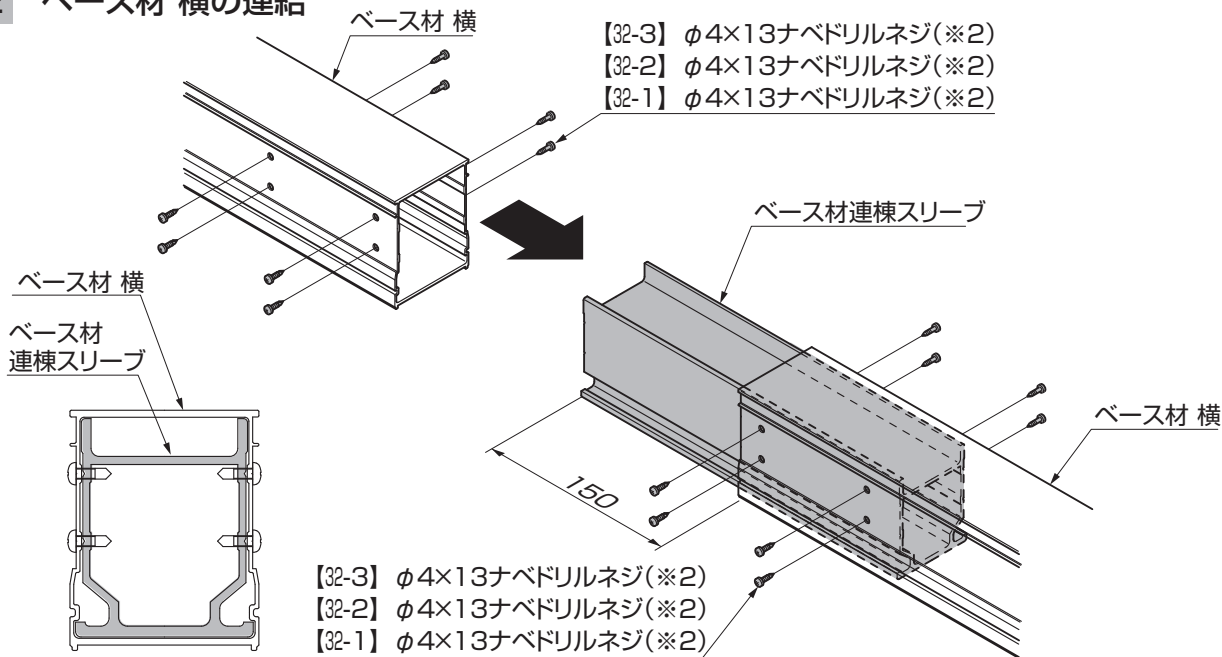


图 10-2 断面图

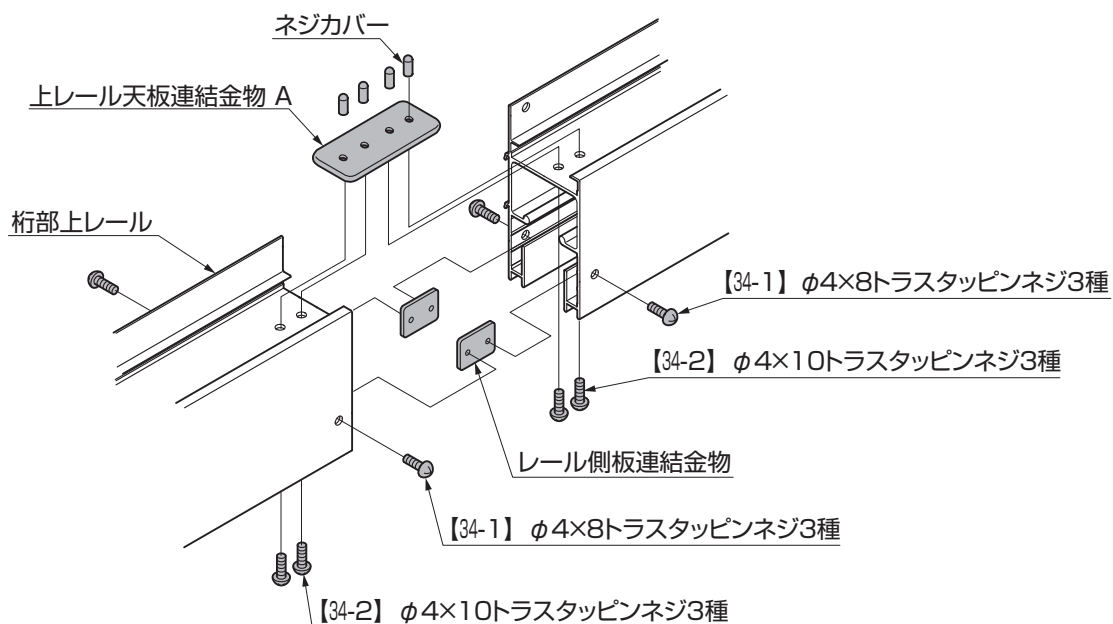
①ベース材 横にベース材連棟スリーブを挿入して【32-1】または【32-2】、【32-3】で固定してください。

ポイント

- ※3のネジは本体色以外を使用してください。

11. 桁レールの連結

※「6 レールの取付け 1. 前面上下レールの施工」と同時に行なう作業です。

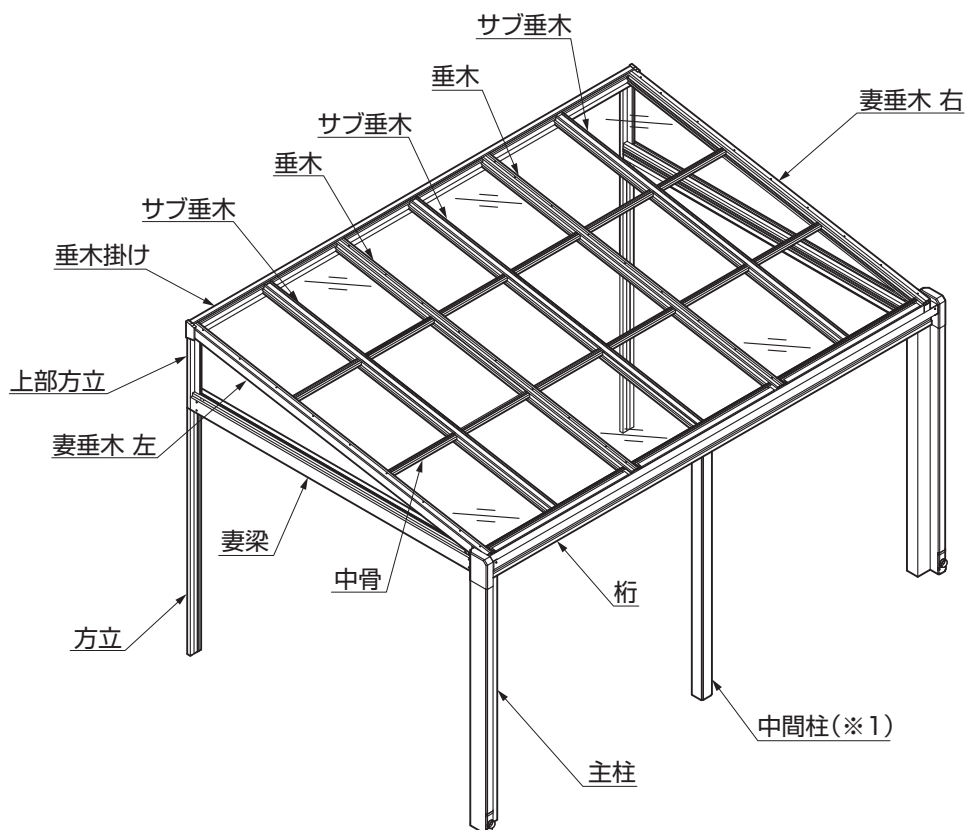


- ① 桁部上レールとレール側板連結金物を【34-1】で連結してください。
- ② 桁部上レールと上レール天板連結金物 Aを【34-2】で取付けて、ネジカバーをはめてください。

メモ

10 積雪仕様の施工

1. 各部の名称



補足

●中間柱の取付けは2.0間以上の場合に取付けます。(※1)

2. 垂木掛けの加工

※「4 テラス部本体の施工 2. 方立・上部方立・垂木掛けの取付け」と同時に行なう作業です。

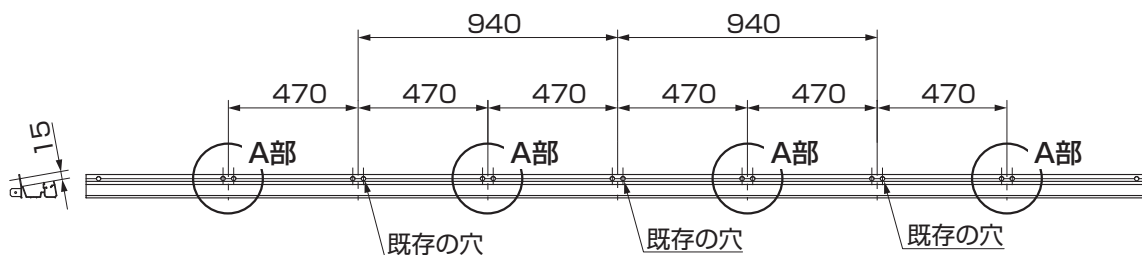


図2-1

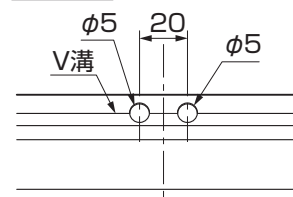


図2-2 A部詳細図

①図2-1、図2-2を参考に垂木掛けのV溝に穴加工を追加してください。(図2-2参照)

補足

●図2-1は間口2間用です。間口サイズによって穴の加工数は異なります。

3. 桁の加工

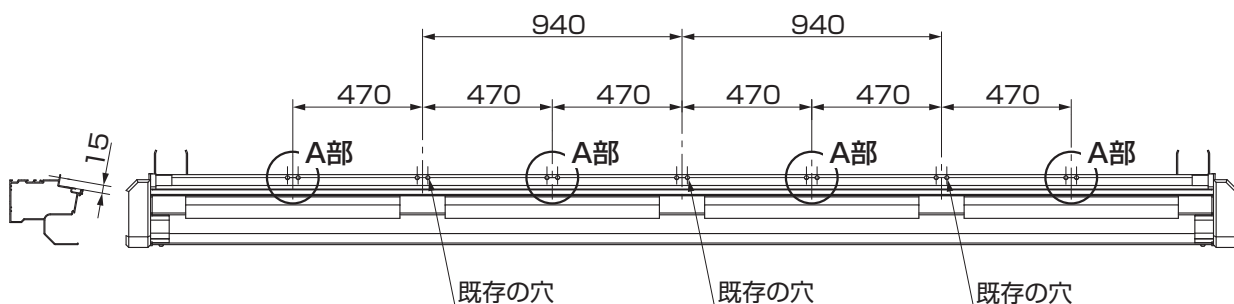


図3-1

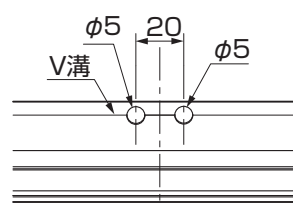


図3-2 A部詳細図

①図3-1、図3-2を参考に桁のV溝に穴加工を追加してください。（図3-2参照）

補足

- 図3-1は間口2.0間用です。間口サイズによって穴の加工数は異なります。
- 間口サイズ2.0間、2.5間、3.0間は「4 テラス部本体の施工 5. 妻梁・桁の取付け 5-2 桁の中間柱取付け加工」もしてください。

4. 妻梁・妻垂木取付金具の取付け

※「4 テラス部本体の施工 5. 妻梁・桁の取付け」と同時に行なう作業です。

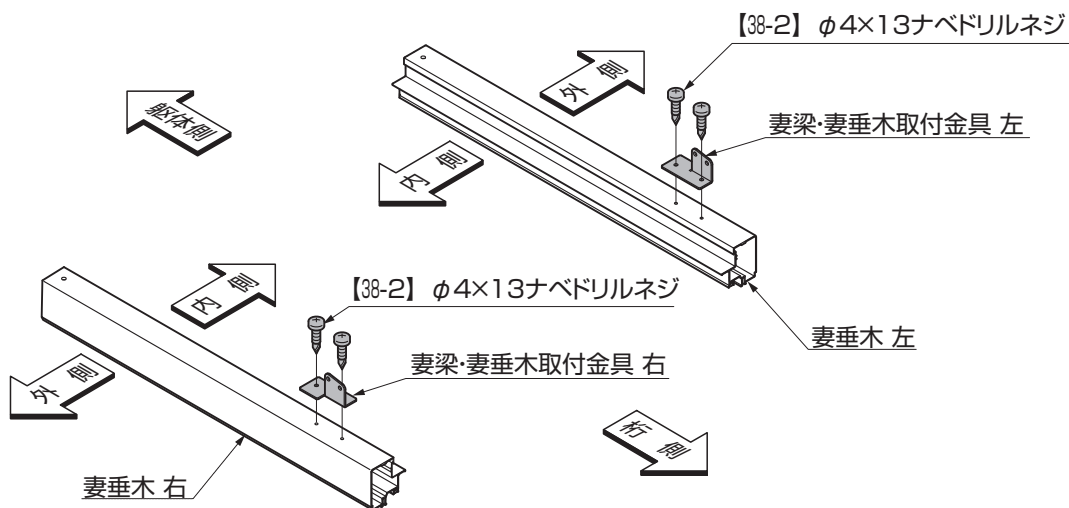


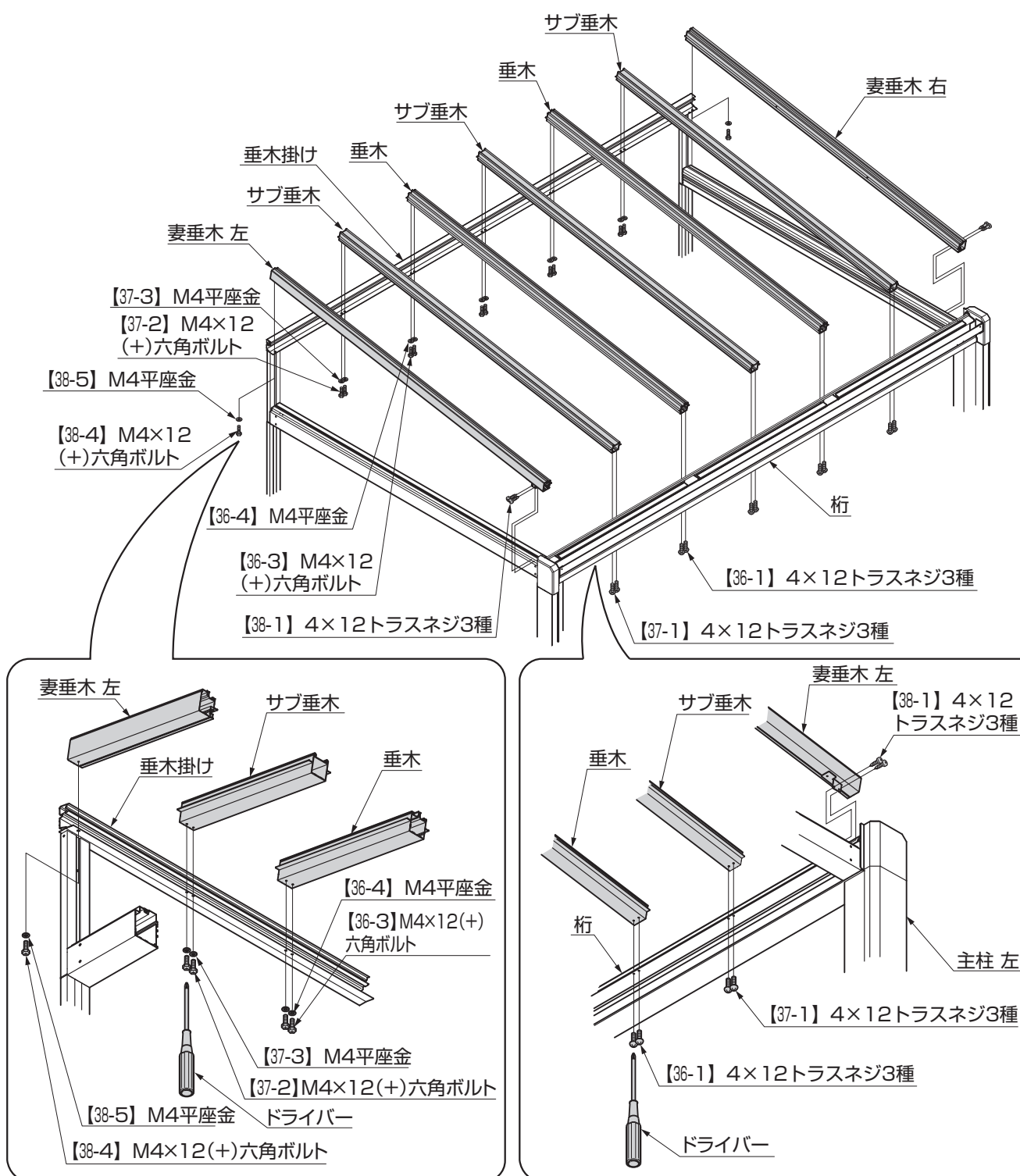
図4-1

①妻垂木に妻梁・妻垂木取付金具を【38-2】で取付けてください。

ポイント

- 妻垂木および妻梁・妻垂木取付金具には左右、取付け方向があります。

5. 垂木・妻垂木・サブ垂木の取付け

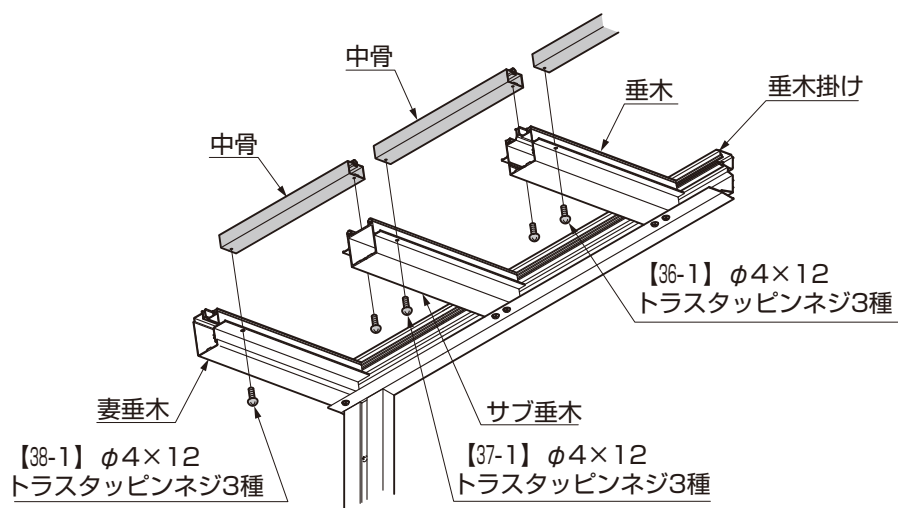
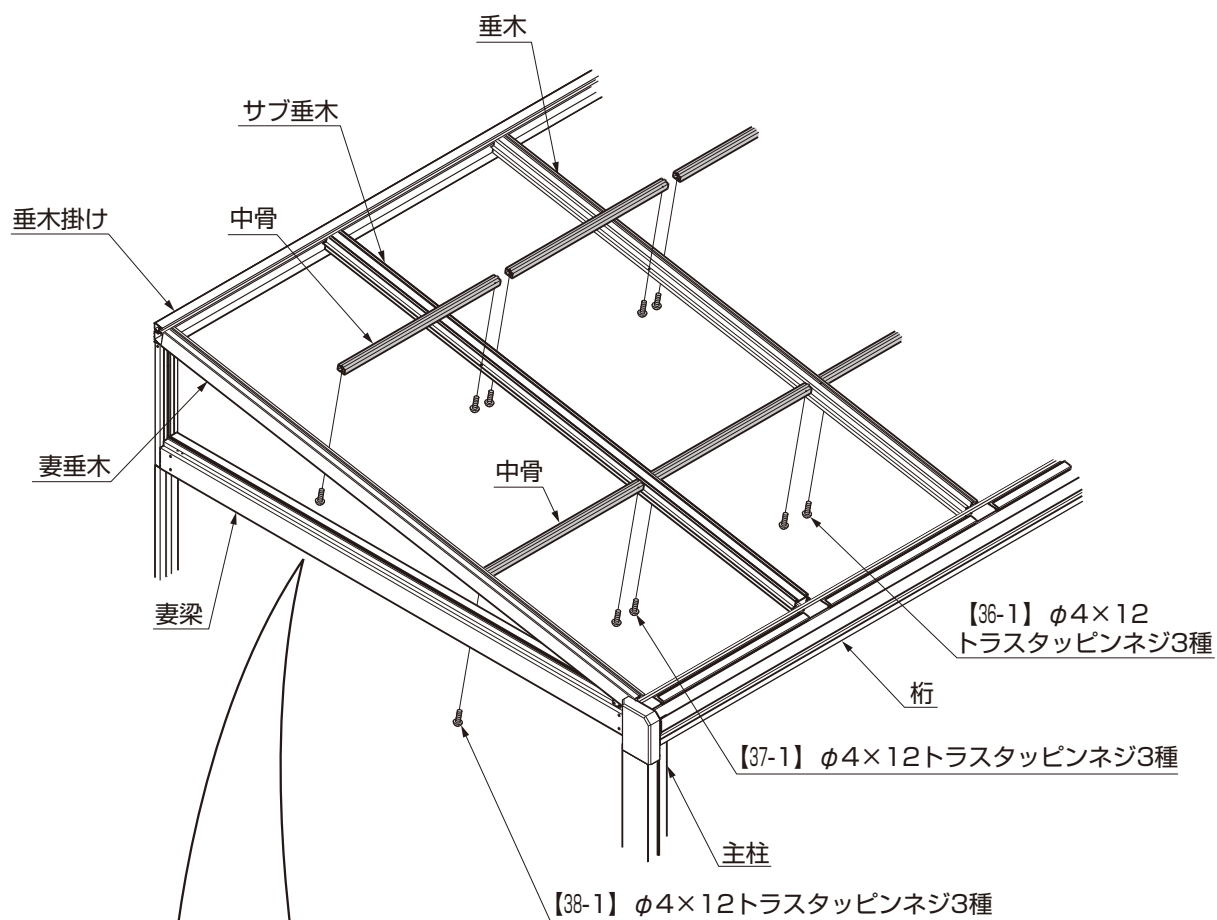


- ①妻垂木と垂木掛けを【38-4】、【38-5】で取付けてください。
- ②妻垂木と妻梁を【38-2】で取付けてください。
- ③垂木、サブ垂木と垂木掛けを【37-3】、【37-2】、【36-4】、【36-3】で取付けてください。
- ④垂木、サブ垂木と桁を【36-1】、【37-1】で取付けてください。

ポイント

- 妻垂木、垂木、サブ垂木の取付けにはインパクトドライバーは使用しないでください。ネジ山が破損するおそれがあります。

6. 中骨の取付け



①中骨と妻垂木、サブ垂木、垂木を【38-1】、【37-1】、【36-1】で取付けてください。

取説コード

E168

UNA603018K
200503A_1039
201902K_1039